

平成19年度

# 学生生活実態調査報告書



箱崎地区  
Hakozaki Campus



六本松地区  
Ropponmatsu Campus



大橋地区  
Ohashi Campus



病院地区  
Hospital Campus



伊都地区  
Ito Campus



筑紫地区  
Chikushi Campus





# 目次

まえがき	1
調査の概要	3

## 第1章 回答者の基本的情報

1. 回答者の年齢分布	5
2. 回答者の居住区	6

## 第2章 入学・修学の状況について

1. 入学の状況(学部学生)	
(1) 入学前, 本学のイメージはどの ようなものでしたか	8
(2) 志望決定時に知りたかった情報	8
(3) 入学の動機	10
2. 進学の状況(大学院学生)	
(1) 大学院学生の出身	11
(2) 本学大学院への入学(進学)理由	12
(3) 他大学院の受験と就職活動	12
3. 修学の状況	
(1) 転学部・転学科の希望状況 (学部学生)	13
(2) 転学部・転学科の希望理由 (学部学生)	14
(3) 授業の出席状況(学部学生)	15
(4) 単位の取得状況(学部学生)	15
(5) 授業の難易度(学部学生)	16
(6) 授業の満足度(学部学生)	16
(7) 授業に満足していない理由 (学部学生)	17
(8) 授業に対する希望(学部学生)	18
(9) 研究環境の満足度(大学院学生)	19
(10) 研究環境に不満足である理由 (大学院学生)	19
(11) 教員と話す機会	20
(12) 話す機会がない理由	20
(13) 教員と話すことに対する希望	21
(14) 教員に期待すること	22
①学部学生	
②修士課程学生	
③博士(後期)課程学生	
(15) 専門学校などへ通った経験	25
(16) 専門学校などの内容	25

## 第3章 家族の状況について

1. 家族の居住地	27
2. 家族の人数, 家計, 配偶者	28

## 第4章 住居・通学の状況について

1. 住居について	
(1) 住居の形態	30
(2) 部屋の広さ	30
(3) 部屋を選ぶ条件	31
(4) 住居の紹介・あっせん者	32
(5) 学生寄宿舎に入居したいか について	33
2. 通学の状況	
(1) 主な通学手段について	34
(2) 主に学んでいるキャンパス ごとの通学時間	35
(3) 免許の取得状況	36
(4) 自動車保有の有無	36
(5) 任意保険加入率(自動車)	37
(6) 自動二輪車・原付バイクの保有 の有無	37
(7) 任意保険加入率 (自動二輪車・原付バイク)	38
(8) 事件・事故	38
①交通事故(加害者)	
②事故を起こした際の場所	
③事故を起こした際の状況	
④交通事故(被害者)	
⑤事故の起きた場所	
⑥事故を受けた際の状況	
⑦盗難事故の被害	
⑧盗難事故の内訳	
⑨訪問販売などの被害	
⑩身の危険を感じたことがあるか	

## 第5章 食生活の状況について

1. 朝食・昼食・夕食
  - (1) 朝食 …… 44
  - (2) 主な食事場所 …… 45
2. 学内食堂
  - (1) 学内食堂の利用 …… 46
  - (2) 主に利用する食堂 …… 46
  - (3) 学内食堂の改善点 …… 49
    - ①学内食堂全体
    - ②キャンパスごとの改善点

## 第6章 健康の状況について

1. 体の調子
  - (1) 現在の体調 …… 51
  - (2) 現在, 調子が悪い人の症状 …… 51
  - (3) 怪我をした状況 …… 52
  - (4) 学生教育研究災害傷害保険への加入 …… 53
  - (5) 学生教育研究災害傷害保険に加入していない理由 …… 53
  - (6) 現在, 悩みがあるか …… 54
  - (7) 悩みの原因 …… 54
  - (8) 悩みの解消方法 …… 55
2. セクシュアル・ハラスメント
  - (1) セクシュアル・ハラスメントの防止のための委員会や相談員 …… 56
  - (2) 被害の状況 …… 57
  - (3) 他人の被害について …… 57
3. 喫煙・飲酒
  - (1) 喫煙について …… 58
  - (2) 吸い始めてからの年数 …… 58
  - (3) 1日の喫煙本数 …… 59
  - (4) 朝起きて最初のタバコを吸うまでの時間 …… 60
  - (5) 禁煙について …… 60
  - (6) タバコによる健康被害について知っていますか …… 60
  - (7) 飲酒の強要 …… 61
4. 友人関係
  - (1) 心をうちあける友人 …… 62
  - (2) それはどのような関係の友人か …… 62

## 第7章 大学生生活の状況について

1. 睡眠時間 …… 64
2. 1週間のうちで大学に行かない曜日 …… 64
3. 休日の過ごし方 …… 65
4. 大学生生活の目的 …… 66
5. 現在力を入れていること …… 67
6. 大学生生活の満足度 …… 68
7. 現在ほしいもの …… 68

## 第8章 収入と支出の状況について

1. 収入・支出の状況
  - (1) 1か月の平均収入と平均支出 …… 70
  - (2) 収入の内訳 …… 71
  - (3) 家計支持者からの支援額 …… 72
  - (4) アルバイトによる収入額 …… 73
  - (5) 支出の内訳 …… 75
  - (6) 消費者金融の利用 …… 76
2. アルバイト
  - (1) 現在, アルバイトをしているか …… 76
  - (2) アルバイトをする主な理由 …… 77
  - (3) アルバイトの紹介者(情報提供者) …… 78
  - (4) 職種 …… 79
  - (5) アルバイトの頻度 …… 80
  - (6) 1週間の平均就労時間 …… 81
  - (7) アルバイト収入の用途 …… 82
  - (8) アルバイトと学業の関係 …… 83
3. 大学生生活に必用な物・所有している物 …… 84

## 第9章 サークル活動, ボランティア活動および施設の状況について

1. サークル活動
  - (1) 加入サークル …… 86
  - (2) サークル加入の理由 …… 87
  - (3) サークル活動の満足度 …… 88
  - (4) サークル活動の場所 …… 89
  - (5) サークル活動の曜日 …… 90
  - (6) サークル活動の時間 …… 91
  - (7) 学業との関係 …… 92
  - (8) 加入しない理由 …… 93

<b>2. ボランティア活動</b>	
(1) ボランティア活動の参加	…… 94
(2) ボランティア活動の内容	…… 94
(3) 参加を希望するボランティア活動の内容	…… 96
<b>3. 施設についての満足度</b>	
(1) 九大の施設への満足度	…… 97
(2) 設備充実を希望する施設	…… 98

## 第10章 図書館について

1. 利用目的	…… 99
2. 1週間の利用時間	……101
3. 開館時間	……101
4. 開館時間の要望	……102
5. 満足度	……103
6. 改善点について	……104

## 第11章 卒業(修了)後の進路について

1. 卒業(修了)後の進路希望	……105
2. 就職について重要視すること	……106
3. 希望する勤務地	……107
4. 就職について大学に希望すること	……108

## 第12章 海外渡航・国際交流について

<b>1. 海外渡航</b>	
(1) 海外渡航の有無と回数	……109
(2) 海外渡航の目的	……110
(3) 渡航経験者の海外渡航先	……110
<b>2. 海外留学</b>	
(1) 交換留学制度の認知度	……112
(2) 留学のための奨学金や渡航費補助制度の認知度	……113
(3) 大学主催の海外語学研修の機会があった場合の参加希望	……113
<b>3. 英会話・語学力</b>	
(1) 英語の会話の程度	……114
(2) 語学力を高めるためにしていること	……116
<b>4. 国際交流活動の経験</b>	……117

## 第13章 大学生生活の満足度について

1. オフィスアワー, 指導教員等の学習相談について	……118
2. 就職支援について	……119
3. 健康, 生活, ハラスメント等学生生活相談・助言について	……120
4. 自習室, 情報機器室等の自主的学習環境について	……121
5. 課外活動支援について	……122

## 第14章 大学への要望について

1. 本調査について	……123
2. 大学改革について	……123
3. 大学移転について	……124
4. その他	……124

### 平成19年度学生生活実態調査票

(学部生用)	……125
--------	-------

### 平成19年度学生生活実態調査票

(大学院生用)	……139
---------	-------

### あとがき

……152
-------



## まえがき

国立大学が法人化され、4年が過ぎました。法人化後、学生の学習および生活環境の質の向上、学生サービスの充実・強化を目的として、中期目標・中期計画を作成し、学生の修学相談、学習指導、留学・進学指導等の学習支援を充実するだけでなく、学生生活支援、経済的支援、就職活動支援等の充実に取り組んできました。

また、平成17年および18年度に工学系部局が伊都キャンパスに移転したため、伊都地区の教育研究および学生支援施設の充実に取り組んできました。平成21年には、六本松キャンパスの伊都キャンパスへの移転が予定されており、さらに伊都地区の充実を目指しているところです。

この間、キャリア支援センターを設置し、大学院学生および博士号取得者への総合的な支援を開始しました。また、学生モニター会議を設置し、教育研究の改善に学生の意見を反映してきました。

本報告書は、平成15年に実施した後、4年ぶりに行った調査結果をまとめたものです。この調査は、学生諸君へのアンケートにより実施されるものです。今回は、アンケート用紙の作成、結果の解析、報告書の作成を、本学の大学院学生に手伝っていただきました。

報告書の作成にあたっては、解りやすい図表を掲載し、多くの人々に読んでいただくことを目指しました。学生たちの意見をできる限り取り入れ、学生にとって魅力あるものにすることに留意しております。充実した学生生活を送るため、活用していただきたいと思います。

本報告書は、学生の生活実態を如実に表わすものであり、適切な学生指導を行う上で、貴重な情報を提供するものです。教職員の皆様のお役に立てることを望んでいます。

最後に、調査にあたってご協力いただいた多くの学生諸君、報告書のとりまとめにご尽力いただいた教職員、学生の方々に厚くお礼申し上げます。

平成20年3月

九州大学理事（副学長）  
山田 耕路



# 調査の概要

## 1. 調査の目的

本学学生のご生活環境・学習環境の現状を把握し、それによって、本学学生のご修学・福利厚生・課外活動等に役立つ基礎的な資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の組織

平成19年1月、九州大学学生委員会の下に「学生生活実態調査実施小委員会」を設置し、次の委員が調査を担当した。

小委員会委員	氏名	所属・職名
委員長	淵田吉男	高等教育開発推進センター・教授
副委員長	吉井亮雄	人文科学研究院・教授
委員	川島秀一	数理学研究院・教授
委員	橋爪誠	医学研究院・教授
委員	竹之内和樹	芸術工学研究院・准教授
委員	太田好信	比較社会文化研究院・教授
委員	内野喜一郎	総合理工学研究院・教授
委員	神野健二	工学研究院・教授
委員	山本教人	健康科学センター・准教授
委員	二宮嘉行	数理学研究院・助教
委員	鈴木司	学務部長
委員	木林透	学務部学生生活課長

## 3. 調査の対象

平成19年5月1日現在の各学部・各大学院に在籍する学生と各学府に在籍する大学院生を対象とした。ただし、休学者、外国人留学生及び社会人学生は対象から除いた。

## 4. 調査の時期

平成19年7月1日

## 5. 調査の方法

無記名のアンケート調査により行った。学部学生のご3分の1、大学院学生のご3分の1を対象学生として、無作為抽出し、担当係から調査票を配布し、回収した。

## 6. 回収状況

調査票の回収状況は、表1のとおりであり、抽出学生5,870名/配付数5,107名のうち有効回収率は、2,299名で、配付数に対する回収率は、45.0%であった。

## 7. 集計の方法

各集計表の比率は、小数点第2位を四捨五入としている。「複数回答可」とした設問に対する回答は、回答者の比率で示した。

## 8. その他

集計に当たっては、次のように分類している。

分類	内容
学部	文系 文学部・教育学部・法学部・経済学部
	理系 理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部・芸術工学部・21世紀プログラム
大学院	文系 人文科学府・人間環境学府・法学府・法務学府・経済学府・比較社会文化学府
	理系 理学府・数理学府・システム生命科学府・医学系学府・歯学府・薬学府・工学府・芸術工学府 システム情報科学府・総合理工学府・生物資源環境科学府
学部	低 低学年：1年生・2年生
	高 高学年：3年生・4年生・5年生・6年生
大学院	M・C 修士課程：1年生・2年生 一貫制博士課程：1年生・2年生（システム生命科学府）
	D・C 博士後期課程：1年生・2年生・3年生 一貫制博士課程：3年生・4年生・5年生（システム生命科学府）
	専門職・2年制 人間環境学府・経済学府・医学系学府
	専門職・3年制 法務学府

無回答とした者がいない場合は、表・図中から省略している。

また、文中の「前回調査」とは、平成15年度学生生活実態調査（平成15年11月1日現在）を指す。

表1 学生生活実態調査の調査対象者数,回収数,回収率等

区 分		A 在学者数	B 抽出数	C 配付数	D 有効回収数	回収率% (D ÷ C)
学部 (1/3抽出)	文学部	701	226	140	61	43.6
	教育学部	220	70	70	17	24.3
	法学部	885	292	283	175	61.8
	経済学部	1,131	366	192	50	26.0
	理学部	1,282	418	384	123	32.0
	医学部	1,265	416	370	163	44.1
	歯学部	360	117	116	71	61.2
	薬学部	344	113	110	54	49.1
	工学部	3,627	1,175	1,088	322	29.6
	農学部	994	324	320	167	52.2
	芸術工学部	896	293	289	128	44.3
	21世紀プログラム	117	38	36	28	77.8
	小 計	11,822	3,848	3,398	1,359	40.0
	大学院 (1/3抽出)	人文科学府	191	49	33	17
比較社会文化府		260	44	29	27	93.1
人間環境学府		459	130	96	47	49.0
法学府・法務学府		459	122	110	63	57.3
経済学府		245	62	18	10	55.6
理学府		493	153	147	82	55.8
数理学府		158	51	47	36	76.6
システム生命科学府		159	48	45	25	55.6
医学系学府		597	183	143	51	35.7
歯学府		154	47	32	24	75.0
薬学府		213	80	80	45	56.3
工学府		1,189	362	283	130	45.9
芸術工学府		470	160	160	66	41.3
システム情報科学府		413	118	91	84	92.3
総合理工学府		629	193	175	136	77.7
生物資源環境科学府		711	220	220	97	44.1
小 計		6,800	2,022	1,709	940	55.0
合 計	18,622	5,870	5,107	2,299	45.0	

# 第1章

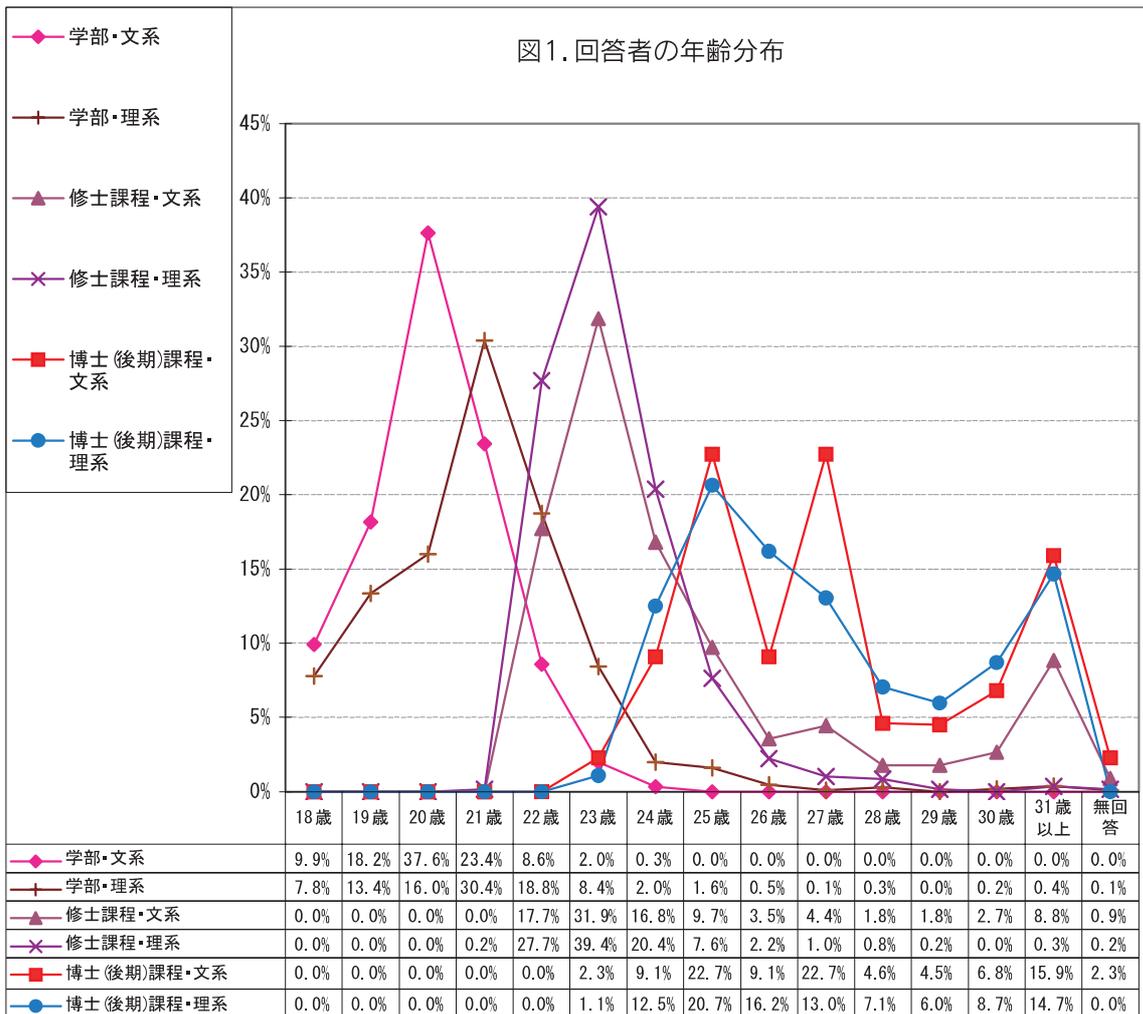
# 回答者の基本的情報

## 1 回答者の年齢分布

図1は、今回の調査に対する回答者の年齢分布を現したものです。学部学生・修士課程学生については年齢層のピークがはっきりしているのに対して、博士（後期）課程学生については分布に幅があります。また、前回調査と比べ29歳以上の文系修士課程の学生の割合が高くなっており、特に31歳以上の割合が4.5%から8.8%へと2倍近く増加しています。

なお、各課程において最も多い年齢層は以下のとおりです。

- ・学部（文系）：20歳      学部（理系）：21歳
- ・修士課程（文系）：23歳      修士課程（理系）：23歳
- ・博士（後期）課程（文系）：25歳、27歳      博士（後期）課程（理系）：25歳



## 2 回答者の居住区

回答者の居住区については、学部学生が「東区」(28.0%)、「中央区」(14.5%)、「その他」(13.1%)の順に、大学院学生が「東区」(38.7%)、「その他」(18.1%)、「西区」(15.2%)の順になっています。また、伊都キャンパス移転により、西区居住者の割合が前回調査の2%前後から10~15%前後へと増加しています。

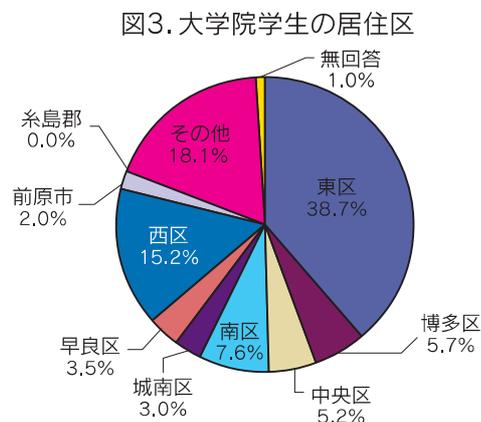
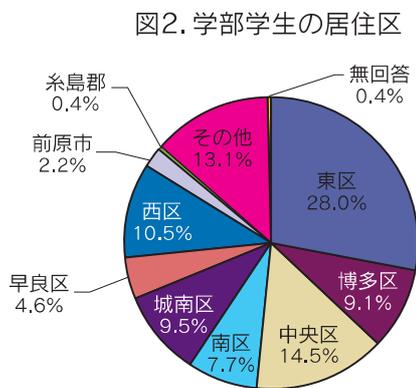


表1, 表2は回答者の居住区を、所属ごとに現したものです。それぞれの学部・学府が存在するキャンパス周辺に居住している者が多いのは当然であると言えますが、学年によってキャンパスを移る必要がないためか、全体に大学院学生の方が主に学ぶキャンパス周辺に居を構えている者が多くいます。

表1. 所属と居住区(学部学生)

選択項目	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	前原市	糸島郡	その他	無回答
文学部	26.2%	8.2%	18.0%	0.0%	11.5%	1.7%	4.9%	1.6%	0.0%	27.9%	0.0%
教育学部	11.8%	0.0%	5.8%	5.9%	29.4%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	35.3%	0.0%
法学部	34.3%	4.0%	20.6%	5.1%	13.1%	5.1%	0.6%	0.0%	0.0%	17.0%	0.0%
経済学部	18.0%	2.0%	36.0%	6.0%	14.0%	4.0%	0.0%	0.0%	2.0%	18.0%	0.0%
理学部	61.0%	3.3%	10.6%	3.3%	8.0%	3.3%	0.8%	0.8%	0.0%	8.9%	0.0%
医学部	28.8%	33.7%	8.6%	1.2%	5.5%	4.9%	3.1%	0.6%	0.6%	13.0%	0.0%
歯学部	36.6%	28.2%	5.6%	4.2%	4.2%	4.2%	2.8%	1.4%	0.0%	12.8%	0.0%
薬学部	53.7%	27.8%	3.6%	1.9%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	9.2%	0.0%
工学部	12.4%	0.9%	13.7%	2.5%	11.2%	5.0%	37.9%	7.4%	0.9%	7.8%	0.3%
芸術工学部	3.9%	2.4%	12.5%	53.1%	7.8%	2.4%	2.3%	0.8%	0.0%	14.8%	0.0%
農学部	41.3%	6.6%	14.9%	2.4%	9.6%	7.8%	2.4%	0.6%	0.0%	13.8%	0.6%
21世紀プログラム	10.7%	0.0%	50.0%	7.1%	10.7%	7.1%	3.6%	0.0%	0.0%	10.8%	0.0%

表2. 所属と居住区(大学院学生)

選択項目	東 区	博多区	中央区	南 区	城南区	早良区	西 区	前原市	糸島郡	その他	無回答
人 文 科 学 府	70.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	11.7%	0.0%
比較社会文化学府	29.6%	3.7%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	7.5%	0.0%
人 間 環 境 学 府	59.6%	2.1%	2.1%	0.0%	8.5%	6.4%	2.1%	0.0%	0.0%	19.2%	0.0%
法 学 府・法 務 学 府	50.8%	1.6%	9.5%	0.0%	3.2%	4.8%	1.6%	0.0%	0.0%	17.5%	11.1%
経 済 学 府	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
理 学 府	69.5%	6.1%	2.4%	6.1%	1.2%	6.1%	0.0%	1.2%	0.0%	7.4%	0.0%
数 理 学 府	66.7%	2.8%	2.8%	5.5%	0.0%	5.5%	0.0%	2.8%	0.0%	11.1%	2.8%
システム生命科学府	80.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%
医 学 系 学 府	37.3%	17.6%	7.8%	3.9%	3.9%	5.9%	3.9%	0.0%	0.0%	19.7%	0.0%
歯 学 府	50.0%	25.0%	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	8.2%	0.0%
薬 学 府	48.9%	31.2%	4.4%	4.4%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
工 学 府	8.5%	3.8%	3.8%	2.3%	2.3%	5.4%	65.4%	7.7%	0.0%	0.8%	0.0%
芸 術 工 学 府	3.0%	3.0%	7.6%	69.7%	1.5%	3.0%	1.5%	0.0%	0.0%	10.7%	0.0%
システム情報科学府	15.5%	2.4%	4.8%	0.0%	3.6%	3.6%	53.6%	8.3%	0.0%	8.2%	0.0%
総 合 理 工 学 府	18.4%	4.4%	2.2%	4.4%	1.5%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	66.9%	0.7%
生物資源環境科学府	77.3%	1.0%	3.1%	1.0%	3.1%	2.1%	1.0%	0.0%	0.0%	11.4%	0.0%

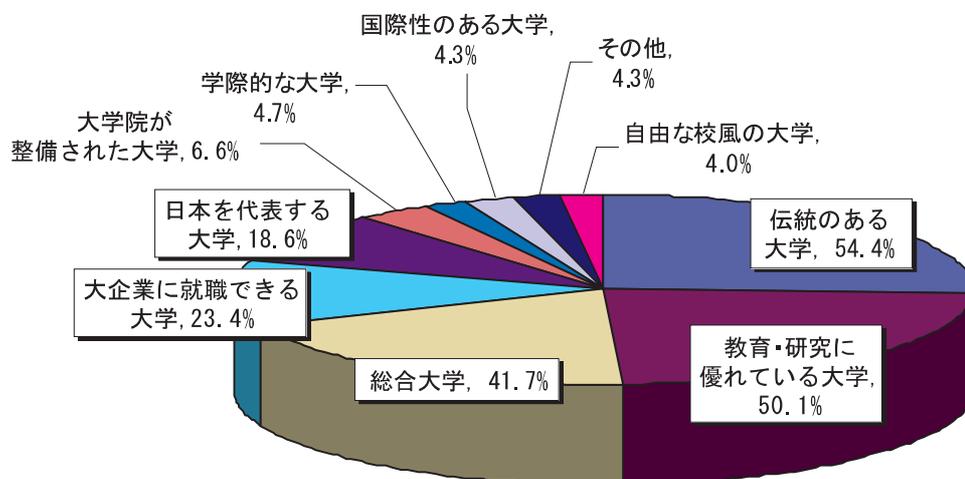
## 1 入学の状況(学部学生)

(1) 入学前、本学のイメージはどのようなものでしたか

「伝統」「教育・研究」「総合大学」

入学前の本学のイメージについては、54.4%の学生が選択した「伝統のある大学」が、前回調査に続き最も多い回答となりました(複数回答)。次いで「教育・研究に優れている大学」(50.1%)、「総合大学」(41.7%)という回答が続いています。一方で、「国際性」「学際性」「自由な校風」といったイメージはあまりもたれていません。

図1. 入学以前における学部学生の本学のイメージ(複数回答)

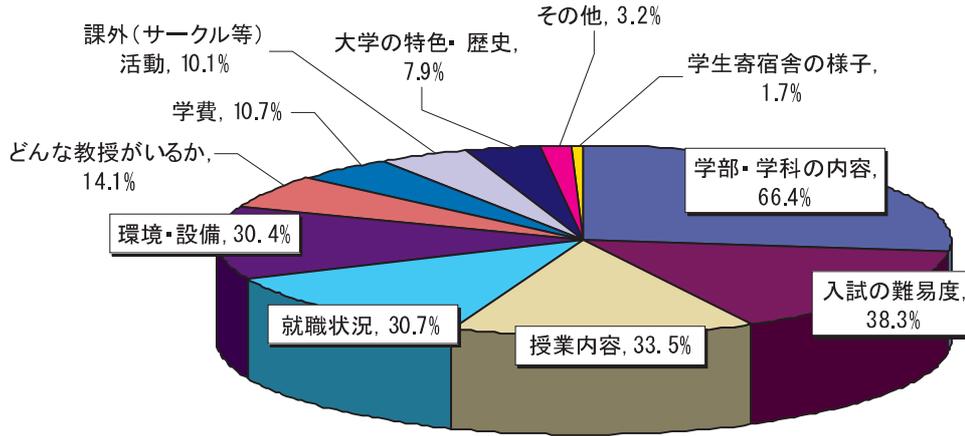


(2) 志望決定時に知りたかった情報

「学部・学科の内容」が断然トップ

志望決定時に最も必要としていたのは「学部・学科の内容」についての情報で、66.4%の割合を占めています。これも前回調査に続き、順位・割合ともに変わっていません。次いで「入試の難易度」(38.3%)、「授業内容」(33.5%)、「就職状況」(30.7%)、「環境・設備」(30.4%)の順となっています。「伝統のある大学」というイメージがある割には、「大学の特色・歴史」といった情報は、あまり必要とされていませんでした。

図2. 志望決定にあたって知りたかった情報(複数回答)



### (3)入学の動機

#### 文系は現実的理由から,理系は研究への興味から

本学への入学を決めた理由について,文系の学生について最も回答が多かったのは、「受験学力相応だった」という選択肢で,45.5%の学生が挙げています。以下,「地元だったから」(38.6%),「九州・福岡で暮らしたかった」(35.6%),「経済的理由」(31.0%)と続いています。

これに対し,理系の学生で最も割合が高かったのは「興味のもてる専攻分野があった」という回答で,47.3%の学生が挙げています。以下,「受験学力相応だった」(42.2%),「地元だったから」(37.5%),「九州・福岡で暮らしたかった」(32.2%)と続きます。

文系と理系を比較すると,「興味のもてる専攻分野があった」「経済的理由」という回答に大きな差が見られます。文系の学生が学力に応じて本学への入学を決めているのに対して,理系の学生は専攻分野の内容に興味を持てるかどうか最も大きな動機となっています。

表1.学部学生の入学の動機(複数回答)

選 択 項 目	文 系	理 系
学風にひかれた	3.3%	3.6%
九州・福岡(博多)で暮らしたかった	35.6%	32.2%
地元だったから	38.6%	37.5%
興味のもてる専攻分野があった	23.8%	47.3%
受験学力相応だった	45.5%	42.2%
受験後の進路を考えた	24.8%	22.5%
高校時代の友人と離れなくてすむから	1.0%	1.0%
経済的理由	31.0%	18.5%
九州大学説明会に参加して魅力を感じた	1.7%	2.7%
その他	5.9%	6.4%

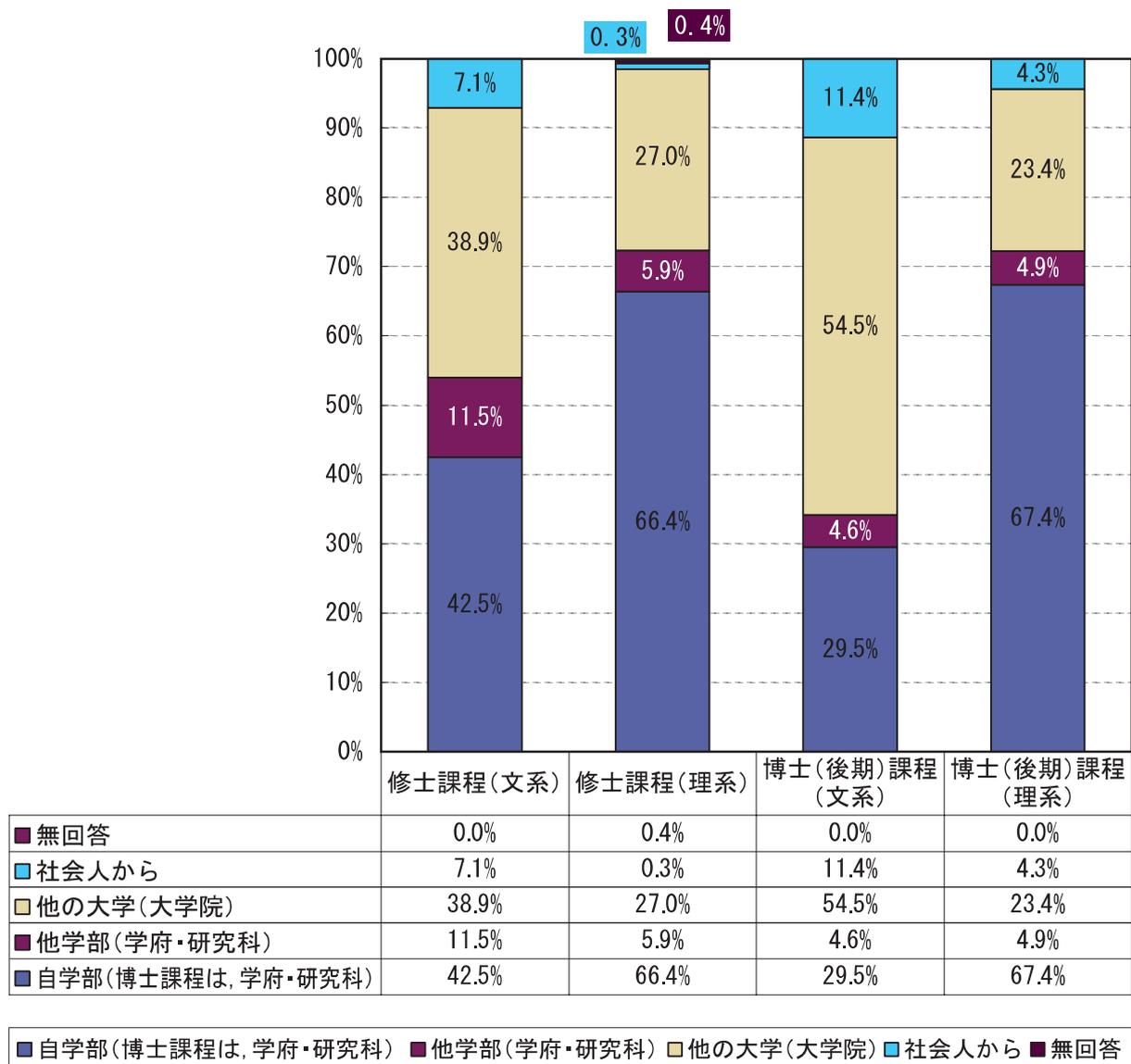
## 2 進学状況(大学院学生)

### (1) 大学院学生の出身

文系は他大学からの進学者が多い

出身大学・大学院について、理系の大学院学生は、修士・博士(後期)課程ともに6~7割の学生が本学の自学部(学部・研究科)であると答えています。これに対し文系の大学院学生は、他大学(大学院)から進学した者の割合が高く、特に博士(後期)課程については54.5%が他大学(大学院)出身であると回答しています。

図3. 出身の内訳



## (2) 本学大学院への入学(進学)理由

### 大学院への進学は「研究を極める」「学位取得」のため

修士・博士(後期)課程ともに入学(進学)理由について最も多かったのは、「研究を極めたい」(約41~56%)という回答で、博士(後期)課程になるとその割合が修士課程より10%近く上がっています。また、理系の修士課程学生については、25.0%が「就職に有利なため」と回答しており、理系分野の就職においては、修士の学位取得が必須となってきつつあるという現状を反映していると考えられます。

表2. 大学院学生の入学(進学)の主な動機

選 択 項 目	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
研究を極めたい	41.6%	41.6%	56.8%	50.5%
学位取得のため	29.2%	21.9%	31.8%	40.8%
指導教員の勧め	3.5%	3.6%	0.0%	3.8%
就職に有利なため	8.0%	25.0%	2.3%	1.1%
希望する就職先がなかったため	1.8%	2.0%	0.0%	0.5%
その他	15.0%	5.6%	9.1%	3.3%
無回答	0.9%	0.3%	0.0%	0.0%

## (3) 他大学院の受験と就職活動

入学(進学)希望時の他大学院受験や就職活動について、おおよそ8割の大学院学生は「受験しなかった」「就職活動しなかった」と回答しています。しかし、文系修士課程の学生については、他の課程に比べて「受験した」「就職活動した」と回答した者の割合が高くなっています(他大学院受験が45.1%、就職活動が17.7%)。自学部出身の学生が理系に比べて少ないことから、文系修士課程の学生は様々な選択肢を考慮したうえで、本学への入学を決めています。

表3. 本学大学院以外の受験状況

選 択 項 目	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
受験した	45.1%	16.0%	27.3%	9.2%
受験しなかった	54.9%	83.5%	72.7%	90.8%
無回答	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%

表4. 大学院受験と並行した就職活動の状況

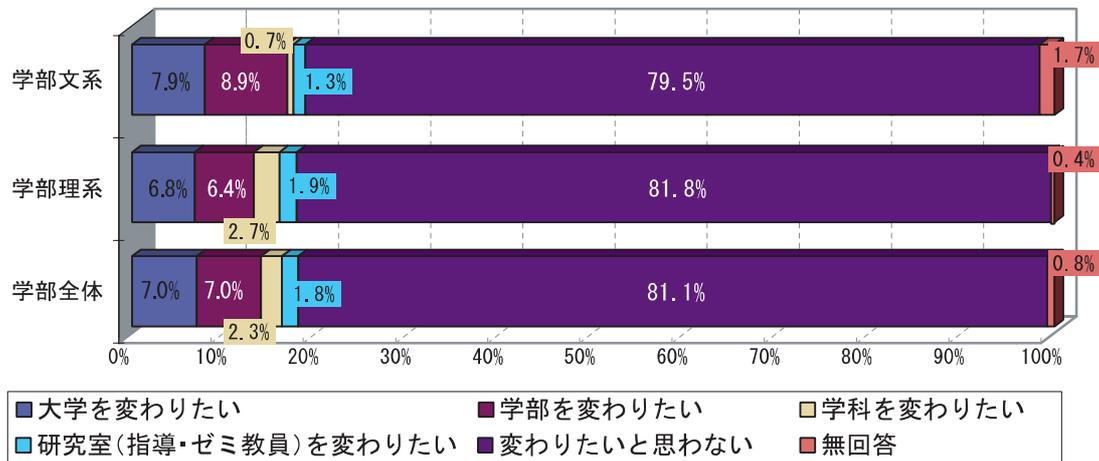
選 択 項 目	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
就職活動した	17.7%	12.4%	11.4%	19.6%
就職活動しなかった	82.3%	87.3%	88.6%	79.3%
無回答	0.0%	0.3%	0.0%	1.1%

### 3 修学の状況

#### (1) 転学部・転学科の希望状況(学部学生)

転学部・転学科の希望状況については、学部全体で約8割の学生が「変わりたくない」と回答しています。文系・理系による差もほとんどなく、前回調査と比べても大きな変化はありませんでした。

図4. 転学部・転学科の希望状況



## (2) 転学部・転学科の希望理由(学部学生)

### 専攻分野の選択失敗が大きな理由

「変わりたい」という理由で最も高い割合を占めたのが、「専攻分野が自分にあっていない」で、38.9% (転学部), 48.4% (転学科), 41.7% (研究室変更) でした。次いで、転学部では「就職を考えると不安」(13.7%), 転学科では「教育課程が過密すぎる」(16.7%)と「就職を考えると不安」(16.1%), 研究室変更では「教員と合わない」(33.2%)が他と比べて大きな理由となっています。

また、大学を変わりたいという理由については、「授業がおもしろくない」という回答が22.9%で最も多く、次いで「専攻分野が自分にあっていない」(17.7%), 「施設・設備が不十分」(11.5%)でした。

表5. 転学部・転学科の希望理由

選 択 項 目	大学を 変わりたい	学部を 変わりたい	学科を 変わりたい	研究室を 変わりたい
専攻分野が自分にあっていない	17.7%	38.9%	48.4%	41.7%
教育課程が過密すぎる	3.1%	9.5%	16.1%	4.2%
教育課程に制約が多い	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%
授業がおもしろくない	22.9%	13.7%	6.5%	4.2%
授業がむずかしすぎる	3.1%	4.2%	3.2%	0.0%
授業のレベルが低すぎる	3.1%	0.0%	0.0%	4.2%
教員と合わない	3.1%	1.1%	0.0%	33.3%
施設・設備を考えると不安	11.5%	1.1%	0.0%	0.0%
就職を考えると不安	11.5%	13.7%	16.1%	4.2%
その他	16.7%	11.6%	3.2%	8.2%
無回答	3.1%	2.0%	6.5%	0.0%

### (3) 授業の出席状況(学部学生)

#### 出席状況は良好

授業の出席状況について、学部全体では73.7%が「どの授業もほとんど出席する」と答えています。おおむね出席状況は良好な状況です。文系・理系別に見てみると、文系の学生の方が10%以上「どの授業もほとんど出席する」の割合が低くなっています。

表6. 授業の出席状況

選 択 項 目	文 系	理 系	全 体
どの授業もほとんど出席する	63.0%	77.0%	73.7%
一部の授業を除いてよく出席する	21.5%	13.4%	15.3%
どの授業も出席したりしなかったりする	10.6%	7.9%	8.4%
一部の授業を除いてあまり出席しない	2.0%	0.6%	0.9%
どの授業もほとんど出席しない	1.7%	0.4%	0.7%
無回答	1.2%	0.7%	1.0%

### (4) 単位の取得状況(学部学生)

#### おおむね問題なし

単位の取得状況を学部全体で見ると、「全部取得できた」(42.8%)と「大体取得できた」(45.6%)が、合わせて9割弱を占めています。出席状況と同じく、おおむね問題なく単位を取得できていますが、文系の学生の方が「全部取得できた」という回答が10%ほど低くなっています。

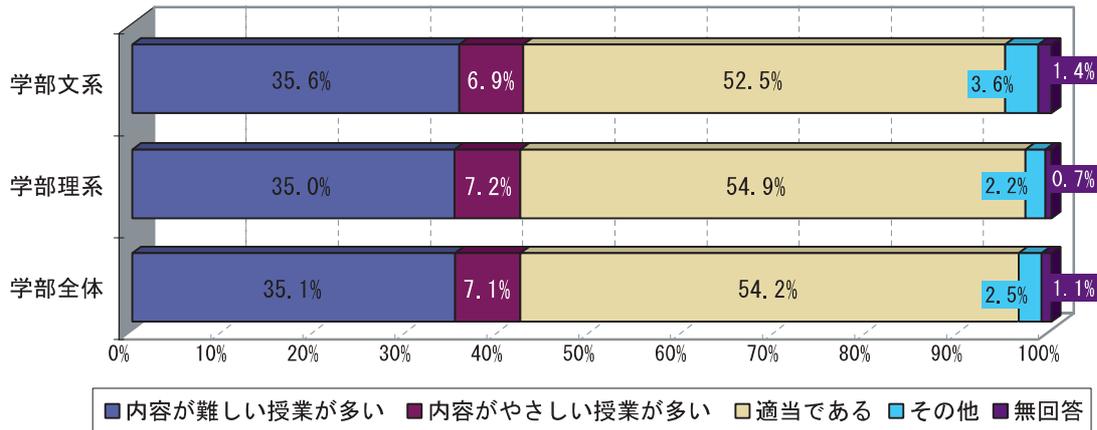
表7. 単位の取得状況

選 択 項 目	文 系	理 系	全 体
全部取得できた	36.3%	44.9%	42.8%
大体取得できた	44.2%	46.0%	45.6%
半分程度取得できた	7.9%	1.3%	2.8%
あまり取得できなかった	1.3%	1.3%	1.3%
全く取得できなかった	0.3%	0.7%	0.6%
無回答	10.0%	5.8%	6.9%

### (5) 授業の難易度(学部学生)

授業の難易度については、学部全体で54.2%が「適当である」と答えています。「内容が難しい授業が多い」は35.1%で、「内容がやさしい授業が多い」は7.1%にとどまりました。なお、文系・理系の差異はほとんどありませんでした。

図5. 授業の難易度



### (6) 授業の満足度(学部学生)

授業の満足度については、「全科目満足」「大部分は満足」を合わせて、約6割でした。前回調査と比べて1割程度の増加です。なお、文系・理系の間に差異はほとんどありません。

表8. 授業の満足度

選択項目	文系	理系	全体
全科目満足している	3.0%	2.7%	2.8%
大部分の科目は満足している	54.1%	55.4%	55.0%
半分くらいの科目は不満である	36.0%	37.8%	37.3%
ほとんど全科目不満	5.6%	3.7%	4.1%
無回答	1.3%	0.4%	0.8%

## (7) 授業に満足していない理由(学部学生)

「半分くらいの科目に不満」「ほとんど全科目不満」と回答した者について、その理由を答えてもらいました。最も多かったのは「授業に魅力がない」というもので、文系で約8割、理系でも約7割の者が挙げています。これは前回調査と変わっていません。なお、「授業内容が難しすぎる」と回答した理系の学生の数<sup>が</sup>、文系の学生より約6%多かったものの、「授業内容がやさしすぎる」と答えた者も2.5%いました。

表9. 授業に満足してない理由(学部学生)

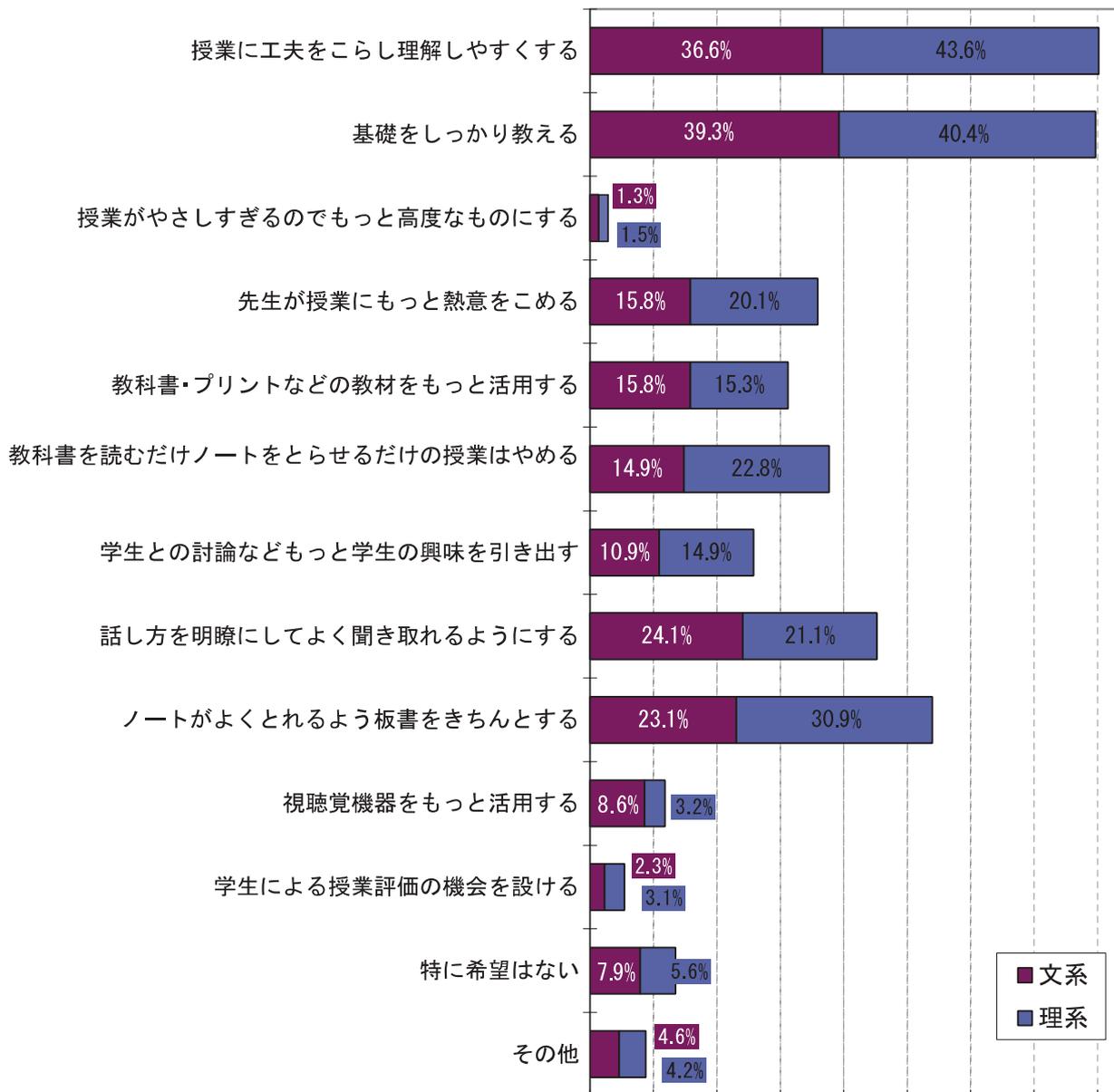
選 択 項 目	文 系	理 系	全 体
授業内容がむずかしすぎる	14.3%	20.3%	19.0%
授業内容がやさしすぎる	0.0%	2.5%	2.0%
授業に魅力がない	81.7%	70.3%	72.9%
受講者が多すぎる	0.8%	0.7%	0.7%
施設・設備が不十分	0.8%	0.7%	0.7%
その他	2.4%	5.0%	4.4%
無回答	0.0%	0.5%	0.3%

(8) 授業に対する希望(学部学生)

理解しやすいように工夫し, 基礎をしっかり教えて欲しい

授業に対する希望としては、「授業に工夫をこらし理解しやすくする」(文系:36.6%, 理系:43.6%), 「基礎をしっかり教える」(文系:39.3%, 理系:40.4%)の二つが, 高い割合を占めています。これは前回調査と変わっていません。そのほかの選択肢については, 「話し方を明瞭にしてよく聞き取れるようにする」「ノートがよくとれるよう板書をきちんとする」という回答が20%を超えています。また, 全体に理系の方が授業に対する要望が多く見られます。

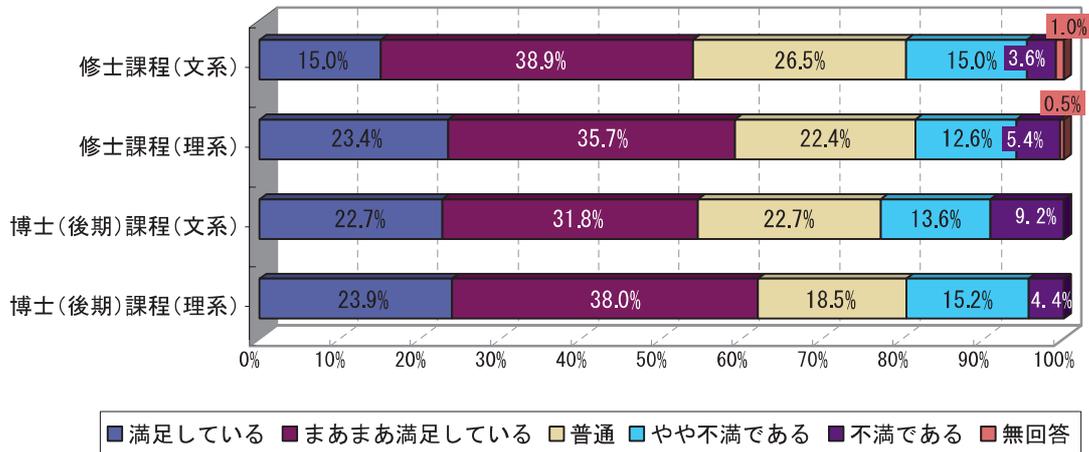
図6. 授業に対して希望すること (複数回答)



## (9) 研究環境の満足度(大学院学生)

大学院学生における研究環境への満足度は、「満足」「まあまあ満足」が約5～6割、「やや不満」「不満」が約2割でした。修士・博士(後期)課程ともに、理系の方がやや満足度は高くなっています。

図7. 研究環境についての満足度

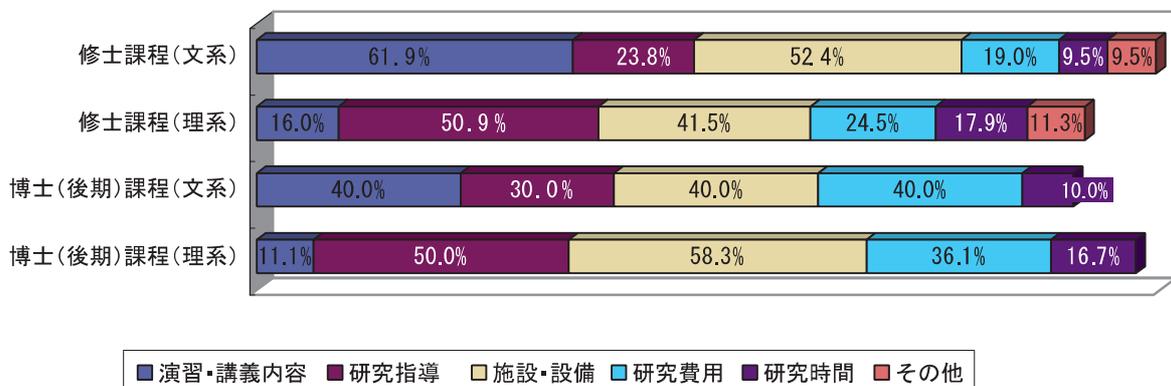


## (10) 研究環境に不満足である理由(大学院学生)

「やや不満」「不満」と答えた者については、その理由も答えてもらいました。修士課程文系では「演習・講義内容」(61.9%)、修士課程理系では「研究指導」(50.9%)、博士(後期)課程理系では「施設・設備」(58.3%)が、最も高い割合を占めています。博士(後期)課程文系については、「演習・講義内容」「施設・設備」「研究費用」が同じ割合(40.0%)でした。

また、全体の傾向として、文系については「演習・講義内容」、理系については「研究内容」への不満が大きくなっています。また、文系・理系とも修士課程に比べ博士(後期)課程では「研究費用」についての不満が増大しています。

図8. 不満足の原因 (複数回答)

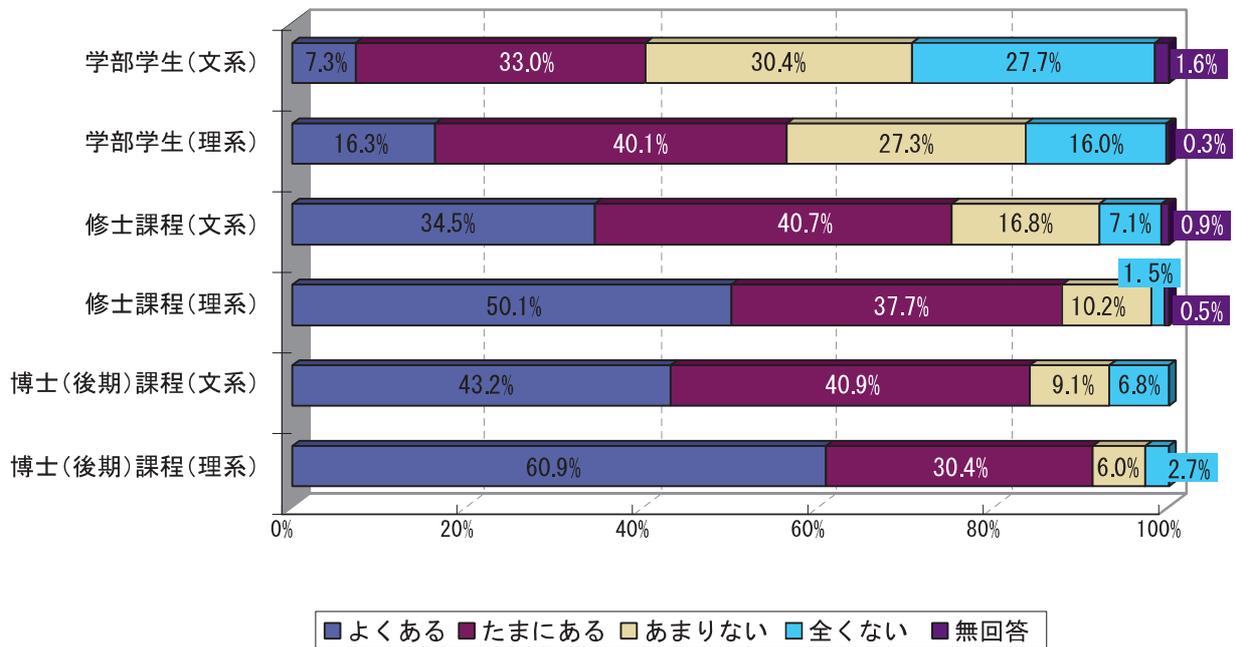


## (11) 教員と話す機会

### 学部学生と教員はもっとコミュニケーションをとるべき

教員との対話の機会については、文系・理系とも課程が上がるにつれ話す機会が多くなっていますが、文系より理系の方が多く対話を行っています。課程が上がるにつれ研究が高度化するため、コミュニケーションの必要性が生じるものと考えられます。ただ、学部学生の中に「全くない」と答えた者が、文系27.7%、理系16.0%も存在するのは気になるところです。

図9. 教員と話す機会



## (12) 話す機会がない理由

### 学部・修士の学生には明確な理由がない

「教員とあまり話さない」「全く話さない」という学生について、その理由を尋ねました。学部、修士課程の学生については、「何となく話しにくい」が最も多く、特に理系の修士課程学生は55.1%がこのように答えています。また、学部学生については、文系・理系ともに約37%が「話す必要がない」と答えています。博士(後期)課程になると、文系については「話したいが機会がない」が57.1%で最も高い割合を占めています。理系では「その他」が43.8%で、前回調査と比べると著しく増加しています。なお、次回の調査では質問項目を検討する必要があります。

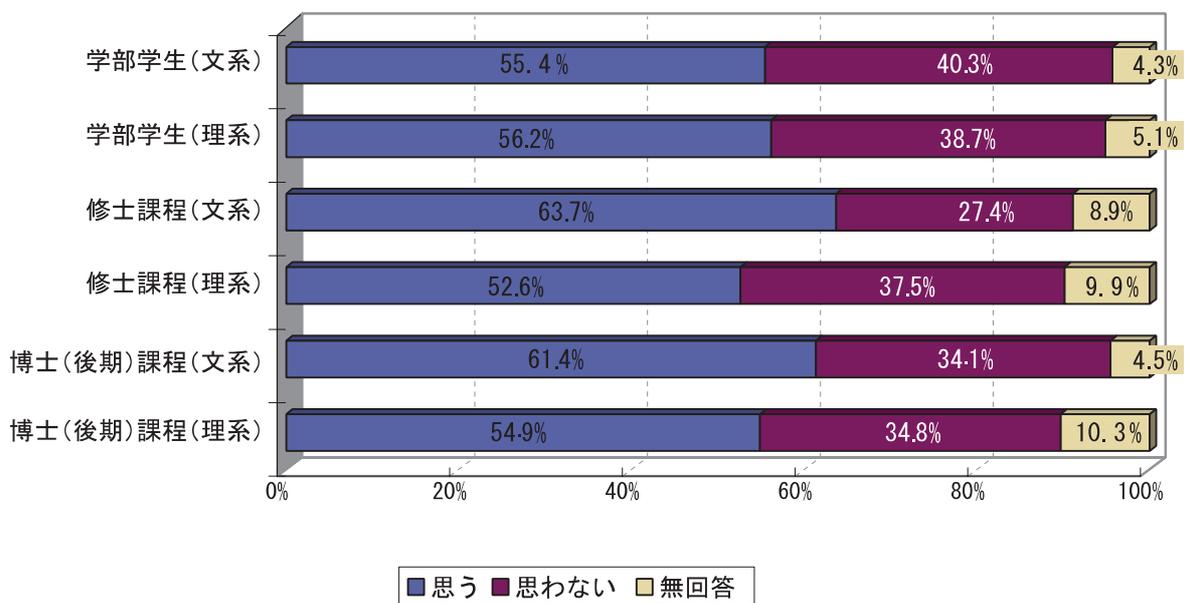
表10. 話す機会がない理由

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
何となく話しにくい	38.6%	43.1%	33.3%	55.1%	0.0%	25.0%
話す必要がない	36.9%	36.8%	29.6%	18.8%	28.6%	12.4%
話したいがその機会がない	22.7%	19.0%	29.6%	20.3%	57.1%	18.8%
その他	1.8%	0.9%	7.5%	5.8%	14.3%	43.8%
無回答	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### (13) 教員と話すことに対する希望

教員と直接話すことの希望について聞いたところ、課程や文系・理系によって大きな差はなく、「話したいと思う」が約55～64%という結果になりました。実際に話しているかどうかには大きな差がありましたが、対話の希望そのものには、課程や文系・理系において大きな差がありません。

図10. 教員と話すことに対する希望



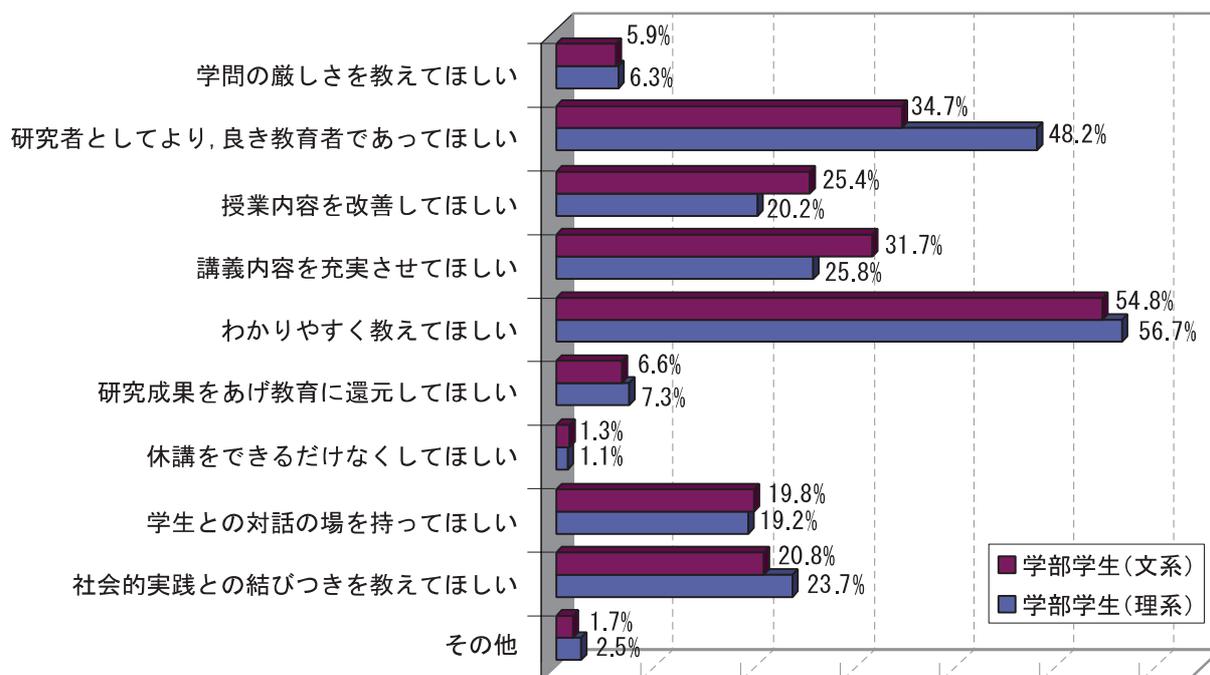
## (14) 教員に期待すること

### ① 学部学生

学部学生が教員に期待することとして最も挙げられたのは、文系・理系ともに「わかりやすく教えてほしい」というものでした(文系:54.8%, 理系:56.7%)。これは前回調査から変わっていません。以下、「研究者としてより、良き教育者であってほしい」(文系:34.7%, 理系:48.2%),「講義内容を充実させてほしい」(文系:31.7%, 理系:25.8%),「授業内容を改善してほしい」(文系:25.4%, 理系:20.2%),「社会的実践との結びつきを教えてほしい」(文系:20.8%, 理系:23.7%),「学生との対話の場を持ってほしい」(文系:19.8%, 理系:19.2%)といった回答が、比較的高い割合を占めました。

文系・理系の違いについては、理系の方が文系より10%以上高い割合で「研究者としてより、良き教育者であってほしい」と答えています。また、「授業内容を改善してほしい」という要望については、文系のほうが理系より5%以上高くなっています。

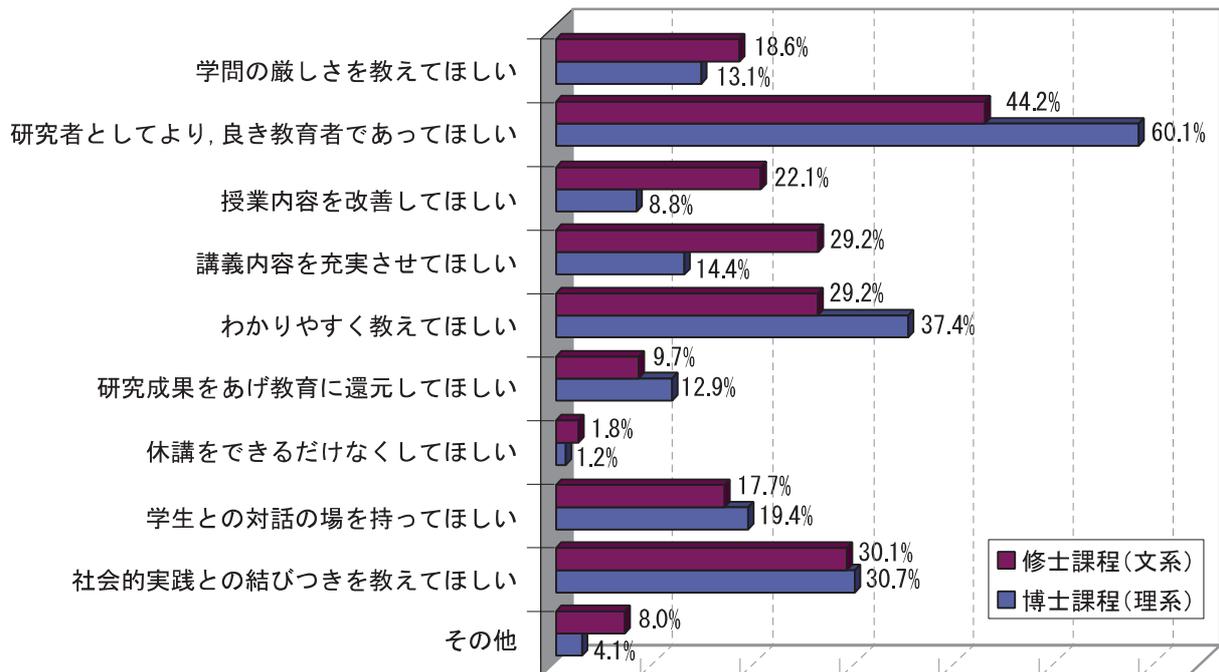
図11. 教員に期待すること (複数回答)



## ②修士課程学生

修士課程の学生については、「研究者としてより、良き教育者であってほしい」という回答が最も高い割合を占めています(文系:44.2%,理系:60.1%)。特に理系については6割の学生が挙げています。また、「社会的実践との結びつきを教えてほしい」(文系:30.1%,理系:30.7%)という要望については文系・理系とも同様に高い割合を示していますが、他の回答については差が現れました。「わかりやすく教えてほしい」については、文系が29.2%であるのに対して理系は37.4%、「授業内容を改善してほしい」「講義内容を充実させてほしい」については、文系の方が理系より15%程度高くなっています。

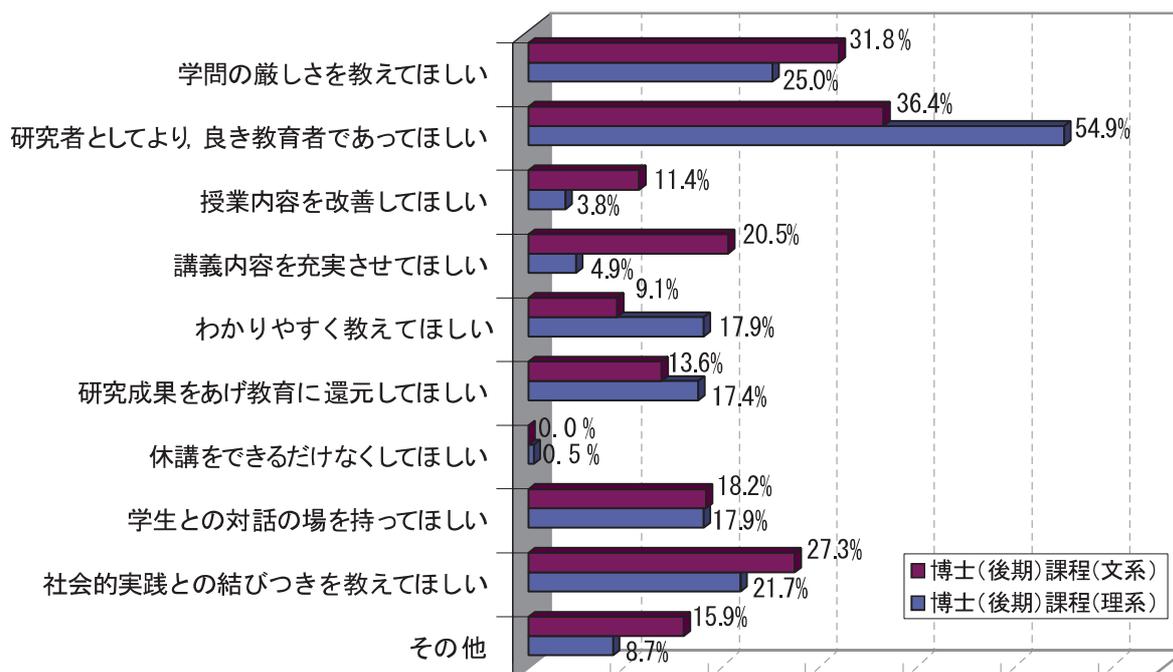
図12. 教員に期待すること (複数回答)



### ③博士(後期)課程学生

博士(後期)課程の学生については、「研究者としてより、良き教育者であってほしい」という回答が修士課程の学生と同じく最も高い割合を占めました(文系:36.4%,理系:54.9%)。理系の方が高い割合を示している点も同様です。また、「学問の厳しさを教えてほしい」という要望について、文系31.8%,理系25.0%と高い割合を示しています。

図13. 教員に期待すること (複数回答)

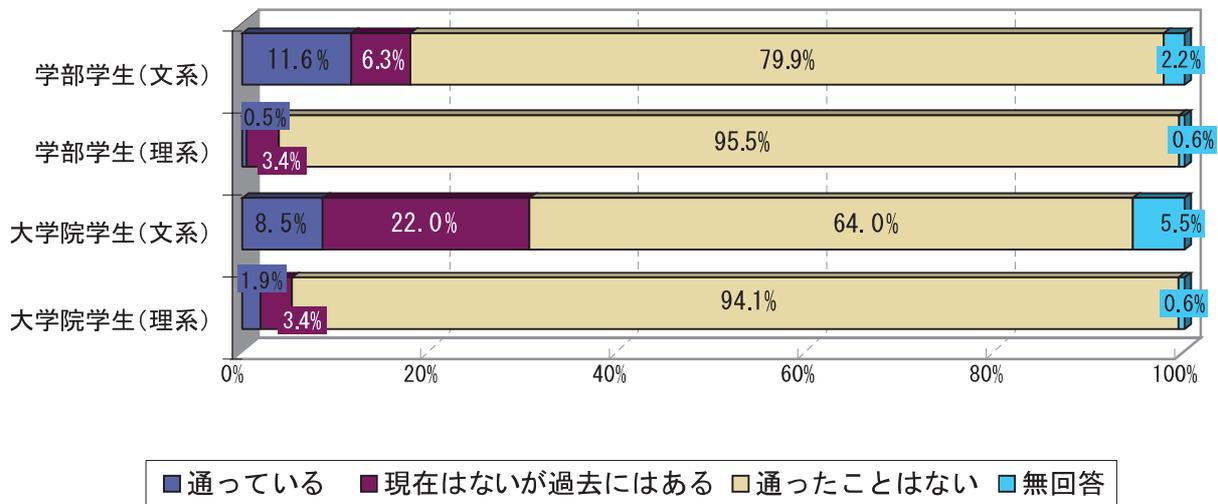


## (15) 専門学校などへ通った経験

## 文系は更なるスキルアップを目指して

専門学校などに通った経験については、学部・大学院ともに理系の学生の約95%が「通ったことはない」と答えているのに対して、文系では学部学生の2割近く、大学院学生については約3割が、「通っている」か「過去に通ったことがある」と答えています。

図14. 専門学校などへ通った経験



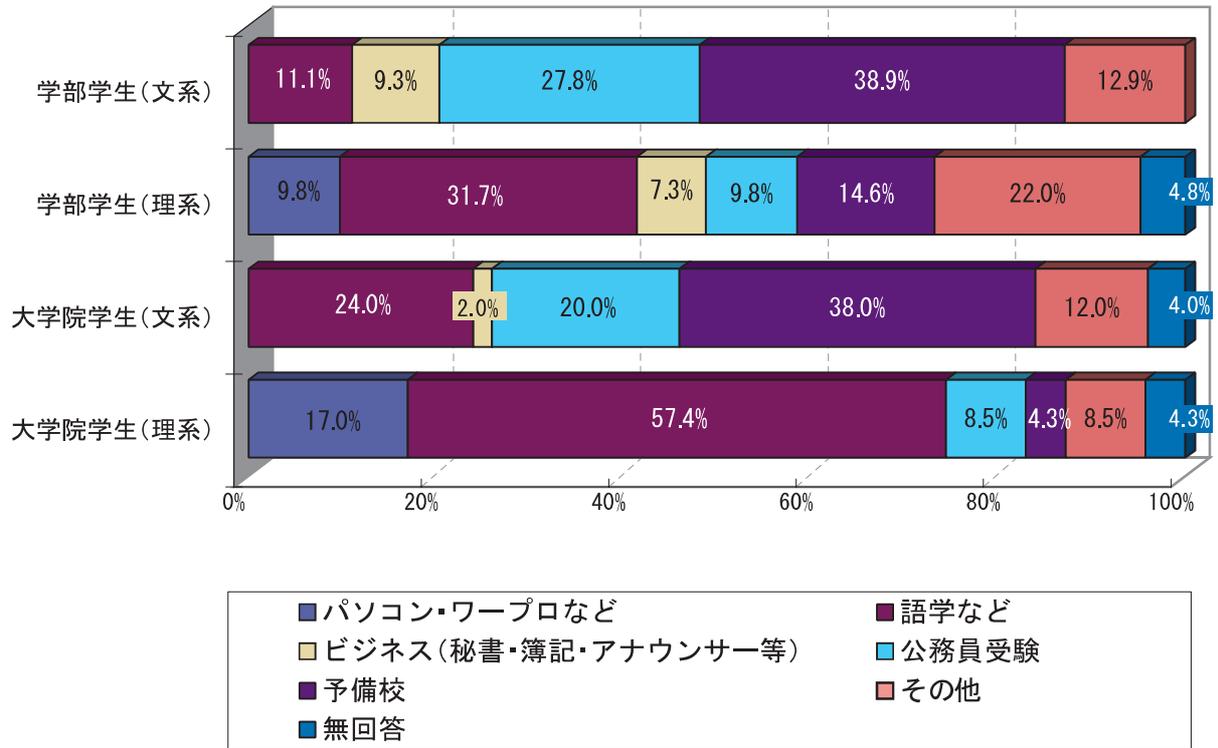
## (16) 専門学校などの内容

## 文系は予備校や公務員専門学校, 理系は語学やパソコンスキル

通ったことがある者について、その内容を尋ねました。学部学生については文系では「予備校」(38.9%)、「公務員受験」(27.8%)が、理系では「語学など」(31.7%)が多くなっています。一方、大学院学生については文系では回答が割れていますが、「予備校」が38.0%で最も多く、理系では、57.4%という高い割合で「語学」となっています。

傾向として、文系の学生には予備校、公務員専門学校に通った者が多く、理系にはパソコン・ワープロなどパソコンスキルについての学校に通った者が多いということ、また、理系、特に大学院学生については語学を学ぶ必要性を感じている者が多いということができます。こうした傾向は、それぞれの就職先や研究内容などと関係しているものと考えられます。

図15. 専門学校などの内容



## 1 家族の居住地

## 福岡県が約4割

家族の居住地については、学部、修士・博士（後期）課程ともに、福岡県が約4割で突出しています。しかしながら、博士（後期）課程学生の家族の居住地は、関東地区や近畿地区などの割合がやや高く、学部学生や修士課程の学生に比べると、遠方から入学する割合が少し高くなっています。このことは、博士（後期）課程の学生は専門性の高い研究をするために、地域を問わず自分の研究をする分野に合った大学院を選択しているとも考えられます。

表1. 家族の居住地

選択項目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
福岡県	45.9%	39.3%	42.5%
佐賀県	4.8%	4.7%	2.6%
長崎県	7.9%	6.7%	4.4%
熊本県	5.5%	6.8%	3.5%
大分県	4.8%	4.4%	3.5%
宮崎県	3.5%	2.3%	1.8%
鹿児島県	5.1%	4.8%	5.3%
沖縄県	0.5%	0.1%	1.3%
山口県	3.3%	6.4%	4.8%
中国地区(山口県を除く)	6.7%	8.1%	7.9%
四国地区	3.3%	4.6%	2.6%
近畿地区	2.7%	2.8%	6.1%
中部地区	1.8%	2.6%	3.1%
関東地区	2.3%	3.8%	6.6%
東北地区	0.1%	0.9%	0.9%
北海道	0.4%	0.3%	0.0%
無回答	1.4%	1.4%	3.1%

## 2 家族の人数, 家計, 配偶者

家族の人数については「4人」の回答が全課程を通じて最も多く、博士(後期)課程のみ1人~3人という回答も多くなっています。このことは、「主な家計支持者」「家族状況」についての回答から分かるように、博士(後期)課程の学生は、既に両親から独立して生活している者、また既に結婚して世帯を持っている者もいることを反映しています。

表2. 家族の人数

選択項目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
1人	0.2%	1.6%	13.6%
2人	3.0%	3.3%	12.7%
3人	12.3%	14.7%	22.4%
4人	43.8%	38.5%	24.1%
5人	28.4%	29.5%	17.1%
6人	8.7%	9.7%	7.0%
7人	2.9%	2.3%	3.1%
8人	0.2%	0.0%	0.0%
9人以上	0.0%	0.3%	0.0%
無回答	0.5%	0.1%	0.0%

表3. 主な家計支持者

選択項目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
父	87.5%	86.2%	54.8%
母	10.2%	7.7%	7.9%
本人	0.4%	3.6%	32.0%
祖父母	0.6%	0.3%	0.9%
兄弟・姉妹	0.1%	0.1%	0.4%
その他	0.7%	1.6%	4.0%
無回答	0.5%	0.5%	0.0%

表4. 大学院学生の家族状況

選 択 項 目	修士課程 (男子)	修士課程 (女子)	博士(後期) 課程(男子)	博士(後期) 課程(女子)
配偶者なし・子供なし	98.1%	98.2%	81.4%	82.4%
配偶者なし・子供あり	0.4%	0.0%	1.7%	1.9%
配偶者あり・子供なし	0.4%	1.2%	7.9%	11.8%
配偶者あり・子供あり	0.7%	0.6%	8.5%	3.9%
無回答	0.4%	0.0%	0.5%	0.0%

## 1 住居について

## (1) 住居の形態

住居の形態について、学部学生は「アパート・マンション」が66.6%、「自宅」が27.2%となっています。また、課程が上がるにつれ「自宅」の割合が低下していき、「アパート・マンション」の割合は増加しています。

なお、学生寄宿舍に居住している割合については、学部学生より修士・博士(後期)課程の学生の方が高いということ、そしてその割合が前回調査と比較すると倍近くに増加していることを挙げるすることができます。このことは伊都キャンパスにドミトリー I (254室)が新築されたことによるものです。

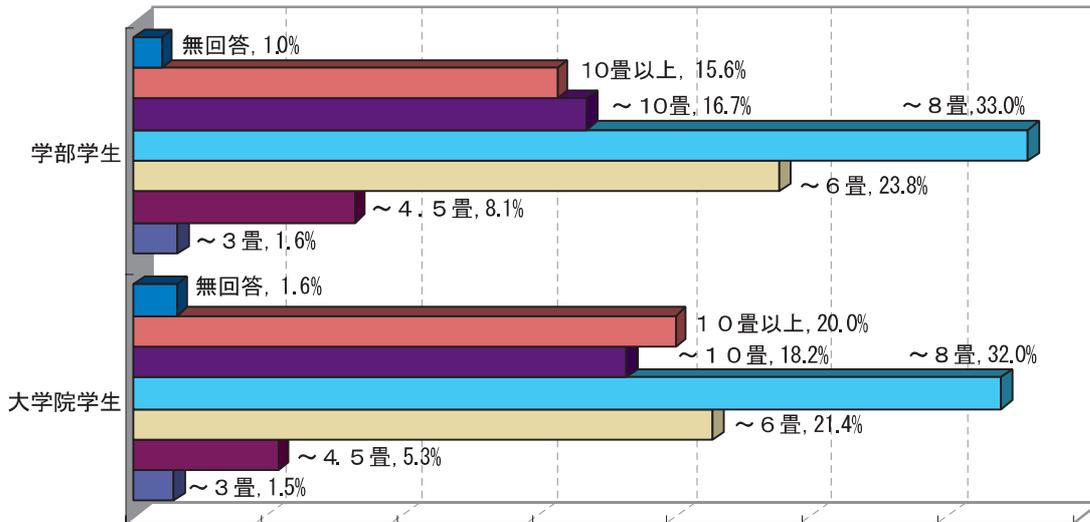
表1. 住居の形態

選択項目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
自宅	27.2%	20.8%	15.4%
アパート・マンション	66.6%	71.4%	75.9%
間借り	0.7%	0.0%	0.0%
下宿(食事付)	0.3%	0.1%	0.4%
九大の学生寄宿舍	3.3%	6.4%	5.3%
九大以外の学生寄宿舍	0.4%	0.4%	0.4%
親戚・知人宅	0.5%	0.3%	1.8%
借家(一戸建)	0.4%	0.3%	0.0%
その他	0.3%	0.1%	0.4%
無回答	0.3%	0.2%	0.4%

## (2) 部屋の広さ

部屋の広さについては、学部学生・大学院学生とも約3割が8畳の広さの部屋に居住しています。また、学部学生より大学院学生の方が広い部屋に住んでいる割合が高いのは、学部学生に比べて年齢が高い大学院学生はすでに一定の収入を得る道を持っていたり、結婚していて一人暮らしではなかったりするなどの理由によると考えられます。

図1. 住居の広さ



### (3) 部屋を選ぶ条件

「部屋を選ぶ条件」については、優先順位を付けてもらいました。最も優先する条件は、「部屋代」で学部学生で39.4%、大学院学生で47.7%となっています。次いで「通学の便」が学部学生で25.9%、大学院学生で21.1%となっており、この二つが部屋を選ぶ際に最も優先する条件であると言えます。前回調査にはなかった「部屋の設備(インターネット設備)」に関しては、学部学生・大学院学生とも最優先条件に挙げた者はわずかであり、さほど重視されていないと言えます。しかし、優先する条件に挙げた学生も学部学生で12.2%、大学院学生で9.6%いることから、付加的な価値としては考慮されてきつつあると言えます。

図2. 部屋を選ぶ際の条件 (学部学生)

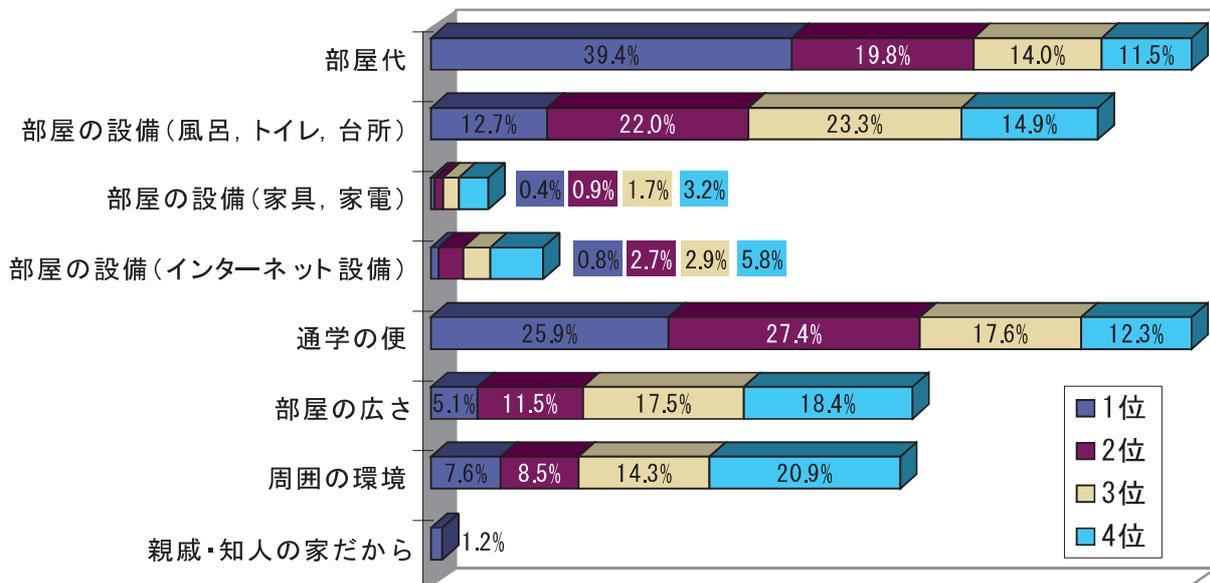
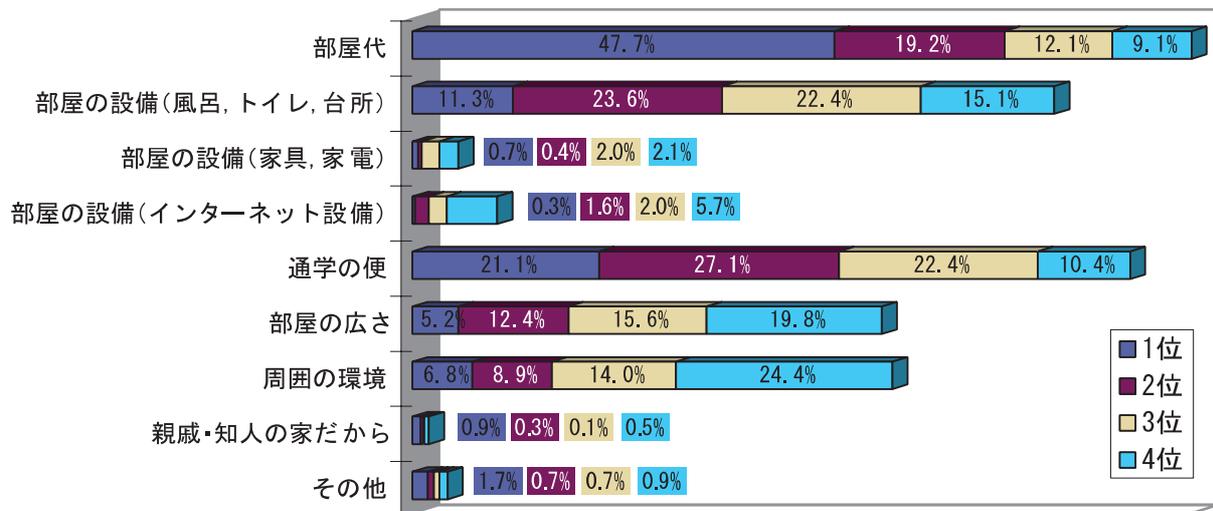


図3. 部屋を選ぶ際の条件 (大学院学生)

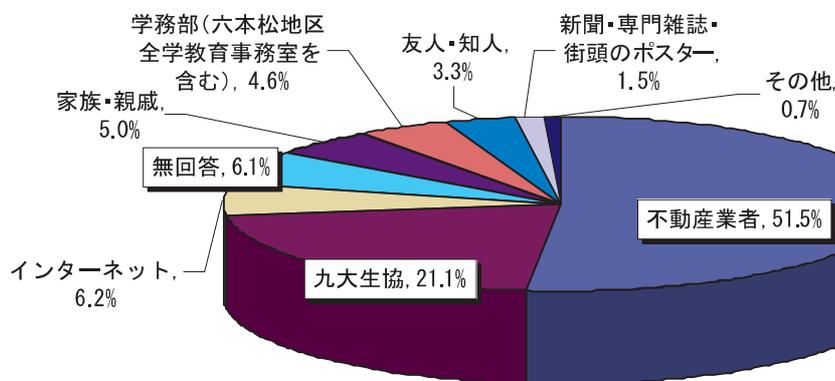


#### (4) 住居の紹介・あっせん者

##### 不動産業者が半数

住居の紹介・あっせん者については過半数の学生が不動産業者を利用しており、次いで九大生協を利用した学生が約2割と続きます。前回調査では不動産業者の利用者が6割半、九大生協の利用者が1割弱となっているので、不動産業者を利用する学生が減り九大生協を利用する学生が増えたと言えます。また、今回の調査では6.2%の学生がインターネットを利用して部屋を見つけたと回答しています。この選択肢は前回調査ではなかった項目です。やはり、ここにもインターネットの生活への浸透が見て取れます。

図4. 住居の紹介・あっせん者(全体)



(5) 学生寄宿舍に入居したいかについて

集団生活はあまり好まれていない

学生寄宿舍に入居したいかについては、「入りたくない」が学部で46.9%、修士課程で43.0%、博士(後期)課程で38.2%となっています。また、「入る必要がない」と回答した者は学部では36.9%、修士課程では38.3%、博士(後期)課程では40.4%となっています。いずれも大きな差はありませんが、「入りたくない」と答える者の割合は課程が上がるにつれて少なくなっています。

なお、学生寄宿舍に入居したい理由としては、各課程とも「経済的理由のため」が最も多く、次いで「通学に便利のため」が挙げられています。特に経済的理由については、修士課程の学生では約8割を占めています。これは修士課程の学生はアルバイトなどをする時間がとりづらいことと関連していると考えられます。

また、入居したくない理由として、全課程において「集団生活がわずらわしい」と「相部屋の可能性がある」の合計が7割を超えています。

図5. 学生寄宿舍への入居希望

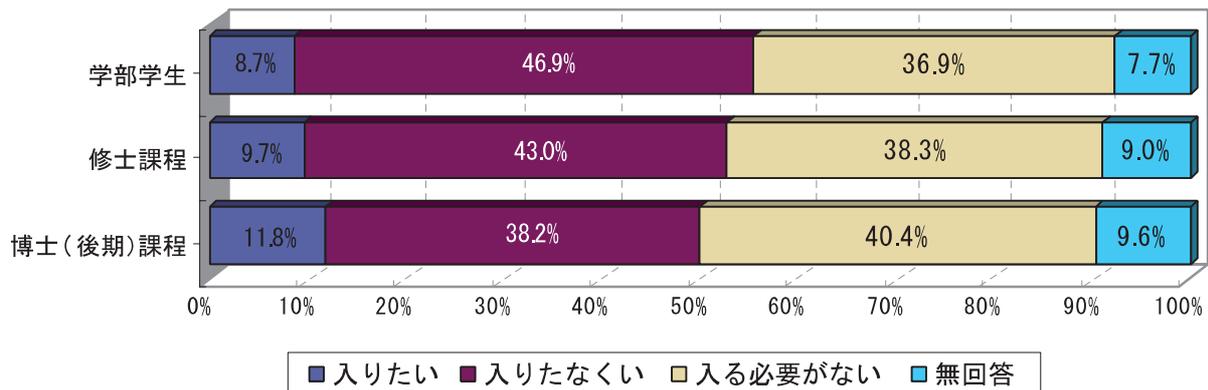


図6. 学生寄宿舍への入居希望の理由

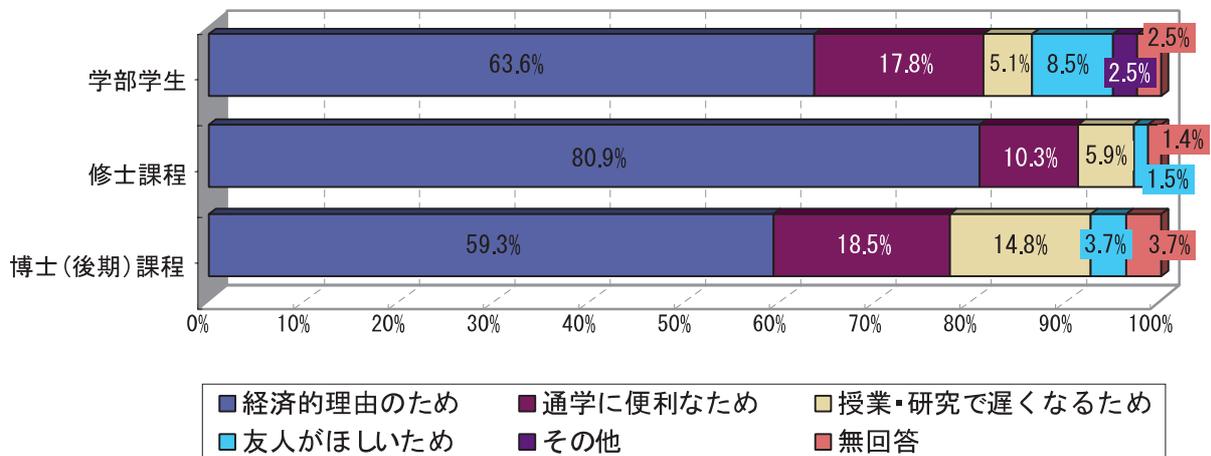
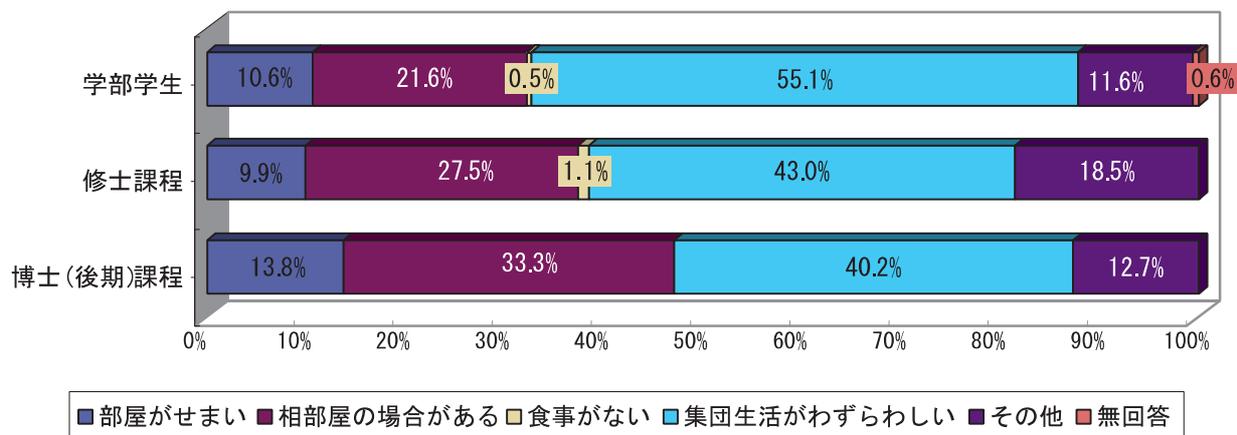


図7. 学生寄宿舍に入りたくない理由

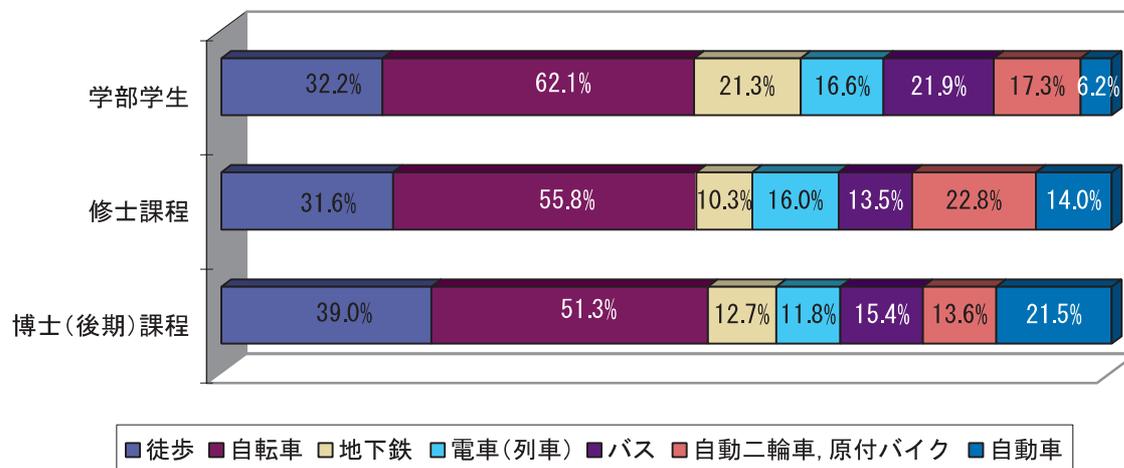


## 2 通学の状況

### (1) 主な通学手段について

主な通学手段については、各課程とも自転車を利用している学生が半数を超えています。次いで、徒歩で通学している学生が学部学生および修士課程の学生で約3割、博士(後期)課程の学生で約4割となっています。また、学部学生では地下鉄を利用している学生が約2割、バスを利用している学生も同じく約2割います。しかし、大学院学生では修士・博士(後期)課程ともに2割を切っており、特に修士課程の学生ではこの割合が低くなっています。逆に「自動二輪車、原付バイク」については修士課程の学生のみ2割を超える結果となっており、自動車については博士(後期)課程の学生のみ2割を超えています。自動車の利用に関しては、年齢や経済的な条件と関係がありそうです。

図8. 主な通学手段(複数回答)



## (2)主に学んでいるキャンパスごとの通学時間

通学時間については、課程に加え、主に学んでいるキャンパスとのクロス集計を行いました。これによると、学部学生はおおむねどのキャンパスであっても5～6割が「15分以内」と回答していますが、伊都キャンパスについてのみ15分以内の割合が4割を切っています。逆に「2時間以内」という回答が6.1%と他のキャンパスに比べて高くなっています。

大学院学生では、回答の傾向について学部学生との間に大きな差は現れませんでした。六本松キャンパスおよび伊都キャンパスへの通学時間が比較的長めであるということが見て取れます。

表2.主に学んでいるキャンパスごとの通学時間(学部学生)

選択項目	箱崎地区	病院地区	六本松地区	大橋地区	伊都地区
15分以内	49.8%	61.5%	49.2%	54.5%	36.9%
30分以内	9.8%	8.5%	15.5%	18.8%	28.5%
45分以内	9.8%	8.5%	9.9%	10.9%	7.5%
1時間以内	15.2%	13.7%	11.9%	8.9%	7.0%
1時間30分以内	9.8%	5.9%	8.8%	5.0%	11.2%
2時間以内	4.3%	1.5%	3.7%	1.9%	6.1%
2時間を越える	1.3%	0.0%	0.5%	0.0%	2.8%
無回答	0.0%	0.4%	0.5%	0.0%	0.0%

表3.主に学んでいるキャンパスごとの通学時間(大学院学生)

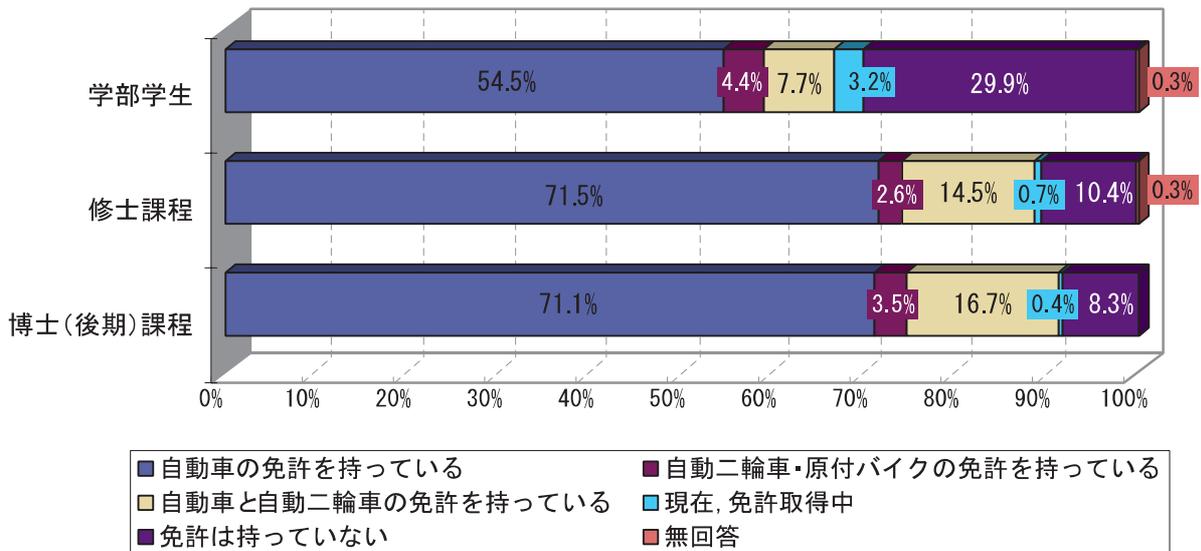
選択項目	箱崎地区	病院地区	六本松地区	筑紫地区	大橋地区	伊都地区
15分以内	61.7%	53.4%	44.0%	55.6%	62.7%	37.1%
30分以内	10.0%	25.4%	12.0%	9.8%	22.4%	26.2%
45分以内	7.9%	9.3%	20.0%	13.5%	6.0%	7.1%
1時間以内	9.0%	8.5%	4.0%	12.0%	4.5%	12.4%
1時間30分以内	6.6%	2.5%	16.0%	6.0%	1.5%	11.0%
2時間以内	4.0%	0.9%	4.0%	2.3%	2.9%	5.2%
2時間を越える	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.5%

### (3) 免許の取得状況

自動車免許の取得率については、学部学生で54.5%、修士・博士(後期)課程で約7割という結果となりました。自動二輪車・原付バイクの免許取得率は学部学生が若干多いものの、自動車、自動二輪車の両方の免許を持っているという回答については大学院学生の方が多く、実質自動二輪車についても大学院学生の免許取得率が学部学生より上であると言えます。

学部学生と大学院学生の免許取得状況には明らかな差がありますが、修士課程の学生と博士(後期)課程の学生との間に大きな差異は見受けられません。現在、免許を取得中の学部学生の割合が大学院学生に比べて多いことも考慮すると、学部時代に免許を取得するという者がやはり多いということが推測できます。

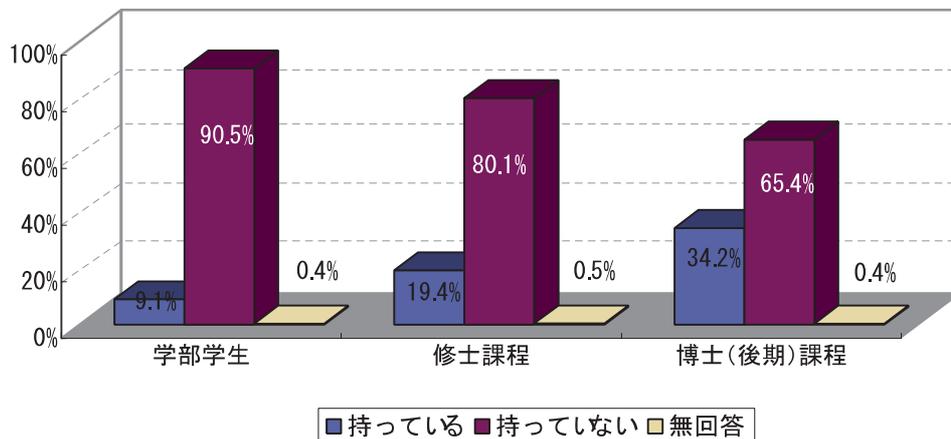
図9. 自動車などの免許取得状況



### (4) 自動車保有の有無

自動車保有の有無については、課程が上がるにつれて「持っている」の割合が約1割ずつ増加しています。この結果についても、おそらく課程そのものというより年齢や経済的条件が大きな要因になっているものと考えられます。

図10. 自分専用の自動車を持っているか



## (5) 任意保険加入率(自動車)

自動車の任意保険加入率について、大学院学生は修士・博士(後期)課程ともに100%という結果となりました。学部学生の未加入率、約5%をどのように捉えるかですが、実際に事故が起こったときの損害や責任を考えると、未加入のままで自動車を運転するのは極めて危険な行為であるということは、言うまでもありません。

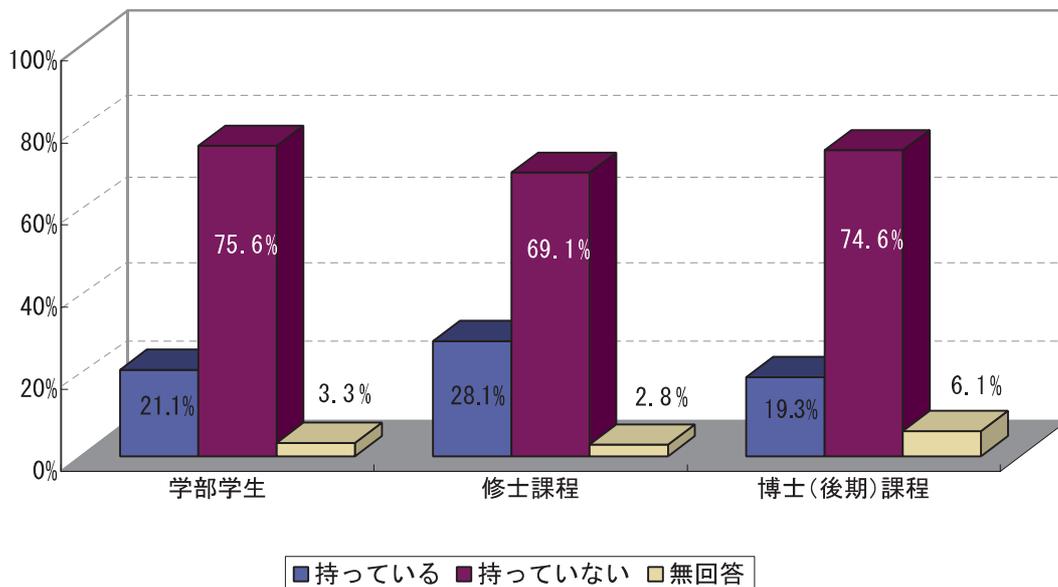
表4. 自動車の任意保険加入率

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
加入している	95.2%	100.0%	100.0%
加入していない	4.8%	0.0%	0.0%

## (6) 自動二輪車・原付バイクの保有の有無

自動二輪車・原付バイクの保有率については、修士課程の学生が最も多いという結果になりました(28.1%)。通学手段の設問についても、修士課程の学生は自動二輪車・原付バイクを利用する割合が他の課程に比べて多いという特徴がありましたが、それと相関する結果となっています。

図11. 自分専用の自動二輪車・原付バイク等保有の有無

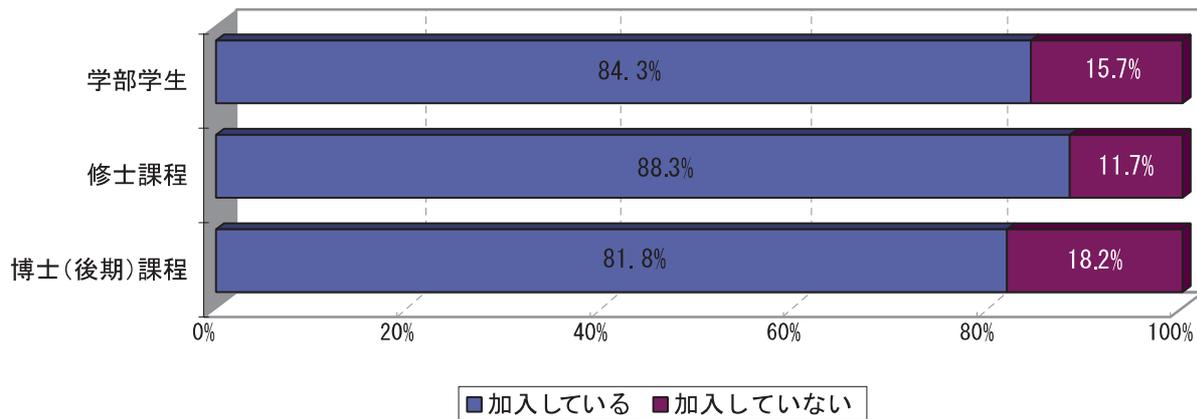


## (7) 任意保険加入率(自動二輪車・原付バイク)

1～2割の学生が未加入

各課程を通じて、自動二輪車・原付バイクについての任意保険加入率は、自動車に比べ10%以上低くなっています。自動二輪車・原付バイクについては、危険性に対する認識が甘いという結果が出ています。

図12. 自動二輪車・原付バイク等の任意保険加入率

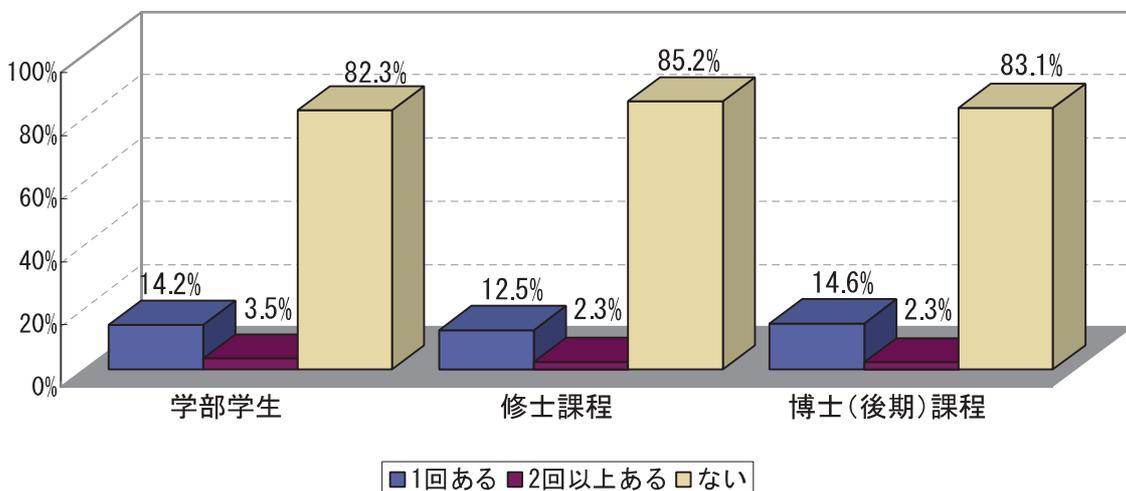


## (8) 事件・事故

### ① 交通事故(加害者)

自動車や自動二輪車・原付バイクの所有者について、交通事故を起こしたことがあるかどうかを尋ねました。各課程を通じて、事故を起こした割合は約15%～18%となっており、課程による差はあまりありませんでした。なお、前回調査時より事故を起こした者の割合が低下しているのは、良い傾向であるといえるでしょう。

図13. 入学後の交通事故



## ②事故を起こした際の場所

事故を起こした者について、その際の場所と状況を答えてもらいました。事故の約9割は学外で起こったものですが、博士(後期)課程の学生のみ、約1割が学内で事故を起こしたと回答しています。

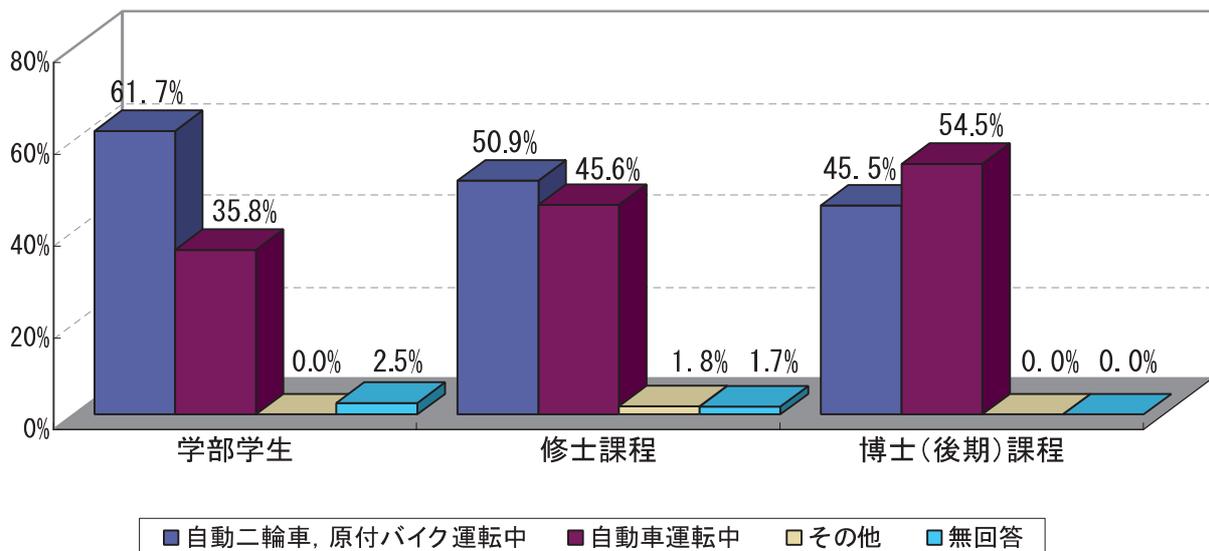
表5. 事故を起こした場所

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
学内	1.2%	1.8%	9.1%
学外	95.1%	91.2%	90.9%
学内外	1.2%	5.3%	0.0%
無回答	2.5%	1.7%	0.0%

## ③事故を起こした際の状況

事故を起こしたことがある者については、課程が上がるにつれて自動二輪車・原付バイクによる割合が下がり、自動車による割合が増加しています。

図14. 事故を起こした際の状況



#### ④交通事故(被害者)

次に交通事故の被害については、交通事故に遭った学生の割合は課程毎に約8%で大きな差異はありません。

表6. 入学後に事故にあったかどうか

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
1回ある	7.9%	8.7%	8.8%
2回以上ある	1.2%	2.4%	2.6%
ない	88.3%	86.6%	85.5%
無回答	2.6%	2.3%	3.1%

#### ⑤事故の起きた場所

事故の起きた場所は約9割が学外ですが、博士(後期)課程の学生については7.7%が学内と答えており、学部学生に比べやや高くなっています。

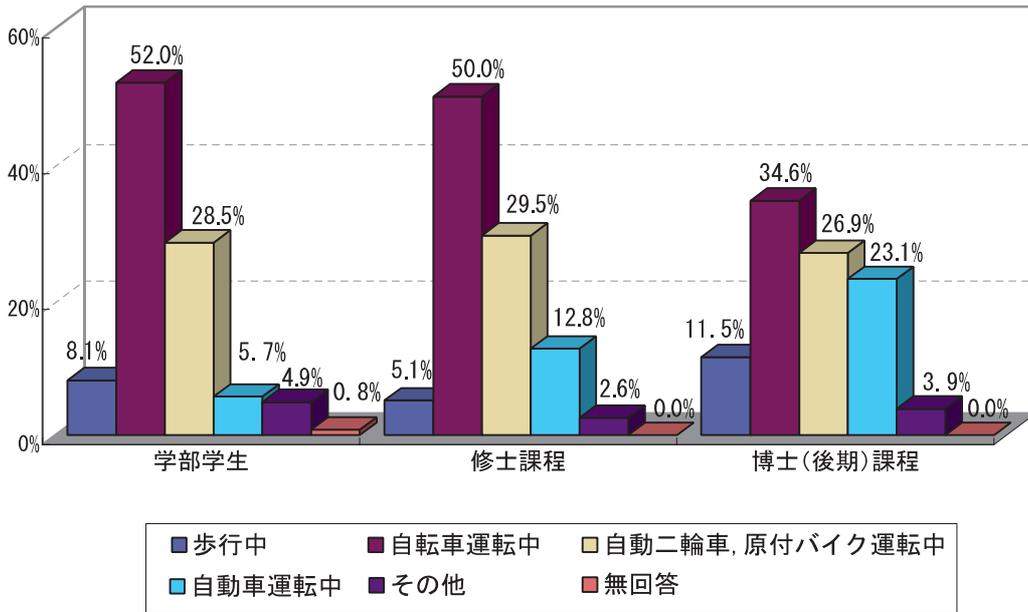
表7. 事故の起きた場所

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
学内	3.3%	5.1%	7.7%
学外	92.7%	93.6%	92.3%
学内外	3.3%	1.3%	0.0%
無回答	0.7%	0.0%	0.0%

⑥事故を受けた際の状況

課程による差異は「主に利用する交通手段」が大きな要因になっているものと思われませんが、学部、修士課程における交通事故被害の約5割は自転車運転中に起こったものです。博士（後期）課程についても、自転車の運転時が34.6%と最も高くなっています。

図15. 交通事故で被害を受けた際の状況

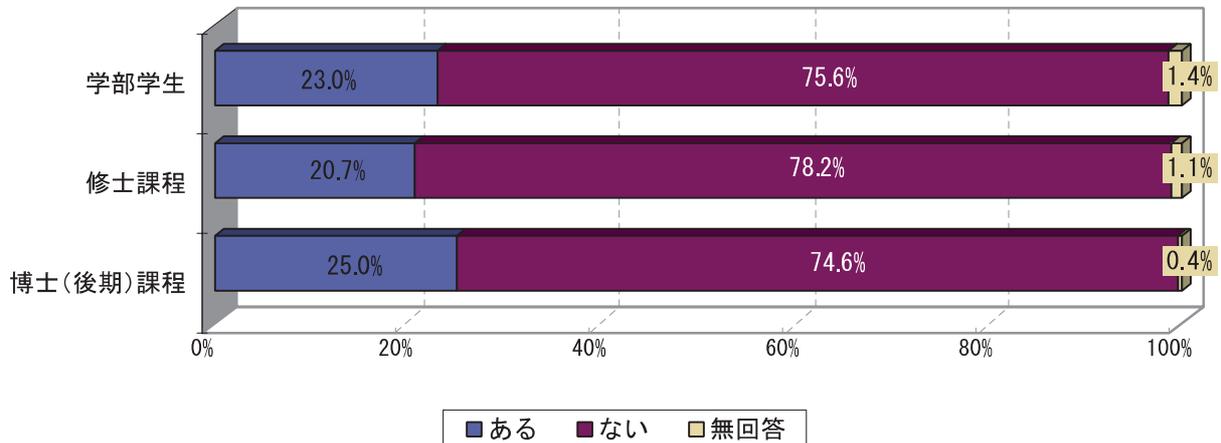


⑦盗難事故の被害

被害にあわないために自己管理の徹底を

盗難事故の被害については、各課程で20～25%と、4,5人に1人は経験があると答えています。

図16. 盗難事故で被害を受けたかどうか



## ⑧盗難事故の内訳

被害にあった品物の内訳については、各課程ともその半数近くは「自転車」の盗難被害であり、次いで「現金(カード含む)」(約15%)、「自動二輪車・原付バイク」(6.3%~14.3%)の順となっています。パソコンや音響製品、カメラ・時計など、比較的高価な品物が盗難にあった者も5%弱存在します。

表8. 学生が被害にあった品物(複数回答)

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
現金(カード含む)	16.8%	15.4%	15.7%
自転車	49.5%	53.3%	44.3%
自動二輪車・原付バイク	6.3%	13.3%	14.3%
自動車	1.8%	0.5%	1.4%
貴金属	0.8%	0.5%	0.0%
カメラ・時計	3.0%	1.5%	4.3%
パソコン	1.0%	2.1%	4.3%
音響製品	3.3%	1.0%	4.3%
衣類	1.5%	4.1%	4.3%
その他	15.6%	7.7%	7.1%

### ⑨訪問販売などの被害

訪問販売やマルチ商法、キャッチセールスなどの被害については、各課程を通じて約1割の学生が被害を受けています。前回調査とほぼ同じ値となっています。

表9. 訪問販売などの被害状況

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
ある	9.3%	6.8%	11.0%
ない	89.9%	92.5%	88.6%
無回答	0.8%	0.7%	0.4%

### ⑩身の危険を感じたことがあるか

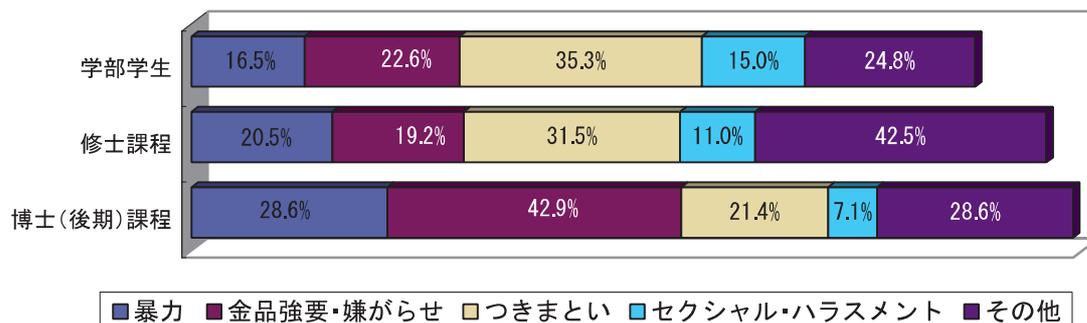
1割の学生が「身の危険を感じたことがある」

各課程を通じて約1割が、大学内外で身の危険を感じたと答えています。その内訳も多岐に渡っており、その他を除けば学部学生、修士課程学生では「つきまとい」(学部:35.3%, 修士課程:31.5%), 博士(後期)課程学生では「金品強要・いやがらせ」(42.9%)が最も多くなっています。また、その他に挙げられた代表的なものは、「痴漢」「宗教勧誘」「不法侵入」などでした。大学院学生においては「パワー・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント」などもあります。

表10. 身の危険を感じたことがあるか

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
ある	9.8%	10.4%	12.3%
ない	89.5%	88.7%	87.3%
無回答	0.7%	0.9%	0.4%

図17. どのような危険を感じたか (複数回答)



1 朝食・昼食・夕食

(1) 朝食

朝食を抜く傾向は男子に強い

朝食の状況については、女子学生の約8割が朝食を「毎日食べている」「だいたい食べている」と答えているのに対して、男子学生は約6割にとどまっています。また、「ほとんど食べない」と答えた割合も男子学生が女子学生を約2倍上回っています。男子学生は、女子学生に比べて、朝食を抜く傾向があります。

また、朝食を「ときどき食べる」「ほとんど食べない」と回答した者の理由は、女子学生、男子学生共に、「時間がない」が他を上回る高い回答率でした。注目すべきは、「食欲がない」と回答した女子学生が1割にも満たないのに対して、男子学生の約2割がこれに該当することです。

図1. 朝食を食べているか

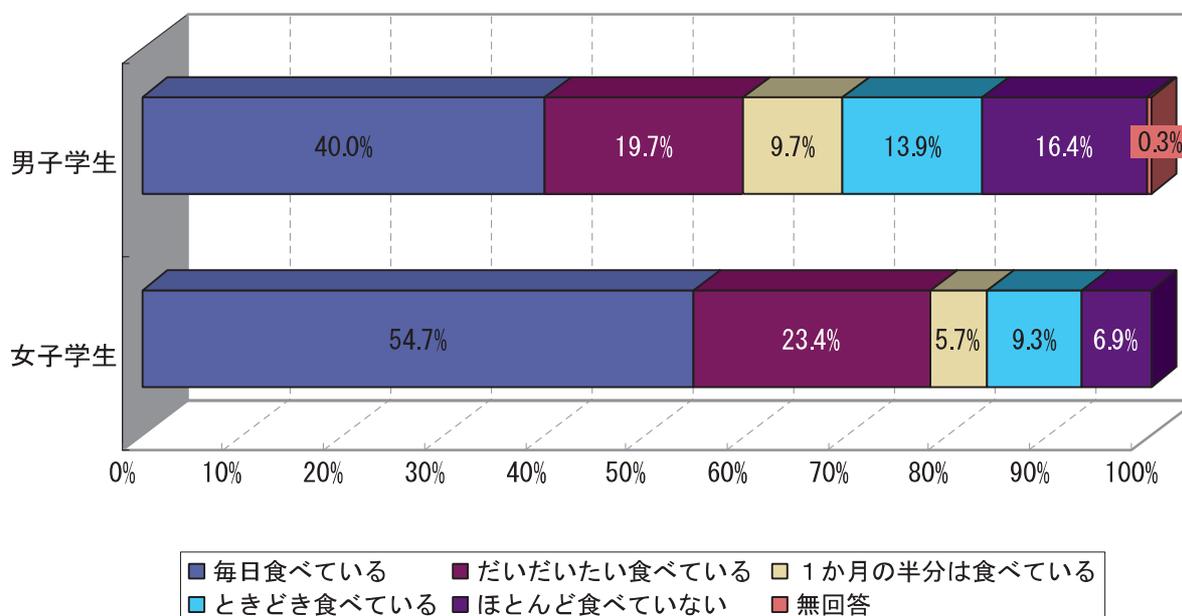
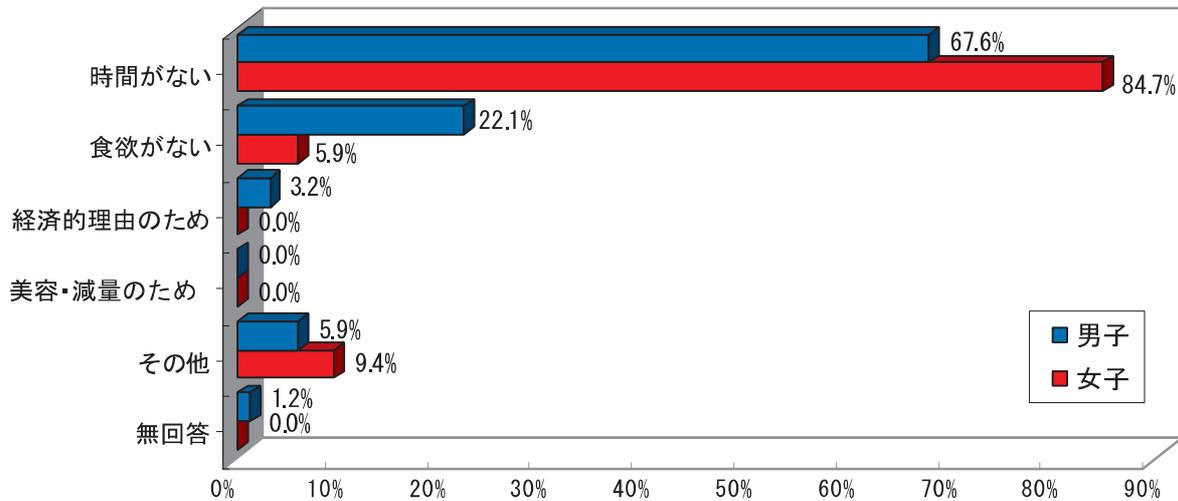


図2. 朝食を食べない理由

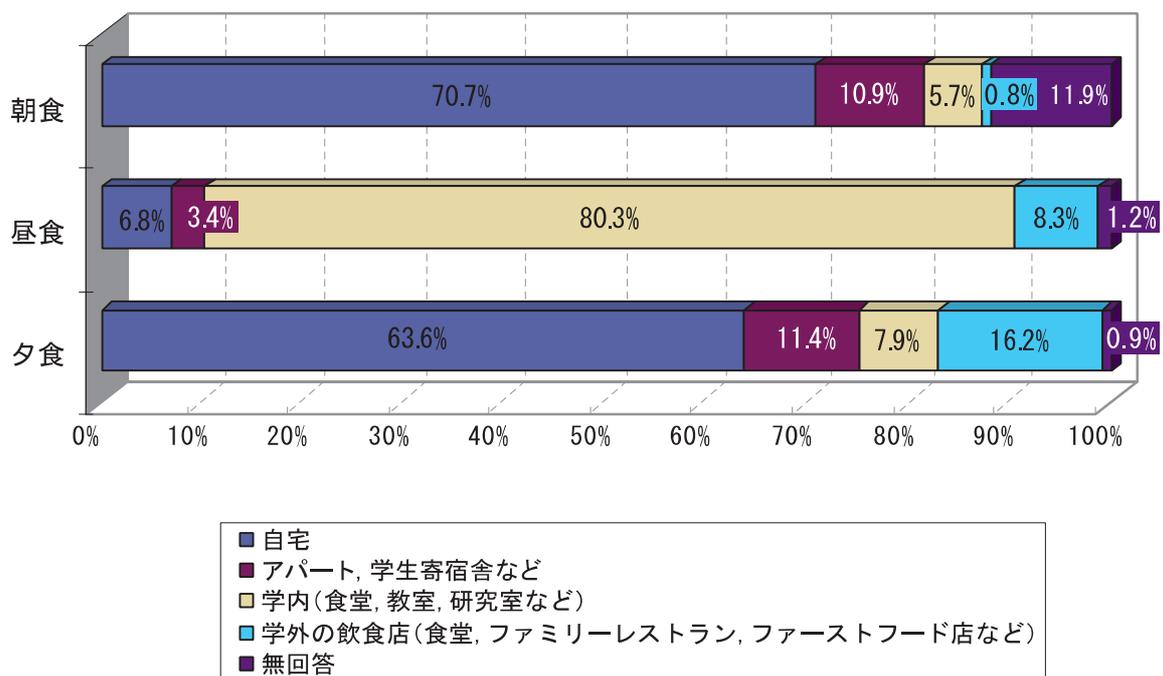


(2) 主な食事場所

昼食以外は自宅で

朝食は約7割の学生が自宅でとっています。昼食は、約8割の学生が学内施設を利用しています。夕食は、約6割の学生が自宅で、約16%の学生は外食をしています。

図3. 主な食事場所

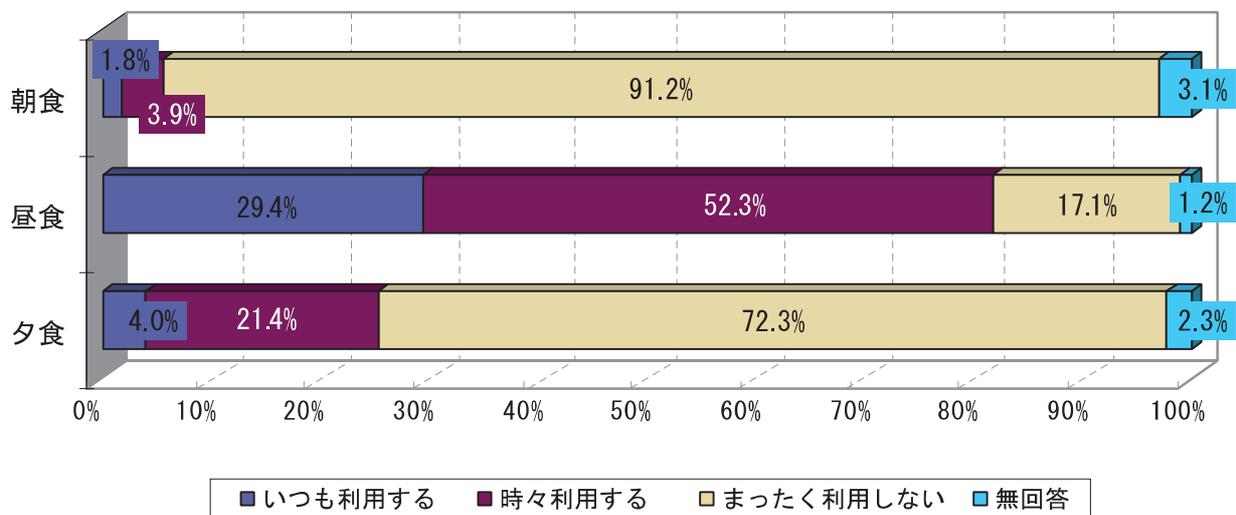


## 2 学内食堂

### (1) 学内食堂の利用

朝食で学内食堂を利用する者はほとんどいません。夕食では、約7割の学生が「まったく利用しない」と回答していますが、「ときどき利用する」と回答した学生も約2割います。学内食堂の利用については昼食時が最も多く、約3割の学生が「いつも利用」し、約5割の学生が、「ときどき利用」しています。

図4. 学内食堂の利用



### (2) 主に利用する食堂

学内食堂を「いつも利用する」あるいは「ときどき利用する」者について、学んでいるキャンパスごとに主に利用する食堂をまとめた結果が表1です。箱崎キャンパスでは「理農地区食堂」、病院キャンパスでは「医系食堂」、六本松キャンパスでは「学生会館」、筑紫キャンパスでは「ピスタホール食堂」、伊都キャンパスでは「ビッグドラ食堂」がそれぞれ、半数から約9割でした。学部・学府と近く、規模の大きい食堂が人気を集めています。ただし、今回の設問では大橋地区の食堂が選択肢に入っていなかったため、大橋地区のみ「無回答」が多数を占める結果となっており、今回調査の反省点となっています。

表1. 主に利用する学内食堂

選択項目	箱崎キャンパスで 学んでいる者	病院キャンパスで 学んでいる者	六本松キャンパスで 学んでいる者
六本松地区・学生会館	1.6%	1.3%	61.2%
六本松地区・軽食堂(厚生センター)	0.0%	0.0%	7.9%
六本松地区・本館内軽食堂(トリトン)	0.4%	0.0%	7.1%
箱崎文系地区・文系食堂	15.1%	0.0%	4.0%
箱崎文系地区・文系軽食堂(たいむ)	0.0%	0.0%	0.0%
箱崎理系地区・記念講堂食堂	4.9%	0.0%	0.0%
箱崎理系地区・工学部食堂	1.6%	0.0%	0.3%
箱崎理系地区・理農地区食堂	49.8%	0.0%	1.8%
箱崎理系地区・農学部50周年記念会館 (六角堂)	1.1%	0.0%	0.0%
病院地区・医系食堂	0.4%	69.6%	0.3%
病院地区・喫茶(ねむの木)	0.0%	2.1%	0.0%
筑紫地区・ビスタホール食堂	0.3%	0.0%	0.0%
筑紫地区・ビスタホール喫茶	0.0%	0.0%	0.0%
伊都地区・ビッグドラ食堂	0.0%	0.0%	2.1%
無回答	24.8%	27.1%	15.3%

選択項目	大橋キャンパスで 学んでいる者	伊都キャンパスで 学んでいる者	筑紫キャンパスで 学んでいる者
六本松地区・学生会館	8.3%	0.9%	0.0%
六本松地区・軽食堂(厚生センター)	3.0%	0.0%	0.0%
六本松地区・本館内軽食堂(トリトン)	4.2%	0.0%	0.0%
箱崎文系地区・文系食堂	0.6%	0.0%	0.0%
箱崎文系地区・文系軽食堂(たいむ)	0.0%	0.0%	0.0%
箱崎理系地区・記念講堂食堂	0.0%	0.0%	0.0%
箱崎理系地区・工学部食堂	0.0%	0.2%	0.0%
箱崎理系地区・理農地区食堂	0.6%	0.2%	0.0%
箱崎理系区・農学部50周年記念会館 (六角堂)	0.0%	0.0%	0.0%
病院地区・医系食堂	0.0%	0.0%	0.0%
病院地区・喫茶(ねむの木)	0.0%	0.0%	0.0%
筑紫地区・ピスタホール食堂	0.0%	0.2%	75.2%
筑紫地区・ピスタホール喫茶	0.0%	0.0%	3.0%
伊都地区・ビッグどら食堂	0.0%	87.0%	0.0%
無回答	83.3%	11.3%	21.8%

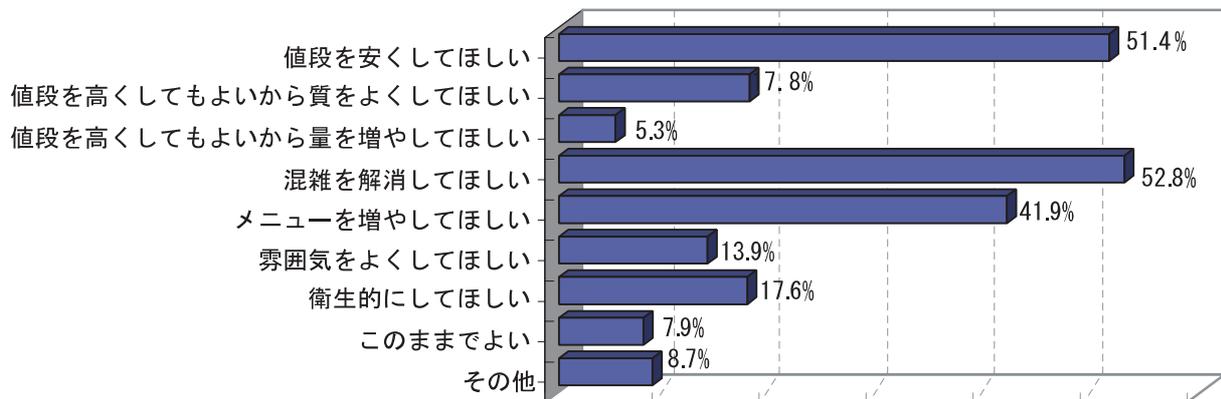
### (3) 学内食堂の改善点

#### 学食には不満がいっぱい

##### ① 学内食堂全体

全体では、まず「混雑を解消してほしい」が52.8%と最も高い割合を占めており、次いで「値段を安くしてほしい」が51.4%と、僅差でこれに続きます。なお、「このままでよい」と回答した学生は1割を切っています。

図5. 学内食堂の改善すべき点（複数回答）



##### ② キャンパスごとの改善点

この改善点をキャンパスごとに見たのが、表1です。「値段を安くしてほしい」との希望は筑紫キャンパスが最も高く、約72%です。反対に「値段を高くしてもよいから質をよくしてほしい」と回答した割合も筑紫キャンパスで最も高く、約26%となっています。

「値段を高くしてもよいから量を増やしてほしい」との希望は、どのキャンパスでもあまり高い数値を示していませんが、伊都キャンパスで最も高く約7%となっています。次いで、「混雑を解消してほしい」は、筑紫キャンパスを除く、いずれのキャンパスも半数以上の学生が希望していますが、最も割合が高いのは六本松キャンパスで、約68%でした。

「メニューを増やしてほしい」との希望は、各キャンパスごとで大きな差はありませんが、伊都キャンパスで最も高く、半数以上の学生がそれを希望しています。

次いで「雰囲気をよくしてほしい」との回答は箱崎キャンパスで約20%と最も高く、逆に伊都キャンパスでは約4%と低い値を示しています。

「衛生的にほしい」との希望も箱崎キャンパスで最も高く、約28%と他地区と大きな差があります。これも食堂ができてからの年月の経過と関係があると言えるかもしれません。

最後に、「このままでよい」と回答した学生はいずれも僅差ですが、「病院キャンパス」で最も高く、約9%となっています。逆に伊都キャンパスでは、約5%と他キャンパスに比べて低いことがわかります。

表2. 各キャンパスの学内食堂の改善すべき点(複数回答)

選択項目	箱崎 キャンパス	病院 キャンパス	六本松 キャンパス	筑紫 キャンパス	大橋 キャンパス	伊都 キャンパス
値段を安くしてほしい	43.7%	39.4%	55.9%	72.2%	53.6%	66.7%
値段を高くしてもよいから 質をよくしてほしい	21.0%	17.8%	8.7%	26.3%	12.5%	19.8%
値段を高くしてもよいから 量を増やしてほしい	6.8%	3.9%	4.0%	2.3%	3.0%	7.1%
混雑を解消してほしい	49.7%	64.9%	68.3%	22.6%	52.4%	44.8%
メニューを増やしてほしい	34.2%	41.0%	43.0%	45.1%	48.8%	53.3%
雰囲気をよくしてほしい	20.2%	18.3%	9.8%	6.8%	13.1%	4.7%
衛生的にしてほしい	28.8%	14.7%	16.4%	7.5%	9.5%	7.1%
このままでよい	8.4%	9.5%	8.2%	7.5%	8.9%	5.2%
その他	8.3%	7.0%	5.3%	10.5%	9.5%	13.7%

## 1 体の調子

## (1) 現在の体調

## 男子よりも女子に健康不安

現在の体調については、男子学生、女子学生ともに7割以上の学生が、体調に問題はないと答えています。健康不安を抱えている学生は、男子学生よりも女子学生に多く、「病気とは思えないが何か調子が悪い」と答えた女子学生は24.0%、「病気で実際医者にかかっている」と答えた女子学生は約3%で、いずれも男子学生を上回っています。

表1. 現在の体調

選択項目	男子	女子
問題ない	79.7%	71.8%
病気とは思えないが何か調子が悪い	17.3%	24.0%
医者にはかかっていないが病気と思う	1.4%	1.0%
病気で実際に医者にかかっている	0.8%	2.9%
その他	0.4%	0.3%
無回答	0.4%	0.0%

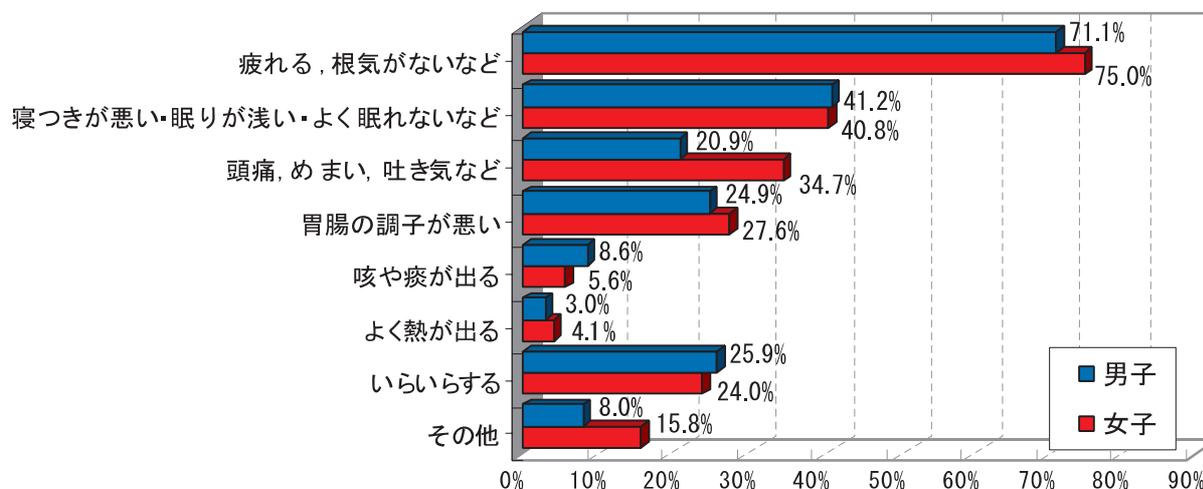
## (2) 現在、調子が悪い人の症状

## 男子は咳や痰、女子は頭痛

「病気とは思えないが何か調子が悪い」、「医者にはかかっていないが病気と思う」と答えた者について、その症状を尋ねました。

男子学生、女子学生ともに「疲れる、根気がない」が最も多く、7割を超え、「寝つきが悪い・眠りが浅い・よく眠れない」が約4割でこれに続きます。男女間で差があるのは、「頭痛、めまい、吐き気など」で、男子は20.9%であるのに対し、女子は34.7%となっています。また、「咳や痰が出る」についても、男子が8.6%、女子が5.6%とやや差が現れています。

図1. 病気とは思えないが何か調子が悪い人, 医者にはかかっていないが病気と思う人の症状 (複数回答)

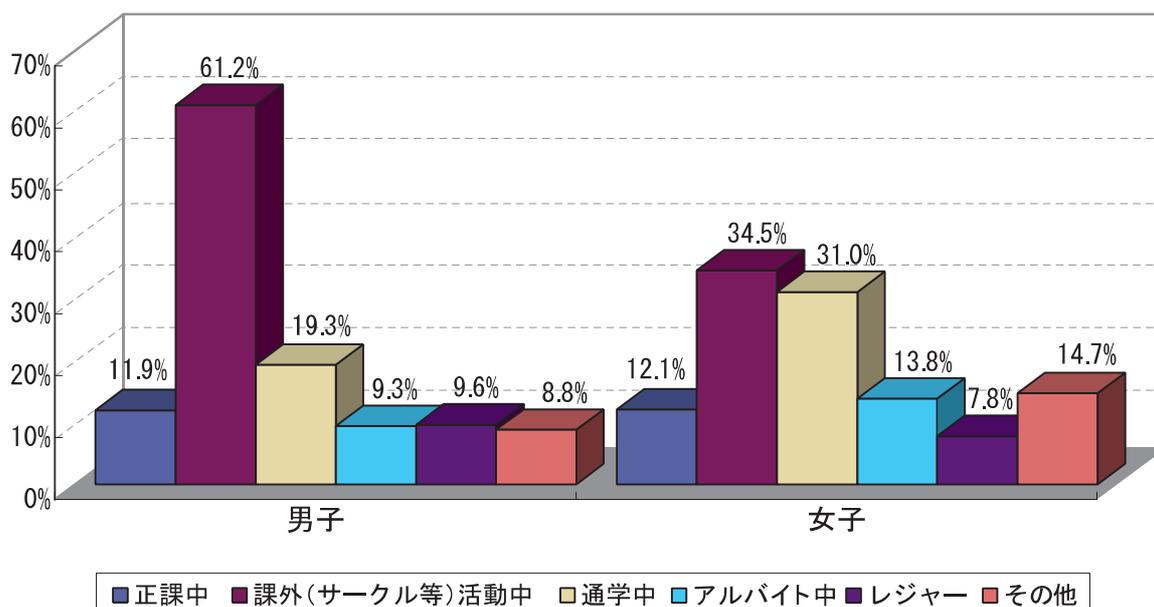


### (3) 怪我をした状況

男子はサークル活動中, 女子は通学中

入学後にケガをした者についてその発生状況を尋ねたところ, 男子学生は, 「課外(サークル)活動中」が圧倒的に多く, 女子学生の2倍近い約6割を占めています。続いて多いのは「通学中」のケガですが, こちらは女子学生が男子学生を10%以上, 上回っています(男子:19.3%, 女子:31%)。同様に「アルバイト中」のケガも女子学生が男子学生を少し上回っています(男子:9.3%, 女子:13.8%)。

図2. ケガの発生状況 (複数回答)

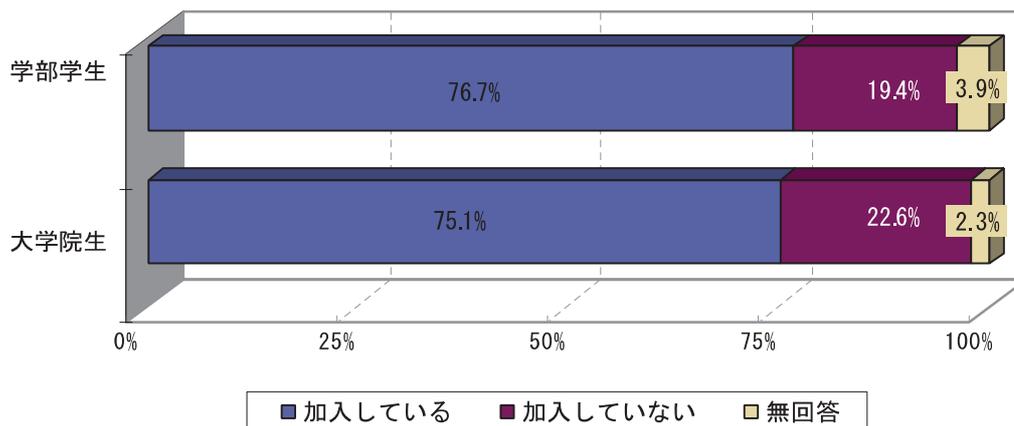


#### (4) 学生教育研究災害傷害保険への加入

加入率はおよそ7割

学生教育研究災害傷害保険には、学部学生・大学院学生ともに約7割を超える学生が加入しています。

図3. 学生教育研究災害傷害保険加入

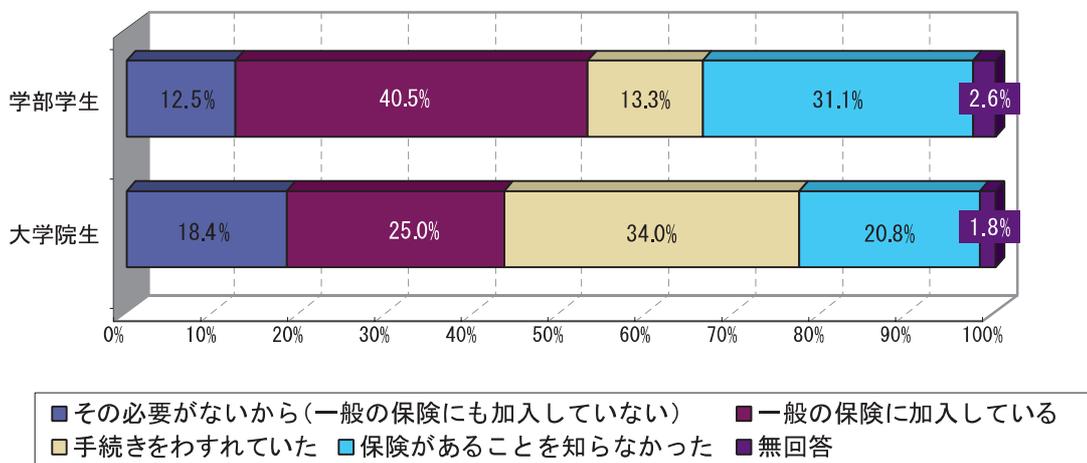


#### (5) 学生教育研究災害傷害保険に加入していない理由

学部学生は知らない、大学院学生はうっかり

未加入の理由は、学部学生では「一般の保険に加入している」が最も多くて40.5%、大学院学生では「手続きを忘れていた」が最も多くて34.0%となっています。また「保険があることを知らなかった」と回答した学部学生は約31%で、大学院学生を10%近く上回っています。

図4. 学生教育研究災害傷害保険に加入していない理由

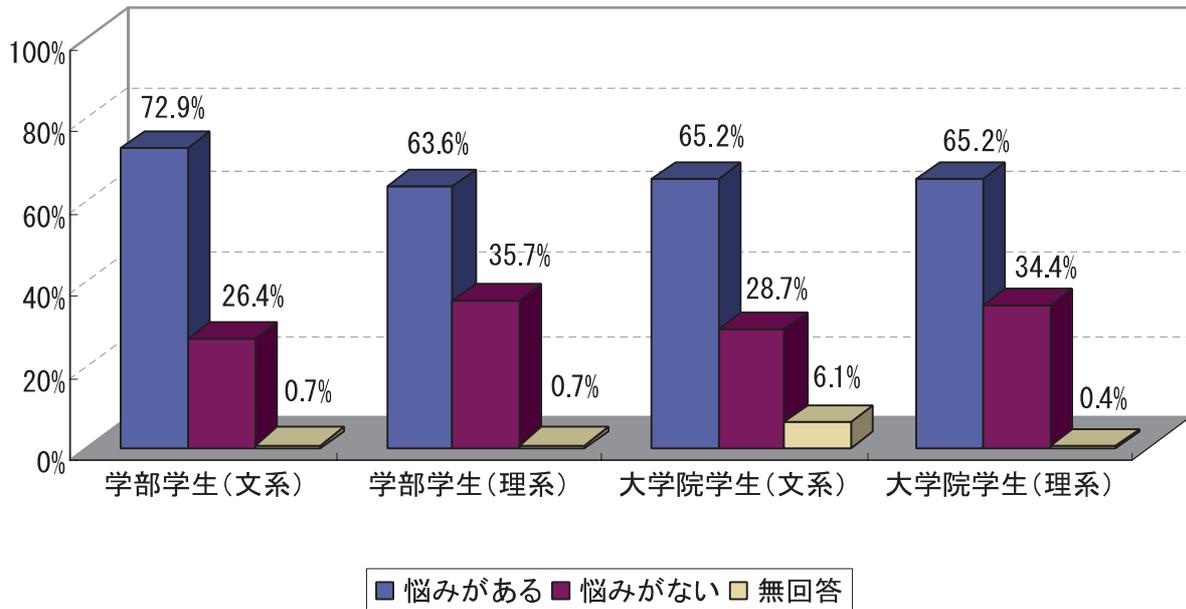


## (6) 現在, 悩みがあるか

半数以上が, 悩みを抱えている

学部学生・大学院学生ともに半数以上が何らかの悩みを抱えています。大学院学生では, 文系・理系で差はありませんが, 学部学生では, 理系よりも文系の学生に悩みを抱えている者が多くいます。

図5. 現在悩んでいることがある人



## (7) 悩みの原因

みんな将来の進路について悩んでいる

学部学生・大学院学生ともに文系・理系を問わず, 悩みの原因の最も多いものは, 「将来の進路のこと」で, 約6割強から7割強を占めています。中でも最も高いのは文系の大学院学生で, 約74%が将来の進路について悩んでいます。次いで, 多いのは「勉強上のこと」ですが, こちらも文系の大学院学生が約60%と高い値を示しています。また, 大学院学生では文系・理系問わず「経済的なこと」を悩みの原因として挙げる者が多いのに対して, 学部学生は, 「自分の性格」や「異性関係」を挙げています。

図6. 学部学生の悩みの原因 (複数回答)

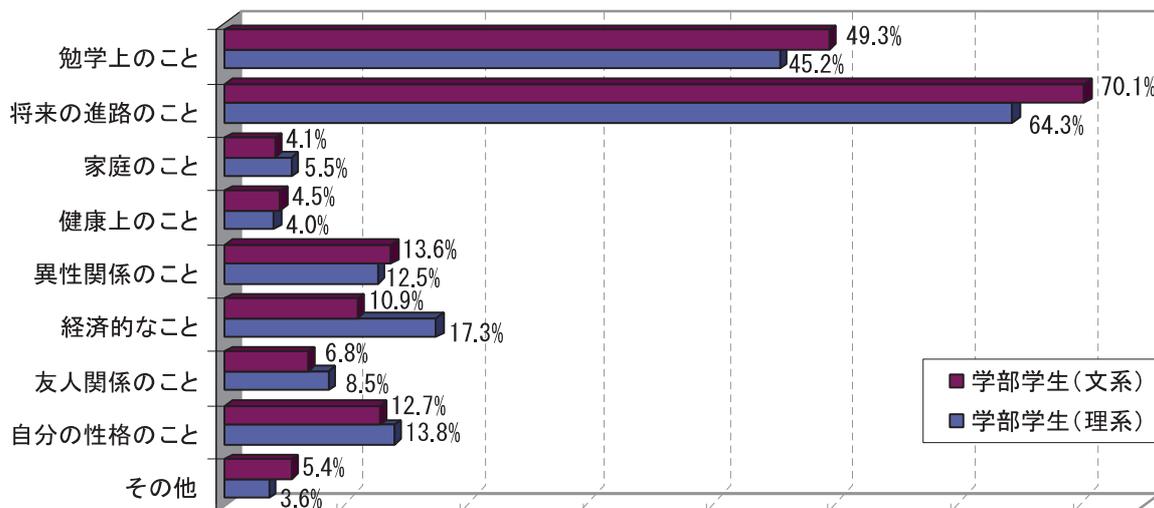
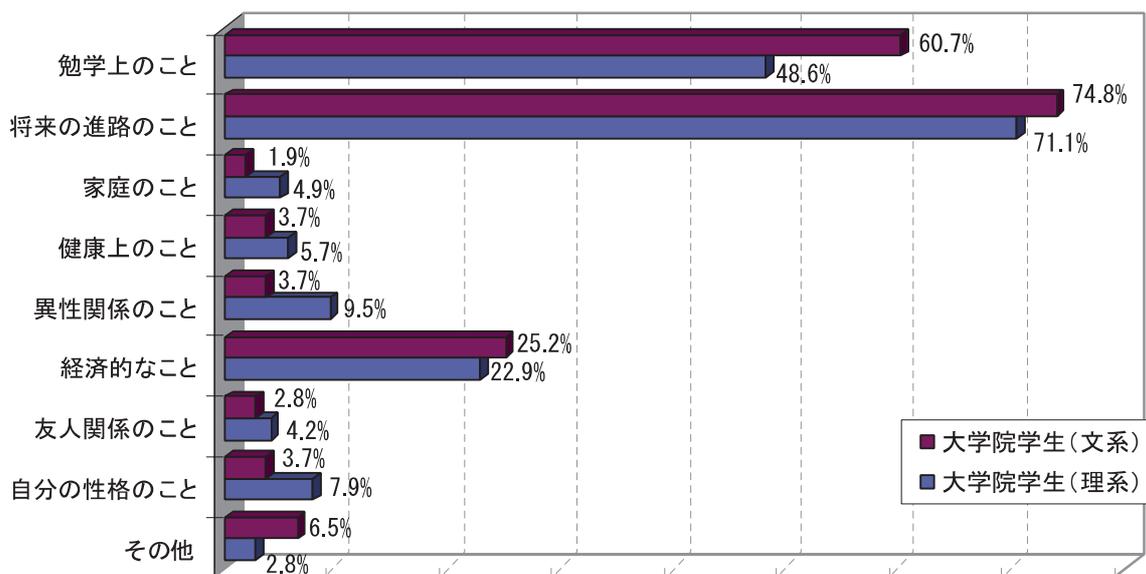


図7. 大学院学生の悩みの原因 (複数回答)

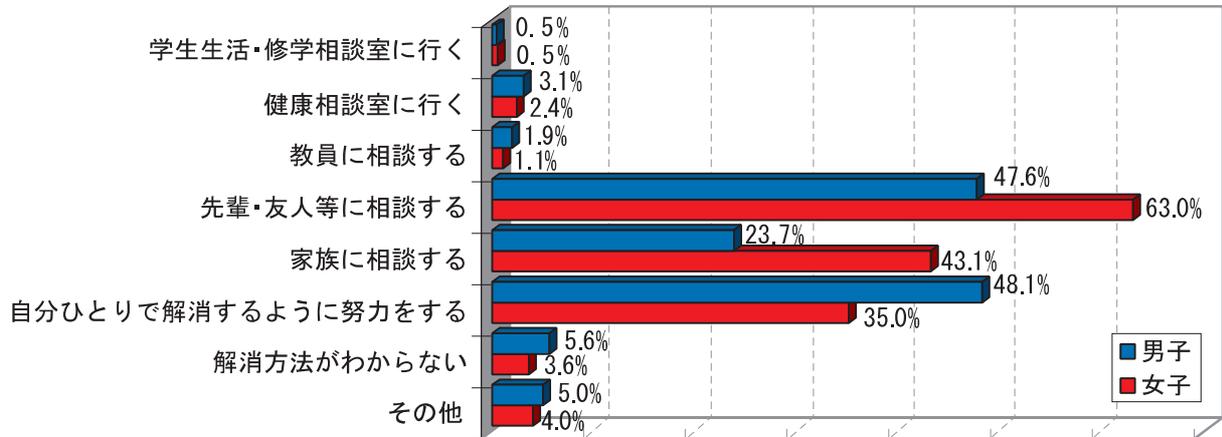


### (8) 悩みの解消方法

男子は自分ひとりで、女子は友人に相談

男子学生の悩みの解消方法については、「自分ひとりで解消するように努力する」(48.1%)と「先輩・友人等に相談する」(47.6%)が拮抗しています。女子学生では「先輩・友人等に相談する」(63.0%)が最も多く、これに「家族に相談する」(43.1%)が続きます。男子学生は女子学生に比べると家族に相談することはあまりない状況です。

図8. 悩みの解消方法（複数回答）



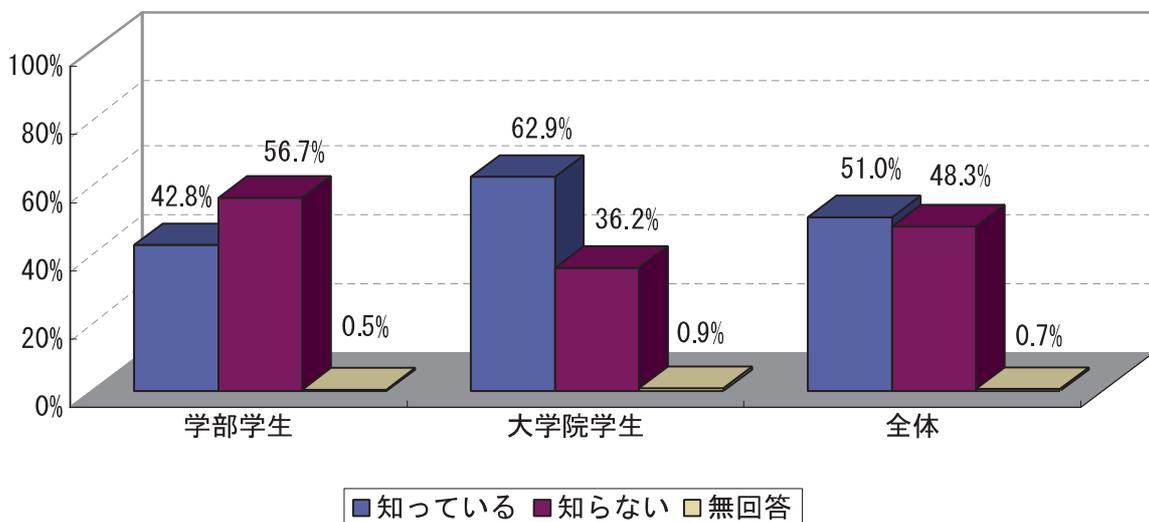
## 2 セクシュアル・ハラスメント

### (1) セクシュアル・ハラスメントの防止のための委員会や相談員

学部学生は知っている人が半数に満たない

セクシュアル・ハラスメントの防止のための委員会等が本学に設置されていることを知っている者は、学部学生で約4割、大学院学生で約6割、全体で約5割となっており、決して高い値とは言えません。前回調査に比べると、大学院学生では知っている者が若干増えましたが、学部学生では逆に知らない者が増加しています。

図9. セクハラ防止のための委員会などについて



## (2)被害の状況

### 被害は減少傾向

被害にあったと回答した者は、学部学生では2.6%、大学院学生では2.9%でした。前回調査に比べて、学部学生・大学院学生ともに若干減少しています。

表2. 被害の状況

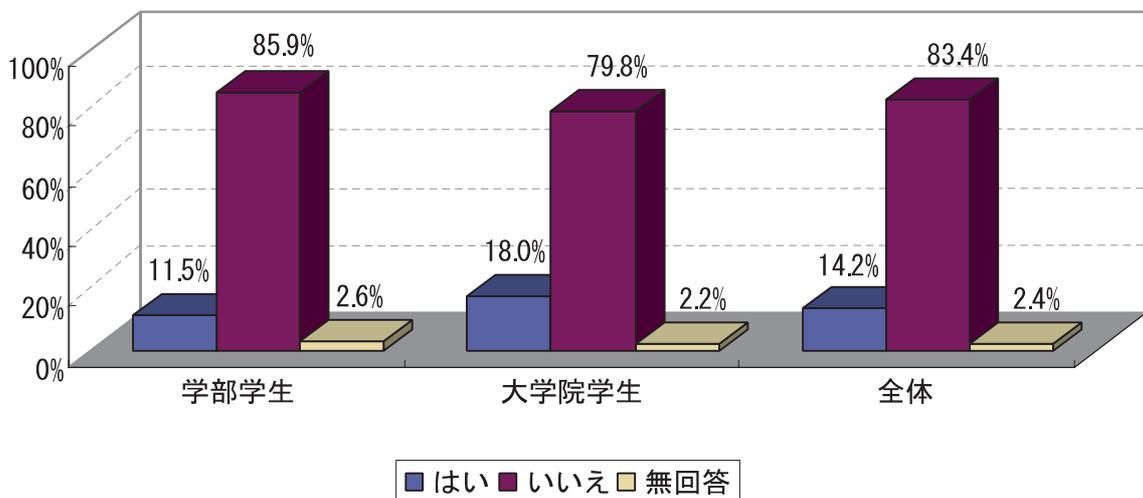
選 択 項 目	学部学生	大学院学生	全 体
はい	2.6%	2.9%	2.7%
いいえ	95.2%	94.9%	95.1%
無回答	2.2%	2.2%	2.2%

## (3)他人の被害について

### 学部学生より大学院学生に多い

他人の被害を見聞きしたことがある者は、学部学生で11.5%、大学院学生で18.0%でした。前回調査に比べて、学部学生・大学院学生ともに若干減少しています。

図10. 他人の被害について



### 3 喫煙・飲酒

#### (1) 喫煙について

##### 喫煙者は少数派

全体では約12%の学生が喫煙者で、男女別では男子学生の約16%、女子学生の3.5%でした。

表3. 喫煙について

選 択 項 目	男 子	女 子	全 体
吸う	16.4%	3.5%	12.1%
吸わない	83.4%	96.4%	87.2%
無回答	0.2%	0.1%	0.7%

#### (2) 吸い始めてからの年数

##### 大学院学生の過半数は5年以上

学部学生の約半数は2年以下なのに対し、大学院学生の過半数は5年以上と回答しています。

表4. 喫煙年数

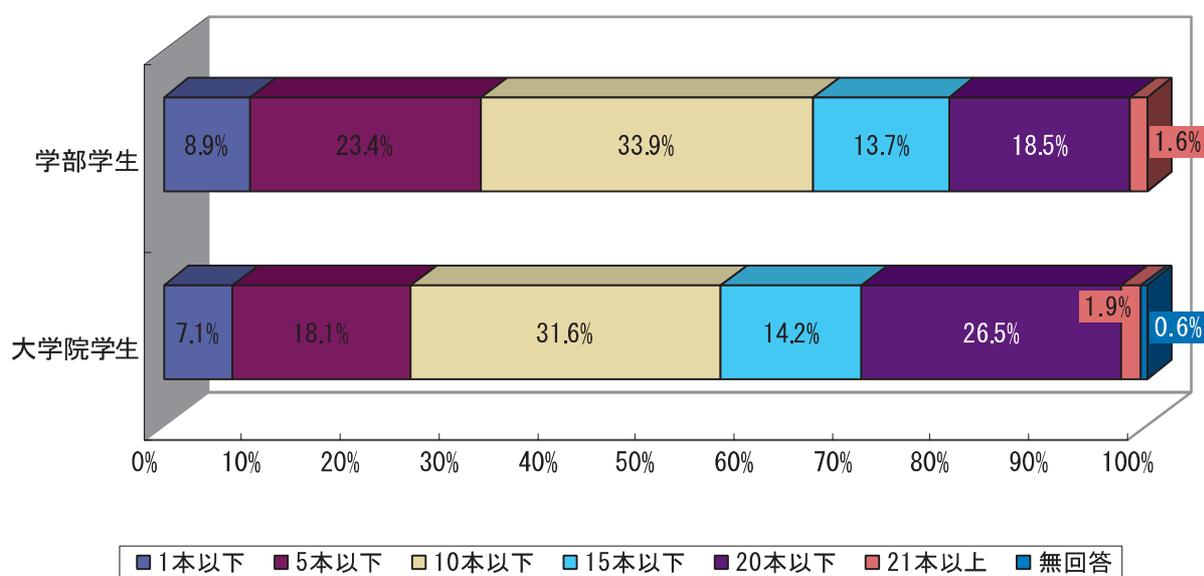
選 択 項 目	学 部 学 生	大 学 院 学 生
1年	22.6%	10.4%
2年	24.2%	12.3%
3年	15.3%	12.9%
4年	10.5%	13.5%
5年以上	35.4%	
5年		12.9%
6年		10.3%
7年		7.1%
8年		5.2%
9年		3.2%
10年		7.7%
10年以上		4.5%
無回答	2.5%	0%

### (3) 1日の喫煙本数

#### 大学院学生の方がよく吸う

学部学生・大学院学生ともに「10本以下」と答えた者が最も多く、次いで学部学生では「5本以下」、大学院学生では「20本以下」となっています。大学院学生の方が一日にタバコを吸う本数が多くなっています。

図11.1日の喫煙本数



#### (4)朝起きて最初のタバコを吸うまでの時間

起きて1時間以内に1本目

学部学生・大学院学生ともに7割以上の者が、朝起きてから1時間以内にタバコを吸っているようです。

表5. 最初に吸うまでの時間

選 択 項 目	学 部 学 生	大 学 院 学 生
0分	4.0%	3.9%
1分以内	5.6%	7.1%
5分以内	15.3%	14.2%
10分以内	4.0%	8.4%
20分以内	6.5%	7.1%
30分以内	16.1%	15.5%
40分以内	4.0%	1.3%
50分以内	0.0%	0.6%
1時間以内	16.9%	17.4%
1時間30分以内	8.9%	9.0%
2時間以内	4.0%	2.6%
3時間以内	2.4%	1.3%
3時間より長い	0.8%	1.3%
無回答	11.5%	10.3%

#### (5)禁煙について

半数以上はやめる気なし

喫煙者で禁煙を希望している学生は35.1%で、6割以上の学生はタバコをやめようとはしていません。

#### (6)タバコによる健康被害について知っていますか

知らない人はいない

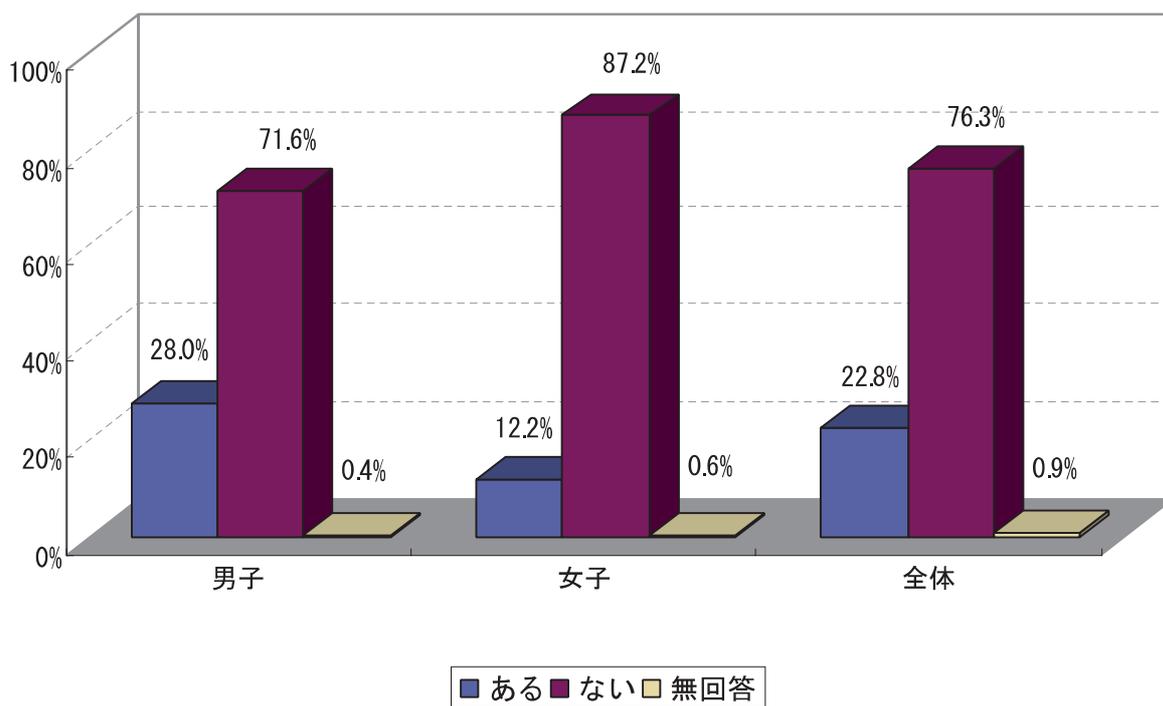
タバコによる健康被害について知らない学生はほとんどいません。社会的にも大きく取り上げられているこの問題について知らない学生は、ほぼ皆無に等しいと考えられます。

## (7) 飲酒の強要

### 強要は減少傾向

飲酒の強要を受けたことがあると回答した学生は、全体の約2割で、前回調査と比べて1割ほど減少しています。男子学生と女子学生を比べると、男子学生の方が2倍以上上回っています。

図12. 飲酒の強要



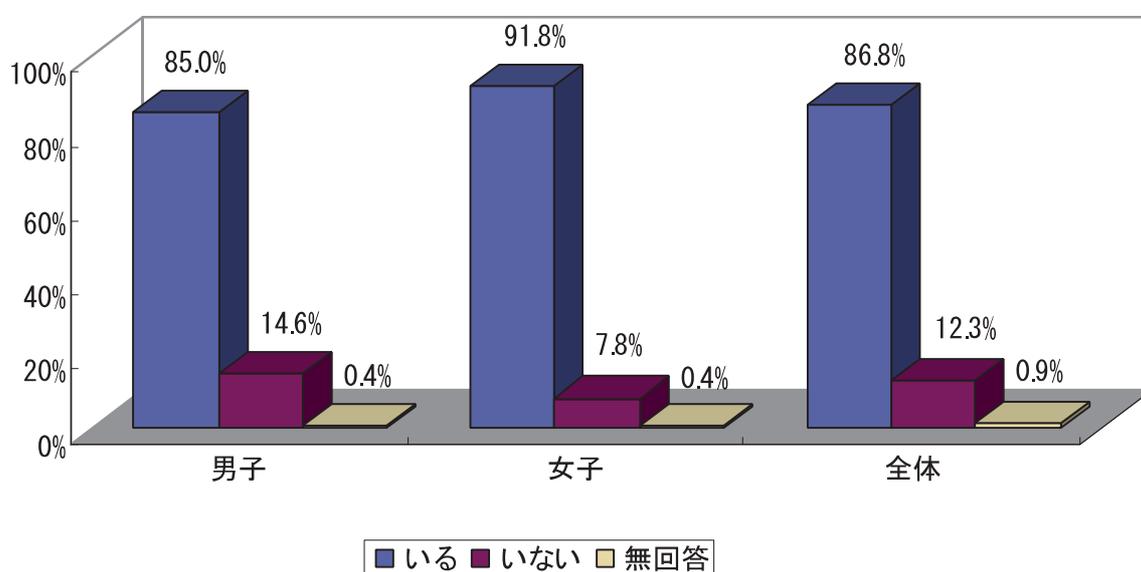
## 4 友人関係

### (1)心をうちあける友人

#### 女子に若干多い

心をうちあける友人がいると回答した学生は、全体で約86%となっています。これは前回調査と比べて、ほとんど変わりませんでした。また、男子学生と女子学生を比べると、女子学生の方が約5%高い割合を示しています。

図13.心をうちあける友人

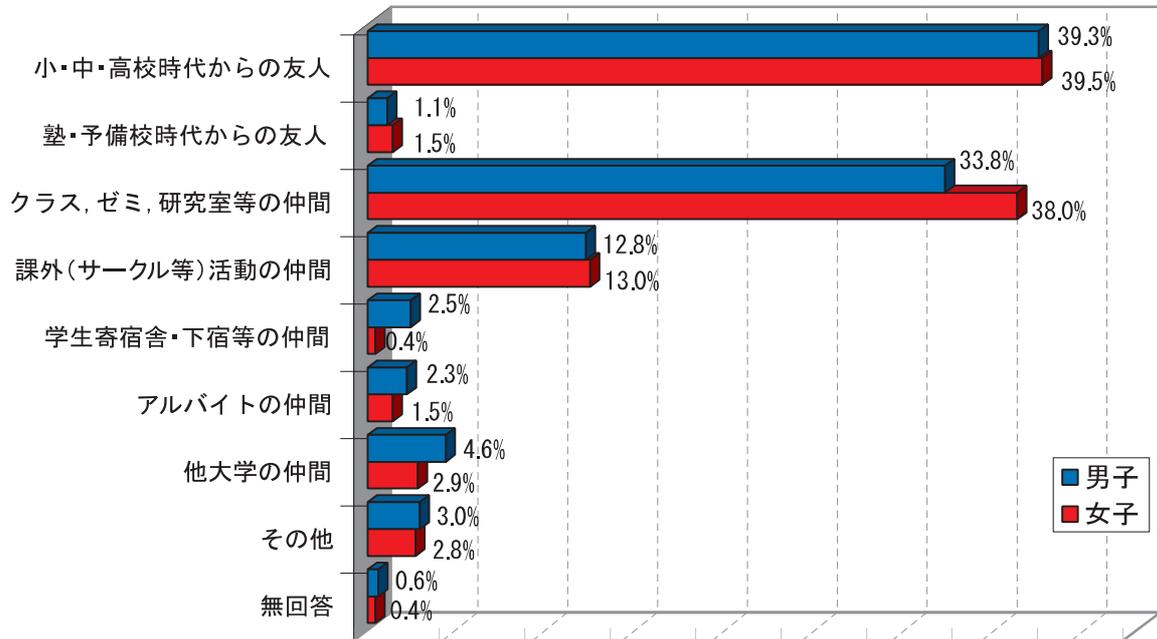


### (2)それはどのような関係の友人か

#### 幼馴染が最良の友

男子学生、女子学生ともに「小・中・高校時代からの友人」が最も多く、これに「クラス、ゼミ、研究室等の仲間」と続きます。男女間に大きな差はありませんが、女子学生は「クラス、ゼミ、研究室等の仲間」と回答した者が男子学生より上回り、男子学生は「他大学の仲間」や「学生寄宿舍・下宿等の仲間」「アルバイトの仲間」を挙げる者が女子学生より多くいます。

図14. 心をうちあける友人との関係



## 第7章

# 大学生生活の状況について

### 1 睡眠時間

#### 睡眠時間は5時間～7時間が約8割

1日の睡眠時間については「6時間」という回答が約4割と最も多く、また、5時間～7時間という回答が全体の約8割を占めています。

なお、学部学生と修士・博士(後期)課程の学生との間に顕著な差は見られませんでした。

表1. 睡眠時間

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
4時間未満	2.6%	1.9%	3.1%
4時間	4.3%	3.7%	2.6%
5時間	20.6%	18.5%	17.1%
6時間	40.4%	35.0%	40.4%
7時間	21.7%	29.5%	26.3%
8時間	7.9%	10.1%	7.0%
9時間	1.2%	0.6%	1.8%
10時間以上	0.8%	0.1%	1.3%
無回答	0.5%	0.6%	0.4%

### 2 1週間のうちで大学に行かない曜日

#### 最も大学にいるのは理系の博士(後期)課程学生

「大学に行かない曜日」については、理系と文系、学部学生と大学院学生の間で、明らかな差が現れました。

実験等の作業があるためか、理系の学生は文系の学生に比べ、平日における「大学に行かない日」の割合が低くなっており、土曜日に大学に行く割合も高くなっています。

また、大学院学生については、学部学生と比べ土曜日、日曜日とも大学に行く割合が高くなっています。

表2. 大学に行かない曜日(複数回答)

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
月曜日	6.3%	3.6%	18.6%	1.5%	10.6%	2.6%
火曜日	8.8%	2.6%	8.5%	1.5%	6.7%	4.0%
水曜日	16.9%	7.2%	10.4%	1.7%	24.3%	2.0%
木曜日	2.2%	1.9%	14.2%	6.0%	14.6%	4.3%
金曜日	10.7%	4.0%	11.3%	7.4%	11.2%	1.9%
土曜日	81.9%	68.4%	54.0%	50.7%	43.8%	45.4%
日曜日	90.7%	90.1%	74.9%	73.1%	72.9%	77.0%

### 3 休日の過ごし方

#### 大学院学生は休日も勉強

休日の過ごし方は、全体的に「趣味・娯楽」と回答した者が多く、「休養」と拮抗しています。しかしながら、修士・博士(後期)課程の文系の学生は、「勉強」の回答が最も多く、休日にも研究に時間を割いています。「読書」については、全体的に2割前後の者が回答しており、理系よりも文系の回答が多い結果になっています。

表3. 休日の過ごし方(複数回答)

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
勉強	32.0%	23.7%	53.1%	13.6%	52.3%	16.3%
読書	25.4%	16.6%	24.8%	22.2%	22.7%	19.0%
課外(サークル等)活動	28.7%	31.6%	4.4%	13.1%	0.0%	4.3%
運動	6.9%	6.8%	8.8%	13.8%	6.8%	9.8%
ボランティア活動	2.0%	1.4%	5.3%	2.7%	4.5%	1.6%
アルバイト	40.3%	39.1%	23.9%	22.6%	25.0%	30.4%
趣味・娯楽	56.4%	62.2%	51.3%	71.6%	40.9%	57.1%
休養	52.1%	58.2%	50.4%	60.8%	40.9%	64.1%
なんとなく漫然と	26.1%	29.3%	24.8%	28.9%	27.3%	27.7%
その他	3.3%	2.4%	7.1%	3.4%	15.9%	9.8%

## 4 大学生活の目的

### 大学院学生は学問・研究が目的のメイン

全体的に見ると、「学問・研究をする」の回答が多く、特に、大学院学生は約7割から約9割となっています。次いで多いのは「専門知識・技術を身に付ける」でしたが、文系の学部学生だけが約3割で、他と比べ半分程度の回答率でした。

修士課程の学生は、「学歴・資格を得る」と回答した者が文系に多いのに対し、博士(後期)課程の学生になると理系の方多くなっています。

表4. 大学生活の目的(複数回答)

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
学問・研究をする	47.9%	53.4%	75.2%	73.7%	90.9%	89.1%
専門知識・技術を身に付ける	30.0%	62.8%	70.8%	61.6%	61.4%	69.0%
豊かな教養を身につける	40.9%	26.2%	30.1%	30.7%	22.7%	22.3%
学歴・資格を得る	40.6%	29.8%	46.9%	24.4%	20.5%	38.0%
課外(サークル等)活動に力を入れる	17.8%	14.6%	0.0%	7.1%	0.0%	0.5%
一流企業に就職する	10.2%	10.9%	2.7%	18.0%	0.0%	4.3%
社会的活動の担い手となる	7.6%	4.5%	8.0%	4.8%	13.6%	6.0%
学生生活を通して青春をエンジョイする	31.0%	30.7%	1.8%	20.5%	4.5%	7.6%
良き友人を得る	38.0%	36.5%	15.9%	27.2%	20.5%	15.2%
特に目的をもたず何となく	4.3%	3.8%	2.7%	3.1%	0.0%	3.3%
その他	2.3%	1.5%	0.9%	1.2%	0.0%	1.6%

## 5 現在力を入れていること

### 勉学第一!?

全体的に見ると、課程、文系・理系を問わず「勉学」の回答が最も多く、特に修士課程以上は約8割から約9割の者が回答しています。

学部学生においては、理系の方が「勉学」と回答した者が、文系よりも多くなっています。

「アルバイト」に関して特徴的なことは、学部での回答率が、修士課程で減り、博士(後期)課程で増えていることが挙げられます。

表5. 現在,力を入れていること(複数回答)

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
勉学	59.4%	70.2%	92.0%	83.9%	95.5%	92.9%
課外(サークル等)活動	34.3%	34.4%	5.3%	14.3%	2.3%	7.6%
アルバイト	32.3%	26.1%	13.3%	14.3%	22.7%	17.4%
一般的な知識・教養の涵養	23.4%	19.8%	29.2%	26.8%	27.3%	28.3%
友人との交流	46.2%	39.4%	18.6%	37.5%	34.1%	27.2%
娯楽・レジャー・旅行	18.2%	23.7%	12.4%	21.6%	4.5%	10.3%
ボランティア活動	1.7%	2.2%	6.2%	2.9%	2.3%	0.5%
その他の社会的な活動	2.0%	2.3%	7.1%	3.1%	6.8%	1.1%
特にない	7.6%	6.1%	3.5%	5.4%	2.3%	3.3%
その他	2.6%	2.3%	2.7%	3.4%	2.3%	4.9%

## 6 大学生生活の満足度

### 満足している学生が多い

課程, 文系・理系を問わず, 「満足している」「まあまあ満足している」と回答した者が約7割を占めます。満足度が最も高いのは理系の学部学生で72.6%, 逆に最も低いのは, 理系の修士課程で69.0%です。一方で, 「不満である」「やや不満である」と回答した者は, 約1割前後で, 最も高いのは, 理系の博士(後期)課程の学生で15.3%, 逆に最も低いのは文系の博士(後期)課程の学生で6.8%でした。

表6. 大学生生活の満足度

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
満足している	21.8%	20.2%	25.7%	23.8%	34.1%	23.9%
まあまあ満足している	49.2%	52.4%	46.0%	45.2%	36.4%	46.7%
どちらともいえない	15.8%	17.0%	20.4%	18.8%	18.2%	14.1%
やや不満である	9.6%	8.5%	7.1%	8.1%	6.8%	12.0%
不満である	3.3%	1.9%	0.9%	3.7%	0.0%	3.3%
無回答	0.3%	0.1%	0.0%	0.3%	4.5%	0.0%

## 7 現在ほしいもの

### 学部学生, 修士課程学生は遊ぶ時間

学部, 修士・博士(後期)課程, 文系・理系を問わず共通していることは, 回答が広く分散していることです。学部学生では, 文系・理系の間には大きな差はなく, いずれも「遊ぶ時間」「旅行費用」「生活費」が上位に挙がっています。

修士課程の学生では, 文系の学生が理系の学生よりも「研究費用」の回答率が約2倍高く, 逆に「旅行費用」や「自動二輪車, 原付バイク, 自動車」は, 理系のほうが文系より高い値を示しています。博士(後期)課程の学生は, 修士課程と比べて「研究費用」の回答が2倍近く増え, 特に文系の博士(後期)課程では56.8%となっています。文系の博士(後期)課程の学生は「生活費」の回答率(52.3%)も高いことから, 学生の切迫した経済状況が窺えます。また, 文系の博士(後期)課程では, 「遊ぶ時間」と回答した者が最も少ないのも特徴的です。

表7. 現在, 特にほしいもの(複数回答)

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
心をうちあけることができる友人	12.2%	13.1%	8.0%	8.7%	4.5%	10.9%
恋人	23.8%	25.8%	20.4%	20.7%	15.9%	15.8%
生活費	36.0%	33.3%	45.1%	42.4%	52.3%	47.3%
研究費用	4.0%	3.9%	31.0%	14.9%	56.8%	29.9%
旅行費用	40.6%	41.7%	23.0%	32.8%	25.0%	23.9%
遊ぶ時間	50.5%	53.1%	46.0%	52.8%	18.2%	39.1%
良い先生(研究上の指導者)	11.6%	14.3%	16.8%	16.1%	22.7%	21.7%
自動二輪車, 原付バイク, 自動車	21.5%	26.2%	10.6%	24.1%	15.9%	13.6%
パソコン	8.3%	14.6%	13.3%	17.3%	13.6%	12.5%
その他	9.9%	8.6%	12.4%	8.5%	4.5%	12.0%

1 収入・支出の状況

(1) 1か月の平均収入と平均支出

学部・修士課程は「12万円未満」、博士(後期)課程については「20万円以上」が1位

設問で収入額と支出額が一致するように回答を求めていたため、収入と支出のグラフは同じような割合を示していますが、博士(後期)課程学生の収入については、「20万円以上」との回答が約3割で突出しています。

なお、収入についてのみ「0」という回答については「なし」に分類しています。

図1. 1ヶ月の収入合計の分布

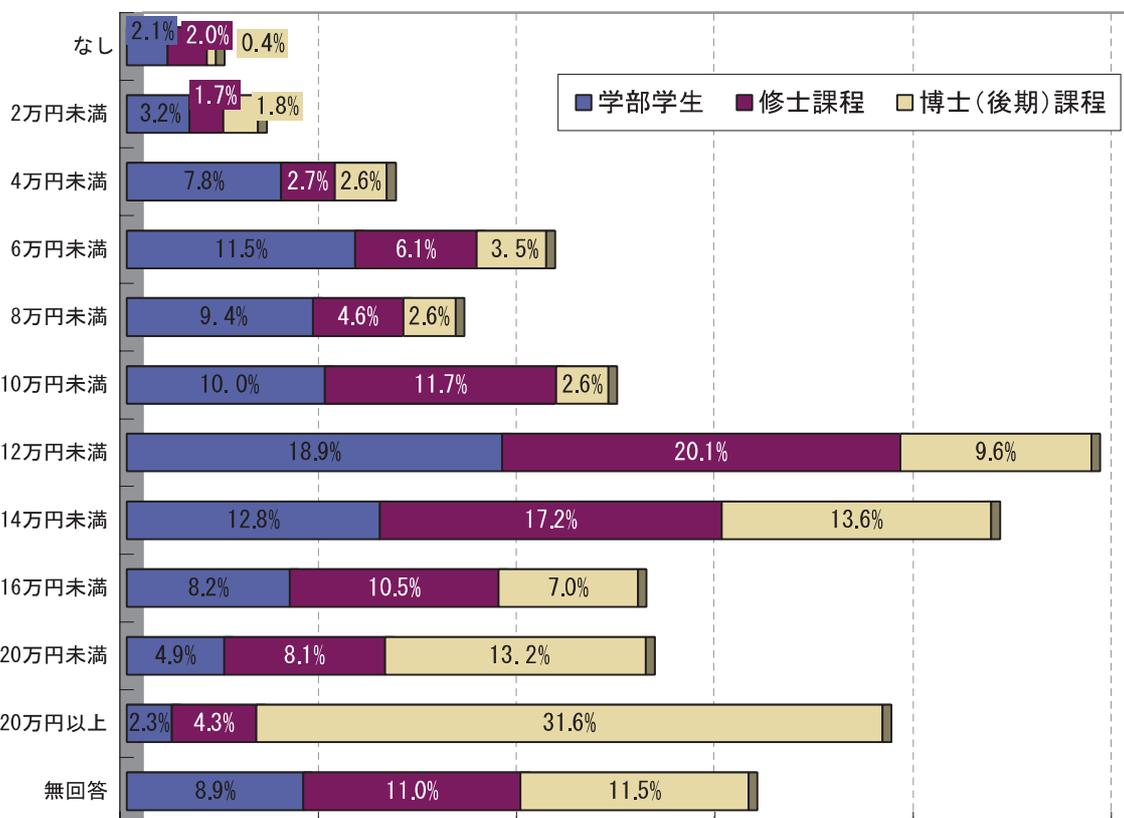
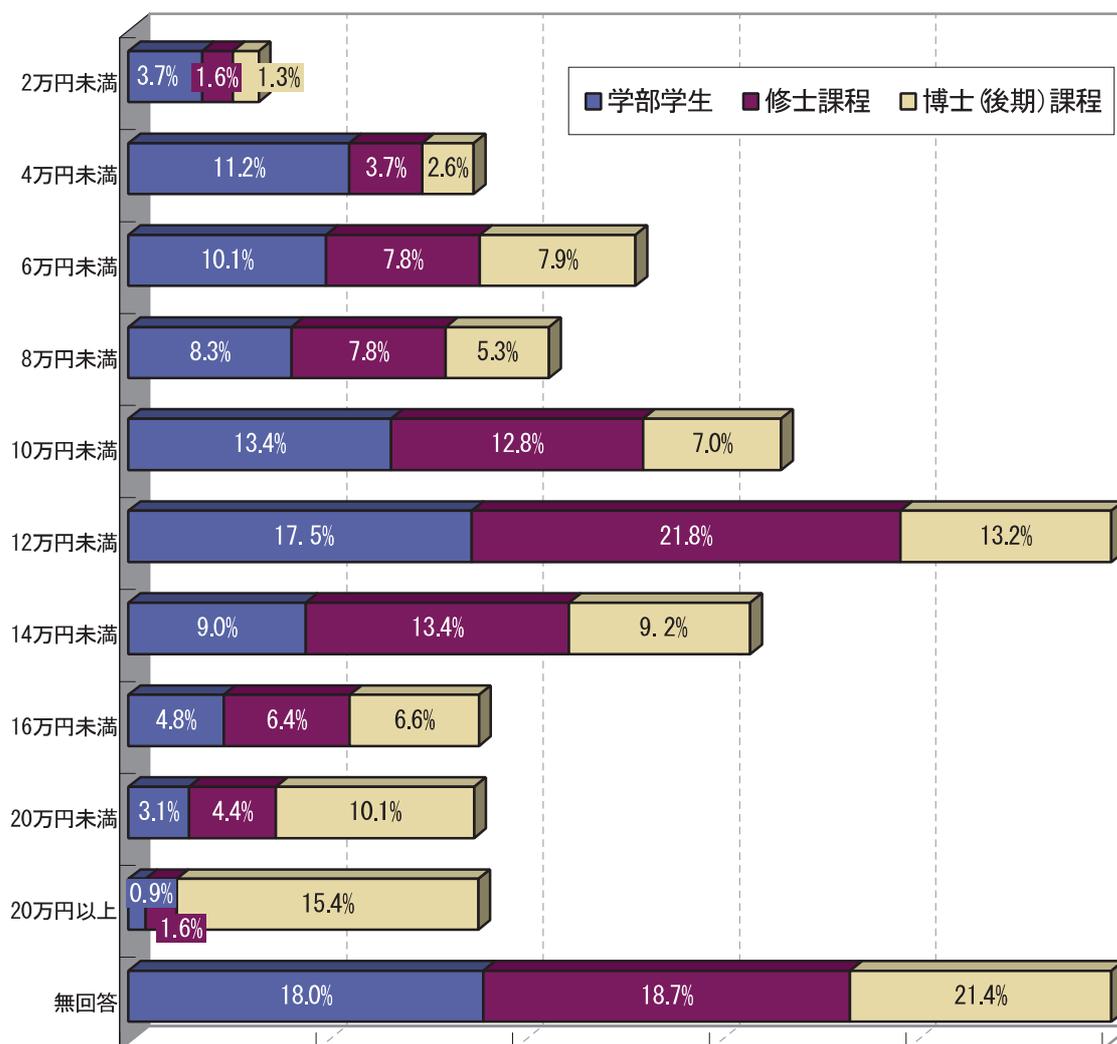


図2. 1ヶ月の支出合計の分布



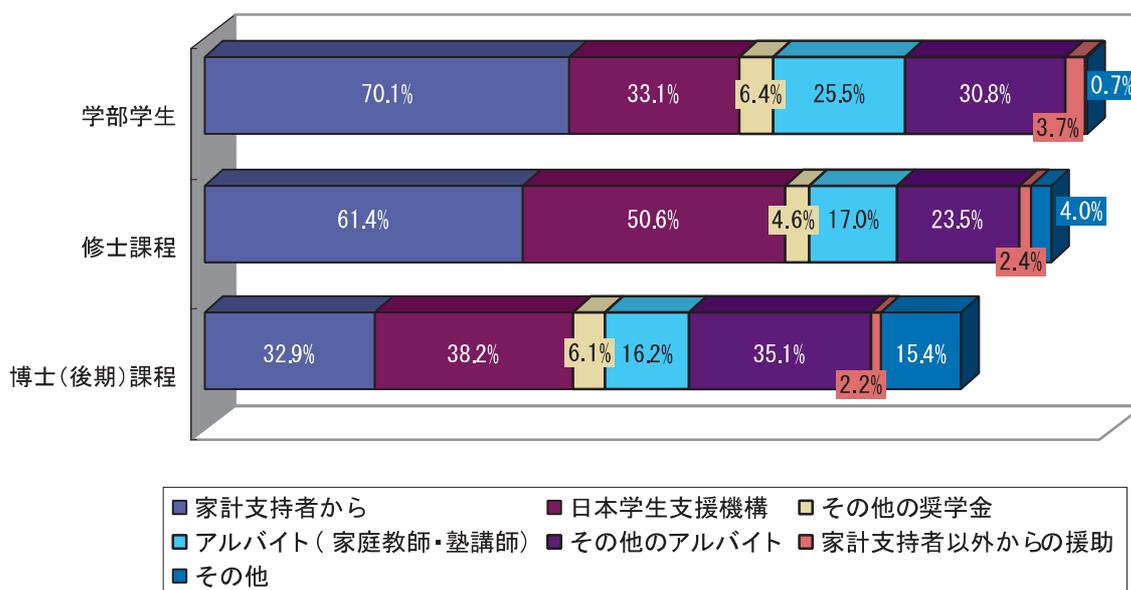
## (2) 収入の内訳

### 収入の中心は家計支持者からの支援と日本学生支援機構からの貸与奨学金

学部で約7割、修士課程で約6割、博士(後期)課程で約3割が家計支持者からの支援を受けていると答えています。博士(後期)課程の学生については、両親から独立して生計を営んでいる者が多くいます。

なお、前回調査に比べ、日本学生支援機構(前・日本育英会)から貸与奨学金を受けている博士(後期)課程学生の割合が約2割も低下しています。在学期間の長期化による援助停止など、様々な要因が考えられますが、サンプルの偏り、無回答の多さなどの要因も疑うべきかもしれません。

図3. 収入の内訳 (複数回答)



### (3) 家計支持者からの支援額

図4, 図5は, 家計支持者から支援を受けている者について, その金額を示したものです。全課程を通じて「10万円以上」との回答が最も多く, 次いで「6万円未満」が2~3割を占めています。博士(後期)課程の学生については, 支援を受けている者の数は少ないものの, 「10万円以上」と回答した者も約4割と他の課程と比べ最も高くなっています。

図4. 家計支持者からの支援額

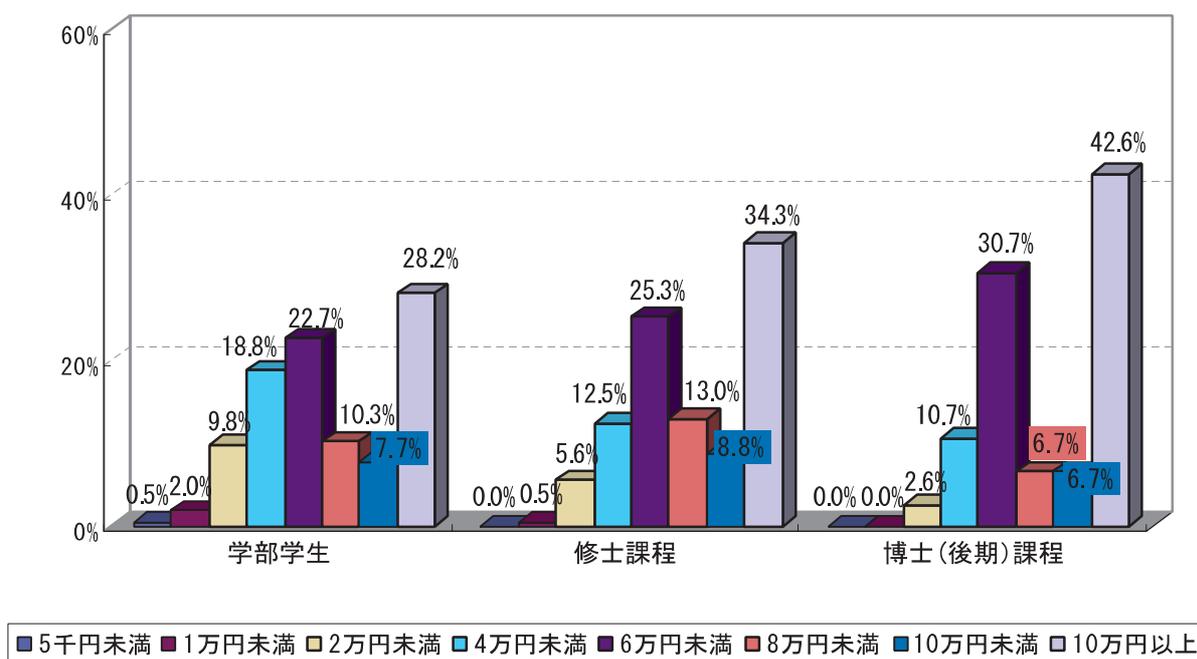
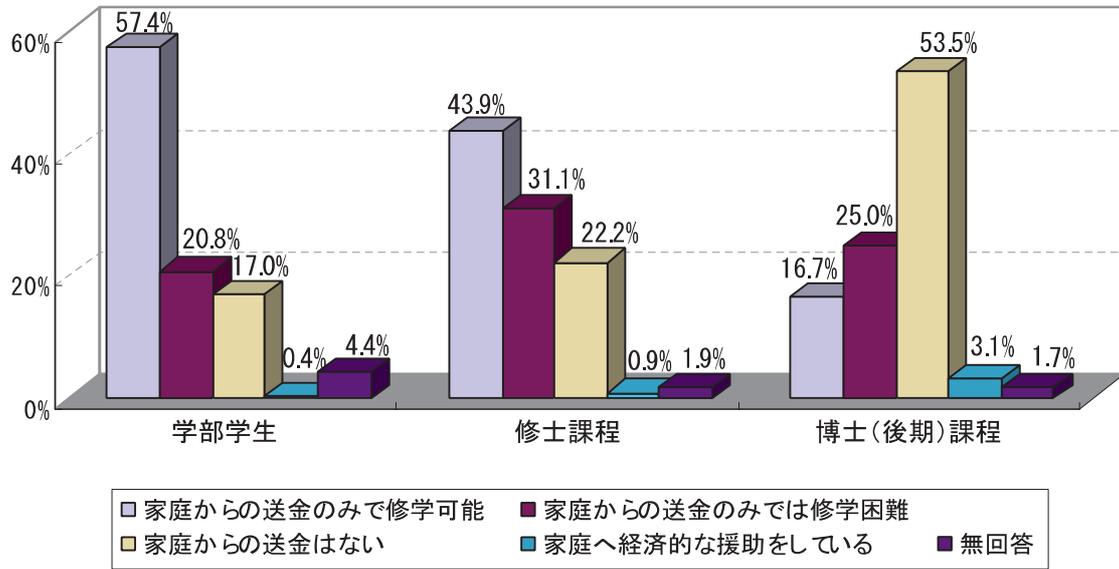


図5. 家庭からの送金と修学の関係について



#### (4) アルバイトによる収入額

「家庭教師・塾講師」で最も多かったのは「4万円未満」との回答で、全課程を通じて約4割を占めています。なお、博士(後期)課程については「10万円以上」の回答も約2割を占め、次に多い金額となっています。また、「その他のアルバイト」では、学部・修士の学生については「2万円以上～6万円未満」に回答が集中しているのに対し、博士(後期)課程の学生については「10万円以上」との回答が約半数と突出しています。

図6. アルバイト(家庭教師・塾講師)による収入金額

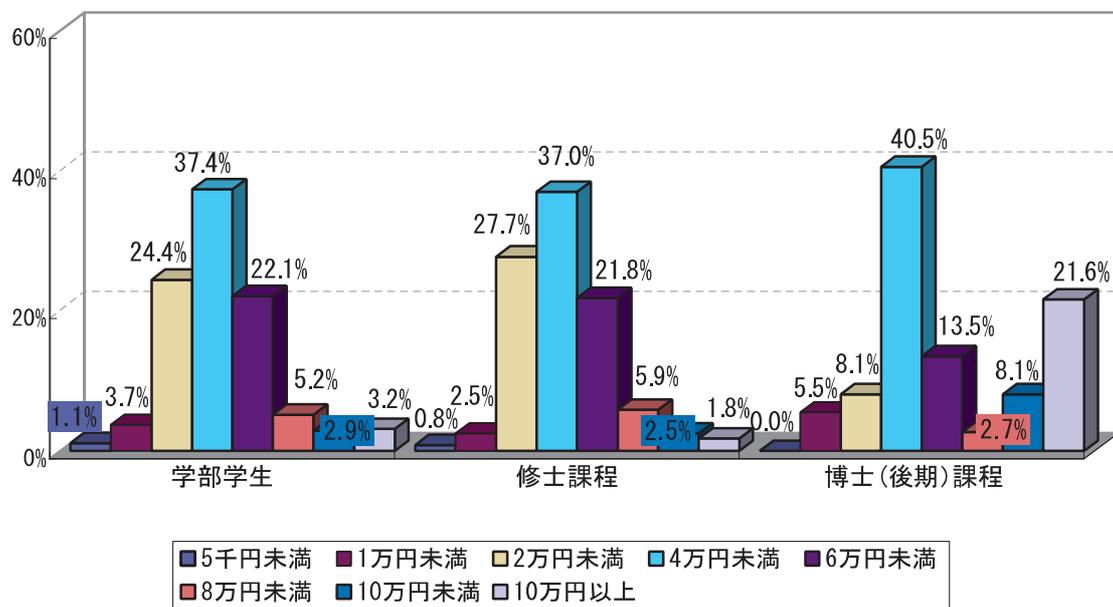
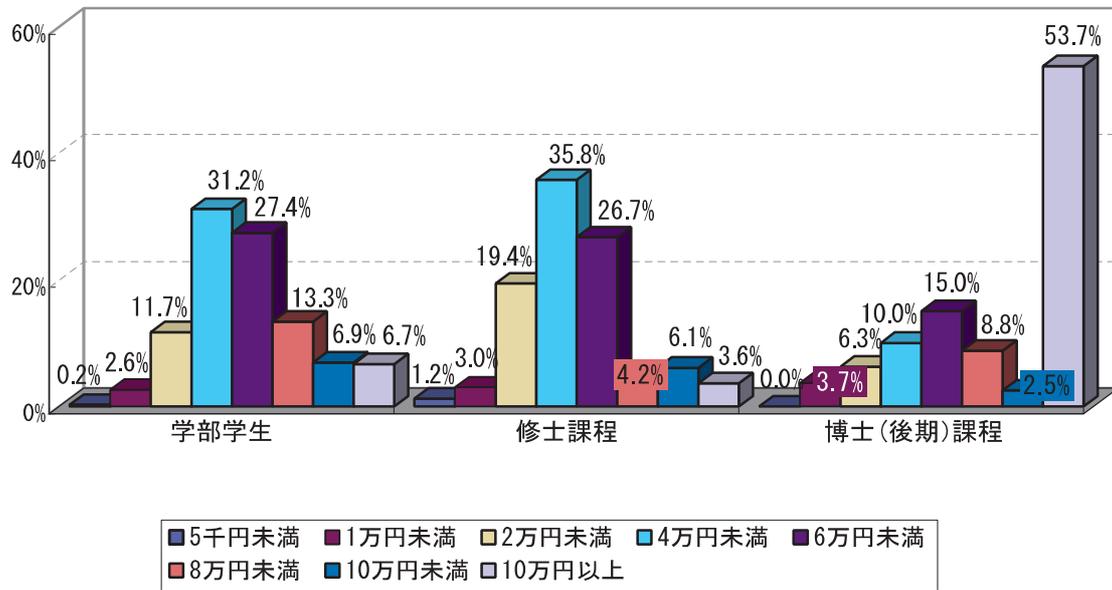


図7. その他のアルバイトによる収入金額



## (5) 支出の内訳

### 住居費+食費で約6割の支出

支出の内訳については、全課程を通じて「住居費」の割合が最も高く、支出の約3～4割を占めています。次いで「食費」が約25%の支出となっており、今回調査で約7割を占める自宅外生の生活を反映する結果となっています。

また、今回調査より新たに選択肢として加わった「通信費」については、全課程を通じて1月あたり約4～5%の支出となっています。

図8. 支出の内訳(学部学生)

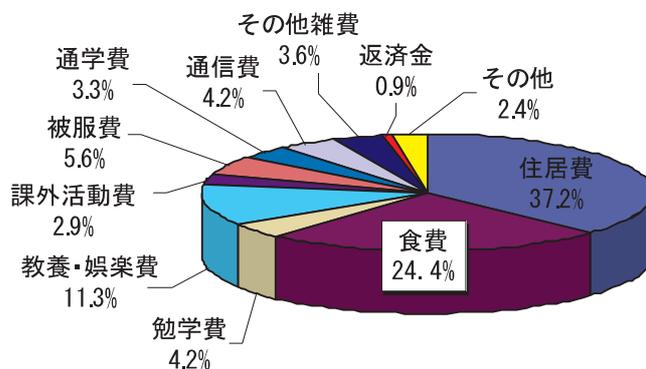


図9. 支出の内訳(修士課程)

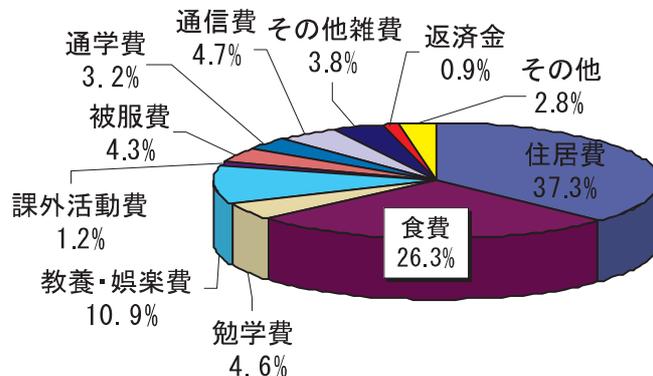
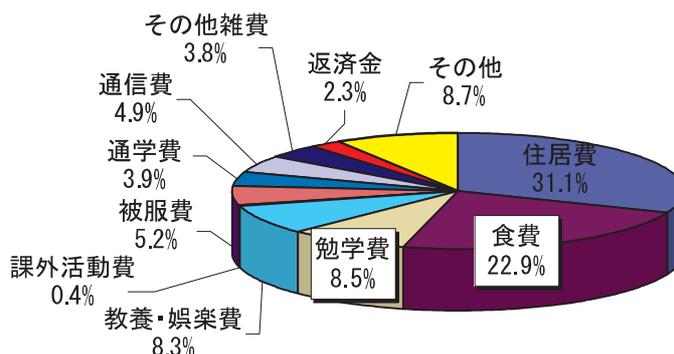


図10. 支出の内訳(博士課程)



## (6) 消費者金融の利用

約98%が「利用したことがない」

消費者金融の利用については、全課程を通じ約98%の学生が「利用したことがない」と回答しています。しかし、利用したことがある者の中には、最大利用額が100万円を超えている者もいました。

表1. 消費者金融の利用

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
利用したことがない	97.7%	97.6%	98.2%
時々利用する	1.5%	1.4%	0.9%
よく利用する	0.1%	0.0%	0.0%
無回答	0.7%	1.0%	0.9%

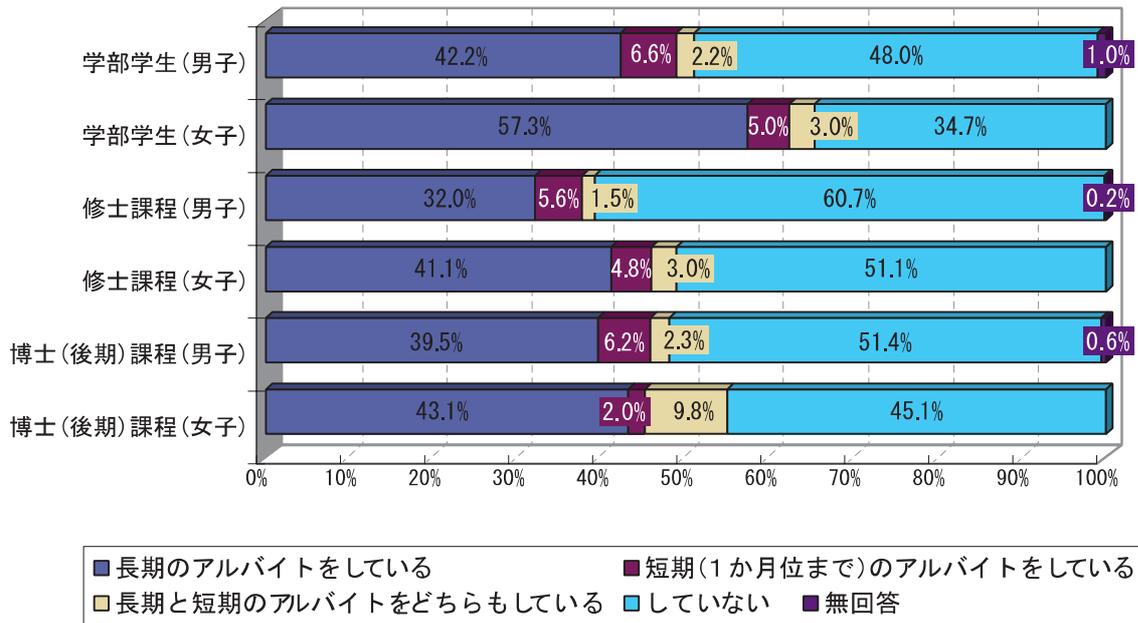
## 2 アルバイト

### (1) 現在、アルバイトをしているか

学部学生女子が一番の働き者

全体的に、修士・博士(後期)課程学生よりも学部学生の方がよくアルバイトをしています。全課程を通じて、男子学生よりも女子学生の方が高い割合でアルバイトをしており、特に、学部学生の女子では6割以上が何らかのアルバイトをしています。一方、修士課程では男子学生の6割以上はアルバイトをしていないと回答しています。

図11. アルバイトをしているか

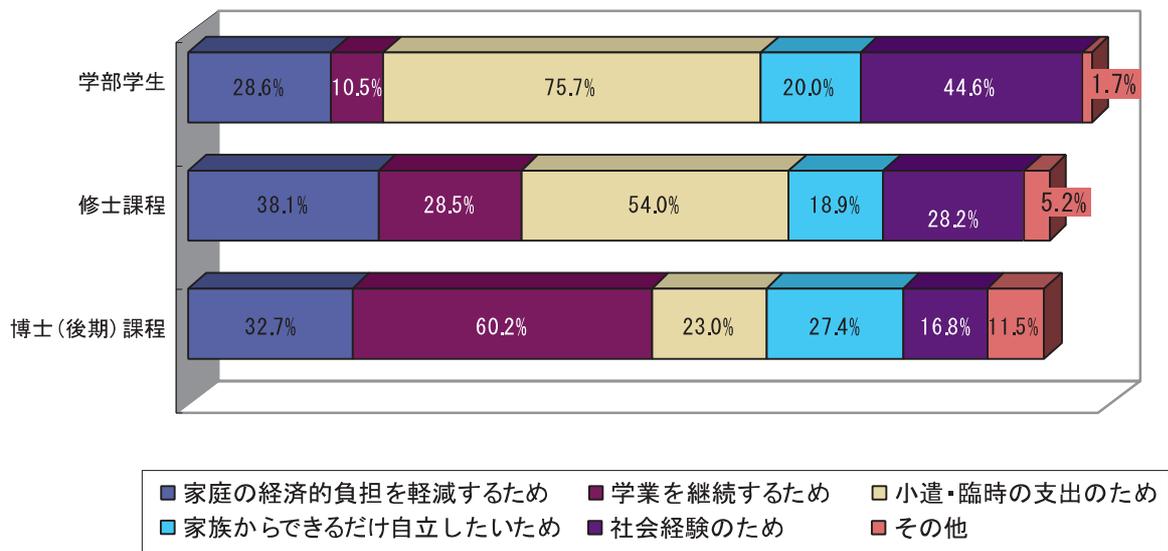


(2) アルバイトをする主な理由

博士(後期)課程学生は学業継続のためにアルバイト

学部学生の約7割半の者は、「小遣い・臨時の支出のため」にアルバイトをしているのに対し、博士(後期)課程の学生は「学業継続のため」(約6割)にアルバイトをしています。

図12. アルバイトをしている理由(複数回答)

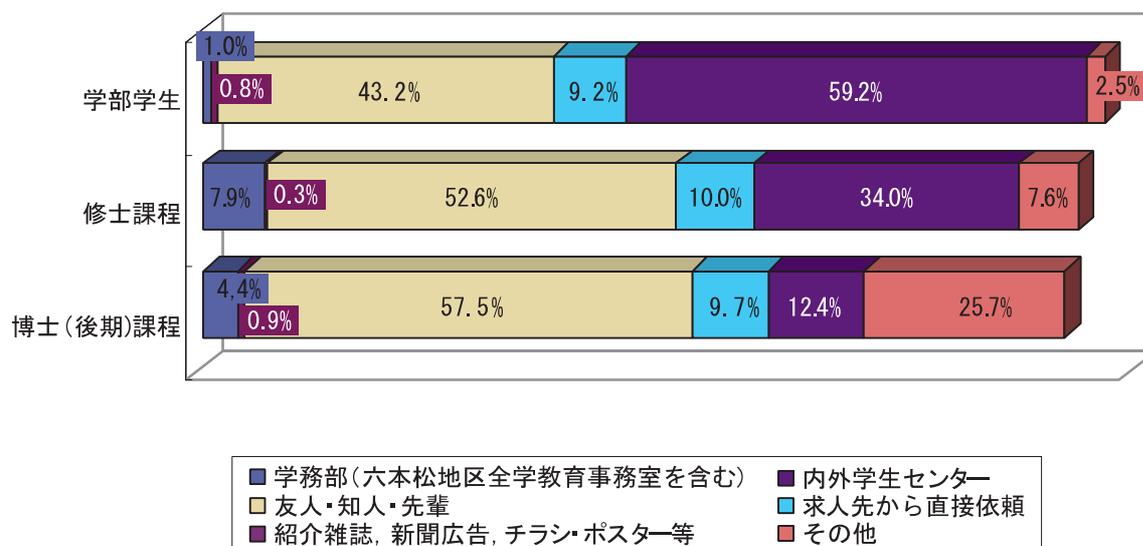


### (3) アルバイトの紹介者(情報提供者)

#### アルバイトを探すなら友人・知人・先輩からの紹介が一番？

学部学生の過半数は「紹介雑誌, 新聞広告, チラシ, ポスター」からアルバイトを探すと回答していますが, 修士課程・博士(後期)課程の学生は「友人・知人・先輩」から情報を得てアルバイトをしている結果になっています。

図13. アルバイトの紹介者(複数回答)

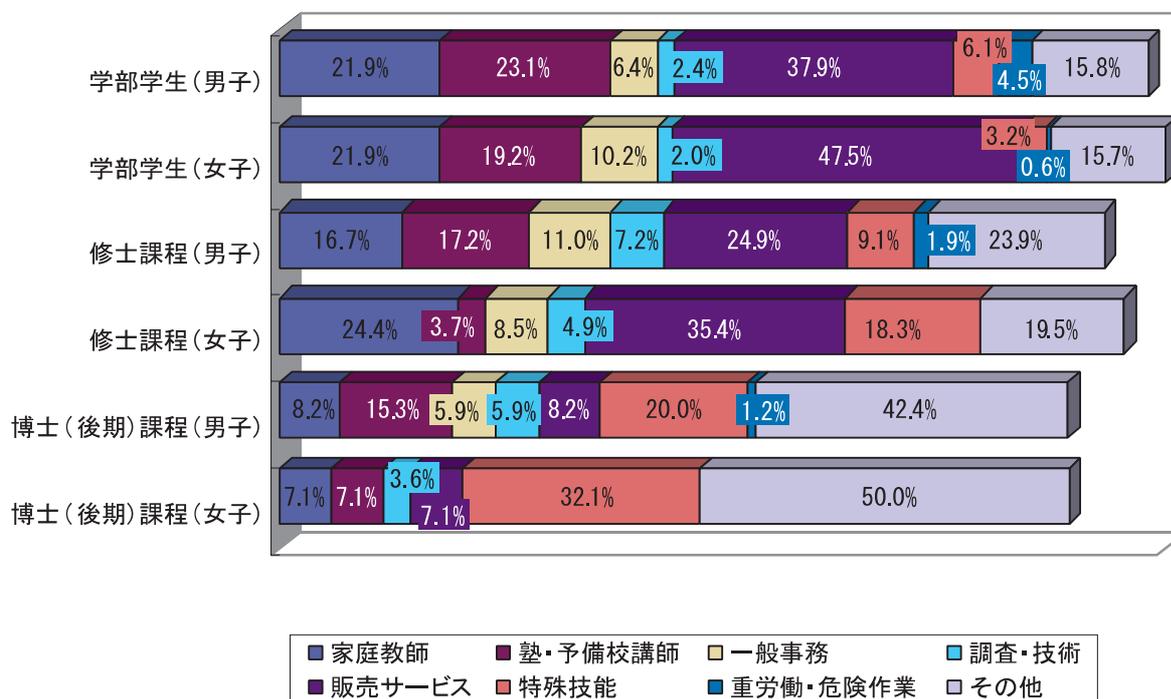


## (4) 職種

### 人に教える職種が人気あり

学部学生・修士課程学生は、「販売サービス」と同じくらいの割合で「家庭教師」「塾・予備校講師」という「人に教える職種」のアルバイトをしています。しかし、博士（後期）課程になると全く異なり、「特殊技能」を必要とするアルバイトをする者が増えています。

図14. アルバイトの職種（複数回答）

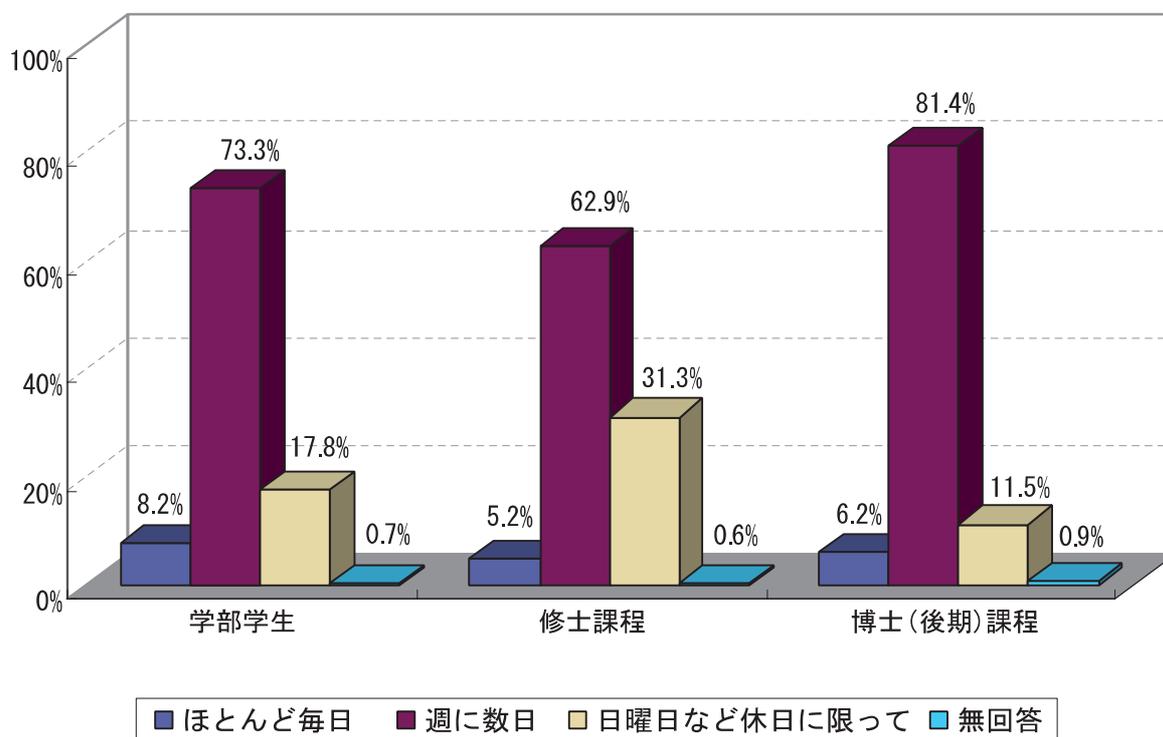


## (5) アルバイトの頻度

### 毎日アルバイトをする人はごくわずか

全体的に多いのは「週に数日」アルバイトをするとの回答です。「ほとんど毎日」と回答した者は1割にも達していません。また、修士課程学生の約3割は、「日曜日など休日に限って」アルバイトをしていると答えています。

図15. アルバイトの程度

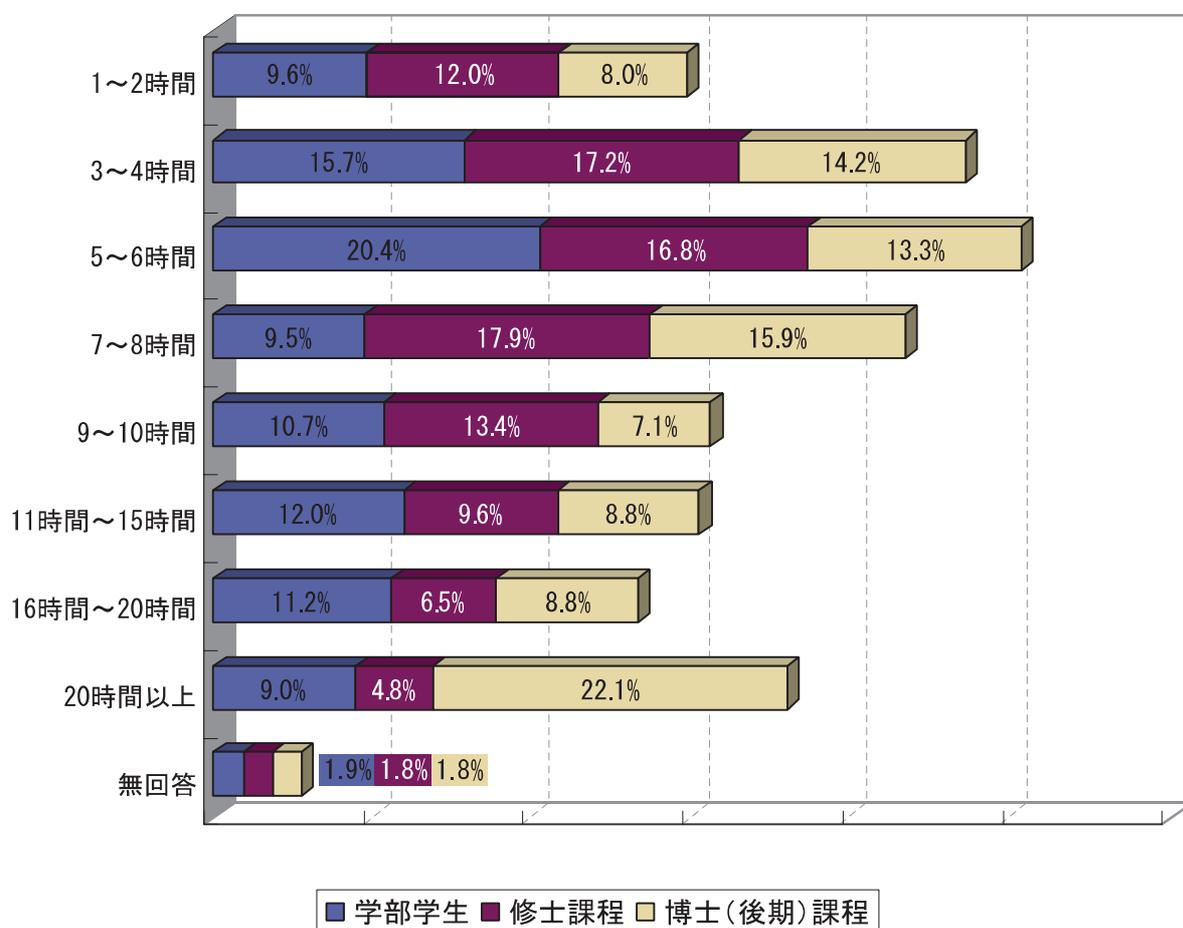


## (6) 1週間の平均就労時間

### 就労時間は様々

1週間の平均就労時間については、学部学生に関して回答数のピークが「5～6時間」にあります。結果にはバラツキが見られます。修士課程の学生については「7～8時間」をピークとして、それ以上の時間に関しては段階的に少なくなっています。博士（後期）課程の学生については3～8時間までの間で回答が分散していますが、「20時間以上」との回答が約2割を占め最も多くなっています。

図16. 1 週間の平均就労時間

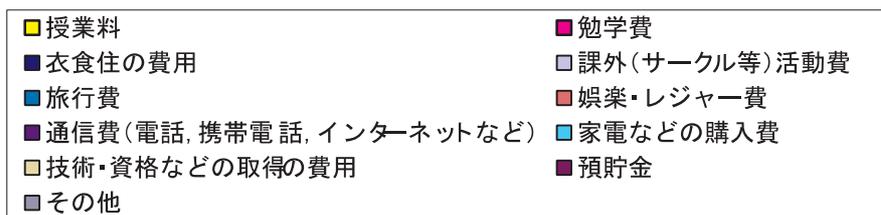
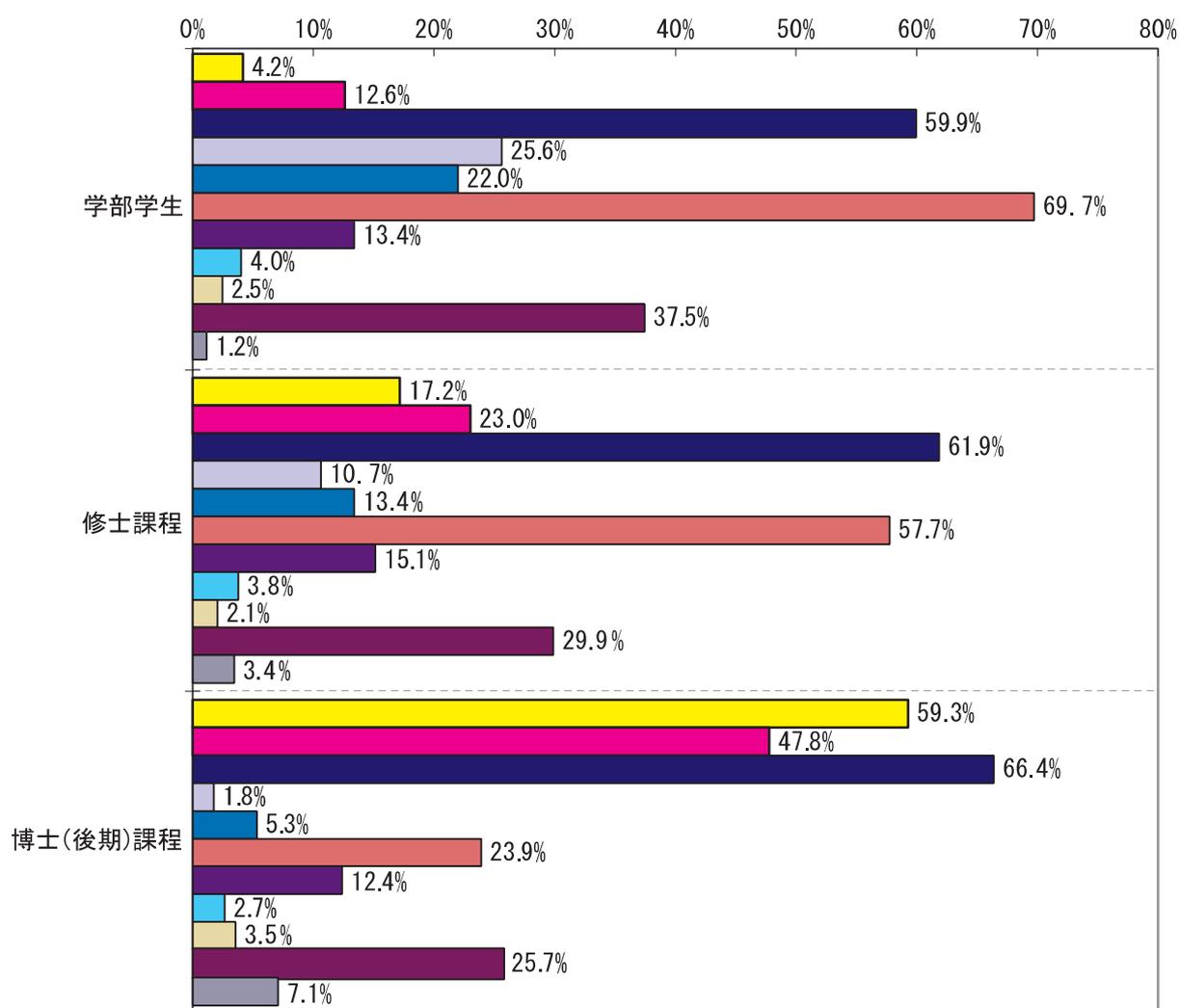


## (7) アルバイト収入の用途

### 博士は授業料のためにアルバイト

全体的に「衣食住の費用」に使っていると回答した者が多くいますが、博士(後期)課程の学生になると「娯楽・レジャー費」としてアルバイト収入を使う者はとても少なく、「授業料」や「勉学費」に使用する割合が高くなっています。

図17. アルバイト収入の使途(複数回答)

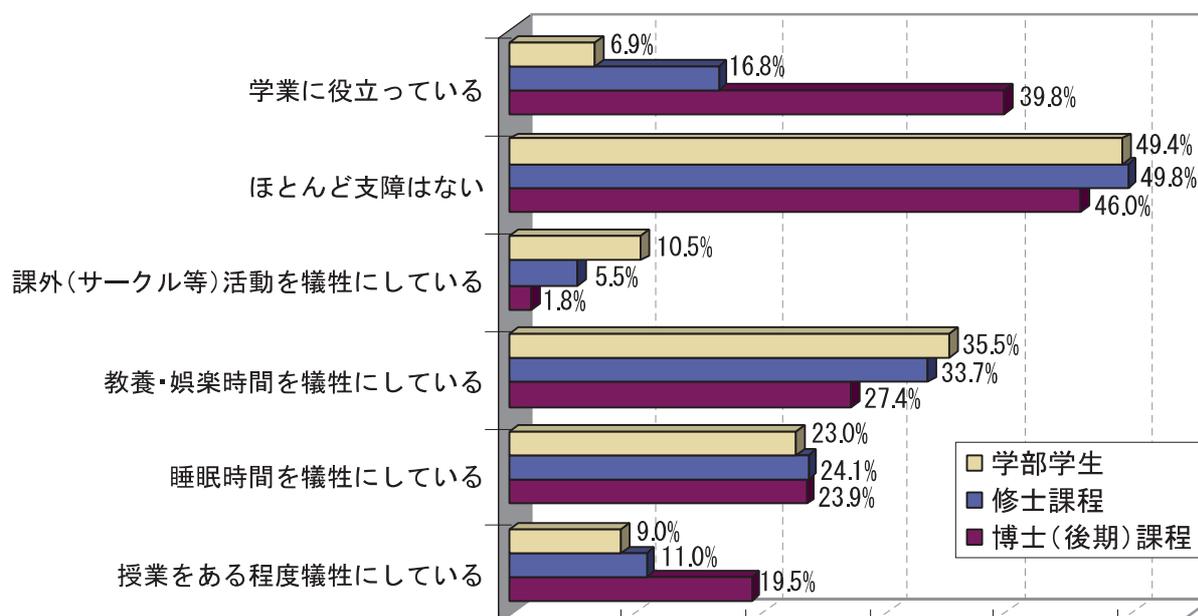


## (8) アルバイトと学業の関係

約半数が「ほとんど支障はない」

学部学生・大学院学生ともに、約半数の者が「ほとんど支障はない」と回答しています。博士(後期)課程学生に関しては「学業に役立っている」と回答している者が約4割もいます。また、博士(後期)課程の学生は「職種」が「特殊技能」と回答した者が多くいます。

図18. アルバイトと学業の関係(複数回答)



### 3 大学生活に必用な物・所有している物

#### パソコンと携帯電話は必須

大学生活に必須であると学生が考えている物、実際に所有している物については、課程による差はほとんど現れませんでした。

「パソコン」「携帯電話・PHS」については9割以上の学生が必要であると考えており、所有率も同様の結果となっています。「テレビ」「エアコン・クーラー」「電子レンジ」については、所有率の高さに比べて、必要であるという回答者の割合は5～6割にとどまっています。特にテレビについては、必要であるとの回答が修士・博士(後期)課程学生では5割を切る結果となっています。なお、移動手段としては「自転車」が高い割合を示しています。

表2. 大学生活に必要な物(複数回答)

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
パソコン	92.5%	94.2%	95.6%
テレビ	53.4%	48.1%	47.8%
エアコン・クーラー	59.8%	60.4%	59.6%
電話	7.7%	9.8%	15.4%
携帯電話・PHS	94.9%	91.9%	91.9%
映像機器, 音響機器	27.3%	25.6%	20.2%
カメラ	19.2%	19.8%	17.1%
自転車	73.3%	62.3%	53.9%
バイク・原付	19.8%	22.4%	15.4%
自動車	10.6%	17.4%	23.2%
電子レンジ	62.9%	56.1%	51.3%
その他	3.6%	3.8%	2.2%

表3. 所有している物(複数回答)

選 択 項 目	学部学生	修士課程	博士(後期)課程
パソコン	93.8%	95.7%	96.5%
テレビ	84.2%	83.0%	85.1%
エアコン・クーラー	87.2%	80.9%	82.5%
電話	24.6%	22.2%	36.0%
携帯電話・PHS	98.2%	98.3%	96.1%
映像機器, 音響機器	59.1%	59.5%	55.3%
カメラ	43.0%	49.6%	58.3%
自転車	84.1%	77.8%	72.4%
バイク・原付	21.3%	27.2%	21.3%
自動車	12.2%	20.1%	12.2%
電子レンジ	80.0%	80.2%	80.7%

## 1 サークル活動

## (1) 加入サークル

学部学生の過半数は何らかのサークルに加入していますが, 大学院学生になると修士課程では6割以上, 博士(後期)課程では8割以上の学生が, 「いずれのサークルにも参加していない」と回答しています。もう一つの特徴として, 学部学生は女子の方がサークルに参加している割合が高いのに対し, 修士・博士(後期)課程学生では女子の方がサークルに参加している割合が減っています。大学院学生の方が研究に忙しくなるためサークル参加者が減るのかもしれませんが, サークルに参加していると答えた中で最も多かったのは体育系のサークルでした。

表1. サークルへの加入(複数回答)

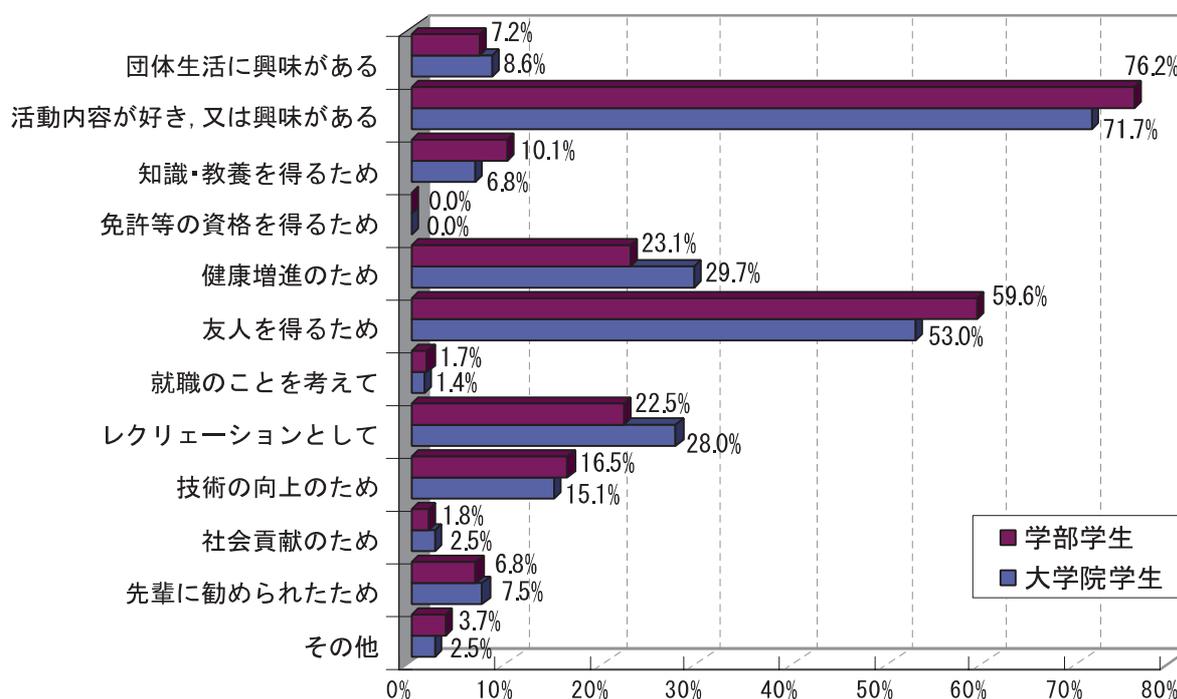
選択項目	学部学生 (男子)	学部学生 (女子)	修士課程 (男子)	修士課程 (女子)	博士(後期) 課程(男子)	博士(後期) 課程(女子)
全学で組織された体育サークルに加入している	27.5%	27.4%	14.0%	12.5%	4.5%	2.0%
全学で組織された文化サークルに加入している	7.8%	14.3%	5.2%	3.0%	1.7%	2.0%
全学で組織された音楽サークルに加入している	6.1%	6.3%	0.7%	3.0%	1.1%	0.0%
学部単位で組織された体育サークルに加入している	10.7%	14.1%	5.6%	3.6%	2.8%	2.0%
学部単位で組織された文化サークルに加入している	3.7%	3.4%	1.1%	1.2%	0.0%	0.0%
学部単位で組織された音楽サークルに加入している	2.2%	2.5%	1.9%	0.6%	0.0%	2.0%
学外のサークルに加入している	7.2%	4.6%	8.6%	9.5%	8.5%	2.0%
学内外いずれのサークルにも加入していない	41.4%	35.0%	64.4%	67.3%	82.5%	90.2%

## (2)サークル加入の理由

### 友人づくりはサークルで

学部学生・大学院学生ともに、サークル加入の理由は、「活動内容が好き、または興味がある」が最も多く、次いで「友人を得るため」でした。興味がある活動をしなが、友人を増やせる良いきっかけとしてサークルに参加している者が多い状況です。

図1.サークルに加入した理由(複数回答)

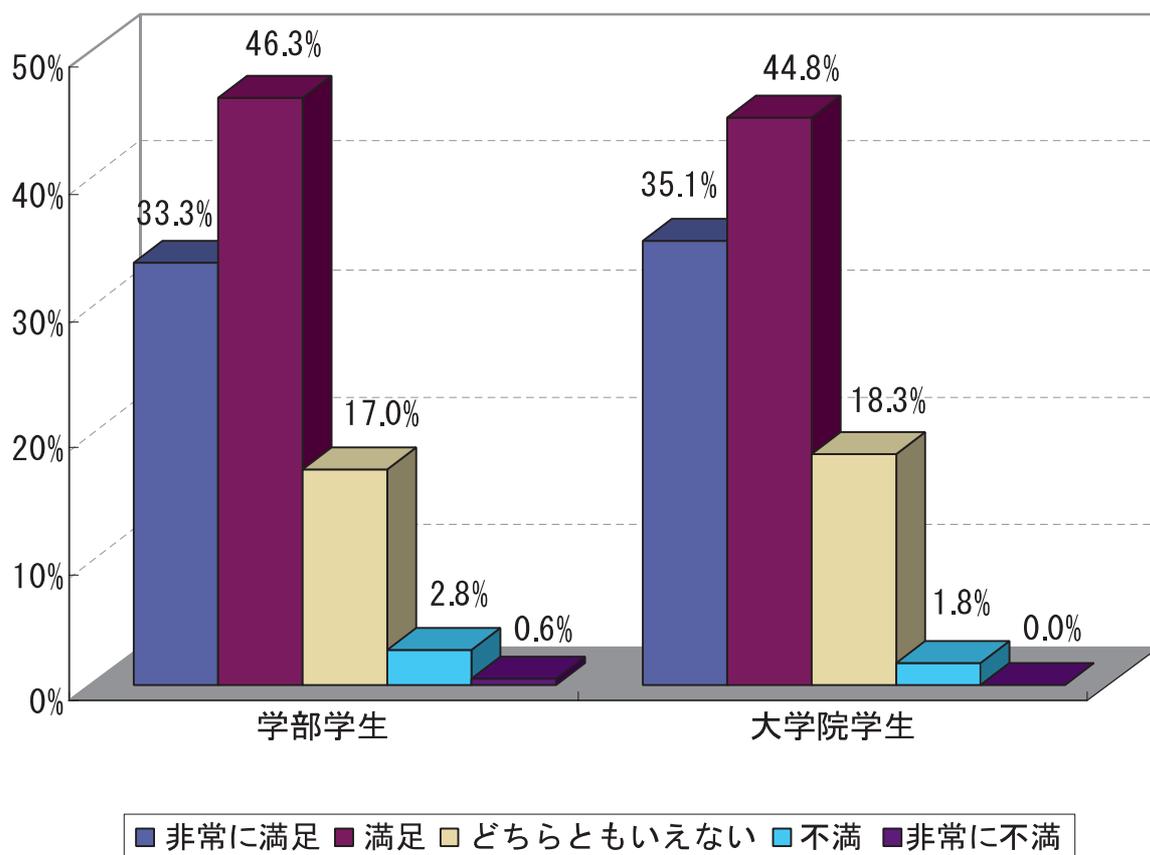


### (3)サークル活動の満足度

約8割が満足

サークル活動について、「非常に満足」「満足」と回答した者は、学部学生・大学院学生ともに全体の約8割を占めていることから、大多数の者は自身のサークル活動に満足していると言えます。

図2. サークル活動の満足度

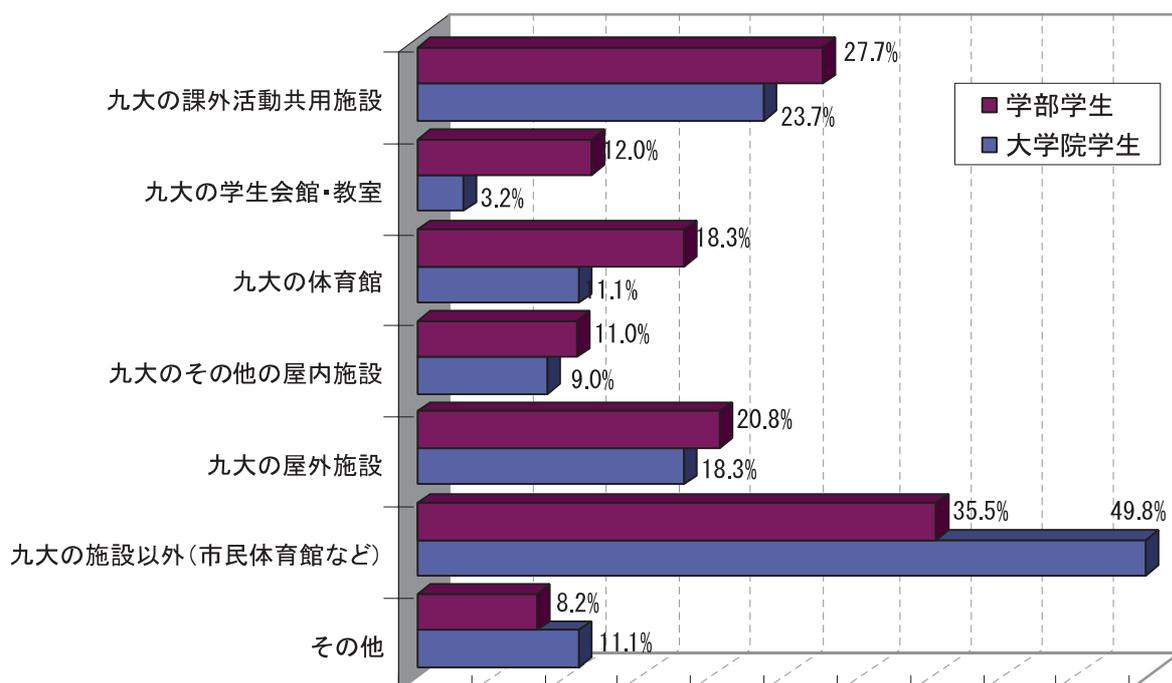


#### (4)サークル活動の場所

##### 学外の施設の利用が最も多い

学部学生・大学院学生ともに、サークル活動に学外の施設を利用している者が最も多く、特に大学院学生は約半数の者が「九大の施設以外」と答えています。反対に本学の「学生会館・教室」や「その他の屋内施設」などを利用すると回答した者は少数でした。

図3.サークル活動の場所(複数回答)

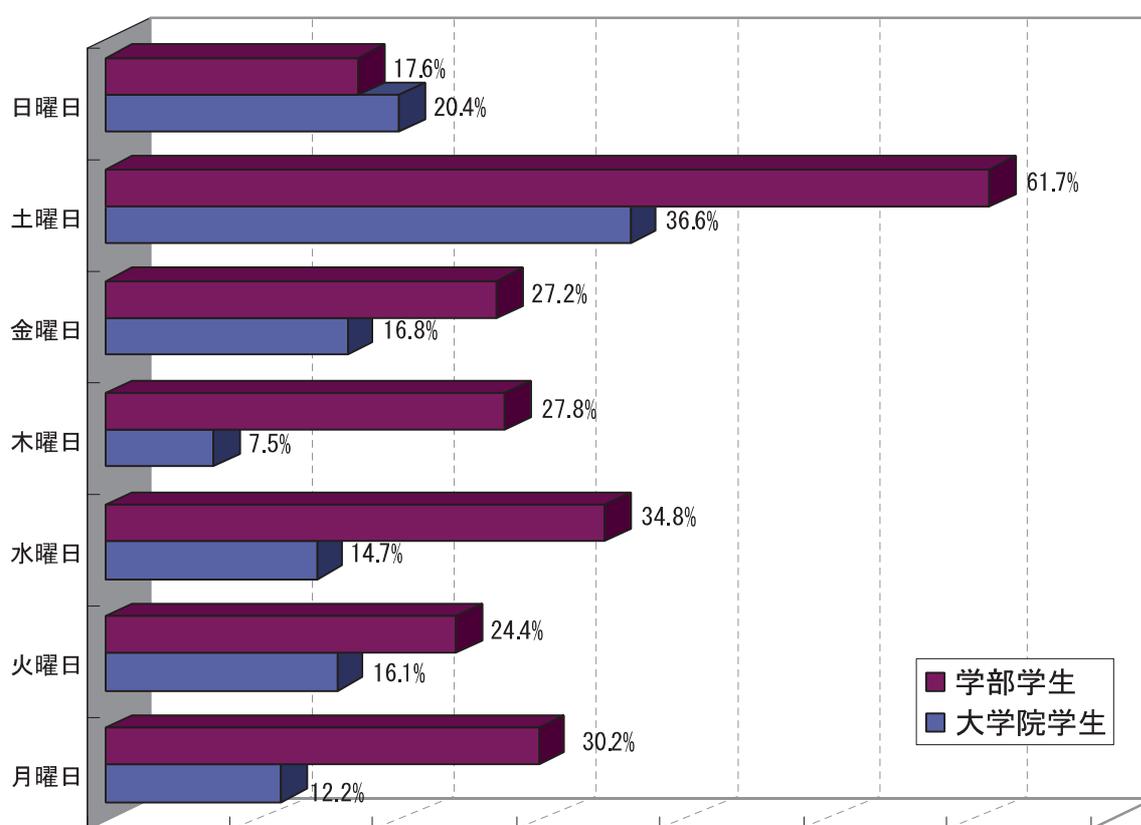


## (5)サークル活動の曜日

### サークルの活動日は土曜日

学部学生・大学院学生ともに、サークル活動は土曜日に行う者が最も多くいます。学部学生では、次いで多いのが水曜日でした。一方、大学院学生は、土曜日に次いで多いのが日曜日でした。学部学生のおよそ3割が平日にサークル活動をし、日曜日はあまり活動を行っていないのに対し、大学院学生は、平日よりも週末を活動時間にあてているようです。

図4. サークル活動の曜日(複数回答)



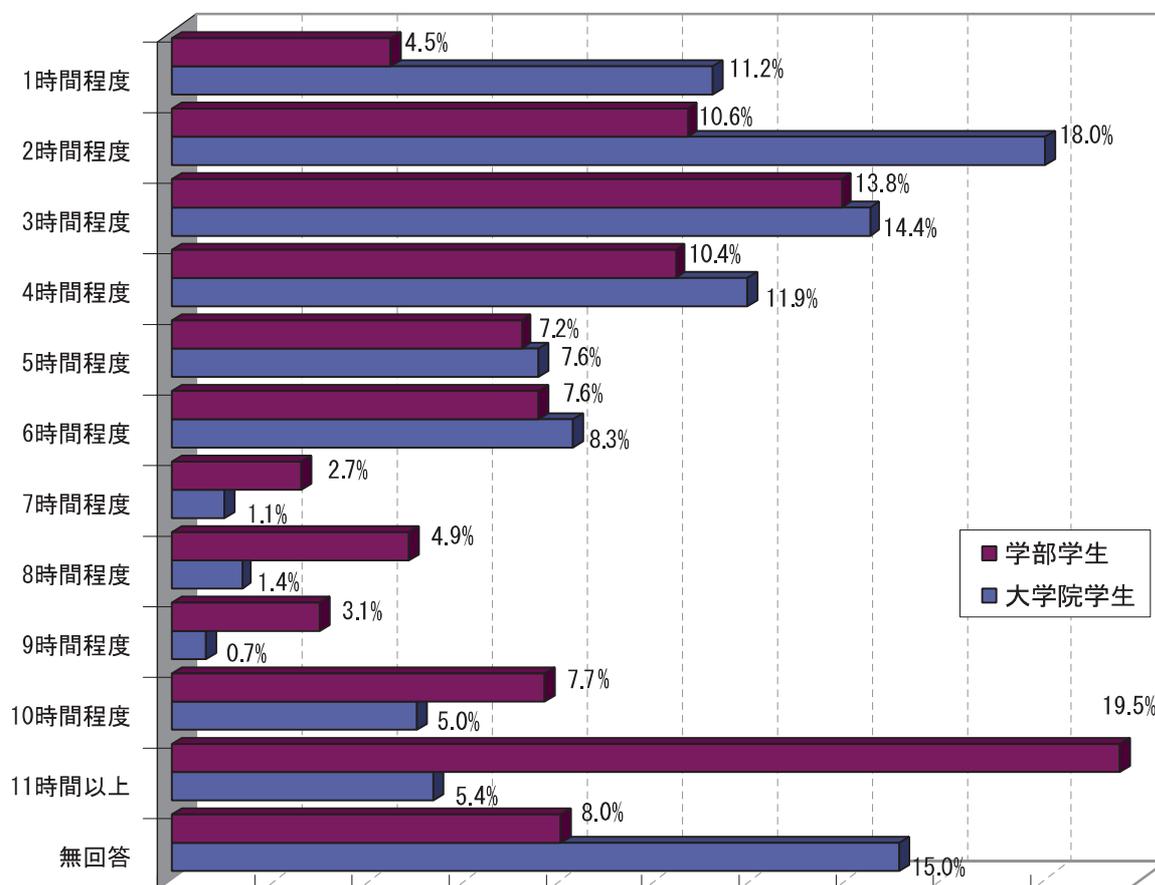
## (6)サークル活動の時間

学部学生は11時間以上,大学院学生は2時間程度

1週間あたりのサークル活動の時間は、学部学生では11時間以上が最も多く、次いで、3時間程度、2時間程度、4時間程度と続きます。こうして見ると、学部学生のサークル活動は、長時間の活動に励むサークルと、限られた時間で趣味程度に活動するサークルに二分されます。一方で、大学院学生では、2時間程度が最も多く、続いて、3時間程度、4時間程度となっており、2時間から4時間が全体の4割強を占めています。

大学院学生は、学部学生に比べて、サークル活動に割く時間はあまり多くない状況です。

図5. 1週間のサークル活動時間

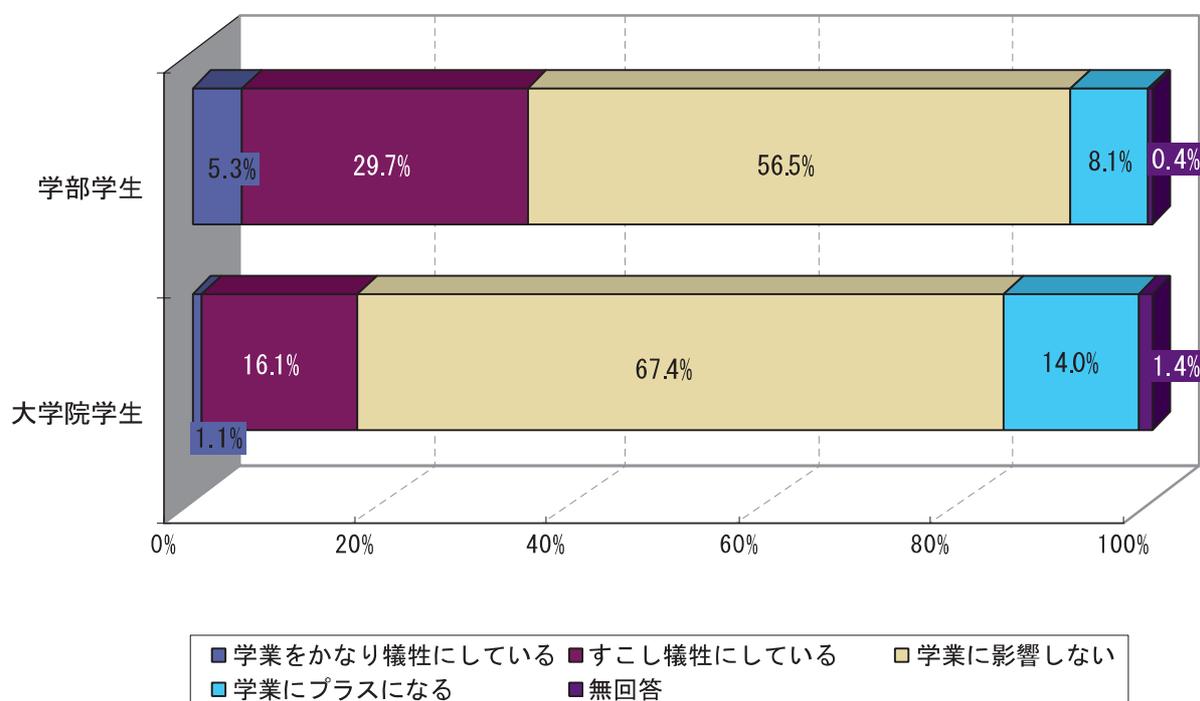


## (7) 学業との関係

### 半数以上が学業と両立

サークル活動が「学業に影響しない」と回答した者は、学部学生で56.5%、大学院学生で67.4%と、半数以上の者が、サークル活動と学業を上手く両立させています。しかしながら、学部学生では、「学業をかなり犠牲にしている」および「すこし犠牲にしている」と回答した者は、合わせて35.0%にのぼり、大学院学生の17.2%を大きく上回っています。また「学業にプラスになる」と回答した者は大学院学生に多く、学部学生の約2倍という結果になっています。

図6. サークルと学業との関係



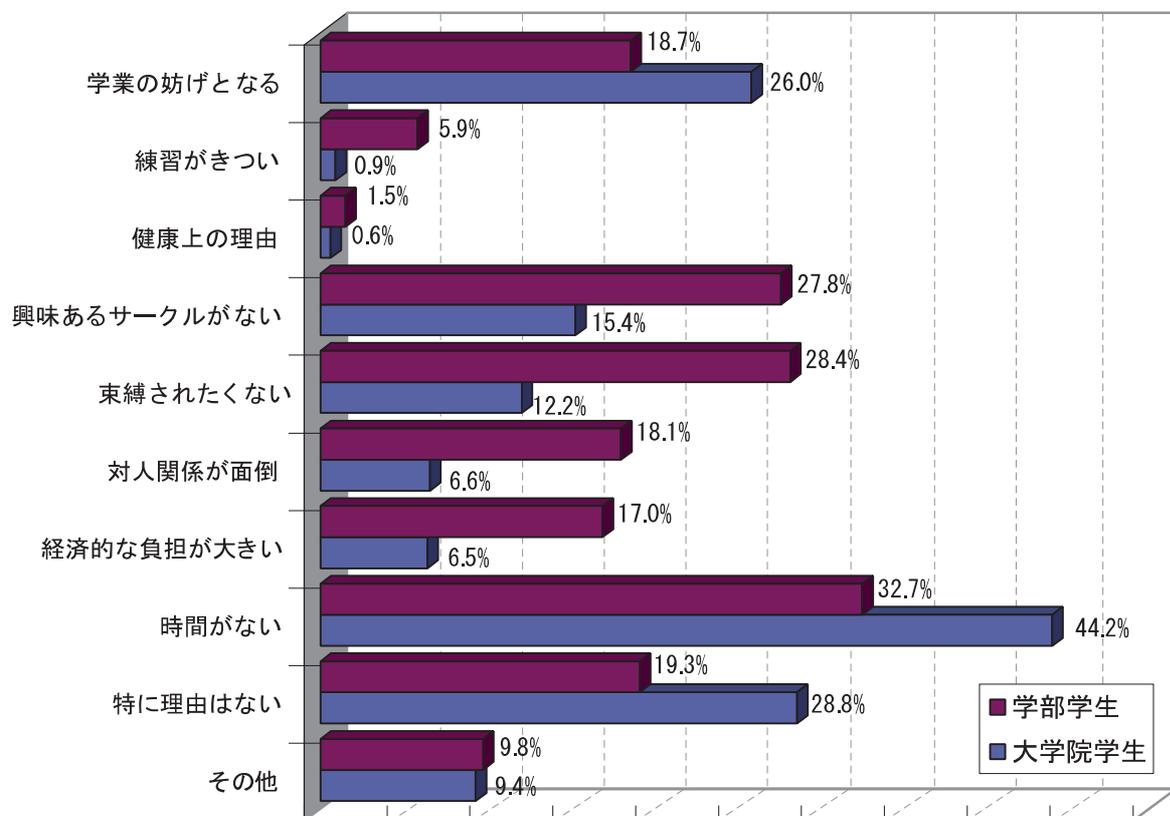
## (8) 加入しない理由

### 忙しくて加入できない

加入しない理由は、学部学生・大学院学生ともに「時間がない」が最も多く、学部学生で約3割、大学院学生で約4割となっています。

特徴的なのは、学部学生では「対人関係が面倒」を理由に挙げる者が大学院学生に比べて約3倍程度多いことです。また、「束縛されたくない」の回答率も「時間がない」に次いで高くなっています。

図7. サークルに加入しない理由(複数回答)



## 2 ボランティア活動

### (1) ボランティア活動の参加

#### 理系よりも文系の方が関心が高い

全体的に、8割前後の者はボランティア活動に参加した経験がありません。なお、「ある」との回答率が最も高いのは、文系の博士(後期)課程の学生で、逆に最も少ないのが、理系の学部学生でした。また、経験はなくとも「参加を希望している」との回答率が最も高いのは、文系の学部学生という結果になっています。全体的に、理系よりも文系の方が、ボランティア活動に関心を持っていると言えるでしょう。

表2. ボランティア活動の参加

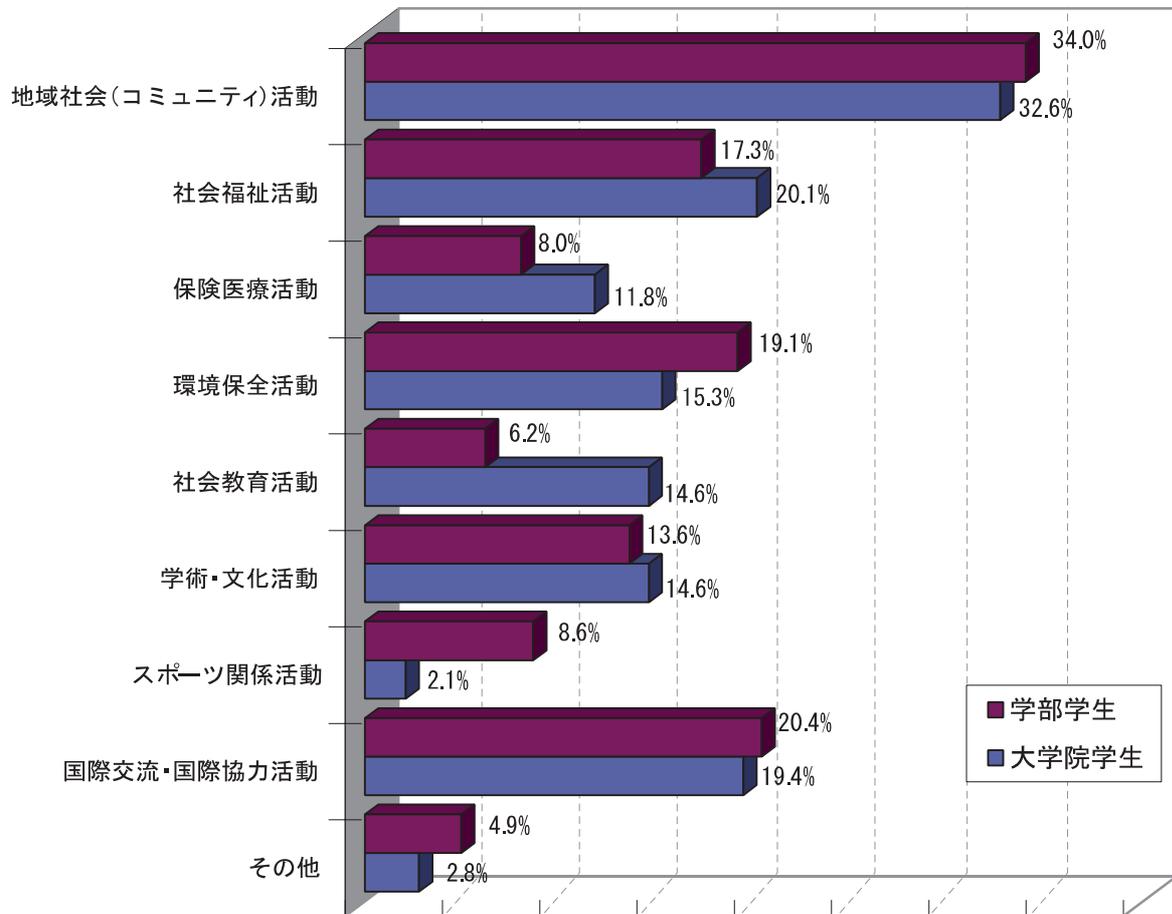
選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
ある	13.9%	11.4%	19.5%	12.6%	25.0%	20.1%
ない	72.9%	79.2%	74.3%	80.5%	63.6%	74.5%
参加したことはないが、 参加を希望している	12.2%	8.6%	5.3%	6.3%	11.4%	5.4%
無回答	1.0%	0.8%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%

### (2) ボランティア活動の内容

#### 環境へ関心が高まる傾向

学部学生・大学院学生ともに「地域社会(コミュニティ)活動」が最も多く、次いで「国際交流・国際協力活動」となっています。前回調査と比較すると、「社会福祉活動」は、学部学生で約30%から17.3%へ、大学院学生で約25%から20.1%へと減少しています。これに代わって増加したのは「環境保全活動」で、学部学生で約10%から19.1%とほぼ2倍に増加しており、大学院学生もわずかながら増加しています。

図8. ボランティア活動の内容(複数回答)

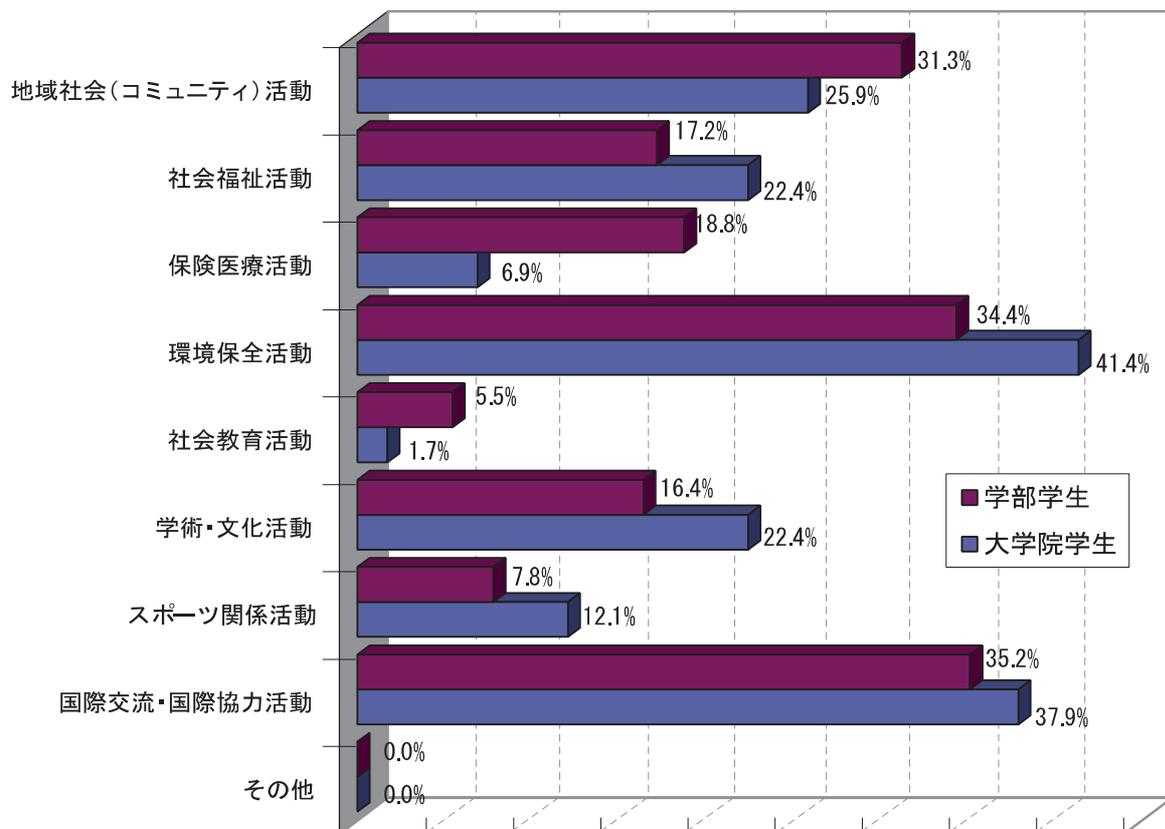


### (3)参加を希望するボランティア活動の内容

#### 環境保全活動がトップ

学部学生・大学院学生ともに、「環境保全活動」「国際交流・国際協力活動」「地域社会(コミュニティ)活動」の回答が多くなっています。特に、大学院学生は「環境保全活動」と回答した者が多く、大学院学生の方がより、環境に関心を持っていることが窺えます。

図9. 参加を希望するボランティア活動の内容(複数回答)



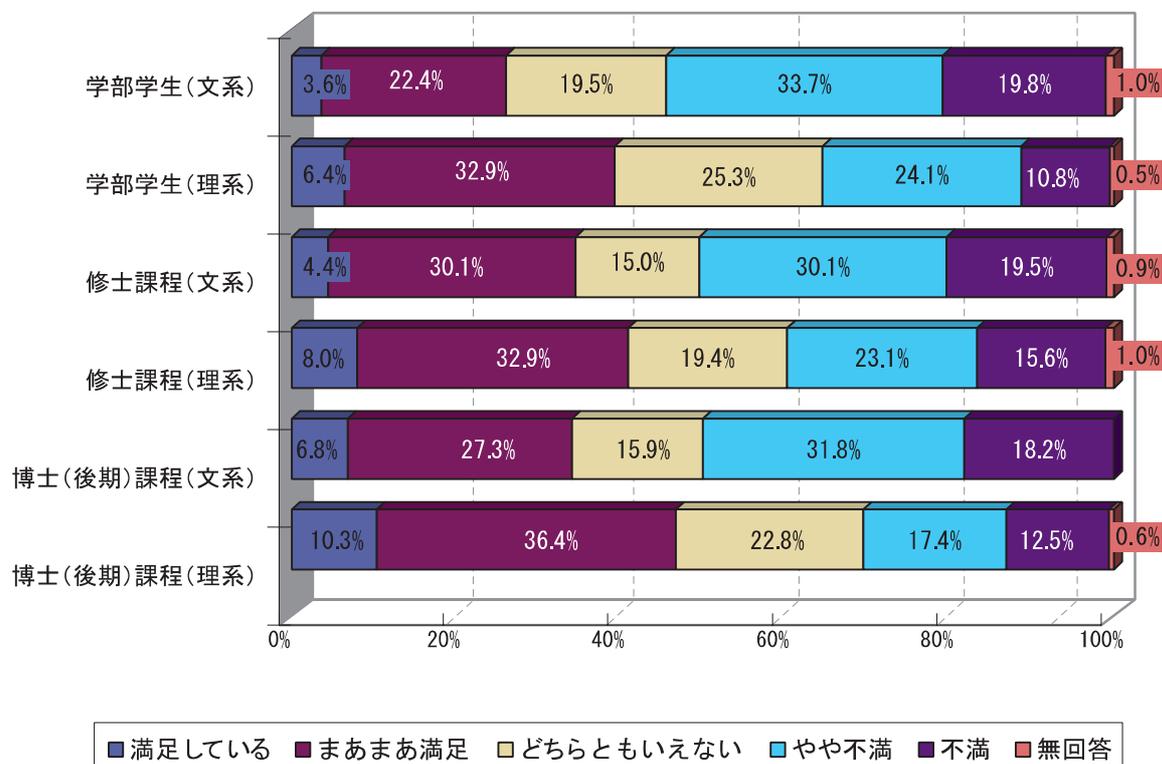
### 3 施設についての満足度

#### (1) 九大の施設への満足度

##### 文系学生の半数が不満

文系と理系で大きく異なった結果が出ています。「満足している」「まあまあ満足している」と回答した者の割合と、「不満」「やや不満」と回答した者の割合を見てみると、理系では学部学生・修士・博士(後期)課程学生を問わず、満足が不満を上回っているのに対して、文系は学部学生、修士・博士(後期)課程学生ともに不満が満足を上回っており、文系のおよそ半数からそれ以上の者が、施設の現状に何らかの不満を抱いています。

図10. 施設についての満足度



## (2)設備充実を希望する施設

### 学生の不満は福利厚生施設に集中, 大学院学生は講義室・実験室・研究室に不満

全体的に最も設備の充実が求められているのは、福利厚生施設(食堂・売店等)で、課程の別を問わず、半数近い学生が改善を求めています。「講義室・実験室・研究室」については、文系・理系ともに博士(後期)課程の学生に多く、およそ半数に上ります。また「休憩・談話のための控室・談話室」と回答したのは文系の学部学生に多く、約4割と他を抜き出して高い結果になっています。「トイレ」については、文系の学部学生が圧倒的に多く約42%で、最も少ない理系の博士(後期)課程のおよそ2倍という結果でした。なお、学部学生に限らず、トイレに関しては、理系よりも文系に設備の充実を望んでいる者が多くいます。

表3. 希望する施設の設備充実(複数回答)

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
講義室・実験室・研究室	35.3%	35.2%	45.2%	35.4%	51.7%	51.5%
図書館	27.6%	26.6%	35.6%	19.0%	34.5%	25.8%
休憩・談話のための控室・談話室	43.0%	28.0%	32.9%	18.7%	13.8%	24.7%
福利厚生施設(食堂・売店等)	48.0%	41.5%	54.8%	57.3%	55.2%	51.5%
健康相談室・学生生活修学相談室	2.7%	0.9%	1.4%	1.5%	6.9%	1.0%
課外活動施設	10.4%	17.0%	4.1%	11.7%	3.4%	8.2%
体育施設	7.7%	20.9%	12.3%	31.0%	13.8%	16.5%
会議・集会のためのホール・会議室	3.6%	1.1%	4.1%	3.5%	3.4%	3.1%
学生寄宿舍	5.9%	5.3%	8.2%	9.4%	6.9%	8.2%
駐輪・駐車場	16.7%	21.7%	5.5%	25.7%	13.8%	27.8%
緑地帯	7.2%	9.7%	4.1%	11.1%	10.3%	9.3%
トイレ	41.6%	28.5%	32.9%	14.6%	20.7%	12.4%
その他	3.2%	6.1%	5.5%	9.9%	10.3%	5.2%

1 利用目的

学部学生は試験勉強に、大学院学生は論文のための文献探しに利用

学部学生では「試験勉強」で利用するのが圧倒的に多く、理系は約6割、文系は約5割が占めています。次いで多いのは、理系が「学術図書(雑誌)の閲覧」なのに対し、文系は「一般図書(雑誌)の閲覧」でした。理系の学部学生は一般図書よりも学術図書の閲覧で利用する傾向があります。

一方、大学院学生は「学術図書(雑誌)の貸出」「学術図書(雑誌)の閲覧」と「文献複写」の回答が最も多く、研究を中心とし図書館を利用しています。

図1. 学部学生の図書館の利用目的(複数回答)

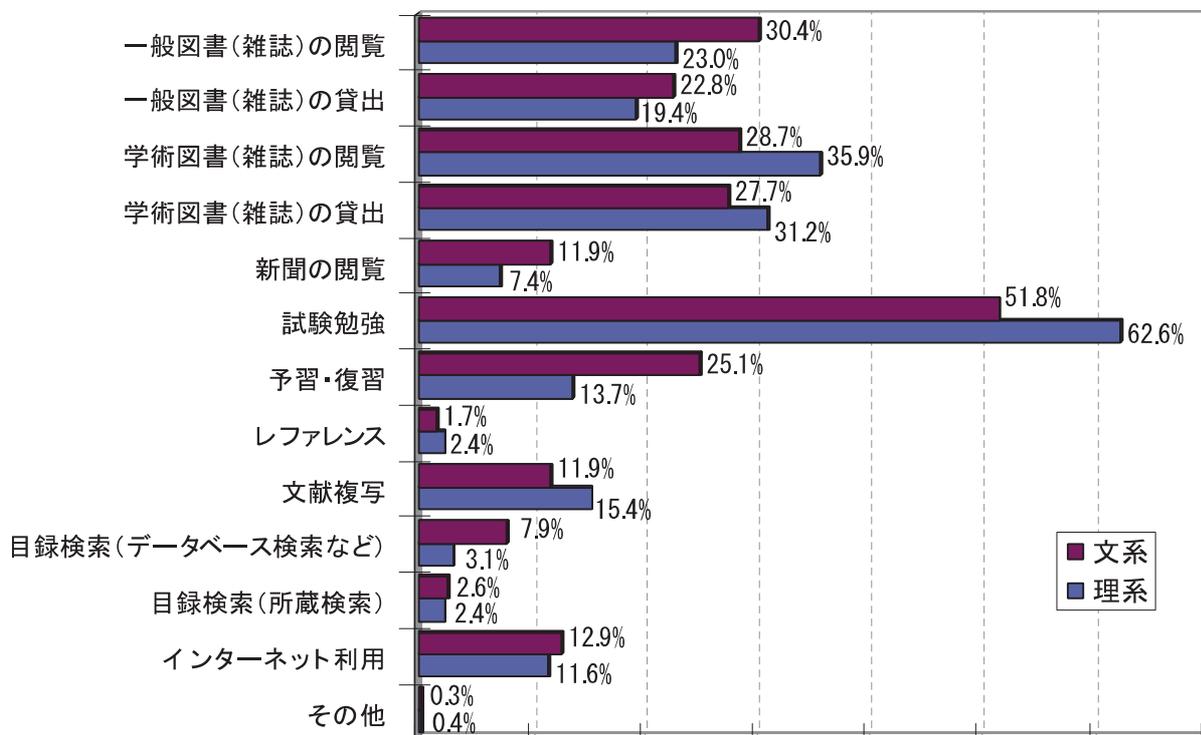


図2. 修士課程学生の図書館の利用目的(複数回答)

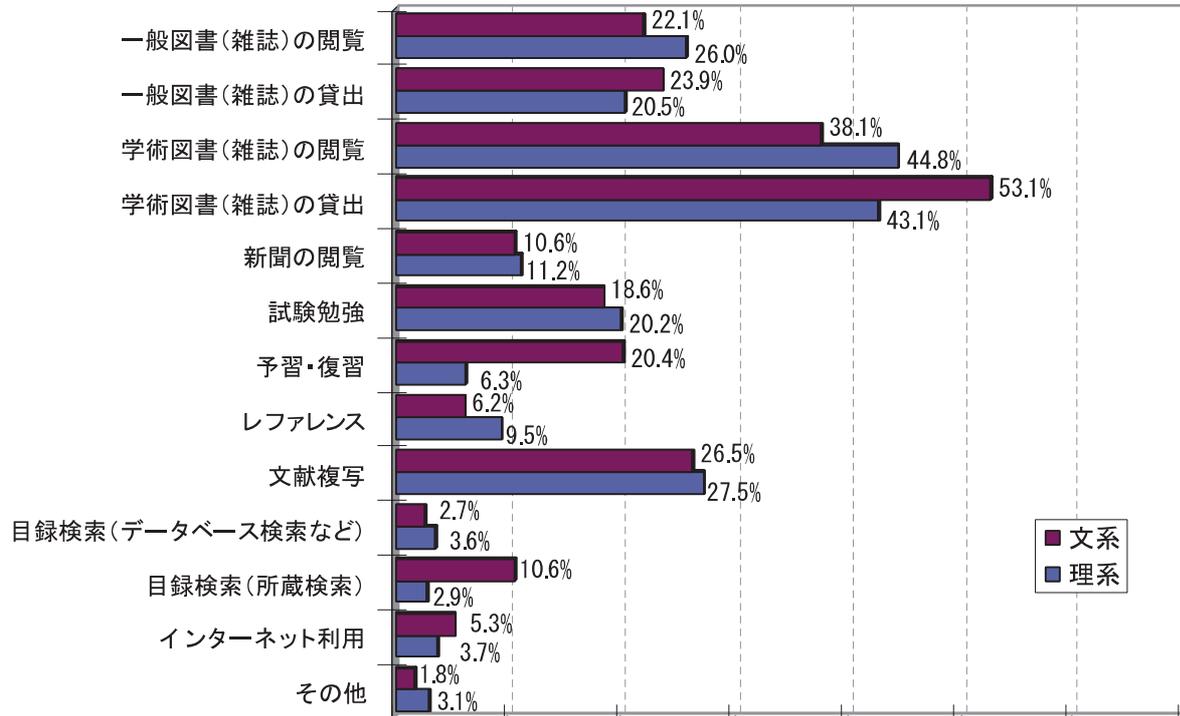
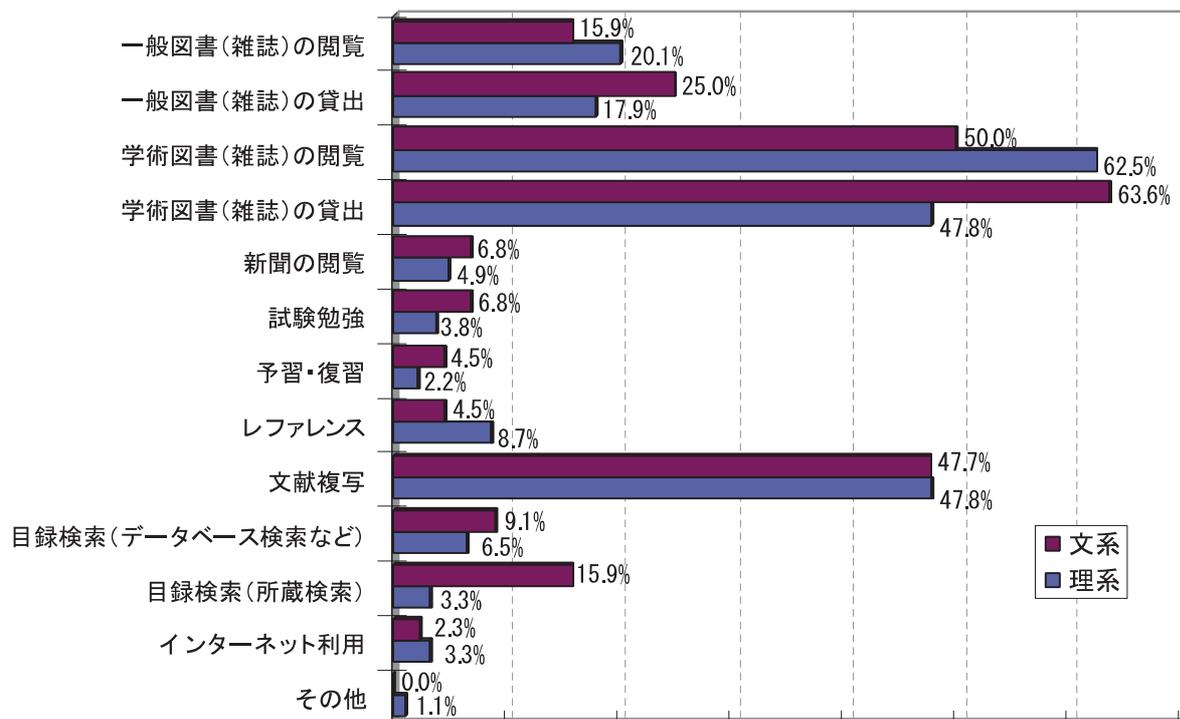


図3. 博士(後期)課程学生の図書館の利用目的(複数回答)



## 2 1週間の利用時間

### 約7割の人が3時間未満

全体的に「1時間未満」と回答した者が最も多く、とりわけ理系の修士・博士(後期)課程学生は7割を超える回答率でした。「1時間未満」に「1時間以上3時間未満(1時間～)」まで合わせれば、すべての課程を通じて約7割の回答率です。「5時間以上10時間未満(5時間～)」と答えたのは理系の修士・博士(後期)課程学生を除くと全体的に2割前後で、少なめです。学部学生も修士・博士(後期)課程学生とともに、理系より文系の方が長く利用する傾向が見られます。

表1.1週間の利用時間

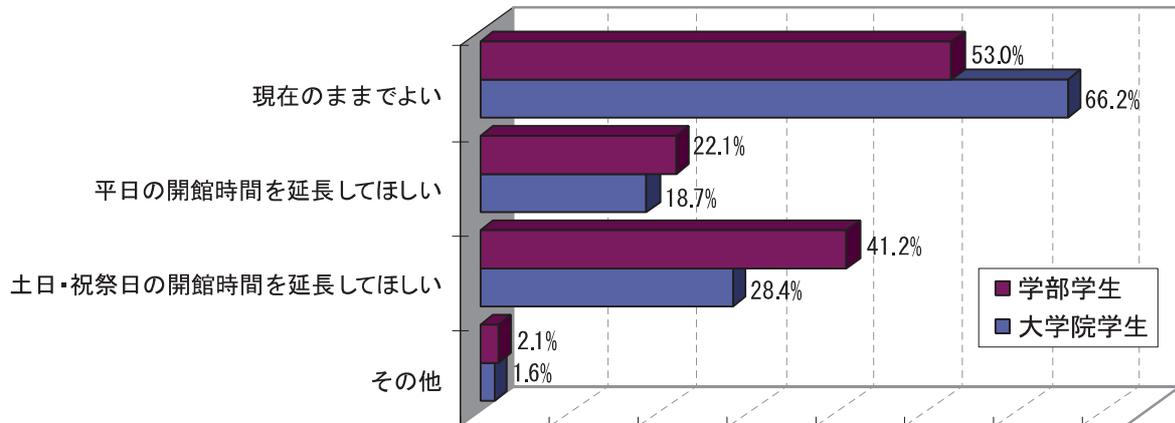
選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
1時間未満	39.2%	57.1%	33.5%	70.7%	50.1%	71.5%
1時間～	25.0%	22.5%	31.8%	19.6%	20.4%	14.4%
3時間～	20.1%	10.6%	11.9%	5.3%	11.6%	9.6%
5時間～	8.9%	5.2%	8.5%	2.4%	12.3%	2.6%
10時間～	2.8%	1.3%	8.9%	0.6%	5.4%	0.9%
15時間～	1.9%	1.1%	1.7%	0.0%	0.1%	0.8%
20時間以上	1.1%	1.4%	3.2%	0.1%	0.0%	0.0%
無回答	1.0%	0.8%	0.5%	1.3%	0.1%	0.2%

## 3 開館時間

### 約4割の学部学生が土日・祝祭日の延長を希望

全体的に「現在のままでよい」と回答した学生が最も多く、過半数の者が満足しています。「平日の開館時間を延長してほしい」と答える学生よりも「土日・祝祭日の開館時間を延長してほしい」と答える学生の方が多く、特に学部学生の約4割が望んでいます。

図4. 開館時間について(複数回答)



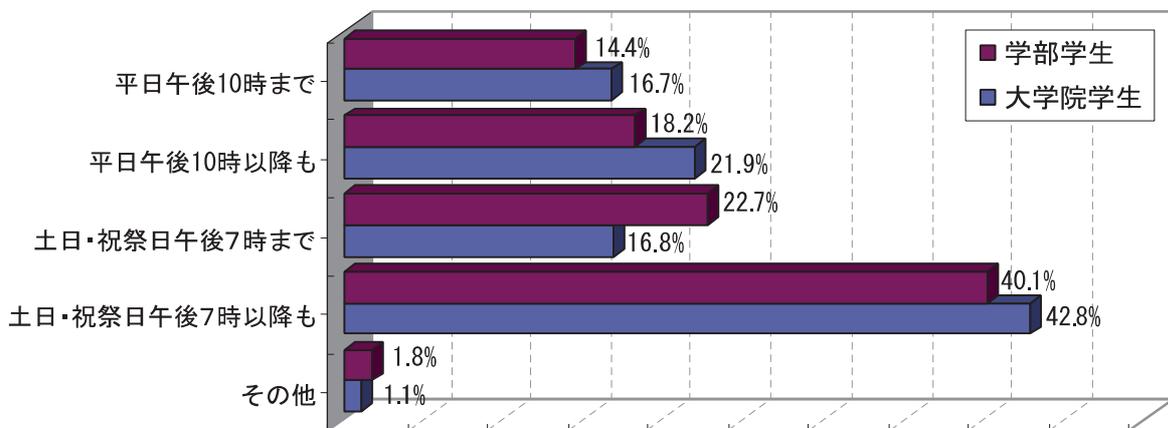
## 4 開館時間の要望

約7割の人が3時間未満

開館時間の設問で延長を希望する回答をした者については、その理由も答えてもらいました。

学部学生・大学院学生の約4割が、「土日・祝祭日も午後7時まで開館してほしい」と望んでいます。また、大学院学生の約2割は「平日午後10時以降も開館してほしい」と回答しています。これは普段夜遅くまで大学で研究している大学院学生の生活スタイルが反映されていると考えられます。

図5. 開館時間の要望(複数回答)

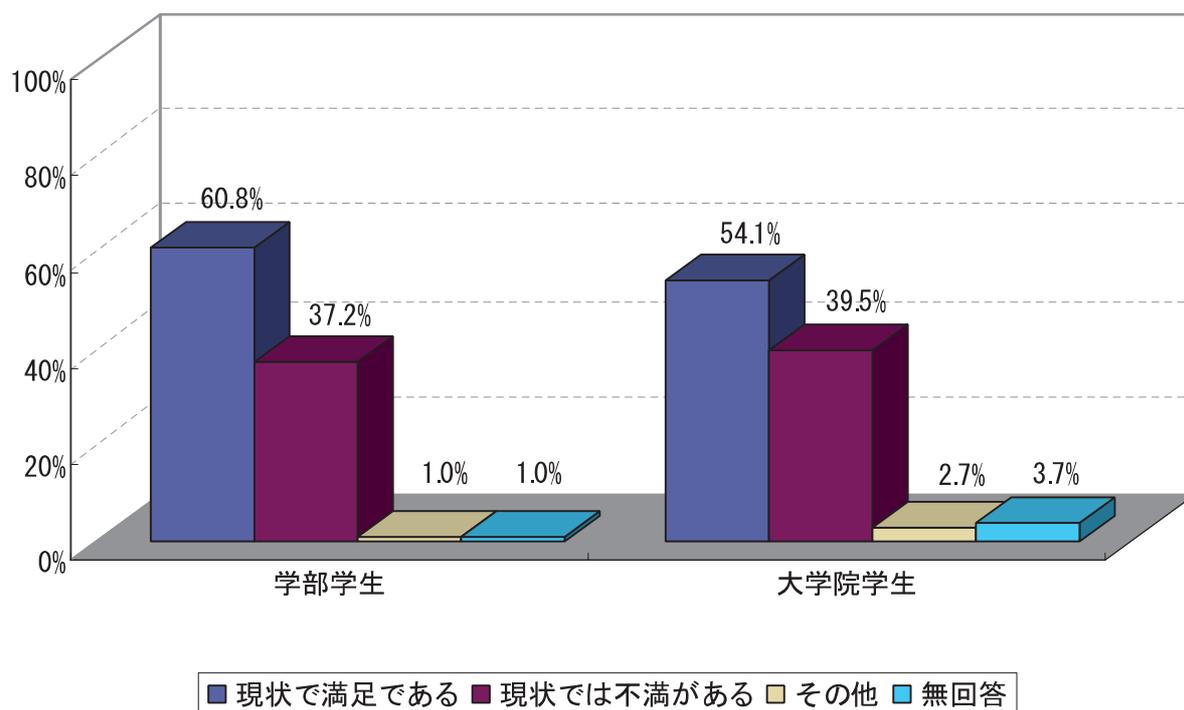


## 5 満足度

満足と不満は6:4

学部学生・大学院学生とも「現状で満足である」と回答したの方がやや多くなっていますが、約4割の者は「現状に不満がある」と回答しています。僅差ですが大学院学生の方が少し不満の多い結果となりました。

図6. 図書館の満足度



## 6 改善点について

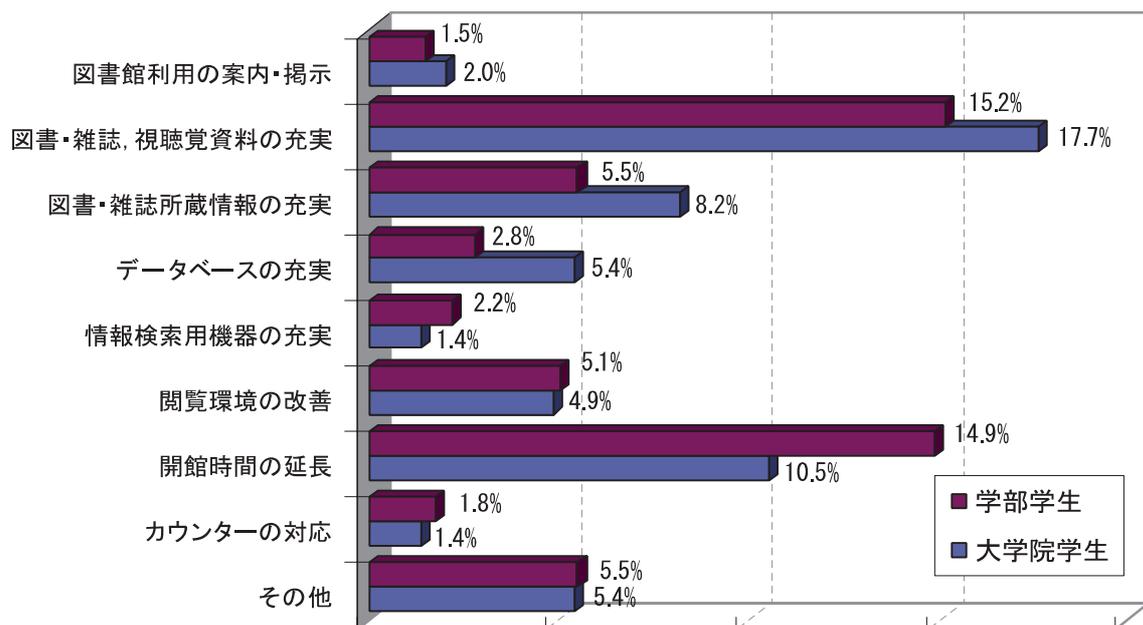
### 改善点は図書・雑誌、視聴覚資料の充実と開館時間

満足度の設問で「現状では不満がある」と回答した者に、その理由を答えてもらいました。

学部学生も大学院学生もともに「図書・雑誌、視聴覚資料の充実」と回答した者が最も多く、次いで、「開館時間の延長」でした。また大学院学生においては「図書・雑誌所蔵情報の充実」の改善を求める回答もやや高い割合を占めています。

不満を持つ学生の多くは、図書館の運用面では「開館時間の延長」を望み、設備面では「図書・雑誌、資料」など内容の充実を求めています。また、大学院学生は学部学生に比べて「図書・雑誌所蔵情報の充実」「データベースの充実」などを求める割合が高くなっています。一方、学部学生では「情報検索用機器の充実」を求める割合が大学院学生より高くなっています。このことから大学院学生は研究の資料集めの施設としての図書館機能の充実を求めている傾向が強いのに対し、学部学生はインターネットなどによる情報検索機能の充実を求める傾向が強いとと言えます。

図7. 図書館の改善点について(複数回答)



## 1 卒業(修了)後の進路希望

## 進路は圧倒的に「就職」希望

学部卒業あるいは修士課程修了後の進路希望として「就職」と回答した割合は、文系では学部学生と修士課程学生は共に約6割、理系では学部学生が約4割、修士課程学生は約8割でした。進路希望として「九大大学院」が「就職」を上回ったのは、理系の学部学生のみでした(就職:38.1%, 九大大学院:43.2%)。

前回調査では、文系学部学生のみが「九大大学院」より「就職」が上回っていましたから、進学を希望する学生の割合が数年で大きく変化しました。

一方、博士(後期)課程の学生は、「就職」を約8割のものが希望する以外、「海外留学」が約1割見られます。

表1. 卒業(修了)後の進路希望

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
就職	61.5%	38.1%	61.2%	79.9%	82.3%	76.9%
九大大学院	22.0%	43.2%	19.1%	9.7%	0.0%	0.3%
九大以外の大学院	5.4%	8.0%	4.1%	2.7%	2.5%	1.3%
九大・九大以外の大学へ 編入学・転入学	0.0%	0.7%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
海外留学	0.7%	2.1%	0.0%	0.2%	9.8%	9.8%
考えていない	7.0%	5.8%	5.2%	5.6%	0.0%	8.4%
その他	2.3%	1.7%	9.6%	1.7%	5.4%	2.1%
無回答	1.1%	0.4%	0.8%	0.1%	0.0%	1.2%

## 2 就職について重要視すること

### 就職では能力を発揮したい

就職において、文系・理系を問わず、すべての課程において「能力が発揮できる」を最も重要視しています。特に文系の修士課程学生、博士（後期）課程学生では7割を超えています。進学して身に着けた高度な専門性を、就職において活かしたいという大学院学生の考え方が窺えます。

表2. 就職について重要視すること（複数回答）

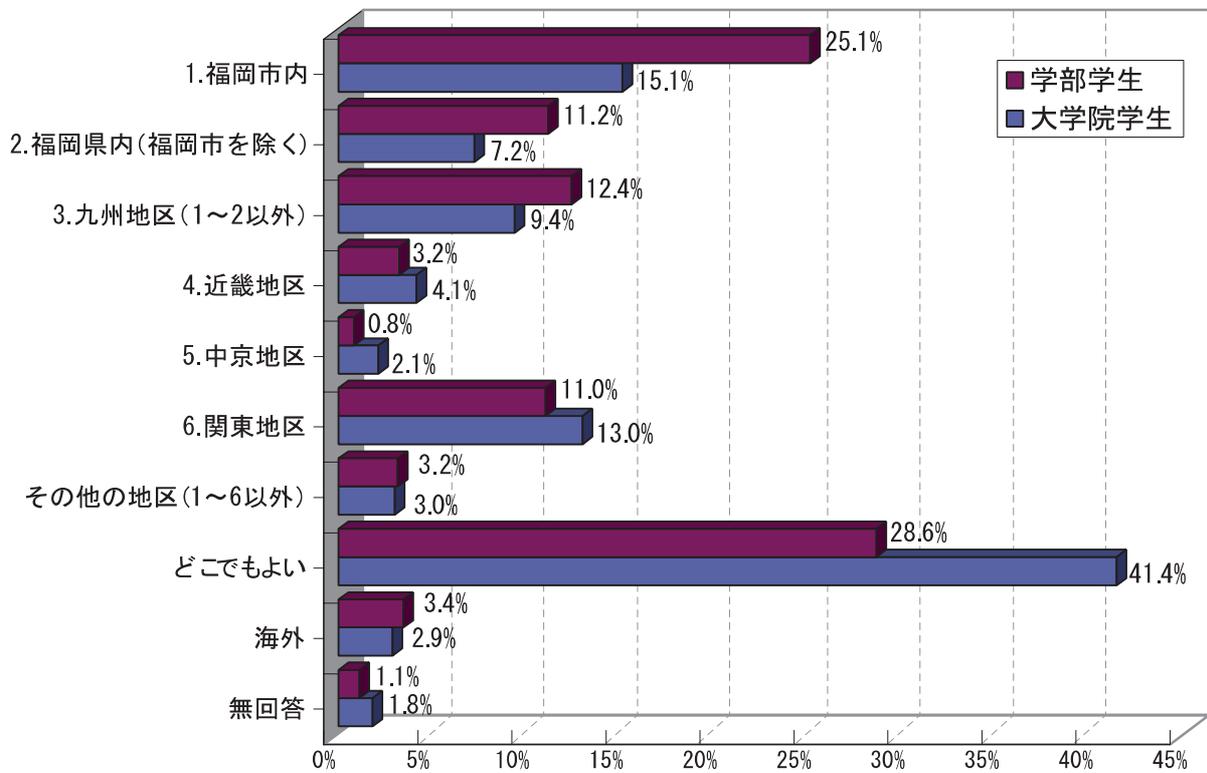
選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
能力が発揮できる	49.5%	59.4%	72.6%	53.0%	77.3%	74.5%
就職先の将来性や安定性	43.6%	47.1%	25.7%	46.7%	25.0%	32.1%
就職先の社会的評価	9.2%	6.6%	7.1%	7.3%	4.5%	4.9%
給与	37.3%	35.6%	28.3%	26.3%	34.1%	27.7%
自由時間・休暇	19.5%	13.4%	15.0%	15.8%	0.0%	7.6%
福利厚生	12.9%	8.0%	8.0%	17.8%	9.1%	9.2%
勤務地の地理的条件	9.2%	9.9%	15.0%	16.3%	25.0%	13.6%
家庭の事情	1.7%	3.0%	2.7%	1.9%	11.4%	8.2%
その他	0.7%	2.0%	1.8%	4.2%	2.3%	1.6%
無回答	1.7%	0.8%	2.7%	0.3%	0.0%	1.6%

### 3 希望する勤務地

#### 大学院学生は勤務地にこだわらない

希望する勤務地については、学部学生・大学院学生ともに「どこでもよい」が最も多くなっていますが、大学院学生では、41.4%であるのに対して、学部学生では28.6%にとどまっており、「福岡市内」の25.1%とあまり差がついていません。「就職について重要視すること」の回答とあわせ、大学院学生は勤務地より能力が発揮できることなど、他の条件を優先させる傾向が見られます。

図1. 希望する勤務地



## 4 就職について大学に希望すること

### 企業説明会を開催してほしい

就職に関する大学への要望については、学部学生と大学院学生、文系と理系で回答に差が見られます。文系の学部学生については、「企業説明会の開催」が49.8%、次いで「ガイダンスの充実」が40.9%で第2位となっています。その他、「公務員等説明会の充実」が22.8%と、理系の学部学生や大学院学生に比べて高くなっています。

理系の学部学生については、「企業説明会の開催」(36.7%)、「ガイダンスの充実」(39.7%)が、ともに約4割でした。その他、「教員の助言・指導」も36.3%で、ほぼ同じ割合となっています。

文系の大学院学生の場合、「教員の助言・指導」が34.4%で最も多くなっていますが、回答にはバラツキが見られます。理系の大学院学生については、「企業説明会の開催」が43.7%で最も多くなっています。また、大学院学生の場合、文系・理系ともに「特にない」を選んだ者が2割を超えています。指導教員の助言や指導とあわせ、専門性の高い学生の就職支援には、個々の事情に応じた多様な対応が望まれているといえます。

表3. 就職について大学に希望すること(複数回答)

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	大学院学生 (文系)	大学院学生 (理系)
企業説明会の開催	49.8%	36.7%	17.8%	43.7%
公務員等説明会の充実	22.8%	10.8%	8.3%	7.2%
就職活動についてのガイダンスの充実	40.9%	39.7%	22.3%	30.4%
就職情報室の充実	21.8%	25.1%	18.5%	19.8%
就職相談の充実	20.1%	22.5%	13.4%	18.6%
求人票の閲覧方法の改善	6.9%	7.0%	8.3%	9.4%
OB・OG等の就職先名簿の閲覧	13.5%	17.4%	18.5%	19.3%
教員の助言・指導等	21.8%	36.3%	34.4%	28.2%
特にない	12.5%	14.0%	26.8%	22.0%
その他	1.0%	1.2%	3.2%	1.8%
無回答	4.0%	1.2%	8.9%	1.0%

1 海外渡航

(1) 海外渡航の有無と回数

大学院学生の6割以上、学部学生の約8割は海外渡航経験が「ない」と答えています。「ある」と回答した者も「1回」と答えた者が高い割合を示しており、何度も海外渡航する学生は少ない状況です。

図1. 海外渡航の経験

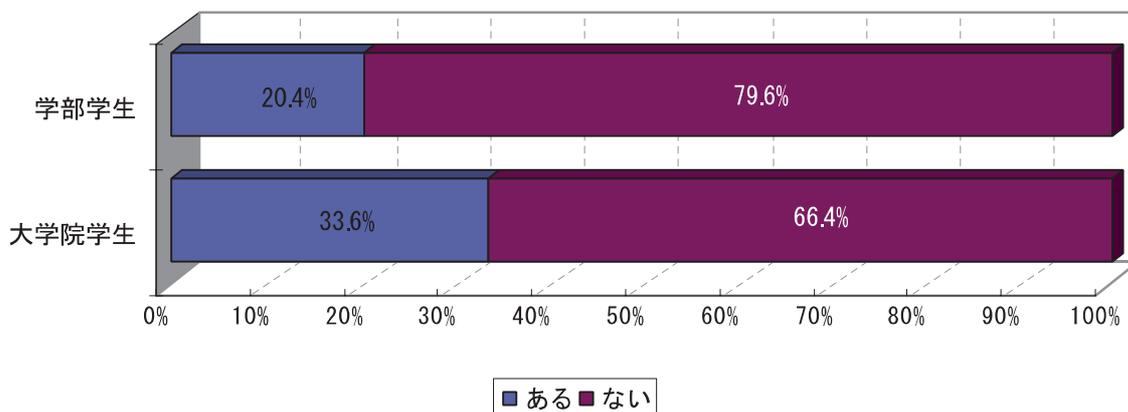
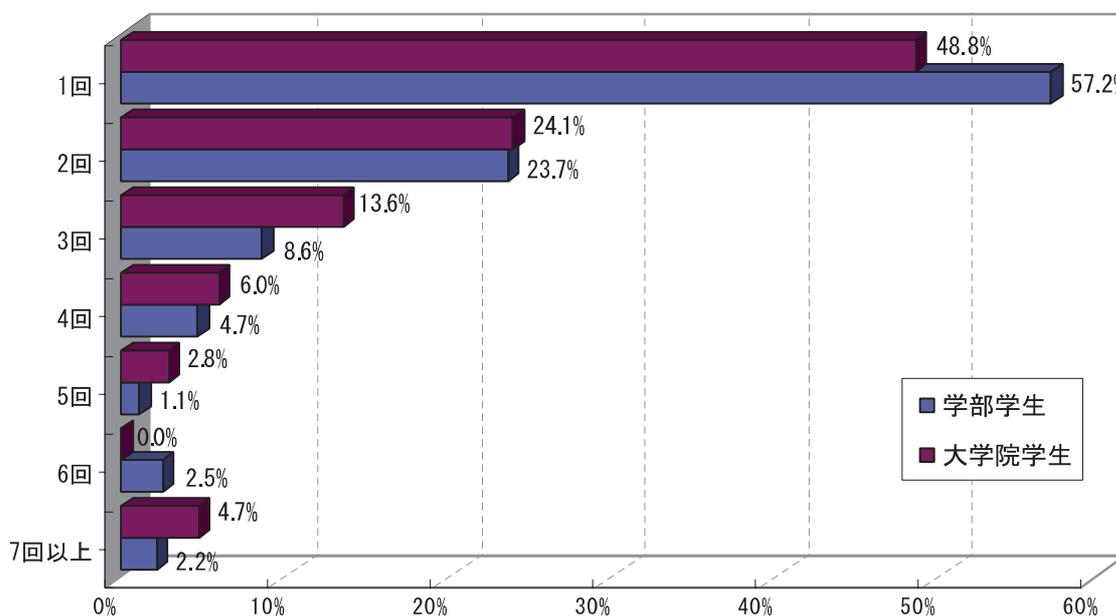


図2. 海外渡航回数

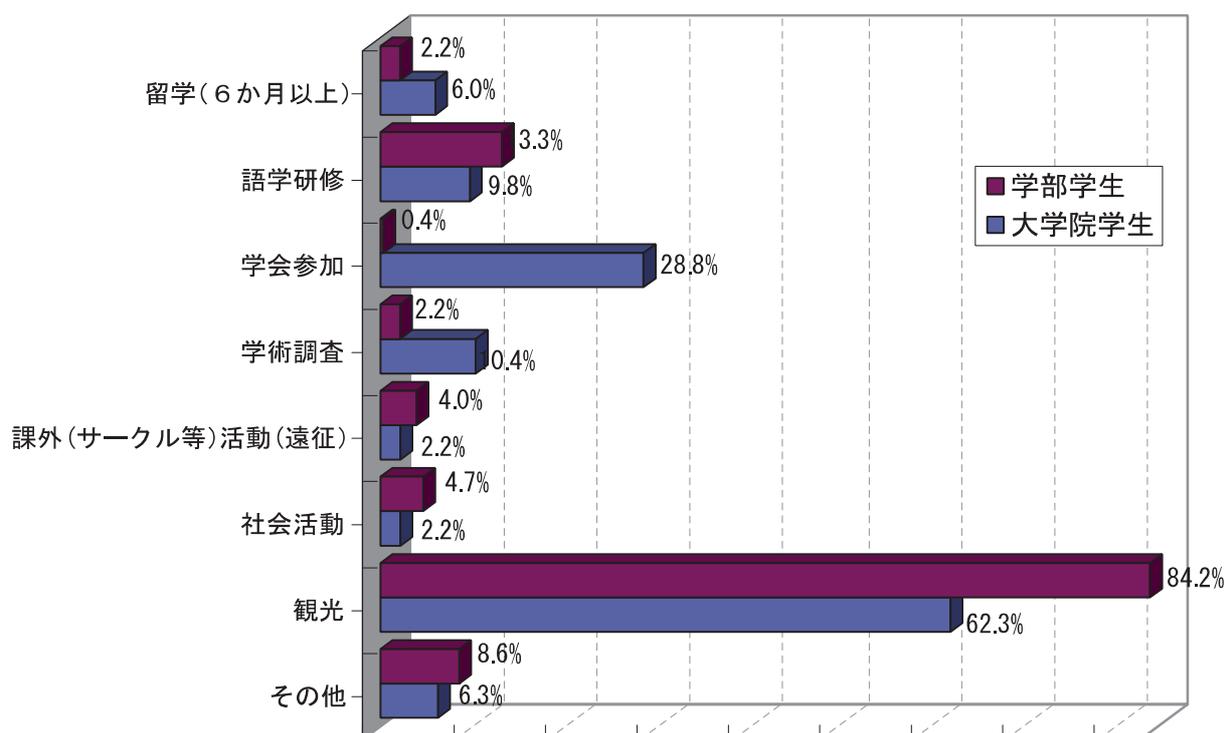


## (2) 海外渡航の目的

観光が圧倒的に1位, 大学院学生は学会参加でも

学部学生・大学院学生ともに、「観光」を目的とした海外渡航が圧倒的に多い回答でした。大学院学生に関しては、「学会参加」と答えた者が約3割います。

図3. 海外渡航の目的(複数回答)



## (3) 渡航経験者の海外渡航先

東アジアが一番多い

学部学生も大学院学生もともに、「東アジア(中国・韓国など)」が最も多くなっています。前回調査と比較して変わっていませんが、「東アジア(中国・韓国など)」が学部学生・大学院学生ともに増加しています。次に多い「ヨーロッパ(CIS諸国を除く)」も前回の調査と順位は同じですが、「東アジア」とは逆に、前回よりも減少しています。

表1. 渡航経験者の海外渡航先(複数回答)

選 択 項 目	学 部 学 生	大 学 院 学 生
東アジア(中国・韓国など)	11.2%	19.1%
東南アジア	4.5%	8.0%
南アジア(インドなど)	0.2%	0.6%
西・中央アジア(イラン・シリアなど)	0.2%	0.3%
アフリカ	0.2%	0.6%
ヨーロッパ(C I S諸国を除く)	5.9%	10.2%
C I S諸国(旧ソ連邦)	0.1%	0.2%
北アメリカ(ハワイ・グアムを除く)	3.2%	8.9%
南アメリカ	0.4%	0.1%
オセアニア・太平洋諸島	2.6%	4.4%
その他	0.7%	0.2%

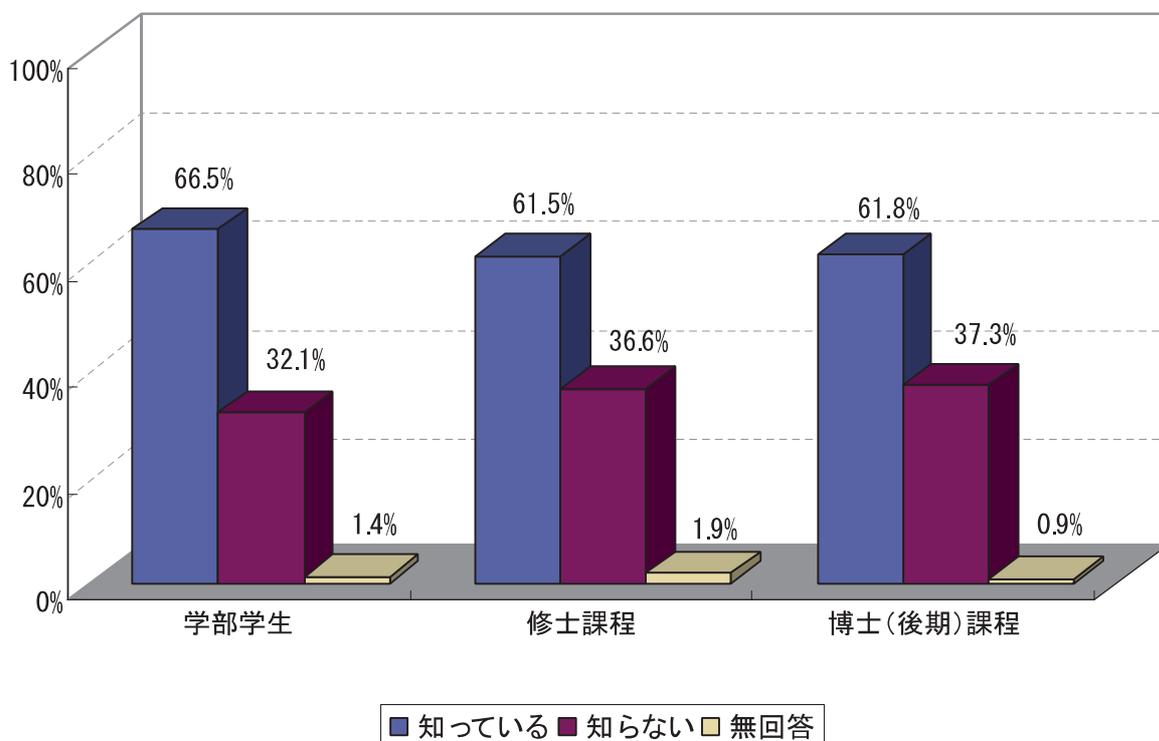
## 2 海外留学

### (1) 交換留学制度の認知度

3割以上の人知らない

全体的に、3割以上の者が「知らない」と答えていますが、学部学生よりも大学院学生の方が数%ですが認知度は低い状況です。

図4. 交換留学制度について

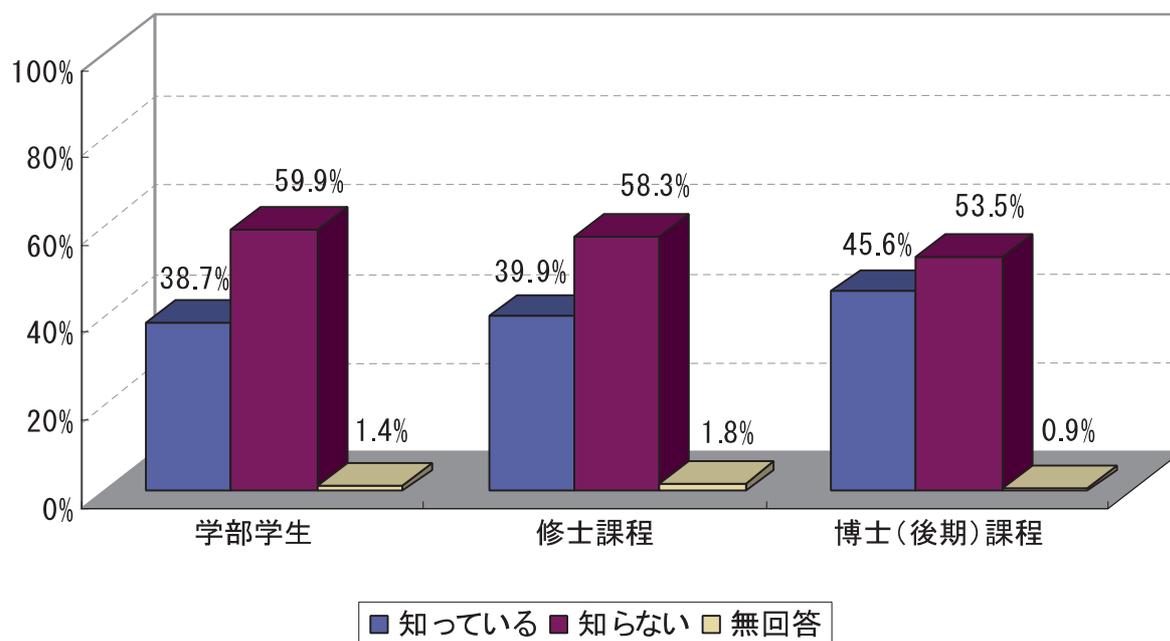


## (2) 留学のための奨学金や渡航費補助制度の認知度

過半数の人が知らない

課程が上がるにつれて、少しずつ認知度は上がり、博士(後期)課程の学生では約4割半となっていますが、過半数の学生には知られていません。

図5. 留学のための奨学金や渡航費用補助制度について

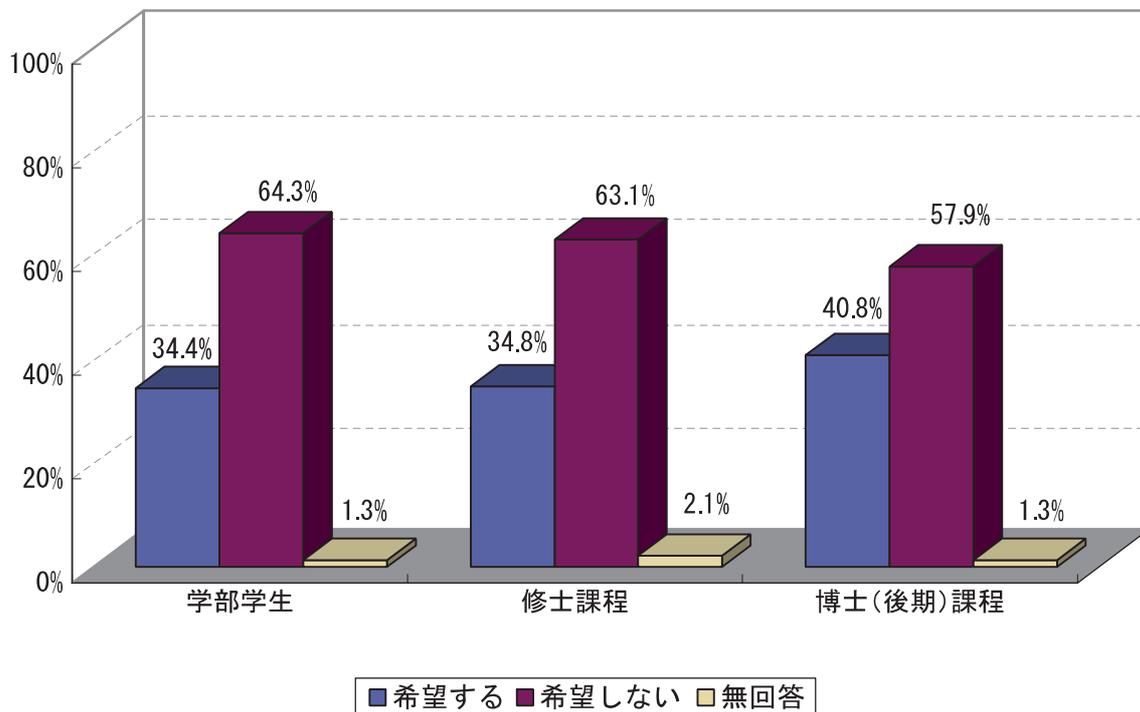


## (3) 大学主催の海外語学研修の機会があった場合の参加希望

6割前後の人が希望していない

先の(2)留学のための奨学金や渡航費補助制度の認知度の設問では、留学に関する様々な制度についてはあまり知られていませんでしたが、海外語学研修の機会があっても参加を「希望しない」とする学生が、学部・修士課程では6割以上、博士(後期)課程でも約6割います。

図6. 大学主催の海外語学研修への参加



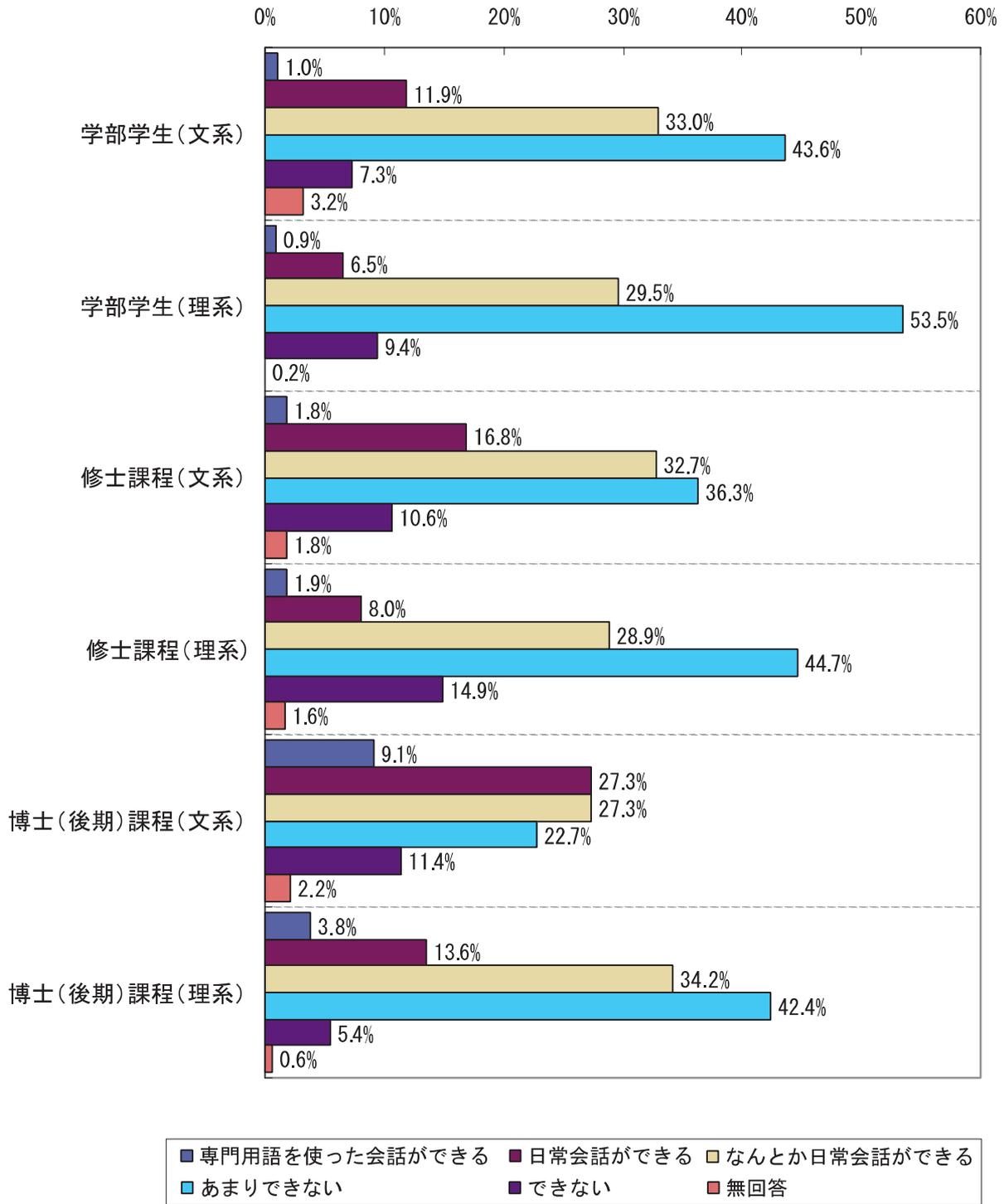
### 3 英会話・語学力

#### (1) 英語の会話の程度

理系は英会話に苦手意識が強い

全体的に文系より理系の学生の方が英会話を「あまりできない」「できない」と回答している割合が高くなっています。文系でも、学部学生の過半数は「あまりできない」「できない」と回答している割合が高く、博士(後期)課程の学生では文系・理系ともに、過半数の者が「専門用語を使った会話ができる」「日常会話ができる」「なんとか日常会話ができる」と回答しています。特に文系は6割を超えています。

図7. 英語の会話の程度

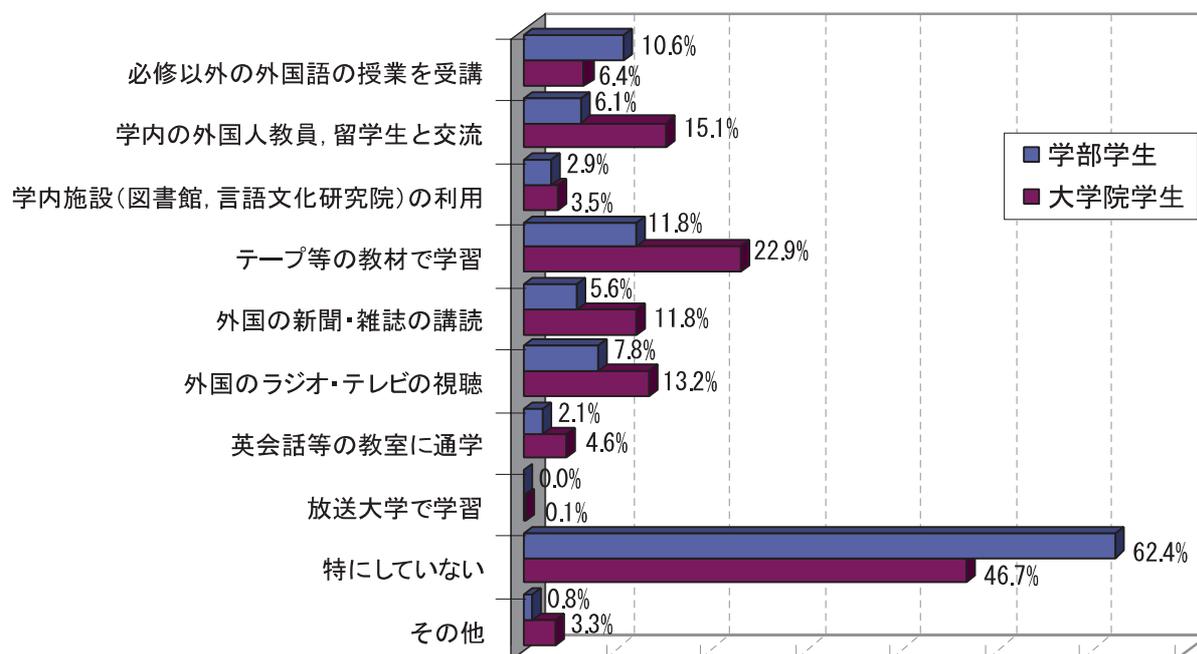


## (2) 語学力を高めるためにしていること

約半数の人は特に何もしていない

学部学生の6割以上、大学院学生の4割以上の者が語学力を高めるためには「特にしていない」と回答しています。約半数の大学院学生は「学内施設の利用」「テープ等の教材での学習」「外国の新聞・雑誌の購読」「外国のラジオ・テレビの視聴」と回答しており、独学で語学を勉強しています。

図8. 語学力を高めるためにしていること(複数回答)

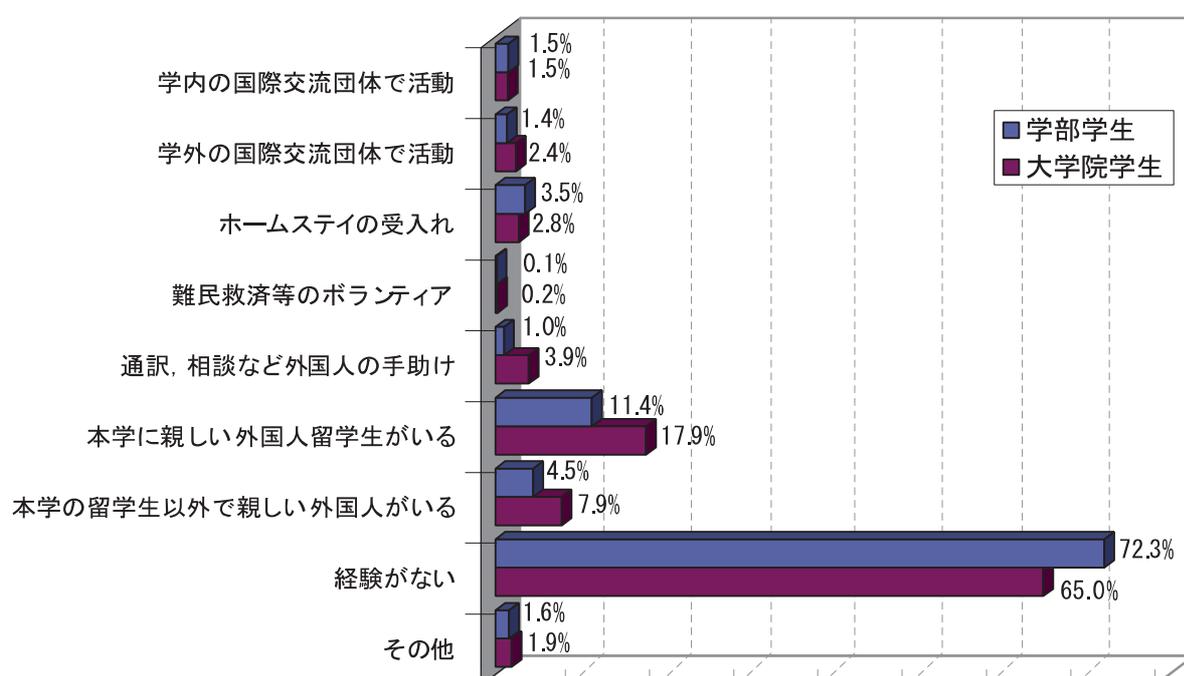


## 4 国際交流活動の経験

### ほとんどの人が経験がない

学部学生も大学院学生もともに、大多数の者が「経験がない」と回答しています。次に多い割合を示しているのは「本学に親しい外国人留学生がいる」との回答です。学生にとって外国人との交流は、本学の留学生たちと仲良くなることが一番の機会なのかもしれません。

図9. 国際交流の経験(複数回答)



## 1 オフィスアワー, 指導教員等の学習相談について

学部学生が, 文系・理系を問わず, 「どちらともいえない」が約7割で, その判断を決めかねているのに対して, 大学院学生は, 修士・博士(後期)課程, 文系・理系を問わず, 「満足している」「やや満足している」との回答が, 学部学生に比べて多いのが特徴です。学年が上がるにつれて評価が上がってくるのは, 教員との接触機会の頻度に比例していると考えられます。

なお, 最も満足度が高いのは文系の博士(後期)課程の学生で, 「満足している」「やや満足している」を合わせて, 56.8%と半数を超え, 現状に概ね満足しています。

また, 「不満である」「やや不満である」と回答した者は, 約6%から約10%でした。

表1. オフィスアワー, 指導教員等の学習相談について

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
満足している	11.6%	8.0%	23.0%	16.5%	31.8%	21.7%
やや満足している	8.9%	11.8%	25.7%	19.2%	25.0%	22.3%
どちらともいえない	67.7%	70.2%	39.8%	52.5%	36.4%	43.5%
やや不満である	3.0%	5.4%	8.0%	5.8%	0.0%	6.0%
不満である	4.6%	3.6%	1.8%	4.1%	6.8%	4.9%
無回答	4.2%	1.0%	1.7%	1.9%	0.0%	1.6%

## 2 就職支援について

### 文系の修士課程以上の学生に、もっと就職支援を

学部学生、修士・博士(後期)課程学生、文系・理系を問わず、「どちらともいえない」と回答した者が最も多く、大半の学生は本学の就職支援についての判断を決めかねている状況です。

なお、最も満足度が高いのは、理系の修士課程の学生で、「満足している」「やや満足している」を合わせて、25.6%で、逆に最も満足度が低いのは、理系の学部学生で、「満足している」「やや満足している」を合わせて、10.1%でした。

また、「不満足である」「やや不満足である」と回答した者は、文系の博士(後期)課程が22.7%と最も高く、「満足している」「やや満足している」と回答した者のおよそ2倍に上ります。

学部学生では文系・理系で大きな差は見られませんが、大学院学生では理系に満足度が高く、文系に不満が多いことが分かります。

表2. 就職支援について

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
満足している	5.6%	3.8%	6.2%	7.5%	2.3%	9.8%
やや満足している	6.9%	6.3%	10.6%	18.2%	9.1%	13.6%
どちらともいえない	68.6%	74.5%	62.8%	56.7%	65.9%	60.3%
やや不満足である	10.2%	9.1%	9.7%	9.3%	18.2%	7.1%
不満足である	4.0%	5.1%	6.2%	6.5%	4.5%	6.0%
無回答	4.7%	1.2%	4.5%	1.8%	0.0%	3.2%

### 3 健康, 生活, ハラスメント等学生生活相談・助言について

#### 評価できるほど利用していない

学部学生, 修士・博士(後期)課程学生, 文系・理系を問わず, 「どちらともいえない」と回答した者が最も多く, はっきりとした評価を下していません。というのも, 悩みの相談に本学の施設を利用する者はとても少なく, (第6章1. 体の調子(8)悩みの解消方法を参照) 評価の下しようがないというのが, この背景にあるのかもしれませんが。

それでも, 学部学生, 修士・博士(後期)課程学生, 文系・理系を問わず, 「満足している」「やや満足している」と回答した者が, 「不満足である」「やや不満足である」と回答した者を上回っています。

表3. 健康, 生活, ハラスメント等学生生活相談・助言について

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
満足している	11.9%	7.4%	14.2%	11.7%	11.4%	14.1%
やや満足している	12.9%	11.8%	10.6%	12.1%	11.4%	16.8%
どちらともいえない	67.7%	75.9%	67.3%	67.6%	70.5%	59.2%
やや不満足である	1.7%	2.5%	0.9%	3.4%	2.3%	3.8%
不満足である	1.6%	1.3%	3.5%	3.2%	4.4%	2.2%
無回答	4.2%	1.1%	3.5%	2.0%	0.0%	3.9%

学部学生・大学院学生, 文系・理系を問わず共通していることは, 回答が分散していることです。それでも学部学生, 修士・博士(後期)課程学生, 文系・理系を問わず, 「満足している」「やや満足している」と回答した者が, 「不満足である」「やや不満足である」と回答した者を上回っています。しかしながら, 文系の博士(後期)課程では, 「満足している」「やや満足している」の回答率と「不満足である」「やや不満足である」の回答率にほとんど差がありませんでした。

表4. 自習室, 情報機器室等の自主的学習環境について

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
満足している	9.6%	12.1%	13.3%	14.6%	13.6%	16.3%
やや満足している	22.8%	30.8%	31.0%	20.9%	22.7%	17.9%
どちらともいえない	34.0%	30.4%	23.9%	45.8%	27.3%	50.0%
やや不満足である	20.5%	19.7%	20.4%	11.7%	25.0%	9.8%
不満足である	8.9%	6.5%	11.4%	5.3%	11.4%	2.7%
無回答	4.2%	0.5%	0.0%	1.7%	0.0%	3.3%

## 5 課外活動支援について

学部学生・大学院学生, 文系・理系を問わず, 「どちらともいえない」と回答した者が最も多く, はっきりとした評価を下していない状況です。

それでも学部学生・大学院学生, 文系・理系を問わず, 「満足している」「やや満足している」と回答した者が, 「不満足である」「やや不満足である」と回答した者を上回っています。

しかしながら, 理系の学部学生においては, 「満足している」「やや満足している」の回答率と「不満足である」「やや不満足である」の回答率にほとんど差がありませんでした。

表5. 課外活動支援について

選択項目	学部学生 (文系)	学部学生 (理系)	修士課程 (文系)	修士課程 (理系)	博士(後期) 課程(文系)	博士(後期) 課程(理系)
満足している	8.3%	5.1%	5.3%	8.8%	6.8%	7.6%
やや満足している	9.9%	12.0%	10.6%	10.2%	9.1%	10.9%
どちらともいえない	62.7%	65.2%	70.8%	64.7%	79.5%	65.8%
やや不満足である	8.6%	9.8%	3.5%	7.1%	0.0%	7.6%
不満足である	5.9%	6.8%	6.2%	7.3%	4.6%	4.3%
無回答	4.6%	1.1%	3.6%	1.9%	0.0%	3.8%

本調査の最後に、学生のみなさんの要望を自由記述式で求めました。寄せられた意見、要望、期待の内容は多種多様でしたが、以下に代表的な意見、要望をまとめています。

### 1 本調査について

- ・ 質問項目が多く、回答に時間がかかりすぎる。
- ・ 選択肢に偏りがあり、答えづらい。
- ・ 複数回答の回答欄が二つないしは三つに限られているのはおかしい。
- ・ 全ての学部・学年に対応する質問だけを載せてほしい。
- ・ アカハラについても調査してほしい。
- ・ この調査をもとに学生が満足できる教育・研究環境を整えてほしい。
- ・ 調査結果をきちんと反映してほしい。
- ・ 無作為抽出ではなく、全員に実施してほしい。
- ・ 送られてきてから提出までの期限が短すぎる。
- ・ インターネットを利用してほしい。

### 2 大学改革について

- ・ どんな改革をしているか知らない・分からない。
- ・ 大学の方針、改革内容等についてのアナウンスを徹底してほしい。
- ・ 学生を主体に置いた改革を行ってほしい。
- ・ 健全な経営と研究・教育の質の向上とを両立できる改革を行ってほしい。
- ・ 産学連携を軸とした、社会的貢献性が高い大学になってほしい。
- ・ OCWを設置するならきちんと充実した、大学の名に恥じないものにしてほしい。
- ・ 海外機関との交流の活性化に力を入れてほしい。
- ・ 設備、研究費で理系優遇の傾向がある。文系にも目を向けてほしい。
- ・ 研究が社会に貢献できるシステムを整えてほしい。
- ・ 授業料の引き上げはやめてほしい。
- ・ 授業の質を向上させてほしい。
- ・ 低年次の教養科目をもっと検討してほしい。
- ・ 情報施設の充実に力を入れてほしい。

### 3 大学移転について

- ・ 移転に関して、学生への通知が十分でなく不透明だ。
- ・ キャンパスが分断されたことで、研究に支障を来たした。
- ・ キャンパスが分断されたことで、課外活動に支障を来たした。
- ・ キャンパスが分断されたことで、図書館の資料が分散し利用しづらい。
- ・ 学生の負担が大きいのので考慮してほしい。
- ・ 交通アクセスが悪く、通学や他キャンパスへの移動に時間がかかる。
- ・ 無料のシャトルバスがほしい。
- ・ 伊都キャンパス周辺にスーパーなどの施設がなく生活しづらい。
- ・ グラウンドなど課外活動する場所の整備が出来ていない。
- ・ 工事が終了してから、移転してほしい。
- ・ 芸術工学部は大橋キャンパスに残してほしい。
- ・ 箱崎キャンパスの歴史的建造物は残してほしい。

### 4 その他

- ・ 携帯電話で授業の休講情報が見られるようにしてほしい。
- ・ 健康科学センターのカウンセラーの数を増やしてほしい。
- ・ GPA導入によるデメリットを考慮して登録、修正、削除期間をつくってほしい。
- ・ コアセミナーは十分に機能していないので、授業内容を見直すべきだ。
- ・ シャワー施設を作してほしい。
- ・ スクールバスを増便してほしい。
- ・ プリントアウトできる場所を増やしてほしい。
- ・ セミナー、講演会をたくさん開いてほしい。
- ・ 喫煙マナーを徹底させてほしい。
- ・ 教員の授業評価をもっと重視してほしい。
- ・ 子供のいる学生・院生のために、授乳室等の施設を充実させてほしい。
- ・ 奨学金制度を充実させてほしい。
- ・ 食堂のメニューにアレルギー表示をしてほしい。
- ・ 大学院学生の学内進学割合の制限は行わないでほしい。
- ・ 博士（後期）課程学生への経済援助をしてほしい。
- ・ オーバードクターが多いので、その対策を実施してほしい。

平成19年度

# 学生生活実態調査票

(学部生用)

九州大学学生委員会  
学生生活実態調査実施小委員会

「学生生活実態調査」についてのお願い

学生生活実態調査は、九州大学に在籍する皆さんの生活環境・学習環境など学生生活の実態を把握し、修学・生活支援等に役立てることを目的としています。

この調査は平成7年度から4年毎に実施しているもので、前回は平成15年度に実施しました。その後、九州大学には、九州芸術工科大学（平成15年10月）、国立大学法人化への移行（平成16年4月）や伊都キャンパスへの工学部等の移転（平成17年10月）など大きな変化がありました。

そこで、今回改めて調査することとし、学生の皆さんの学生生活等の変化の把握として、今後の修学・生活支援並びに学生サービスの充実・改善等に役立てていきたいと考えています。

調査にあたり、調査対象学生約6千名を無作為に抽出しましたところ、あなたが調査対象学生に選出されました。

つきましては、調査の趣旨をご理解のうえ、この調査で収集したデータは他の目的に使用したり、回答した者が特定されることはありませんので、ありのままを正確にご回答くださるようご協力をお願いします。

なお、調査結果は、11月頃に報告書を作成し、ホームページ等で公表する予定ですが、公開の時期、方法等の詳細については、電子掲示板又は掲示によりお知らせします。提出にあたっては、定められた期限までに所属学部・学府又は六本松キャンパスの担当者へ提出して下さるようお願いいたします。

平成19年6月

学生委員会委員長（副学長） 山田 耕路  
 学生生活実態調査実施小委員会委員長 淵 田 吉 男

目 次

A. 所属学部等について ..... 1  
 B. 家族状況について ..... 1  
 C. 住居について ..... 2  
 D. 通学・事故等について ..... 3  
 E. 食事について ..... 5  
 F. 健康・悩みについて ..... 6  
 G. 生活について ..... 7  
 H. 収入・支出について ..... 9  
 I. アルバイトについて ..... 10  
 J. 生活用品について ..... 12  
 K. サークル活動について ..... 12  
 L. ボランティア活動について ..... 14  
 M. 環境・施設について ..... 14  
 N. 入学・授業等関係について ..... 15  
 O. 図書館について ..... 17  
 P. 卒業後の進路について ..... 18  
 Q. 海外渡航・国際交流について ..... 19  
 R. 大学生生活の満足度について ..... 22  
 S. 大学への要望について ..... 23

記入上の注意事項

1. 平成19年7月11日現在で記入してください。
2. 設問の文頭に【 】がある場合は、該当する方のみ回答してください。  
 (例1) 【自宅外通学者】・・・自宅外から通学している方に回答してもらおう設問  
 (例2) 【問3で「2～4」】と答えた方] ..... 問3で2～4のいずれかを答えた方に回答して  
 もらう設問
3. 調査票への記入は、次の表記によりお願いします。  
 (1) 設問の回答は、その設問の右欄の□内に回答番号、数字又は○印を記入してください。  
 (2) 選択肢が2桁の場合は、それぞれの回答枠に記入してください。  
 (例) 01. 福岡県 → 

0	1
---	---
- (3) 「複数回答可」となっている場合は、回答枠の数だけ記入することができます。
- (4) 調査項目中の（ ）内には、具体的内容、事柄を記入してください。

A. 所高学部等について

1	課程	1. 学部 (学生課程)	1
2	主に学んでいるキャンパスはどこですか。	1. 階崎キャンパス 2. 成泉キャンパス 3. 穴本松キャンパス 4. 筑紫キャンパス 5. 大槻キャンパス 6. 伊都キャンパス	
3	所属はどこですか。	01. 文学部 02. 教育学部 03. 法学部 04. 経済学部 05. 理学部 06. 医学部 07. 農学部 08. 薬学部 09. 工学部 10. 芸術工学部 11. 農学部 12. 21世紀プログラム	
4	入学年度はいつですか。	1. 平成19年度 2. 平成18年度 3. 平成17年度 4. 平成16年度 5. 平成15年度 6. 平成14年度 7. 平成13年度 8. 平成12年度以前	
5	何年生ですか。 (回答例 入学5年目の3年生の場合・・・3年)	1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年 5. 5年 6. 6年	
6	性別	1. 男 2. 女	
7	誕生日 (平成19年7月1日現在)		歳
8	現住所はどこですか。	01. 東区 02. 博多区 03. 中央区 04. 南区 05. 城南区 06. 早良区 07. 西区 08. 前原市 09. 糸島郡 10. その他	

B. 家族状況について

1	家族の居住地はどこですか。 (家族が分散している場合は、あなたが帰省する居住地を記入してください。)	01. 福岡県 02. 佐賀県 03. 長崎県 04. 熊本県 05. 大分県 06. 宮崎県 07. 鹿児島県 08. 沖縄県 09. 山口県 10. 中国地区 (山口県を除く) 11. 四国地区 12. 近畿地区 13. 中部地区 14. 関東地区 15. 東北地区 16. 北海道	
2	家族は何人ですか。 (あなたを含めて同一生計の家族人数を記入してください。別居の親・兄弟姉妹でも、仕送りなどで経済的に関係のある場合は、人数に含めてください。)	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人 7. 7人 8. 8人 9. 9人以上	

3	主な家族支持者は誰ですか。	1. 父 2. 母 3. 本人 4. 兄弟・姉妹 5. 祖父母 6. その他 ( )	
---	---------------	---	--

C. 住居について

1	あなたの住居形態はどれですか。	1. 自宅 2. アパート・マンション 3. 間借り 4. 下宿 (食事付) 5. 九大の学生寮 6. 九大以外の学生寮 7. 親戚・知人宅 8. 借家 (-戸建) 9. その他 ( )	
2	その住居 (部屋) のうち、あなたが専用している広さは何平方メートルですか。 共同で利用しているときは一人当たりを計算してください。 (3.3平方メートル=2畳とし計算してください。)	1. ~5平方メートル (~3畳) 2. ~8平方メートル (~4.5畳) 3. ~10平方メートル (~6畳) 4. ~13平方メートル (~8畳) 5. ~16平方メートル (~10畳) 6. 16平方メートル以上 (10畳以上)	
3	【自宅外通学者】 生居 (部屋) を選り応募考慮した候補はどれですか。 (優先順に4つまで回答してください。)	1. 郵便代 2. 部屋の設備 (風呂、トイレ、台所) 3. 部屋の設備 (家具、家電) 4. 部屋の設備 (インターネット設備) 5. 通学の便 6. 部屋の広さ 7. 周囲の環境 8. 親戚・知人の家だから 9. その他 ( )	1位 2位 3位 4位
4	【自宅外通学者】 今の住居 (部屋) の情報は誰 (何) から入手しましたか。	1. 学務部 (六本松地区全学教育事務室を含む) 2. 家族・親戚 3. 友人・知人 4. 九大生協 5. 不動産業者 6. 新聞・専門雑誌・街頭のポスター 7. インターネット 8. その他 ( )	
5	【九大の学生寮舎舎に入っていない方】 学生寮舎舎に入りたいと思いますか。	1. 入りたい 2. 入りたくない 3. 入る必要がない	
6	【問5で「1」と答えた方】 入りたい理由はどれですか。	1. 経済的理由のため 2. 通学に便利のため 3. 授業・研究で遅くなるため 4. 友人がほしいため 5. その他 ( )	

9	<p>【問8で「1, 2」と答えた方】</p> <p>① その事故はどこで起こりましたか。</p> <p>② その事故はどのようなときに起こりましたか。</p> <p>入学後、交通事故で被害を受けた(被害者となった)ことがありますか。</p>	<p>1. 学内</p> <p>2. 学外</p> <p>3. 学内外</p> <p>1. 自動二輪車、原付バイク運転中</p> <p>2. 自動車運転中</p> <p>3. その他 ( )</p> <p>1. 1回ある</p> <p>2. 2回以上ある</p> <p>3. ない</p>	<input type="checkbox"/>
10	<p>【問10で「1, 2」と答えた方】</p> <p>① その事故はどこで起こりましたか。</p> <p>② その事故はどのようなときに起こりましたか。</p>	<p>1. 学内</p> <p>2. 学外</p> <p>3. 学内外</p> <p>1. 歩行中</p> <p>2. 自転車運転中</p> <p>3. 自動二輪車、原付バイク運転中</p> <p>4. 自動車運転中</p> <p>5. その他 ( )</p>	<input type="checkbox"/>
11	<p>入学後、盗難事故で被害を受けたことがありますか。</p>	<p>1. ある</p> <p>2. ない</p>	<input type="checkbox"/>
12	<p>【問12で「1」と答えた方】</p> <p>被害にあった品物はどれですか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>01. 現金 (カードを含む)</p> <p>02. 自転車</p> <p>03. 自動二輪車、原付バイク</p> <p>04. 自動車</p> <p>05. 貴金属</p> <p>06. カメラ・時計</p> <p>07. パソコン</p> <p>08. 音響製品</p> <p>09. 衣類</p> <p>10. その他 ( )</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
13	<p>入学後、悪質な訪問販売・マルチ商法・キャッチセールス等の被害を受けたことがありますか。</p>	<p>1. ある</p> <p>2. ない</p>	<input type="checkbox"/>
14	<p>入学後、大学の内外で身の危険を感じたことがありますか。</p>	<p>1. ある</p> <p>2. ない</p>	<input type="checkbox"/>
15	<p>【問15で「1」と答えた方】</p> <p>どのような危険を感じましたか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1. 暴力</p> <p>2. 食品強要・嫌がらせ</p> <p>3. つきまとい</p> <p>4. セクシャル・ハラステメント</p> <p>5. その他 ( )</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

7	<p>【問5で「2」と答えた方】</p> <p>入りたくない理由は何ですか。</p> <p>1. 部屋がせまい</p> <p>2. 相部屋の場所がある</p> <p>3. 食事がない</p> <p>4. 集団生活がわずらわしい</p> <p>5. その他 ( )</p>	<input type="checkbox"/>
---	---	--------------------------

D. 通学・事故等について

1	<p>通常利用する通学手段はどれですか。</p> <p>(該当するものに「○」を記入してください)</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>a. 徒歩</p> <p>b. 自転車</p> <p>c. 地下鉄</p> <p>d. 電車 (列車)</p> <p>e. バス</p> <p>f. 自動二輪車、原付バイク</p> <p>g. 自動車</p>	<input type="checkbox"/>
2	<p>通学時間は片道どのくらいですか。</p> <p>1. 15分以内</p> <p>2. 30分以内</p> <p>3. 45分以内</p> <p>4. 1時間以内</p> <p>5. 1時間30分以内</p> <p>6. 2時間以内</p> <p>7. 2時間を超える</p>	<input type="checkbox"/>	
3	<p>自動車、自動二輪車、原付バイクの運転免許証を持っていますか。</p> <p>現在、免許取得中</p> <p>免許は持っていない</p>	<input type="checkbox"/>	
4	<p>自分専用の自動車を持っていますか。</p> <p>1. 持っている</p> <p>2. 持っていない</p>	<input type="checkbox"/>	
5	<p>【問4で「1」と答えた方】</p> <p>自動車の任意保険に加入していますか。</p> <p>1. 加入している</p> <p>2. 加入していない</p>	<input type="checkbox"/>	
6	<p>自分専用の自動二輪車、原付バイクを持っていますか。</p> <p>1. 持っている</p> <p>2. 持っていない</p>	<input type="checkbox"/>	
7	<p>【問6で「1」と答えた方】</p> <p>自動二輪車、原付バイクの任意保険に加入していますか。</p> <p>1. 加入している</p> <p>2. 加入していない</p>	<input type="checkbox"/>	
8	<p>【自動車、自動二輪車、原付バイク】を所有している方】</p> <p>入学後、交通事故を起こした(加害者となった)ことがありますか。</p> <p>(自動車事故を含む)</p> <p>1. 1回ある</p> <p>2. 2回以上ある</p> <p>3. ない</p>	<input type="checkbox"/>	

E. 食事について

1	朝食は食べていますか。 (最近1か月の状況について記入してください)	<ol style="list-style-type: none"> <li>毎日食べている (90%以上)</li> <li>だいたい食べている (60%~90%程度)</li> <li>1か月の半分は食べている (40%~60%程度)</li> <li>ときどき食べている (10%~40%程度)</li> <li>ほとんど食べていない (10%以下)</li> </ol>	<input type="checkbox"/>
2	【問1で「4, 5」と答えた方】 その主な理由は何ですか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>食欲がない</li> <li>経済的理由のため</li> <li>美容・減量のため</li> <li>その他 ( )</li> </ol>	<input type="checkbox"/>
3	朝食・昼食・夕食は主にどこで食べていますか。 (それぞれについて記入してください。ただし、食べない場合は空欄のままとしてください)	<ol style="list-style-type: none"> <li>自宅</li> <li>アパート、学生寮舎など</li> <li>学内 (食堂、教室、研究室など)</li> <li>学外の飲食店 (食堂、ファミリーレストラン、ファーストフード店など)</li> </ol>	朝食 <input type="checkbox"/> 昼食 <input type="checkbox"/> 夕食 <input type="checkbox"/>
4	学内の食堂を利用していますか。 (それぞれについて記入してください)	<ol style="list-style-type: none"> <li>いつも利用する</li> <li>時々利用する</li> <li>全く利用しない</li> </ol>	朝食 <input type="checkbox"/> 昼食 <input type="checkbox"/> 夕食 <input type="checkbox"/>
5	【問4で「1, 2」と答えた方】 主に利用する学内の食堂はどこですか。	六本木地区 01. 学生会館 02. 経営食堂 (厚生センター) 03. 本館内経営食堂 (トリトン) 有明・文系地区 04. 文系食堂 有明・理系地区 05. 文系経営食堂 (たいむ) 06. 記念講堂食堂 07. 工学部食堂 08. 理農地区食堂 09. 農学部50周年記念会館 (六角堂) 橋田地区 10. 理大食堂 11. 喫茶 (むむの木) 須賀地区 12. ビスタホール食堂 13. ビスタホール喫茶 伊勢地区 14. ビッグどら食堂	<input type="checkbox"/>
6	全体として学内の食堂の改善すべき点はどこですか。 (複数回答可)	<ol style="list-style-type: none"> <li>値段を安くしてほしい</li> <li>値段を高くしてもよいから量を多くしてほしい</li> <li>値段を高くしてもよいから量を増やしてほしい</li> <li>メニューを増やしてほしい</li> <li>雰囲気をよくしてほしい</li> <li>衛生的にしてほしい</li> <li>このままでよい</li> <li>その他 ( )</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

F. 健康・悩みについて

1	現在、体の調子はどうですか。 (風邪、けが、虫歯などの一時的な問題を除く)	<ol style="list-style-type: none"> <li>問題ない</li> <li>病気とは思えないが、何か調子が悪い</li> <li>医者にはかかっていないが病気が怖い</li> <li>病気で実際に医者にかかっている</li> <li>その他 ( )</li> </ol>	<input type="checkbox"/>
2	【問1で「2, 3」と答えた方】 どのように調子が悪いのですか。 (複数回答可)	<ol style="list-style-type: none"> <li>寝れる、寝気がないなど</li> <li>寝付きが悪い・眠りが浅い・よく醒めないなど</li> <li>頭痛、めまい、吐き気など</li> <li>胃腸の調子が悪い</li> <li>肌や髪が出る</li> <li>よく飽きる</li> <li>いらいらする</li> <li>その他 ( )</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	【九大に入学後、ケガをした方】 どのような時にケガをしたのか、(医師の指導を受けたもの)について記入してください。 (複数回答可)	<ol style="list-style-type: none"> <li>正課中</li> <li>課外(サークル等)活動中</li> <li>通学中</li> <li>7ルハイト中</li> <li>レジャー</li> <li>その他 ( )</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	学生教育研究実習看護実践に加入していますか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>加入している</li> <li>加入していない</li> </ol>	<input type="checkbox"/>
5	【問5で「2」と答えた方】 加入していない理由はどれですか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>その必要がないから(一般の保護にも加入していない)</li> <li>一般の保護に加入している</li> <li>手続きをわすれていた</li> <li>保護があることを知らなかった</li> </ol>	<input type="checkbox"/>
6	現在悩んでいることがありますか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>悩みがある</li> <li>悩みがない</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7	【問6で「1」と答えた方】 ① 原因は何ですか。 (複数回答可)	<ol style="list-style-type: none"> <li>学業のこと</li> <li>将来の進路のこと</li> <li>家庭のこと</li> <li>健康のこと</li> <li>異性関係のこと ( )</li> <li>経済的なこと</li> <li>友人関係のこと</li> <li>自分の性格のこと</li> <li>その他</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	② 身体面・心理面でなんらかの悩みが生じたらどのような方法で解消しますか。 (複数回答可)	<ol style="list-style-type: none"> <li>学生生活・修学相談室(各学部の学生生活・修学相談員を含む)に行く</li> <li>健康相談室に行く</li> <li>教員に相談する</li> <li>先輩・友人等に相談する</li> <li>家族に相談する</li> <li>自分一人で解消するように努力をする</li> <li>解消方法がわからない</li> <li>その他 ( )</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

8	<p>本学にあるセクシュアル・ハラスメント防止のための委員会や相談員のことを知っていますか。</p> <p>① セクシュアル・ハラスメントの被害にあったことがありますか。</p> <p>② 他人が被害にあっているのを見たり聞いたりしたことがありますか。</p>	<p>1. 知っている</p> <p>2. 知らない</p>	<input type="text"/>
9	<p>喫煙についてお尋ねします。</p> <p>タバコを吸いますか。</p> <p>【問10で「1」と答えた方】</p> <p>① 喫煙を始めてどれくらい経っていますか。年齢を教えてください。</p> <p>② 1日に何本吸っていますか。(平均的な本数で結構です)。</p> <p>③ 朝起きて最初のタバコを吸うまでの時間を教えてください。</p> <p>④ 現在、禁煙を希望していますか。</p>	<p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p> <p>1. 吸う</p> <p>2. 吸わない</p>	<p>年</p> <p>本/日</p> <p>分</p>
10	<p>喫煙がもたらす健康被害について知っていますか。</p>	<p>1. 知っている</p> <p>2. 知らない</p>	<input type="text"/>
11	<p>六次に入学後、飲酒を強要されたことがありますか。</p> <p>友人関係についてお尋ねします。</p> <p>① 現在心をうちあけることができる友人がいますか。</p> <p>② ①で「1」と答えた方にお尋ねします。</p> <p>それは、どのような関係の人ですか。</p>	<p>1. ある</p> <p>2. ない</p> <p>1. いる</p> <p>2. いない</p>	<input type="text"/>
12	<p>友人関係についてお尋ねします。</p> <p>① 現在心をうちあけることができる友人がいますか。</p> <p>② ①で「1」と答えた方にお尋ねします。</p> <p>それは、どのような関係の人ですか。</p>	<p>1. 小・中・高校時代からの友人</p> <p>2. 塾・予備校時代からの友人</p> <p>3. クラス、ゼミ、研究室等の仲間</p> <p>4. 課外(サークル等)活動の仲間</p> <p>5. 学生若者会、下宿等の仲間</p> <p>6. アルバイトの仲間</p> <p>7. 他大学(1~6以外)の仲間</p> <p>8. その他( )</p>	<input type="text"/>

6. 生活について

1	<p>睡眠時間はおよそ何時間くらいですか。</p>	<p>1. 4時間未満</p> <p>2. 4時間</p> <p>3. 5時間</p> <p>4. 6時間</p> <p>5. 7時間</p> <p>6. 8時間</p> <p>7. 9時間</p> <p>8. 10時間以上</p>	<input type="text"/>
---	---------------------------	--	----------------------

2	<p>1 週間のうちで大学に行かない曜日はありますか。(行かない曜日に、「1」を記入してください。)</p>	<table border="1"> <tr> <td>a. 月曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. 火曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 水曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>d. 木曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>e. 金曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>f. 土曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>g. 日曜日</td> <td></td> </tr> </table>	a. 月曜日		b. 火曜日		c. 水曜日		d. 木曜日		e. 金曜日		f. 土曜日		g. 日曜日	
a. 月曜日																
b. 火曜日																
c. 水曜日																
d. 木曜日																
e. 金曜日																
f. 土曜日																
g. 日曜日																
3	<p>01. 勉学</p> <p>02. 読書</p> <p>03. 課外(サークル等)活動</p> <p>04. 運動</p> <p>05. ボランティア活動</p> <p>06. アルバイト</p> <p>07. 趣味・娯楽</p> <p>08. 休養</p> <p>09. なんともなく運動と</p> <p>10. その他( )</p>	<p>大学に行かないときはどうしていますか。(複数回答可)</p>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>													
4	<p>01. 学問・研究をする</p> <p>02. 専門知識・技術を身につける</p> <p>03. 豊かな教養を身につける</p> <p>04. 学歴・資格を得る</p> <p>05. 課外(サークル等)活動に力を入れる</p> <p>06. 一気企業に就職する</p> <p>07. 社会的活動の担い手となる</p> <p>08. 学生生活を満して青春をエンジョイする</p> <p>09. 良き友人を得る</p> <p>10. 特に目的をたず何となく</p> <p>11. その他( )</p>	<p>大学生活の目的はどれですか。(複数回答可)</p>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>													
5	<p>01. 勉学</p> <p>02. 課外(サークル等)活動</p> <p>03. アルバイト</p> <p>04. 一般的な知識・教養の涵養</p> <p>05. 友人との交流</p> <p>06. 娯楽・レジャー・旅行</p> <p>07. ボランティア活動</p> <p>08. その他の社会的な活動</p> <p>09. 特になし</p> <p>10. その他( )</p>	<p>現在どんなことに力をいれていますか。(複数回答可)</p>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>													
6	<p>1. 満足している</p> <p>2. まあまあ満足している</p> <p>3. どちらともいえない</p> <p>4. やや不満である</p> <p>5. 不満である(理由 )</p>	<p>全体として大学生活に満足していますか。</p>	<input type="text"/>													

現在、特にほしいものは何ですか。 (複数回答可)	01. 心をうちあけることができる友人 02. 恋人 03. 生活費 04. 研究費用 05. 旅行費用 06. 遊ぶ時間 07. 良い衣食(研究上の指導者) 08. 自動車・自転車、原付バイク、自動車 09. パソコン 10. その他( )
-----------------------------	--

H. 収入・支出について

記入上の注意 ・該当しない項目は「0」を記入してください。 ・収入合計と支出合計が一致するよう記入してください。 ・奨学金は1か月当たりの金額に換算して記入してください。	千円 万円 千円																																
あなたの1か月(平成19年4月～6月)の平均収入はおよそどのくらいですか。 (千円単位で記入してください)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">a. 1か月の収入合計はどのくらいですか(収入)</td> <td style="width: 15%;">千円</td> <td style="width: 15%;">万円</td> <td style="width: 15%;">千円</td> </tr> <tr> <td>b. 家族支持者から(授業料等の大学納付金を除く)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>c. 日本学生支援機構</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>d. その他の奨学金(複数の団体から受給している場合はその合計)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>e. アルバイト(家庭教師・塾講師)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>f. その他のアルバイト</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>g. 家族支持者以外からの奨助</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>h. その他( )</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </table>	a. 1か月の収入合計はどのくらいですか(収入)	千円	万円	千円	b. 家族支持者から(授業料等の大学納付金を除く)	千円		千円	c. 日本学生支援機構	千円		千円	d. その他の奨学金(複数の団体から受給している場合はその合計)	千円		千円	e. アルバイト(家庭教師・塾講師)	千円		千円	f. その他のアルバイト	千円		千円	g. 家族支持者以外からの奨助	千円		千円	h. その他( )	千円		千円
a. 1か月の収入合計はどのくらいですか(収入)	千円	万円	千円																														
b. 家族支持者から(授業料等の大学納付金を除く)	千円		千円																														
c. 日本学生支援機構	千円		千円																														
d. その他の奨学金(複数の団体から受給している場合はその合計)	千円		千円																														
e. アルバイト(家庭教師・塾講師)	千円		千円																														
f. その他のアルバイト	千円		千円																														
g. 家族支持者以外からの奨助	千円		千円																														
h. その他( )	千円		千円																														

あなたの1か月(平成19年4月～6月)の平均支出はおよそどのくらいですか。 (千円単位で記入してください)。 (※「b」について、自宅生は「0」と記入してください)	千円 万円 千円																																																
2	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">a. 1か月の支出合計はどのくらいですか(支出)</td> <td style="width: 15%;">千円</td> <td style="width: 15%;">万円</td> <td style="width: 15%;">千円</td> </tr> <tr> <td>b. 住居費(部屋代、賃金) 光熱水費(電気料、水道料、暖房費、弁償費など)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>c. 食費(自炊費、外食費、補食費等、自宅生は外食費を記入する)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>d. 船学費(船学に必要な書籍代、実習材料費、文房具代、実習学舎旅費等) 【授業料等学校納付金は除く】</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>e. 教養・娯楽費(教養・娯楽のための書籍代、船学以外の旅行費用、交際費(コンビニ)、スポーツ代、新聞代、映画・音楽会代など)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>f. 課外(サークル等) 活動費(部費、食費、遠征費など)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>g. 被服費</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>h. 通学費</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>i. 通話費(電話、携帯電話、インターネットなど)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>j. その他雑費(理・美容、タバコ、化粧品、医療費など)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>k. 返済金(クレジットカードなど)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>l. その他( )</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </table>	a. 1か月の支出合計はどのくらいですか(支出)	千円	万円	千円	b. 住居費(部屋代、賃金) 光熱水費(電気料、水道料、暖房費、弁償費など)	千円		千円	c. 食費(自炊費、外食費、補食費等、自宅生は外食費を記入する)	千円		千円	d. 船学費(船学に必要な書籍代、実習材料費、文房具代、実習学舎旅費等) 【授業料等学校納付金は除く】	千円		千円	e. 教養・娯楽費(教養・娯楽のための書籍代、船学以外の旅行費用、交際費(コンビニ)、スポーツ代、新聞代、映画・音楽会代など)	千円		千円	f. 課外(サークル等) 活動費(部費、食費、遠征費など)	千円		千円	g. 被服費	千円		千円	h. 通学費	千円		千円	i. 通話費(電話、携帯電話、インターネットなど)	千円		千円	j. その他雑費(理・美容、タバコ、化粧品、医療費など)	千円		千円	k. 返済金(クレジットカードなど)	千円		千円	l. その他( )	千円		千円
a. 1か月の支出合計はどのくらいですか(支出)	千円	万円	千円																																														
b. 住居費(部屋代、賃金) 光熱水費(電気料、水道料、暖房費、弁償費など)	千円		千円																																														
c. 食費(自炊費、外食費、補食費等、自宅生は外食費を記入する)	千円		千円																																														
d. 船学費(船学に必要な書籍代、実習材料費、文房具代、実習学舎旅費等) 【授業料等学校納付金は除く】	千円		千円																																														
e. 教養・娯楽費(教養・娯楽のための書籍代、船学以外の旅行費用、交際費(コンビニ)、スポーツ代、新聞代、映画・音楽会代など)	千円		千円																																														
f. 課外(サークル等) 活動費(部費、食費、遠征費など)	千円		千円																																														
g. 被服費	千円		千円																																														
h. 通学費	千円		千円																																														
i. 通話費(電話、携帯電話、インターネットなど)	千円		千円																																														
j. その他雑費(理・美容、タバコ、化粧品、医療費など)	千円		千円																																														
k. 返済金(クレジットカードなど)	千円		千円																																														
l. その他( )	千円		千円																																														
3	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">1. 家賃からの返金のみで修学可能</td> <td style="width: 15%;">千円</td> <td style="width: 15%;">万円</td> <td style="width: 15%;">千円</td> </tr> <tr> <td>2. 家賃からの返金のみでは修学困難</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 家賃からの返金はない</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 家賃へ経済的な援助をしている</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. 家賃からの返金のみで修学可能	千円	万円	千円	2. 家賃からの返金のみでは修学困難				3. 家賃からの返金はない				4. 家賃へ経済的な援助をしている																																			
1. 家賃からの返金のみで修学可能	千円	万円	千円																																														
2. 家賃からの返金のみでは修学困難																																																	
3. 家賃からの返金はない																																																	
4. 家賃へ経済的な援助をしている																																																	
4	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">1. よく利用する</td> <td style="width: 15%;">千円</td> <td style="width: 15%;">万円</td> <td style="width: 15%;">千円</td> </tr> <tr> <td>2. ときどき利用する</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 利用したことがない</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. よく利用する	千円	万円	千円	2. ときどき利用する				3. 利用したことがない																																							
1. よく利用する	千円	万円	千円																																														
2. ときどき利用する																																																	
3. 利用したことがない																																																	
5	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">【問4で「1」と答えた方】 最大どのくらいの金額を借りたことがありますか。</td> <td style="width: 15%;">千円</td> <td style="width: 15%;">万円</td> <td style="width: 15%;">千円</td> </tr> </table>	【問4で「1」と答えた方】 最大どのくらいの金額を借りたことがありますか。	千円	万円	千円																																												
【問4で「1」と答えた方】 最大どのくらいの金額を借りたことがありますか。	千円	万円	千円																																														

I. アルバイトについて

1	現在、アルバイトをしていますか。	千円 万円 千円																
2	【問1で「1～3」と答えた方】 ① 主たる理由はどれですか。 (複数回答可)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">1. 長期のアルバイトをしている</td> <td style="width: 15%;">千円</td> <td style="width: 15%;">万円</td> <td style="width: 15%;">千円</td> </tr> <tr> <td>2. 短期(1か月位まで)のアルバイトをしている</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 長期と短期のアルバイトを、どちらもしている</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. していない</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. 長期のアルバイトをしている	千円	万円	千円	2. 短期(1か月位まで)のアルバイトをしている				3. 長期と短期のアルバイトを、どちらもしている				4. していない			
1. 長期のアルバイトをしている	千円	万円	千円															
2. 短期(1か月位まで)のアルバイトをしている																		
3. 長期と短期のアルバイトを、どちらもしている																		
4. していない																		

<p>② 紹介者（情報提供者）はだれ（何）ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 学務部（六本松地区全学教育事務室を含む） 2. 内外学生センター 3. 友人・知人・先輩 4. 求人先から直接依頼 5. 紹介機関、新聞広告、チラシ・ポスター等 6. その他（ ）</p>	<p><input type="text"/></p> <input type="text"/>
<p>③ 職種はどれですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 家庭教師 2. 塾・予備校講師 3. 一般事務 4. 調査・技術 5. 販売サービス 6. 特殊技能 7. 重労働・危険作業 8. その他（ ）</p>	<p><input type="text"/></p> <input type="text"/>
<p>④ どの程度していますか。</p>	<p>1. ほとんど毎日 2. 週に数日 3. 日曜日など休日に限って</p>	<p><input type="text"/></p>
<p>⑤ 1週間の平均就労時間はおよそ何時間くらいですか。</p>	<p>時間</p>	<p><input type="text"/></p> <input type="text"/>
<p>⑥ 収入は何に使いますか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 授業料 02. 給食費 03. 衣食住の費用 04. 課外(サークル等)活動費 05. 旅行費 06. 娯楽・レジャー費 07. 通信費(電話、携帯電話、インターネットなど) 08. 家電などの購入費 09. 技術・資格などの取得の費用 10. 預貯金 11. その他（ ）</p>	<p><input type="text"/></p> <input type="text"/> <input type="text"/>
<p>⑦ 学業などとの関係はどうですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 授業をある程度犠牲にしている 2. 勉強時間を犠牲にしている 3. 教養・娯楽時間を犠牲にしている 4. 課外(サークル等)活動を犠牲にしている 5. ほとんど支援はない 6. 学業に役立っている</p>	<p><input type="text"/></p> <input type="text"/>

J. 生活用品について

<p>1 大学生活を送るために必要と思うものはどれですか。 (該当するものに「○」を記入してください。) (複数回答可)</p>	<p>a. パソコン b. テレビ c. エアコン・クーラー d. 電話 e. 携帯電話 (PHSを含む) f. 映像機器、音響機器 g. カメラ h. 自転車 i. 自動二輪車、原付バイク j. 自動車 k. 電子レンジ l. その他( )</p>
<p>2 所有している物はどれですか。 (該当するものに「○」を記入してください。) (複数回答可)</p>	<p>a. パソコン b. テレビ c. エアコン・クーラー d. 電話 e. 携帯電話 (PHSを含む) f. 映像機器、音響機器 g. カメラ h. 自転車 i. 自動二輪車、原付バイク j. 自動車 k. 電子レンジ</p>

K. サークル活動について

<p>1 現在、サークルに加入していますか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 全学で組織された体育サークルに加入している 2. " 文化サークル " " 3. " 音楽サークル " " 4. 学部単位で組織された体育サークルに加入している 5. " 文化サークル " " 6. " 音楽サークル " " 7. 学外のサークルに加入している 8. 学内外いずれのサークルにも加入していない</p>	<p><input type="checkbox"/></p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
--	--	---

	01. 団 thể生活に興味がある 02. 活動内容が好む、又は興味がある 03. 知識・教養を得るため 04. 免許等の資格を得るため 05. 健康増進のため 06. 友人を得るため 07. 就職のことを考えて 08. レクレーションとして 09. 技術の向上のため 10. 社会貢献のため 11. 先輩に勧められたため 12. その他( )	<input type="text"/>	
2	① 【問1で「1~7」に答えた方】 そのサークルに加入した 主な理由はどれですか。 (複数回答可)	1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらともいえない 4. 不満 5. 非常に不満	<input type="text"/>
	② 満足度はどうですか。 ③ サークル活動の場所はど こですか。 (複数回答可)	1. 九次の課外活動共用施設 2. 九次の学生会館・教室 3. 九次の体育館 4. 九次のその他の屋内施設 5. 九次の屋外施設 6. 九次の施設以外(市民体育館など) 7. その他( )	<input type="text"/>
	④ 九次の施設でサークル活 動をするのは何曜日ですか。 (該当するものに「○」を記入 してください)	a. 月曜日 b. 火曜日 c. 水曜日 d. 木曜日 e. 金曜日 f. 土曜日 g. 日曜日	<input type="text"/>
	⑤ サークル活動をしている時 間は1週間当たりおおよそ何 時間ですか。		<input type="text"/>
	⑥ サークル活動と授業との関 係はどうですか。	1. 授業をかなり犠牲にしている 2. 授業をすこし犠牲にしている 3. 授業に影響ない 4. 授業にプラスになる	<input type="text"/>
3	【問1で「8」に答えた方】 サークルに加入していない理由 はどれですか。 (複数回答可)	01. 授業の妨げとなる 02. 練習がきつい 03. 授業上の理由 04. 興味あるサークルがない 05. 実用されたくない 06. 対人関係がめんどう 07. 経済的な負担が大き 08. 時間が合わない 09. 特に理由はな 10. その他( )	<input type="text"/>

L. ボランティア活動について			
1	あなたは、本学に入学してボラン ティア活動に参加したことがありま すか。	1. ある 2. ない 3. 参加したことはないが、参加を希望している。	<input type="text"/>
2	【問1で「1」と答えた方】 どのようなボランティア活動です か。 (複数回答可)	1. 地域社会(コミュニティ)活動 2. 社会福祉活動 3. 保健衛生活動 4. 環境保全活動 5. 社会教育活動 6. 学術・文化活動 7. スポーツ関係活動 8. 国際交流・国際協力活動 9. その他( )	<input type="text"/>
3	【問1で「3」と答えた方】 どのようなボランティア活動です か。 (複数回答可)	1. 地域社会(コミュニティ)活動 2. 社会福祉活動 3. 保健衛生活動 4. 環境保全活動 5. 社会教育活動 6. 学術・文化活動 7. スポーツ関係活動 8. 国際交流・国際協力活動 9. その他( )	<input type="text"/>

M. 環境・施設について			
1	全体として九次の施設にどの程度満足 していますか。	1. 満足している 2. まあまあ満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	<input type="text"/>
2	【問1で「3~5」に答えた方】 九次の施設等で整備充実してほしい ものはどれですか。 (複数回答可)	01. 講義室・実験室・研究室 02. 図書館 03. 休憩・談話のための控室・談話室 04. 福利厚生施設(食堂・売店等) 05. 健康相談室・学生生活修学相談室 06. 課外活動施設 07. 体育施設 08. 奈瀬・基永のためのホール・会議室 09. 学生寄宿舎 10. 魁輪・魁輪場 11. 緑地帯 12. トイレ 13. その他( )	<input type="text"/>

N. 入学・授業等関係について

<p>1 入学前、九大をどのような大学と思っていましたか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 伝統のある大学 02. 日本を代表する大学 03. 総合大学 04. 学際的な大学 05. 教育・研究に優れている大学 06. 大学院が整備された大学 07. 国際性のある大学 08. 自由な校風の大学 09. 大企業に就職できる大学 10. その他( )</p>	<p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p>
<p>2 九大を志望することを決定する時点の情報を知りたかったかどうか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 大学の特色・歴史 02. 環境・設備 03. 学部・学科の内容 04. 授業内容 05. どんな教授がいるか 06. 入試の難易度 07. 学費 08. 学生寄宿舎の様子 09. 課外(サークル等)活動 10. 就職状況 11. その他( )</p>	<p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p>
<p>3 九大に入学した主な理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 学風にひかれた 02. 九州・福岡(博多)で暮らしたかった 03. 地元だったから 04. 興味のもてる専攻分野があった 05. 受験学力相応だった 06. 卒業後の進路を考えた 07. 高校時代の友人と離れなくて済むから 08. 経済的理由 09. 九州大学説明会に参加して魅力を感じた 10. その他( )</p>	<p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p>
<p>4 現在の学部・学科等を変えたいと思いますか。</p>	<p>1. 大学を変えたい 2. 学部を変えたい 3. 学科を変えたい 4. 研究室(指導・ゼミ教員)を変えたい 5. 変わりたくないと思わない</p>	<p><input type="text"/></p>

<p>5 【問4で「〜4」と答えた方】 もっとも大きな理由はどれですか。</p>	<p>01. 専攻分野が自分にあっていない 02. 教育課程が過密すぎる 03. 教育課程に制約が多い 04. 授業がおもしろくない 05. 授業がむずかしすぎる 06. 授業のレベルが低すぎる 07. 教員と合わない 08. 施設・設備が不十分 09. 就職を考えると不安 10. その他( )</p>	<p><input type="text"/></p>
<p>6 授業の出席状況はどうですか。</p>	<p>1. どの授業もほとんど出席する 2. 一部の授業を除いてよく出席する 3. どの授業も出席したりしなかったりする 4. 一部の授業を除いてあまり出席しない 5. どの授業もほとんど出席しない</p>	<p><input type="text"/></p>
<p>7 これまでの単位の取得状況はどうですか。</p>	<p>1. 全部取得できた 2. 大体取得できた 3. 半分程度取得できた 4. あまり取得できなかった 5. 全く取得できなかった</p>	<p><input type="text"/></p>
<p>8 全体的に、授業内容の難易度についてどう思いますか。</p>	<p>1. 内容が難しい授業が多い 2. 内容がやさしい授業が多い 3. 適当である 4. その他( )</p>	<p><input type="text"/></p>
<p>9 授業の満足度はどの程度ですか。</p>	<p>1. 全科目満足している 2. 大部分の科目は満足している 3. 半分の科目は満足している 4. ほとんど全科目不満足</p>	<p><input type="text"/></p>
<p>10 【問9で「3, 4」と答えた方】 その理由はどれですか。</p>	<p>1. 授業内容がむずかしすぎる 2. 授業内容がやさしすぎる 3. 授業に魅力がない 4. 受講者が多すぎる 5. 施設・設備が不十分 6. その他( )</p>	<p><input type="text"/></p>
<p>11 授業について希望があるとしたら、どれですか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 授業に工夫をこらし理解しやすくする 02. 基礎をしっかりと教える 03. 授業がやさしすぎるのもっと高度なものにする 04. 先生が授業にもっと熱意をこめる 05. 教科書・プリントなどの教材をもっと活用する 06. 教科書を読むだけでなくノートをとらせるだけの授業はやめる 07. 学生との討論などをもっと学生の興味を引き出す 08. 話し方を明確にしてよく聞き取れるようにする 09. ノートがよくとれるよう指導をきちんとする 10. 視覚機器をもっと活用する 11. 学生による授業評価の機会を設ける 12. 特に希望はない 13. その他( )</p>	<p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p>

<p>12 教員との対話についてお尋ねします。 ① 日頃教員と直接話す機会がありますか。</p>	<p>1. よくある 2. たまにある 3. あまりない 4. 全くない</p>	<input type="text"/>
<p>② ①で③、④と答えた方にお尋ねします。 その理由はどれですか。</p>	<p>1. 話したいがその機会がない 2. 何となく話しくい 3. 話す必要がない 4. その他 ( )</p>	<input type="text"/>
<p>③ 日頃教員ともっと直接話をしたいと思いませんか。</p>	<p>1. 思う 2. 思わない</p>	<input type="text"/>
<p>13 教員に期待するものはどれですか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 学問の厳しさを教えてほしい 02. 研究者としてより、良き教育者であってほしい 03. 授業内容を改善してほしい 04. 講義内容を充実させてほしい 05. わかりやすく教えてほしい 06. 研究成果をあげ教育に還元してほしい 07. 休講をできるだけなくしてほしい 08. 学生との対話の場を持ってほしい 09. 社会的実践との結びつきを教えてください 10. その他 ( )</p>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
<p>14 技能・知識を修得するために専門学校(3か月以上)などに通っていますか。</p>	<p>1. 通っている 2. 現在はないが過去にはある 3. 通ったことはない</p>	<input type="text"/>
<p>15 【問14で「1～2」と答えた方】 それはどんな内容でしたか。</p>	<p>1. パソコン・ワープロなど 2. 語学など 3. ビジネス(秘書・簿記・アカウンタ等) 4. 公務員受験 5. 予備校 6. その他 ( )</p>	<input type="text"/>

O. 図書館について

<p>1 図書館(分館を含む)の利用目的は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 一般図書(雑誌)の閲覧 02. 一般図書(雑誌)の貸出 03. 学術図書(雑誌)の閲覧 04. 学術図書(雑誌)の貸出 05. 新書の閲覧 06. 試験勉強 07. 予習・復習 08. レファレンス 09. 文献複写 10. 目録検索(データベース検索など) 11. 目録検索(所蔵検索)</p>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
--	---	--

<p>2 図書館(分館を含む)を利用するのは1週間におよそ何時間くらいですか。</p>	<p>12. インターネット利用 13. その他 ( )</p> <p>1. 1時間未満 2. 1時間～ 3. 3時間～ 4. 5時間～ 5. 10時間～ 6. 15時間～ 7. 20時間以上</p>	<input type="text"/>
<p>3 図書館(分館を含む)の通常の開館時間についてどう思いますか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 現在のままでよい 2. 平日の開館時間を延長してほしい 3. 土日・祝祭日の開館時間を延長してほしい 4. その他 ( )</p>	<input type="text"/> <input type="text"/>
<p>4 【問3で「2、3」と答えた方】 開館時間はどのくらいまでですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 平日午後10時まで 2. 平日午後10時以降も 3. 土日・祝祭日午後7時まで 4. 土日・祝祭日午後7時以降も 5. その他 ( )</p>	<input type="text"/> <input type="text"/>
<p>5 図書館(分館を含む)の満足度はどうですか。</p>	<p>1. 現状で満足である 2. 現状では不満がある 3. その他 ( )</p>	<input type="text"/>
<p>6 【問5で「2」と答えた方】 どの項目の改善を望みますか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 図書館利用案内・指示 2. 図書・雑誌、視聴覚資料の充実 3. 図書・雑誌所蔵情報の充実 4. データベースの充実 5. 情報検索用機器の充実 6. 閲覧環境の改善 7. 開館時間の延長 8. カウンターの対応 9. その他 ( )</p>	<input type="text"/> <input type="text"/>

P. 卒業後の進路について

<p>1 卒業後の進路希望はどれですか。</p>	<p>1. 就職 2. 九大大学院 3. 九大以外の大学院 4. 九大・九大以外の大学へ編入学・転入学</p>	<input type="text"/>
<p>2 将来の就職について重要視するものはどれですか。 (複数回答可)</p>	<p>5. 海外留学 6. 考えていない 7. その他 ( ) 8. 能力が発揮できる 9. 就職先の将来性や安定性 10. 勤務地の地理的条件 11. 就職先の社会的評価 12. 給与 13. 自由時間・休暇 14. その他 ( )</p>	<input type="text"/> <input type="text"/>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 東アジア (中国・韓国等)</li> <li>b. 東南アジア</li> <li>c. 南アジア (インド等)</li> <li>d. 西・中央アジア (イラン・シリア等)</li> <li>e. アフリカ</li> <li>f. ヨーロッパ (GIS 諸国を除く)</li> <li>g. CIS 諸国 (日本連邦)</li> <li>h. 北アメリカ (ハワイ・グアムを除く)</li> <li>i. 南アメリカ</li> <li>j. オセアニア・太平洋諸島</li> <li>k. その他 ( )</li> </ul>
3	<p>【海外渡航をした方】 海外渡航先はどこですか。</p> <p>(該当するものに「O」を記入してください。)</p> <p>(複数回答可)</p>		
4	<p>交換留学制度を知っていますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1. 知っている</p> <p>2. 知らない</p> <p>※ 「交換留学制度」とは、在学中の学生を1年を超えない期間、外国の指定相手先大学に派遣する制度です。九大での授業料を納めれば、相手先大学での授業料は免除になります。</p>	<input type="checkbox"/>
5	<p>留学のための奨学金や渡航費補助制度を知っていますか。</p>	<p>1. 知っている</p> <p>2. 知らない</p>	<input type="checkbox"/>
6	<p>大学主催の海外語学研修の機会があれば参加を希望しますか。</p>	<p>1. 希望する</p> <p>2. 希望しない</p>	<input type="checkbox"/>
7	<p>英語の会話ほどの程度できますか。</p>	<p>1. 専門語を使った会話ができる</p> <p>2. 日常会話ができる</p> <p>3. なんとか日常会話ができる</p> <p>4. あまりできない</p> <p>5. できない</p>	<input type="checkbox"/>
8	<p>語学力を高めるために何をしていますか。</p> <p>(該当するものに「O」を記入してください。)</p> <p>(複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 学内の(必修以外の)外国語授業を受講している</li> <li>b. 学内の外国人教員、留学生と交流している</li> <li>c. 学内の施設(図書館、言語文化研究館など)を利用して学習している</li> <li>d. 自分でテープ等の教材を購入して学習している</li> <li>e. 外国(または外国語)の新聞、雑誌を読んでいる</li> <li>f. 外国(または外国語)のラジオ、テレビを視聴している</li> <li>g. 英会話等の教室・学校などに通っている</li> <li>h. 放送大学で学習している</li> <li>i. 特にしていない</li> <li>k. その他 ( )</li> </ul>	<input type="checkbox"/>

3	<p>将来就職して希望する勤務地はどこですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 福岡市内</li> <li>2. 福岡県内(福岡市を除く)</li> <li>3. 九州地区(1~2以外)</li> <li>4. 近畿地区</li> <li>5. 中部地区</li> <li>6. 関東地区</li> <li>7. その他の地区(1~6以外)</li> <li>8. どこでもよい</li> <li>9. 海外</li> <li>01. 企業説明会の開催</li> <li>02. 公務員等説明会の充実</li> <li>03. 就職活動についてのガイダンスの充実</li> <li>04. 就職情報室の充実</li> <li>05. 就職相談の充実</li> <li>06. 求人票の閲覧方法の改善</li> <li>07. 08-09等の就職先名簿の閲覧</li> <li>08. 教員の助言・指導等</li> <li>09. 特になし</li> <li>10. その他( )</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
4	<p>就職について大学に希望するものはどれですか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>01. 大学の教育・研究職</li> <li>02. 教職(大学を除く)</li> <li>03. 官公庁の研究職</li> <li>04. 公務員(行政職・専門職)</li> <li>05. 企業等の技術・研究職</li> <li>06. 専門職(医師、弁護士、公認会計士等)</li> <li>07. マスコミ関係(新聞記者、放送記者、アナウンサー等)</li> <li>08. 一般事務職</li> <li>09. 一般営業職</li> <li>10. その他(具体的に: )</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	<p>将来、どのような職業に就きたいと思えますか。就きたい職業の欄に3つまで記入してください。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

<p><b>O. 海外渡航・国際交流について</b></p>		<input type="checkbox"/> 回
1	<p>九大に入学後、海外渡航をしたことがありますか。 (ある人は回数も記入してください。)</p>	<input type="checkbox"/> 回
2	<p>【海外渡航をした方】 海外渡航の目的はどれでしたか。 (複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 留学(6か月以上)</li> <li>2. 語学研修</li> <li>3. 学食参加</li> <li>4. 学術調査</li> <li>5. 課外(サークル等)活動(遠征)</li> <li>6. 社会活動</li> <li>7. 観光</li> <li>8. その他 ( )</li> </ul>

R. 大学生生活の満足度について

9	いままでに国内における国際交流活動等の経験がありますか。 (該当するものに「○」を記入してください。) (複数回答可)	a. 学内の国際交流団体で活動している b. 学外の国際交流団体で活動している c. ホームステイの受け入れ d. 難民救済等のボランティア e. 通訳、相談など外国人の手助け f. 本学に親しくしている外国人留学生がいる (いた) g. 本学の留学生以外に親しくしている外国人がいる (いた) h. 経験がない i. その他 ( )
		a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。

1	オフィスアワー、指導教員等の学習相談について満足していますか。 (該当するものに「○」を記入してください。)	a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。
2	就職支援について満足していますか。 (該当するものに「○」を記入してください。)	a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。
3	健康、生活、ハラスメント等学生生活相談・助言に満足していますか。 (該当するものに「○」を記入してください。)	a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。
4	自習室、情報機器等の自主的学習環境について満足していますか。 (該当するものに「○」を記入してください。)	a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。
5	課外活動支援について満足していますか。 (該当するものに「○」を記入してください。)	a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。

5. 大学への要望について

九州大学に対して、何か要望や期待することがあれば自由に記入してください。

1. 本調査について

2. 大学改革について

3. 大学経営について

4. その他

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

平成19年度

# 学生生活実態調査票

(大学院生用)

九州大学学生委員会  
学生生活実態調査実施小委員会

「学生生活実態調査」についてのお願い

学生生活実態調査は、九州大学に在籍する皆さんの生活環境・学習環境など学生生活の実態を把握し、修学・生活支援等に役立てることを目的としています。

この調査は平成7年度から4年毎に実施しているもので、前回は平成15年度に実施しました。その後、九州大学には、九州芸術工科大学（平成15年10月）、国立大学法人化への移行（平成16年4月）や伊都キャンパスへの工学部等の移転（平成17年10月）など大きな変化がありました。

そこで、今回改めて調査することとし、学生の皆さんの学生生活等の変化の実態を把握して、今後の修学・生活支援並びに学生サービスの充実・改善等に役立てていきたいと考えています。

調査にあたり、調査対象学生約6千名を無作為に抽出しましたところ、あなたが調査対象学生に選出されました。

つきましては、調査の趣旨をご理解のうえ、この調査で収集したデータは他の目的に使用したり、回答した者が特定されることはありませんので、ありのままを正確にご回答くださるようご協力をお願いします。

なお、調査結果は、11月頃に報告書を作成し、ホームページ等で公表する予定ですが、公開の時期、方法等の詳細については、電子掲示板又は掲示によりお知らせします。提出にあたっては、定められた期限までに所属学部・学府又は六本松キャンパスの担当者へ提出して下さるようお願いいたします。

平成19年6月

学生委員会委員長（副学長） 山田 耕 路  
 学生生活実態調査実施小委員会委員長 淵 田 吉 男

目 次

A. 所属学府等について ..... 1  
 B. 家族状況について ..... 1  
 C. 住居について ..... 2  
 D. 通学・事故等について ..... 3  
 E. 食事について ..... 5  
 F. 健康・悩みについて ..... 6  
 G. 生活について ..... 8  
 H. 収入・支出について ..... 9  
 I. アルバイトについて ..... 10  
 J. 生活用品について ..... 12  
 K. サークル活動について ..... 12  
 L. ボランティア活動について ..... 14  
 M. 環境・施設について ..... 14  
 N. 入学・授業等関係について ..... 15  
 O. 図書館について ..... 16  
 P. 修了後の進路について ..... 17  
 Q. 海外渡航・国際交流について ..... 18  
 R. 大学生生活の満足度について ..... 20  
 S. 大学への要望について ..... 21

記入上の注意事項

1. 平成19年7月11日現在で記入してください。
2. 設問の文頭に【 】がある場合は、該当する方のみ回答してください。  
 (例1) 【自宅外通学者】・・・自宅外から通学している方に回答してもらおう設問  
 (例2) 【問3で「2～4」と答えた方】  
 .....問3で2～4のいずれかを答えた方に回答してもらおう設問
3. 調査票への記入は、次の表記によりお願いします。  
 (1) 設問の回答は、その設問の右欄の□内に回答番号、数字又は○印を記入してください。  
 (2) 選択肢が2桁の場合は、それぞれの回答枠に記入してください。  
 (例) 01. 福岡県 → 

0	1
---	---
- (3) 「複数回答可」となっている場合は、回答枠の数だけ記入することができます。
- (4) 調査項目中の（ ）内には、具体的内容、事柄を記入してください。



6	【問6で「1」と答えた方】 入りたい理由はどれですか。	1. 経済的理由のため 2. 通学に便利のため 3. 授業・研究で遅くなるため 4. 友人がほしいため 5. その他 ( )	<input type="text"/>
7	【問6で「2」と答えた方】 入りにくい理由はどれですか。	1. 距離が近い 2. 相親の場合がある 3. 食事がない 4. 集団生活がわずらわしい 5. その他 ( )	<input type="text"/>

D. 通学・事故等について

1	通常利用する通学手段はどれですか。 (該当するものに「○」を記入してください) (複数回答可)	<table border="1"> <tr><td>a. 徒歩</td></tr> <tr><td>b. 自転車</td></tr> <tr><td>c. 地下鉄</td></tr> <tr><td>d. 電車 (列車)</td></tr> <tr><td>e. バス</td></tr> <tr><td>f. 自動二輪車、原付バイク</td></tr> <tr><td>g. 自動車</td></tr> </table>	a. 徒歩	b. 自転車	c. 地下鉄	d. 電車 (列車)	e. バス	f. 自動二輪車、原付バイク	g. 自動車	<input type="text"/>
a. 徒歩										
b. 自転車										
c. 地下鉄										
d. 電車 (列車)										
e. バス										
f. 自動二輪車、原付バイク										
g. 自動車										
2	通学時間は片道どのくらいですか。	1. 15分以内 2. 30分以内 3. 45分以内 4. 1時間以内 5. 1時間30分以内 6. 2時間以内 7. 2時間を超える	<input type="text"/>							
3	自動車、自動二輪車、原付バイクの運転免許証を持っていますか。	1. 自動車の免許を持っている 2. 自動二輪車、原付バイクの免許を持っている 3. 自動車と自動二輪車の免許を持っている 4. 現在、免許取得中 5. 免許は持っていない	<input type="text"/>							
4	自分専用の自動車を持っていますか。	1. 持っている 2. 持っていない	<input type="text"/>							
5	【問4で「1」と答えた方】 自動車の任意保険に加入していますか。	1. 加入している 2. 加入していない	<input type="text"/>							
6	自分専用の自動二輪車、原付バイクを持っていますか。	1. 持っている 2. 持っていない	<input type="text"/>							
7	【問6で「1」と答えた方】 自動二輪車、原付バイクの任意保険に加入していますか。	1. 加入している 2. 加入していない	<input type="text"/>							

8	【自動車、自動二輪車、原付バイク】を所有している方】 入学後、交通事故を記した(加害者となった)ことがありますか。(自損事故を含む)	1. 1回ある 2. 2回以上ある 3. ない	<input type="text"/>
9	【問8で「1, 2」と答えた方】 ① その事故はどこで起こりましたか。 ② その事故はどのようなときに起こりましたか。	1. 学内 2. 学外 3. 学内外 1. 自動二輪車、原付バイク運転中 2. 自動車運転中 3. その他 ( )	<input type="text"/>
10	入学後、交通事故で被害を受けた(被害者となった)ことがありますか。	1. 1回ある 2. 2回以上ある 3. ない	<input type="text"/>
11	【問10で「1, 2」と答えた方】 ① その事故はどこで起こりましたか。 ② その事故はどのようなときに起こりましたか。	1. 学内 2. 学外 3. 学内外 1. 歩行中 2. 自転車運転中 3. 自動二輪車、原付バイク運転中 4. 自動車運転中 5. その他 ( )	<input type="text"/>
12	入学後、盗難事故で被害を受けたことがありますか。	1. ある 2. ない	<input type="text"/>
13	【問12で「1」と答えた方】 被害にあった品物はどれですか。 (複数回答可)	01. 現金 (カードを含む) 02. 自転車 03. 自動二輪車、原付バイク 04. 自動車 05. 現金類 06. カメラ・時計 07. パソコン 08. 貴重製品 09. 衣類 10. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
14	入学後、悪質な訪問販売・マルチ商法・キヤッチセールス等の被害を受けたことがありますか。	1. ある 2. ない	<input type="text"/>
15	入学後、大学の内外で身の危険を感じたことがありますか。	1. ある 2. ない	<input type="text"/>
16	【問15で「1」と答えた方】 どのような危険を感じましたか。 (複数回答可)	1. 暴力 2. 食品衛生・嫌がらせ 3. つきまとい 4. セクシャル・ハラスメント 5. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/>

E. 食事について

1	朝食は食べていますか。 (最近1か月の状況について記入してください)	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>
2	【問1で「4、5」と答えた方】 その主な理由は何ですか。	<input type="checkbox"/>
3	朝食・昼食・夕食は主にどこで食べていますか。 (それぞれについて記入してください。ただし、食べない場合は空欄のままとしてください)	朝食 <input type="checkbox"/> 昼食 <input type="checkbox"/> 夕食 <input type="checkbox"/>
4	学内の食堂を利用していますか。 (それぞれについて記入してください)	朝食 <input type="checkbox"/> 昼食 <input type="checkbox"/> 夕食 <input type="checkbox"/>
5	【問4で「1、2」と答えた方】 主に利用する学内の食堂はどこですか。	<input type="checkbox"/> …… <input type="checkbox"/>

6	全体として学内の食堂の改善すべき点は何ですか。 (複数回答可)	1. 値段を安くしてほしい 2. 値段を高くしてもよいかから質をよくしてほしい 3. 値段を高くしてもよいから量を増やしてほしい 4. 混雑を解消してほしい 5. メニューを増やしてほしい 6. 雰囲気をよくしてほしい 7. 衛生的にほしい 8. このままでよい 9. その他 ( )
---	------------------------------------	--

F. 健康・悩みについて

1	現在、体の調子はどうですか。 (風邪、けが、虫歯などの一時的な問題を除く)	1. 問題ない 2. 病気とは思えないが、何か調子が悪い 3. 悪者にはかかっていないが病気になる 4. 病気で実際に医者にかかっている 5. その他 ( )
2	【問1で「2、3」と答えた方】 どのように調子が悪いですか。 (複数回答可)	1. 疲れる、根気がないなど 2. 寝付きが悪い・眠りが強い・よく醒れないなど 3. 頭痛、めまい、吐き気など 4. 胃腸の調子が悪い 5. 咳や痰が出る 6. よく熱が出る 7. いらいらする 8. その他 ( )
3	【9次に入學後、ケガをした方】 どのような時にケガをしましたか。(医師の治療を受けたものについて記入してください)	1. 正課中 2. 課外(サークル等)活動中 3. 通学中 4. アルバイト中 5. レジャー 6. その他 ( )
4	学生教育研究災害傷害保険に加入していますか。	1. 加入している 2. 加入していない
5	【問5で「2」と答えた方】 加入していない理由はどれですか。	1. その必要がないから(一般の保険にも加入していない) 2. 一般の保険に加入している 3. 手続きを完了させていた 4. 保険があることを知らなかった
6	現在留んでいることがありますか。	1. 留みがある 2. 留みがない
7	【問6で「1」と答えた方】 ① 原因は何ですか。 (複数回答可)	1. 学業のこと 2. 将来の進路のこと 3. 家庭のこと 4. 健康のこと 5. 異性関係のこと 6. 経済的なこと 7. 友人関係のこと 8. 自分の性格のこと 9. その他 ( )

	<p>1. 小・中・高校時代からの友人</p> <p>2. 塾・予備校時代からの友人</p> <p>3. クラス、ゼミ、研究室等の仲間</p> <p>4. 課外(サークル等)活動の仲間</p> <p>5. 学生寮番舎・下宿等の仲間</p> <p>6. アルバイトの仲間</p> <p>7. 他大学(1~6以外)の仲間</p> <p>8. その他( )</p>	<p>①で「1」と答えた方にお尋ねします。</p> <p>それは、どのような関係の人ですか。</p>	<p>□</p>
--	---	--	----------

6. 生活について

1	<p>1. 4時間未満</p> <p>2. 4時間</p> <p>3. 5時間</p> <p>4. 6時間</p> <p>5. 7時間</p> <p>6. 8時間</p> <p>7. 9時間</p> <p>8. 10時間以上</p>	<p>1. 4時間未満</p> <p>2. 4時間</p> <p>3. 5時間</p> <p>4. 6時間</p> <p>5. 7時間</p> <p>6. 8時間</p> <p>7. 9時間</p> <p>8. 10時間以上</p>	<p>□</p>
2	<p>1. 週間のうちで大学に行かない曜日はありますか。</p> <p>2. (行かない曜日に、「1」を記入してください。)</p>	<p>a. 月曜日</p> <p>b. 火曜日</p> <p>c. 水曜日</p> <p>d. 木曜日</p> <p>e. 金曜日</p> <p>f. 土曜日</p> <p>g. 日曜日</p>	<p>□</p>
3	<p>01. 勉学</p> <p>02. 読書</p> <p>03. 課外(サークル等)活動</p> <p>04. 運動</p> <p>05. ボランティア活動</p> <p>06. アルバイト</p> <p>07. 趣味・娯楽</p> <p>08. 休養</p> <p>09. などとなく漫然と</p> <p>10. その他( )</p>	<p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>
4	<p>01. 学問・研究をする</p> <p>02. 専門知識・技術を身につける</p> <p>03. 豊かな教養を身につける</p> <p>04. 学歴・資格を得る</p> <p>05. 課外(サークル等)活動に力を入れる</p> <p>06. 一気企業に就職する</p> <p>07. 社会的活動の担い手となる</p> <p>08. 学生生活を満喫して青春をエンジョイする</p> <p>09. 良き友人を得る</p> <p>10. 特に関心をもちたい事柄を</p> <p>11. その他( )</p>	<p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>

	<p>1. 学生生活・特学相談室(各学部の学生生活・特学相談員を含む)に行く</p> <p>2. 健康相談室に行く</p> <p>3. 教員に相談する</p> <p>4. 先輩・友人等に相談する</p> <p>5. 家族に相談する</p> <p>6. 自分一人で解消するように努力をする</p> <p>7. 解消方法がわからない</p> <p>8. その他( )</p>	<p>□</p> <p>□</p>	
8	<p>本学にあるセクシュアル・ハラスメント防止のための委員会や相談員のことを知っていますか。</p> <p>① セクシュアル・ハラスメントの被害にあったことがありますか。</p>	<p>1. 知っている</p> <p>2. 知らない</p> <p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>	<p>□</p> <p>□</p>
9	<p>② 他人が被害にあっているのを見たり聞いたりしたことがありますか。</p>	<p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>	<p>□</p>
10	<p>喫煙についてお尋ねします。</p> <p>タバコを吸いますか。</p>	<p>1. 吸う</p> <p>2. 吸わない</p>	<p>□</p>
	<p>【問10で「1」と答えた方】</p> <p>① 喫煙を始めてどれくらい経っていますか。年数を教えてください。</p>	<p>□</p> <p>□</p> <p>年</p>	
11	<p>② 1日に何本吸っていますか。(平均的な本数で結構です)。</p> <p>③ 朝起きて最初のタバコを吸うまでの時間を教えてください。</p> <p>④ 現在、禁煙を希望していますか。</p>	<p>□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>
12	<p>喫煙がもたらす健康被害について知っていますか。</p>	<p>1. 知っている</p> <p>2. 知らない</p>	<p>□</p>
13	<p>丸太に入学後、飲酒を体験されたことがありますか。</p>	<p>1. ある</p> <p>2. ない</p>	<p>□</p>
14	<p>友人関係についてお尋ねします。</p> <p>① 現在心をうちあけることができる友人がいますか。</p>	<p>1. いる</p> <p>2. いない</p>	<p>□</p>

5	現在どんなことに力をいれていますか。 (複数回答可)	01. 進学 02. 課外(サークル等)活動 03. アルバイト 04. 一般的な知識・教養の習得 05. 友人との交流 06. 読書・レジャー・旅行 07. ボランティア活動 08. その他の社会的な活動 09. 特にな 10. その他( )	<input type="text"/>
6	全体として大学生生活に満足していますか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. どちらともいえない 4. やや不満である 5. 不満である(理由 )	<input type="text"/>
7	現在、特にほしいものは何ですか。 (複数回答可)	01. 心をうちあけることができる友人 02. 恋人 03. 生活費 04. 研究費用 05. 旅行費用 06. 遊ぶ時間 07. 良い先生(研究上の指導者) 08. 自動二輪車、原付バイク、自動車 09. パソコン 10. その他( )	<input type="text"/>

H. 収入・支出について

記入上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当しない項目は「0」を記入してください。</li> <li>収入合計と支出合計が一致するよう記入してください。</li> <li>奨学金は1か月当たりの金額に換算して記入してください。</li> </ul>								
あなたの1か月(平成19年4月～6月)の平均収入はおおよそどのくらいですか。 (千円単位で記入してください)	<table border="1"> <tr> <td>千円</td> <td>十</td> <td>万</td> <td>千</td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </table>	千円	十	万	千	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
千円	十	万	千						
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>						
1	<p>あなたの1か月(平成19年4月～6月)の平均支出はおおよそどのくらいですか。 (千円単位で記入してください)</p> <table border="1"> <tr> <td>千円</td> <td>十</td> <td>万</td> <td>千</td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </table>	千円	十	万	千	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
千円	十	万	千						
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>						

あなたの1か月(平成19年4月～6月)の平均支出はおおよそどのくらいですか。 (千円単位で記入してください)	<p>(※印「b」について、自宅生は「0」と記入してください)</p> <table border="1"> <tr> <td>千円</td> <td>十</td> <td>万</td> <td>千</td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </table>	千円	十	万	千	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
千円	十	万	千							
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>							
2	<p>あなたの1か月の支出合計はどのくらいですか(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>千円</td> <td>十</td> <td>万</td> <td>千</td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </table> <p>内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 1か月の支出合計はどのくらいですか(支出)</li> <li>b. 住居費(部屋代、賃金代) 光熱水費(電気料、水道料、暖房費、共益費など)</li> <li>c. 食費(自炊費、外食費、補食費等、自宅生は外食費を記入する)</li> <li>d. 進学費(進学に必要な書籍代、学習材料費、文房具代、講習学費等) (授業料等学校納付金は除く)</li> <li>e. 教養・娯楽費(教養・娯楽のための書籍代、船学以外の旅行費用、交際費(コンサート、スポーツ代、新聞代、映画・音楽会代など)</li> <li>f. 課外(サークル等)活動費(郵費、会費、遠征費など)</li> <li>g. 雑居費</li> <li>h. 通学費</li> <li>i. 通信費(電話、携帯電話、インターネットなど)</li> <li>j. その他雑費(理・美容、タバコ、化粧品、医療費など)</li> <li>k. 返済金(クレジットカードなど)</li> <li>l. その他( )</li> </ul> <p>訳</p>	千円	十	万	千	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
千円	十	万	千							
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>							
3	<p>家庭(家計支持者)からの送金と 修学との関係はどうか。</p> <p>1. 家庭からの送金のみで修学可能 2. 家庭からの送金のみでは修学困難 3. 家庭からの送金はない 4. 家庭へ経済的な援助をしている</p>	<input type="text"/>								
4	<p>消費者金融を利用したことがありますか。</p> <p>1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. 利用したことがない</p>	<input type="text"/>								
5	<p>【問4で「1」と答えた方】 最大どのくらいの金額を借りた ことがありますか。</p>	<table border="1"> <tr> <td>百万</td> <td>十</td> <td>万</td> <td>万</td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </table>	百万	十	万	万	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
百万	十	万	万							
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>							

I. アルバイトについて

1	<p>現在、アルバイトをしていますか。</p> <p>1. 長期のアルバイトをしている 2. 短期(1か月位まで)のアルバイトをしている 3. 長期と短期のアルバイトを、どちらもしている 4. していない</p>	<input type="text"/>		
2	<p>【問1で「1～3」と答えた方】 ① 主たる理由はどれですか。 (複数回答可)</p> <p>1. 家庭の経済的負担を軽減するため 2. 学業を継続するため 3. 小遣・趣味の支出のため 4. 家族からできるだけ自立したいため 5. 社会経験のため 6. その他( )</p>	<table border="1"> <tr> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> </tr> </table>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>				
<input type="text"/>				

J. 生活用品について

<p>1 大学生を送るために必要と思われるものはどれですか。 (該当するものに「○」を記入してください) (複数回答可)</p>	<p>a. パソコン b. テレビ c. エアコン・クーラー d. 電話 e. 携帯電話 (PHS を含む) f. 映像機器、音響機器 g. カメラ h. 自転車 i. 自動二輪車、原付バイク j. 自動車 k. 電子レンジ l. その他 ( )</p>
<p>2 所有している物はどれですか。 (該当するものに「○」を記入してください) (複数回答可)</p>	<p>a. パソコン b. テレビ c. エアコン・クーラー d. 電話 e. 携帯電話 (PHS を含む) f. 映像機器、音響機器 g. カメラ h. 自転車 i. 自動二輪車、原付バイク j. 自動車 k. 電子レンジ</p>

K. サークル活動について

<p>1</p>	<p>現在、サークルに加入していますか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 本学で組織された体育サークルに加入している 2. " 文化サークル " 3. " 音楽サークル " 4. 学部単位で組織された体育サークルに加入している 5. " 文化サークル " 6. " 音楽サークル " 7. 学外のサークルに加入している 8. 学内外いずれのサークルにも加入していない</p>
----------	--------------------------------------	--

<p>② 紹介者 (情報提供者) はだれ (何) ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 学務部 (六本松地区全学教育事務局を含む) 2. 内外学生センター 3. 友人・知人・先輩 4. 求人先から直接依頼 5. 紹介雑誌、新聞広告、チラシ・ポスター等 6. その他 ( )</p>
<p>③ 職業はどれですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 家庭教師 2. 塾・予備校講師 3. 一般事務 4. 調査・技術 5. 販売サービス 6. 特殊技能 7. 重労働・危険作業 8. その他 ( )</p>
<p>④ どの程度していますか。</p>	<p>1. ほとんど毎日 2. 平日に週数回 3. 日曜日など休日に限って</p>
<p>⑤ 1 週間の平均就労時間はおよそ何時間くらいですか。</p>	<p>時間</p>
<p>⑥ 収入は例に倣えますか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 授業料 02. 給食費 03. 衣食住の費用 04. 課外 (サークル等) 活動費 05. 旅行費 06. 娯楽・レジャー費 07. 通信費 (電話、携帯電話、インターネットなど) 08. 家電などの購入費 09. 技術・資格などの取得の費用 10. 予約金 11. その他 ( )</p>
<p>⑦ 学業などの関係はどうですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 授業をある程度犠牲にしている 2. 睡眠時間を犠牲にしている 3. 教養・就業時間を犠牲にしている 4. 課外 (サークル等) 活動を犠牲にしている 5. ほとんど支障はない 6. 学業に役立っている</p>

<p>【問1で「1」と答えた方】 ① そのサークルに加入した 主な理由はどれですか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 団体生活に興味がある 02. 活動内容が好き、又は興味がある 03. 知識・教養を得るため 04. 免許等の資格を得るため 05. 個性増進のため 06. 友人を得るため 07. 就職のことを考えて 08. レクリエーションとして 09. 技術の向上のため 10. 社会貢献のため 11. 先輩に勧められたため 12. その他 ( )</p>	<p>② 満足度はどうですか。 ( )</p>	<p>1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらともいえない 4. 不満 5. 非常に不満</p>
<p>③ サークル活動の場所はどこ ですか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 九卒の課外活動共用施設 02. 九卒の学生会館・教室 03. 九卒の体育館 04. 九卒のその他の屋内施設 05. 九卒の屋外施設 06. 九卒の施設以外(市民体育館など) 07. その他 ( )</p>	<p>④ 九卒の施設でサークル活 動をするのは何曜日です か。 ( )</p>	<p>01. 月曜日 02. 火曜日 03. 水曜日 04. 木曜日 05. 金曜日 06. 土曜日 07. 日曜日 08. その他 ( )</p>
<p>⑤ サークル活動をしている時 間は1週間当たりおおよそ何 時間ですか。 ( )</p>	<p>⑥ サークル活動と授業との間 隔はどうですか。 ( )</p>	<p>⑦ サークルに加入していない理由 はどれですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 学業をかなり犠牲にしている 2. 学業をすこし犠牲にしている 3. 学業に影響ない 4. 学業にプラスになる 01. 学業の負担となる 02. 練習がきつい 03. 健康上の理由 04. 興味あるサークルがない 05. 東洋されたくない 06. 対人関係がのんどう 07. 経済的な負担が大きい 08. 時間がない 09. 特に関心はない 10. その他 ( )</p>

L. ボランティア活動について

<p>1 あなたは、本学に入学してボラン ティア活動に参加したことがあり ますか。 ( )</p>	<p>1. ある 2. ない 3. 参加したことはないが、参加を希望している</p>	<p>1. 地域社会 (コミュニティ) 活動 2. 社会福祉活動 3. 環境保護活動 4. 環境保全活動 5. 社会教育活動 6. 学術・文化活動 7. スポーツ関係活動 8. 国際交流・国際協力活動 9. その他 ( )</p>
<p>2 【問1で「1」と答えた方】 どのようなボランティア活動 ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 地域社会 (コミュニティ) 活動 2. 社会福祉活動 3. 環境保護活動 4. 環境保全活動 5. 社会教育活動 6. 学術・文化活動 7. スポーツ関係活動 8. 国際交流・国際協力活動 9. その他 ( )</p>	<p>1. 地域社会 (コミュニティ) 活動 2. 社会福祉活動 3. 環境保護活動 4. 環境保全活動 5. 社会教育活動 6. 学術・文化活動 7. スポーツ関係活動 8. 国際交流・国際協力活動 9. その他 ( )</p>
<p>3 【問1で「3」と答えた方】 どのようなボランティア活動 ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1. 地域社会 (コミュニティ) 活動 2. 社会福祉活動 3. 環境保護活動 4. 環境保全活動 5. 社会教育活動 6. 学術・文化活動 7. スポーツ関係活動 8. 国際交流・国際協力活動 9. その他 ( )</p>	<p>1. 地域社会 (コミュニティ) 活動 2. 社会福祉活動 3. 環境保護活動 4. 環境保全活動 5. 社会教育活動 6. 学術・文化活動 7. スポーツ関係活動 8. 国際交流・国際協力活動 9. その他 ( )</p>

M. 環境・施設について

<p>1 全体として九卒の施設にどの程度 満足していますか。 ( )</p>	<p>1. 満足している 2. まあまあ満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満</p>	<p>01. 講義室・実験室・研究室 02. 図書館 03. 休憩・談話のための控室・談話室 04. 福利厚生施設(食堂・売店等) 05. 健康相談室・学生生活移学相談室 06. 課外活動施設 07. 体育施設 08. 会議・集会的のためのホール・会議室 09. 学生寮 10. 駐輪・駐車場 11. 緑地帯 12. トイレ 13. その他 ( )</p>
<p>2 【問1で「3～5」と答えた方】 九卒の施設等で改善が実して ほしいものはどれですか。 (複数回答可)</p>	<p>01. 講義室・実験室・研究室 02. 図書館 03. 休憩・談話のための控室・談話室 04. 福利厚生施設(食堂・売店等) 05. 健康相談室・学生生活移学相談室 06. 課外活動施設 07. 体育施設 08. 会議・集会的のためのホール・会議室 09. 学生寮 10. 駐輪・駐車場 11. 緑地帯 12. トイレ 13. その他 ( )</p>	<p>01. 講義室・実験室・研究室 02. 図書館 03. 休憩・談話のための控室・談話室 04. 福利厚生施設(食堂・売店等) 05. 健康相談室・学生生活移学相談室 06. 課外活動施設 07. 体育施設 08. 会議・集会的のためのホール・会議室 09. 学生寮 10. 駐輪・駐車場 11. 緑地帯 12. トイレ 13. その他 ( )</p>

## N. 入学・授業等関係について

1	出身はどれですか。	1. 自学部 (博士課程は、学府・研究科) 2. 他学部 (学府・研究科) 3. 他の大学 (大学院) 4. 社会人から	<input type="text"/>
2	九大に入学 (進学) した主な理由 はどれですか。	1. 研究を極めたい 2. 学位取得のため 3. 指導教員の魅力 4. 就職に有利なため 5. 希望する就職先がなかったため 6. その他 ( )	<input type="text"/>
3	九大以外の大学院を受験しましたか。	1. した 2. しなかった	<input type="text"/>
4	大学院受験と併行して就職活動を しましたか。	1. した 2. しなかった	<input type="text"/>
5	現在の研究環境について満足度は どの程度ですか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. 普通 4. やや不満である 5. 不満である	<input type="text"/>
6	【問5で「4, 5」と答えた方】 その理由はどれですか。 (複数回答可)	1. 演習・講義内容 2. 研究指導 3. 施設・設備 4. 研究費用 5. 研究時間 6. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/>
7	教員との対話についてお尋ねしま す。 ① 日頃教員と直接話す機会が ありますか。 ② ①で「4」を答えた方にお尋 ねします。 その理由はどれですか。 ③ 日頃教員ともっと直接話をし たいと思いますか。	1. よくある 2. たまにある 3. あまりない 4. 全くない  1. 話はしたいがその機会がない 2. 何となく話しくい 3. 話す必要がない 4. その他 ( )  1. 思う 2. 思わない	<input type="text"/> <input type="text"/>

8	教員に期待するものはどれで すか。 (複数回答可)	01. 学問の厳しさを教えてほしい 02. 研究者としてより、良き教員者であってほしい 03. 授業内容を改善してほしい 04. 講義内容を充実させてほしい 05. わかりやすく教えてほしい 06. 研究成果をあげ教員に還元してほしい 07. 受講をできるだけなくしてほしい 08. 学生との対話の場を持ってほしい 09. 社会的実践との結びつきを強めてほしい 10. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
9	技能・知識を修得するために専門 学校 (3か月以上) などに通って いますか。	1. 通っている 2. 現在は通っていないが過去にはある 3. 通ったことはない	<input type="text"/>
10	【問2で「1~2」と答えた方】 それはどんな内容でしたか。	1. パソコン・ワープロなど 2. 語学など 3. ビジネス (秘書・簿記・アナウンサー等) 4. 公務員受験 5. 予備校 6. その他 ( )	<input type="text"/>

## O. 図書館について

1	図書館 (分館を含む) の利用目的 は何ですか。 (複数回答可)	01. 一般図書 (雑誌) の閲覧 02. 一般図書 (雑誌) の貸出 03. 学術図書 (雑誌) の閲覧 04. 学術図書 (雑誌) の貸出 05. 新聞の閲覧 06. 試験勉強 07. 予習・復習 08. レファレンス 09. 文献複写 10. 目録検索 (データベース検索など) 11. 目録検索 (所蔵検索) 12. インターネット利用 13. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
2	図書館 (分館を含む) を利用する のは1週間におよそ何時間くらい ですか。	1. 1時間未満 2. 1時間~ 3. 3時間~ 4. 5時間~ 5. 10時間~ 6. 15時間~ 7. 20時間以上	<input type="text"/>
3	図書館 (分館を含む) の課業の閑 暇時間についてどう思いますか。 (複数回答可)	1. 現在のままでよい 2. 平日の閑暇時間を延長してほしい 3. 土日・祝日の閑暇時間を延長してほしい 4. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/>

4	【問3で「2、3」と答えた方】 開始時間はどのくらいまでですか。 (複数回答可)	1. 平日午後10時まで 2. 平日午後10時以降も 3. 土日・祝祭日午後7時まで 4. 土日・祝祭日午後7時以降も 5. その他 ( )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	図書館(分館を含む)の満足度はどうですか。 (複数回答可)	1. 現状で満足である 2. 現状では不満がある 3. その他 ( )	<input type="checkbox"/>
6	【問5で「2」と答えた方】 どの項目の改善を望みますか。 (複数回答可)	1. 図書館利用の案内・標示 2. 図書・雑誌、雑誌資料の充実 3. 図書・雑誌所蔵情報の充実 4. データベースの充実 5. 情報検索用機器の充実 6. 閲覧環境の改善 7. 開館時間の延長 8. カウンターの対応 9. その他 ( )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

P. 修了後の進路について

1	修了後の進路希望はどれですか。 (複数回答可)	1. 就職 2. 九大大学院 3. 九大以外の大学院 4. 九大・九大以外の大学へ編入学・転入学 5. 海外留学 6. 考えていない 7. その他 ( )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2	将来の就職について重視するものはどれですか。 (複数回答可)	1. 能力が発揮できる 2. 就職先の将来性や安定性 3. 就職先の社会的評価 4. 給与 5. 自由時間・休暇 6. 福利厚生 7. 勤務地の地理的条件 8. 家賃の事情 9. その他 ( )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	将来就職して希望する勤務地はどこですか。 (複数回答可)	1. 福岡市内 2. 福岡県内(福岡市を除く) 3. 九州地区(1~2以外) 4. 近畿地区 5. 中部地区 6. 関東地区 7. その他の地区(1~6以外) 8. どこでもよい 9. 海外	<input type="checkbox"/>

4	就職について大学に希望するものはどれですか。 (複数回答可)	01. 企業説明会の開催 02. 公務員等説明会の充実 03. 就職活動についてのガイダンスの充実 04. 就職情報室の充実 05. 就職相談の充実 06. 求人票の調査方法の改善 07. 05・06等の就職先名簿の閲覧 08. 教員の助言・指導等 09. 特になし 10. その他 ( )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	将来、どのような職業に就きたいと思えますか。就きたい職業の順に3つまで記入してください。 (複数回答可)	01. 大学の教育・研究職 02. 教員職(大学を除く) 03. 官公庁の研究職 04. 公務員(行政職・専門職) 05. 企業等の技術・研究職 06. 専門職(医師、弁護士、公認会計士等) 07. マスコミ関係(新聞記者、放送記者、アナウンサー等) 08. 一般事務職 09. その他(具体的に)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

Q. 海外進路・国際交流について

1	九大に入学後、海外進路をしたことがありますか。 (ある人は回数記入してください。)	1. 留学(6か月以上) 2. 語学研修 3. 学食参加 4. 学術調査 5. 課外(サークル等)活動(遠征) 6. 社会活動 7. 観光 8. その他 ( )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>											
2	【海外進路をした方】 海外進路の目的はどれでしたか。 (複数回答可)	1. 留学(6か月以上) 2. 語学研修 3. 学食参加 4. 学術調査 5. 課外(サークル等)活動(遠征) 6. 社会活動 7. 観光 8. その他 ( )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>											
3	【海外進路をした方】 海外進路先はどこですか。 (該当するものに「O」を記入してください。)	1. 留学(6か月以上) 2. 語学研修 3. 学食参加 4. 学術調査 5. 課外(サークル等)活動(遠征) 6. 社会活動 7. 観光 8. その他 ( )	<table border="1"> <tr><td>a. 東アジア(中国・韓国等)</td></tr> <tr><td>b. 東南アジア</td></tr> <tr><td>c. 南アジア(インド等)</td></tr> <tr><td>d. 西・中央アジア(イラン・シリア等)</td></tr> <tr><td>e. アフリカ</td></tr> <tr><td>f. ヨーロッパ(OIS諸国を除く)</td></tr> <tr><td>g. OIS諸国(旧ソ連邦)</td></tr> <tr><td>h. 北アメリカ(ハワイ・グアムを除く)</td></tr> <tr><td>i. 南アメリカ</td></tr> <tr><td>j. オセアニア・太平洋諸島</td></tr> <tr><td>k. その他 ( )</td></tr> </table>	a. 東アジア(中国・韓国等)	b. 東南アジア	c. 南アジア(インド等)	d. 西・中央アジア(イラン・シリア等)	e. アフリカ	f. ヨーロッパ(OIS諸国を除く)	g. OIS諸国(旧ソ連邦)	h. 北アメリカ(ハワイ・グアムを除く)	i. 南アメリカ	j. オセアニア・太平洋諸島	k. その他 ( )
a. 東アジア(中国・韓国等)														
b. 東南アジア														
c. 南アジア(インド等)														
d. 西・中央アジア(イラン・シリア等)														
e. アフリカ														
f. ヨーロッパ(OIS諸国を除く)														
g. OIS諸国(旧ソ連邦)														
h. 北アメリカ(ハワイ・グアムを除く)														
i. 南アメリカ														
j. オセアニア・太平洋諸島														
k. その他 ( )														

<p>4 交換留学制度を知っていますか。</p>	<p>1. 知っている 2. 知らない</p> <p>※ 「交換留学制度」とは、在学中の学生を1年を超えない期間、外国の協定相手先大学に派遣する制度です。九次での授業料を納めれば、相手先大学での授業料は免除になります。</p>	<p style="text-align: center;">□</p>
<p>5 留学のための奨学金や学統費補助制度を知っていますか。</p>	<p>1. 知っている 2. 知らない</p>	<p style="text-align: center;">□</p>
<p>6 大学主催の海外語学研修の機会があれば参加を希望しますか。</p>	<p>1. 希望する 2. 希望しない</p>	<p style="text-align: center;">□</p>
<p>7 英語の会話はその程度できますか。</p>	<p>1. 専門用語を使った会話ができる 2. 日常会話ができる 3. なんとか日本語が話せる</p> <p>4. あまりできない 5. できない</p>	<p style="text-align: center;">□</p>
<p>8 語学力を高めるために何をしていますか。  (該当するものに「O」を記入してください)  (複数回答可)</p>	<p>a. 字内の(必修以外の)外国語授業を受講している</p> <p>b. 字内の外国人教員、留学生と交流している</p> <p>c. 字内の施設(図書館、言語文化研究館など)を利用して学習している</p> <p>d. 自分でテープ等の教材を購入して学習している</p> <p>e. 外国(または外国語)の新聞、雑誌を読んでいる</p> <p>f. 外国(または外国語)のラジオ、テレビを視聴している</p> <p>g. 英会話等の教室・学校などに通っている</p> <p>h. 放送大学で学習している</p> <p>i. 特にしていない</p> <p>k. その他( )</p>	
<p>9 いままで国内における国際交流活動等の経験がありますか。  (該当するものに「O」を記入してください)  (複数回答可)</p>	<p>a. 字内の国際交流団体で活動している</p> <p>b. 字外の国際交流団体で活動している</p> <p>c. ホームステイの受け入れ</p> <p>d. 国際交流等のボランティア</p> <p>e. 通訳、相談など外国人の手助け</p> <p>f. 本字に親しくしている外国人留学生がいる(いた)</p> <p>g. 本字の留学生以外に親しくしている外国人がいる(いた)</p> <p>h. 経験がない</p> <p>i. その他( )</p>	

R. 大学生生活の満足度について

<p>1</p>	<p>オフィスアワー、指導教員等の学習相談について満足していますか。  (該当するものに「O」を記入してください)</p>	<p>a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。</p>
<p>2</p>	<p>就職支援について満足していますか。  (該当するものに「O」を記入してください)</p>	<p>a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。</p>
<p>3</p>	<p>健康、生活、ハラスメント等学生生活相談・助言に満足していますか。  (該当するものに「O」を記入してください)</p>	<p>a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。</p>
<p>4</p>	<p>自習室、情報機器等の自主的学習環境について満足していますか。  (該当するものに「O」を記入してください)</p>	<p>a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。</p>
<p>5</p>	<p>課外活動支援について満足していますか。  (該当するものに「O」を記入してください)</p>	<p>a. 満足している。 b. やや満足している。 c. どちらともいえない。 d. やや不満である。 e. 不満である。</p>

5. 大学への要望について

九州大学に対して、何か要望や期待することがあれば自由に記入してください。

1. 本学業について

2. 大学改革について

3. 大学経営について

4. その他

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

## あ と が き

平成19年度学生生活実態調査は、本学に在籍する学部・大学院の学生さんの生活環境・学習環境の現状を把握し、今後の修学ならびに福利厚生・課外活動等の改善に資するため行ったものです。約2,300名の学生さんからの回答を得、これを取りまとめたものがこの報告書です。

今回の報告書の取りまとめは大学院の学生さんによるもので、学生さんの視点から作り上げられたものです。体裁・構成も前回のものよりも更に見やすくなっています。是非、ご一読いただき、ご活用いただければと思います。

また、調査項目以外にも自由記述欄には多数の貴重なご意見をいただいています。本調査の在り方、大学改革、大学移転等に数々の前向きなご意見がありました。このような学生さんからの意見を活用しながら、今後の大学運営を進めていくことは本学教職員の責務であると考えます。

なお、本報告書の内容は、下記ホームページにも掲載していますのでご参照ください。

【URL】 <http://www.kyushu-u.ac.jp/student/statistics/index.php>

最後に、アンケートに答えていただいた学部・大学院学生ならびに調査用紙の配布・回収にご協力いただいた各学部・学府等事務担当の方々、また報告書作成にご尽力いただいた大学院学生、教職員の方々に心より御礼を申し上げます。

平成20年3月

九州大学学生生活実態調査小委員会  
委員長 淵 田 吉 男

